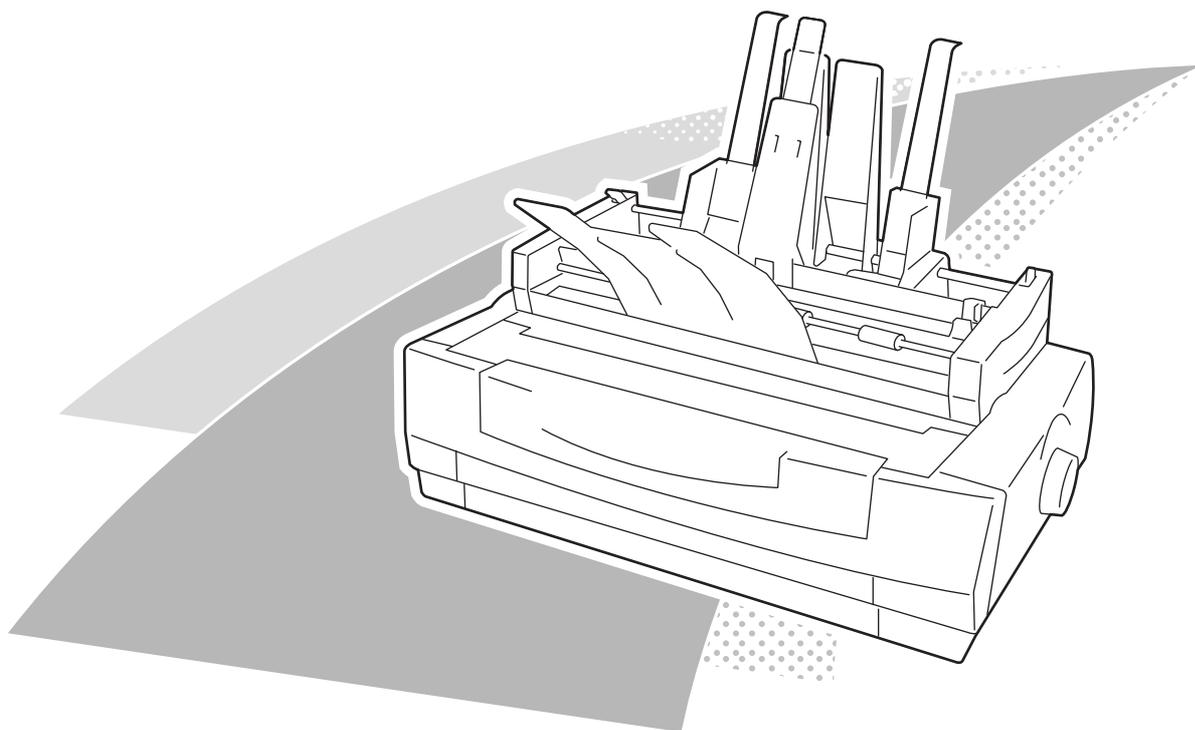


# MultImpact 201 シリーズ

ドットインパクトプリンタ  
ユーザーズマニュアル



**MultImpact 201HE**  
**MultImpact 201SE**

このマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、印刷してお手元に置くことをお勧めします。

## 安全にかかわる表示

プリンタを安全にお使いいただくために、このマニュアルの指示に従って操作してください。

このマニュアルには製品のどこが危険か、どのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。

また、製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

マニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

 <b>警告</b>	指示を守らないと、 <u>人が死亡する</u> 、または <u>重傷を負う</u> おそれがあることを示します。
 <b>注意</b>	指示を守らないと、 <u>火傷やけがのおそれ</u> 、および <u>物的損害の発生のおそれ</u> があることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

### 注意の喚起

注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	<u>毒性の物質による被害</u> のおそれがあることを示します。		<u>けが</u> をするおそれがあることを示します。
	<u>発煙または発火</u> のおそれがあることを示します。		<u>指などがはさまれる</u> おそれがあることを示します。
	<u>感電</u> のおそれがあることを示します。		<u>体内に入れると有害な物質</u> であることを示します。
	<u>火傷</u> を負うおそれがあることを示します。		<u>特定しない一般的な注意・警告</u> を示します。

**行為の禁止** 行為の禁止は「⊘」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンタを分解・修理・改造しないでください。 <b>感電や火災</b> のおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。 <b>感電</b> のおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。 <b>感電や火傷などの傷害</b> が起こるおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと <b>感電や発火</b> のおそれがあります。
	金属類を差し込まないでください。 <b>感電</b> のおそれがあります。		薬品類をかけないでください。電源コードや本体電気部品の劣化による <b>感電や火災</b> のおそれがあります。
	破損した電源コードは使わないでください。 <b>感電や火災</b> のおそれがあります。		直射日光を避けてください。 <b>発火</b> のおそれがあります。
	手や髪の毛を近づけないでください。装置内部に巻き込まれて <b>けが</b> をするおそれがあります。		不安定な場所を避けてください。 <b>けが</b> をするおそれがあります。
	お子様を近づけないでください。 <b>けが</b> をするおそれがあります。		たこ足配線にしないでください。 <b>発火</b> のおそれがあります。
	電源プラグを中途半端に差し込まないでください。 <b>火災</b> のおそれがあります。		電源コードをねじらないでください。 <b>感電や火災</b> のおそれがあります。
	プリンタを一人で持ち上げないでください。 <b>けが</b> をするおそれがあります。		

**行為の強制** 行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

	プリンタの電源プラグをコンセントから抜いてください。 <b>感電や火災</b> のおそれがあります。		電源コードはAC100Vのコンセントに差し込んでください。 <b>火災や漏電</b> のおそれがあります。
	電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが破損して <b>火災や感電</b> のおそれがあります。		アース線を接続してください。万一漏電した場合に <b>感電や火災</b> のおそれがあります。

本文中で使用する記号の意味

このマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内容
 <b>重要</b>	この注意事項を守らないと、プリンタが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。
 <b>チェック</b>	この注意事項を守らないと、プリンタが正しく動作しないことがあります。

## 商標について

NEC、NECロゴ、MultiImpactは日本電気株式会社の登録商標です。

PrinterSignalStationはNECソリューションイノベータ株式会社の登録商標です。

IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Acrobat、Acrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

## ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. 運用した結果の影響については4項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
6. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

# はじめに

このたびはNECのプリンタをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。  
本マニュアルは、NECドットプリンタMultImpact 201HE/201SEを正しくお使いいただくための手引きです。  
本マニュアルにはMultImpact 201HE/201SEの設置、操作、保守に必要な情報を記載していますので、日常使用する上でわからないことや具合の悪いことが起きたときにぜひご利用ください。  
尚、ソフトウェアマニュアルではプリンタドライバなど添付ソフトウェアのインストール方法が記載されています。併せてご利用ください。

## マニュアルの構成

本マニュアルの構成は次のとおりです。

### 第1章 初めてお使いになるとき

本プリンタの取り扱い上の注意など、お使いになる前に知っておきたい情報や、プリンタを箱から出して印刷の準備が整うまでの手順を説明しています。また、本プリンタに用意されている様々なオプションを紹介しています。

### 第2章 用紙の取り扱い

カット紙、連続紙、はがき、封筒の取り扱い方法を、用紙のセットを中心に説明しています。

### 第3章 操作パネルとスイッチの機能

操作パネル上のスイッチやランプの機能、プリンタが持っている様々な便利な機能について説明しています。

### 第4章 プリンタの設定変更

プリンタの設定変更を行うための機能について説明しています。

### 第5章 オプション

オプションの取り付け方法や取り外し方法について説明しています。

### 第6章 日常の保守

インクリボンカートリッジの交換やプリンタの清掃手順を説明しています。

### 第7章 故障かな?と思ったときは

プリンタが思うように動作しなかったり、印刷の状態がよくなかったりしたときは、故障を疑う前にまずこの章をお読みください。保証や修理の依頼、プリンタを運搬するときの準備についても記載しています。

### 付録

プリンタの仕様、用紙の規格、用紙の設計に関する注意事項、印刷範囲に関する情報を記載しています。

### 技術情報

テスト印刷のサンプルや文字コード表を載せています。

---

# MultImpact 201HE/201SEの特長

MultImpact 201HE/201SEの特長を簡単に説明します。

- USBインタフェースに対応  
オプションのUSB-パラレル変換ケーブルを使用することで、USBインタフェースでの印刷が可能です。
- PrinterSignalStation、リモートパネル  
プリンタの状態（用紙なし、エラーなど）や印刷の進行状況を確認することができます。またプリンタの各種設定をコンピュータの画面上で行うことができます。PrinterSignalStation、リモートパネルについてはソフトウェアマニュアルをご覧ください。
- 各種ネットワークに対応  
MultImpact 201HE/201SEはオプションでTCP/IPに対応したLANアダプタを接続することができます。
- 節電機能  
MultImpact 201HE/201SEは国際エネルギースタープログラムに準拠した節電機能をサポートしています。
- 7色のカラー印刷（MultImpact 201HEのみ）  
カラーインクリボンカートリッジを使用することにより、7色のカラー印刷を行うことができます。
- 自動カット位置送り機能  
連続紙の印刷終了後、自動的にカット位置まで用紙を送る機能です。この機能を使えば、スピーディに用紙をカットすることができます。
- 自動用紙厚調整機能  
用紙の厚さを自動的に調整する機能です。用紙枚数1～5枚まで自動的に検知できます。
- 各種用紙に印刷可能  
MultImpact 201HE/201SEは、はがきからA3サイズまでのカット紙、連続紙のほか複写式用紙やラベル紙など様々な用紙\*<sup>1</sup>に印刷することができます。
- バーコード印刷  
NW-7、JAN、CODE 39、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、郵便カスタマバーコードの印刷ができます。

---

\*<sup>1</sup> 付録「用紙の規格」参照。

# 目次

安全にかかわる表示 .....	ii
はじめに .....	v
マニュアルの構成 .....	v
MultImpact 201HE/201SEの特長 .....	vi
目次 .....	vii
安全にお使いいただくために .....	1
警告ラベルについて .....	1
安全上のご注意 .....	2
<b>1章 初めてお使いになるとき.....7</b>	
取り扱い上の注意 .....	8
設置に必要なスペース .....	9
設置してはいけない場所 .....	10
箱の中身を確認する .....	11
別売品 .....	12
オプション .....	12
消耗品 .....	14
各部の名称を確認する .....	15
保護用部品を取り除く .....	17
インクリボンカートリッジを取り付ける .....	18
トップシートガイドを取り付ける .....	20
電源コードを接続する .....	21
テスト印刷をする .....	23
コンピュータに接続する .....	25
<b>2章 用紙の取り扱い.....26</b>	
カット紙に印刷する .....	28
カット紙のセット .....	28
カット紙の排出 .....	29
連続紙に印刷する .....	30
トラクタユニットの付け替え方 .....	30
トpptラクタとして取り付ける .....	30
リアトラクタとして取り付ける .....	32
リアトラクタへの連続紙のセット .....	33
トpptラクタへの連続紙のセット .....	35
連続紙のカット .....	39
カット機能を使う .....	39
自動カット位置送り機能を使う .....	40
用紙吸入位置の微調整 .....	41
カット紙と連続紙の切り替え印刷 .....	43
連続紙からカット紙への切り替え .....	43
カット紙から連続紙への切り替え .....	43
はがきに印刷する .....	44
はがきに印刷するときの注意 .....	44
はがきのセットと吸入 .....	45
<b>3章 操作パネルと     スイッチの機能.....47</b>	
スイッチの基本機能 .....	48
スイッチの応用機能 .....	50
メニューモード、スペシャルメニューモード .....	50
ハガキ印刷モード .....	50
設定内容のリセット .....	51
テスト印刷 .....	51
強制リセット .....	51
ネットワーク設定モード .....	52
ランプの表示 .....	52
ディスプレイの表示 .....	53

<b>4章 プリンタの設定変更.....55</b>	
メニューモード .....	55
メニューモードで変更できる設定項目 .....	56
メニューモードの入り方と終了方法 .....	57
メニューモードの入り方 .....	57
メニューモードの終了方法 .....	57
メニューモード時のスイッチ機能 .....	57
メニューツリー .....	58
設定の手順 .....	60
設定の詳細 .....	61
書式設定 .....	61
機能選択 .....	62
スペシャルメニューモード .....	63
スペシャルメニューモードで変更できる 設定項目 .....	63
スペシャルメニューモードの入り方と終了方法 .....	63
スペシャルメニューモードの入り方 .....	63
スペシャルメニューモードの終了方法 .....	64
スペシャルメニューモード時のスイッチ機能 .....	64
メニューツリー .....	65
設定の手順 .....	68
設定の詳細 .....	69
パラメータ設定モード .....	69
メモリスイッチ設定モード .....	71
罫線ぞろえ確認モード .....	75
HEX ダンプモード切り替え .....	77
ネットワーク設定モード .....	78
ネットワーク設定モードで変更できる設定項目 .....	78
ネットワーク設定モードの入り方と終了方法 .....	78
ネットワーク設定モードの入り方 .....	78
ネットワーク設定モードの終了方法 .....	78
ネットワーク設定モード時のスイッチ機能 .....	79
メニューツリー .....	80
設定の手順 .....	81
設定の詳細 .....	82
<b>5章 オプション.....83</b>	
シートフィーダ .....	85
各部の名称 .....	85
組み立て .....	86
取り付け・取り外し .....	87
カット紙のセット .....	88
ホッパからのセット .....	88
ポケットからのセット .....	90
はがきのセット .....	91
シートフィーダ使用時の注意 .....	93
カット紙と連続紙の切り替え印刷について .....	93
用紙吸入位置の微調整について .....	93
清掃 .....	94
清掃箇所 .....	94
用紙保管上の注意 .....	95
用紙が詰まったときは .....	95
その他 .....	95
トラクタフィーダ .....	96
各部の名称 .....	96
取り付け・取り外し .....	96
連続紙のセット .....	98
トラクタフィーダのみを使う場合 — 前または底から給紙する — .....	99
リアトラクタとあわせて使う場合 — 後ろから給紙する — .....	101
フロントトラクタフィーダ .....	102
各部の名称 .....	102

取り付け・取り外し .....	102
取り付け .....	102
取り外し .....	104
連続紙のセット .....	105
フロントトラクタフィーダのみを使う場合	
— 前から給紙する — .....	106
トラクタフィーダ (オプション) と	
あわせて使う場合 — 前から給紙する — .....	108
リアトラクタとあわせて使う場合	
— 2 種類の用紙を切り替えて使用する — .....	109
<b>6章 日常の保守.....</b>	<b>110</b>
インクリボンカートリッジの交換 .....	110
インクリボンの交換方法 .....	113
プリンタの清掃 .....	114
<b>7章 故障かな?と</b>	
<b>思ったときは.....</b>	<b>115</b>
エラー表示が出ているときは .....	116
エラー表示が出ていないのにおかしいときは .....	118
紙づまりの処理 .....	122
フィードローラユニットの付近で	
つまったときは .....	122
フロントシートガイド付近でつまったときは .....	123
保証および修理の依頼について .....	124
保証について .....	124
修理の依頼について .....	124
プリンタの寿命について .....	125
有寿命部品 (有償) について .....	125
補修用性能部品について .....	126
情報サービスについて .....	126
運搬するときは .....	127
プリンタの廃棄とインクリボンカートリッジ、	
インクリボンの処理について .....	128
プリンタの廃棄について .....	128
インクリボンカートリッジ、インクリボンの	
処理について .....	128
<b>付録.....</b>	<b>129</b>
仕様 .....	129
用紙の規格 .....	133
用紙サイズと坪量 .....	133
用紙のセット方向 .....	134
用紙の推奨枚数 .....	134
用紙の種類と複写枚数 .....	135
複写枚数と坪量 (連量) .....	136
保管上の注意 .....	137
用紙設計に関する注意事項 .....	138
カット紙に関する注意 .....	138
普通紙について .....	138
複写式のカット紙について .....	139
連続紙に関する注意 .....	140
普通紙について .....	140
複写式の連続紙について .....	141
ラベル紙 (タック紙) に関する注意 .....	143
プレプリント用紙に関する注意 .....	146
使用できない用紙への注意 .....	146
印刷範囲 .....	147
カット紙 .....	147
カット紙に関する注意 .....	148
連続紙 .....	149
連続紙に関する注意 .....	149
はがき .....	150

**技術情報..... 151**

初期状態 .....	152
インタフェース .....	154
インタフェース信号の機能 .....	154
タイムチャート .....	155
コネクタピン配置 .....	155
電気的特性 .....	156
文字コード表 .....	157
1 バイト系コード表 .....	158
8 ビットコード表 .....	158
7 ビットコード表 .....	159
漢字コード表 (2 バイト系コード表) .....	160
テスト印刷サンプル .....	165
制御コード一覧 .....	167
基本制御コード表 .....	167
拡張制御コード表 .....	168
新制御コードのコマンド仕様 .....	171
特殊文字の印刷 .....	173
バーコードを印刷する .....	173
制御コード .....	173
バーコードの概要 .....	175
バーコードの種類 .....	175
バーコード指令の概要 .....	175
バーコードの横の長さ .....	176
バーコード印刷時の印刷ヘッドの	
位置に関する注意 .....	176
カスタマバーコードを印刷する .....	178
カスタマバーコードのフォーマット .....	178
カスタマバーコードのコード体系 .....	180
バーコードの印刷位置 .....	183
OCR-B 相当フォントを印刷する .....	184

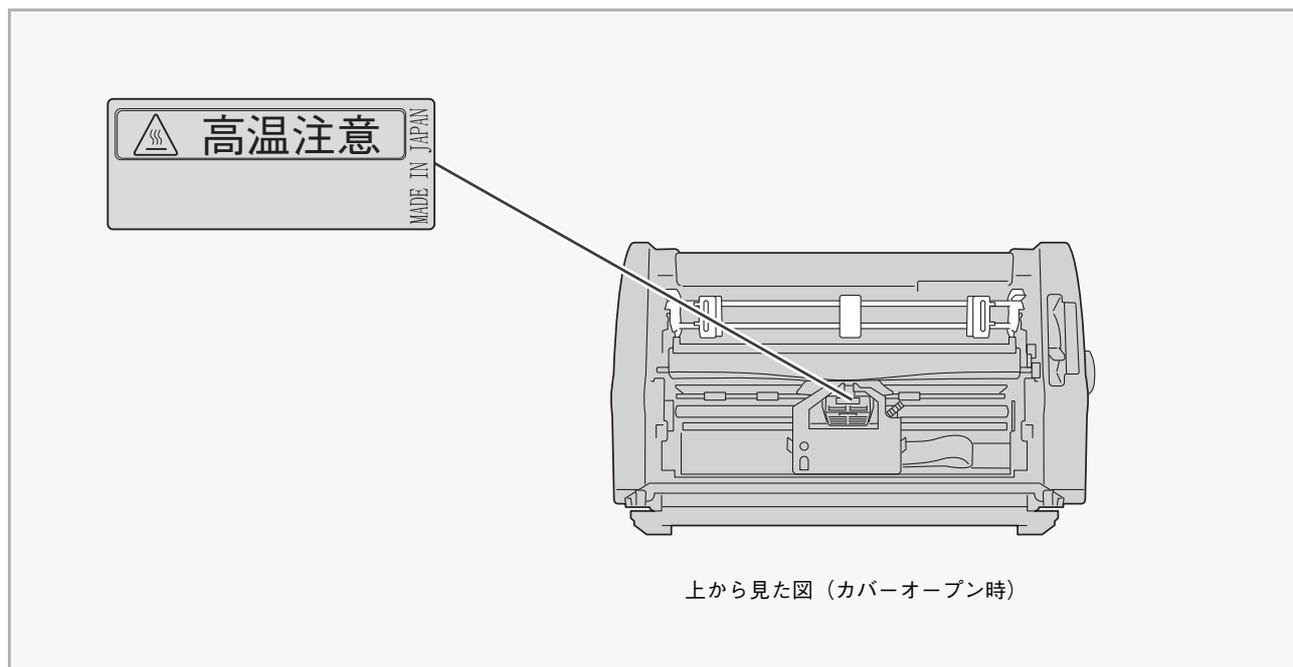
**索引..... 185**

# 安全にお使いいただくために

## 警告ラベルについて

MultImpact 201HE/201SEプリンタ内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンタを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

警告ラベルは下図に示す場所に貼られています。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして読めない場合は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご連絡ください。



# 安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンタを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンタより安全にご活用ください。記号の説明についてはii～iiiページの「安全にかかわる表示」を参照してください。

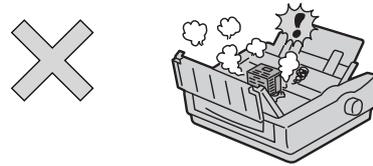
## 警告

分解・修理・  
改造はしない



本書に記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンタが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

煙や異臭、異音が  
したら電源OFF



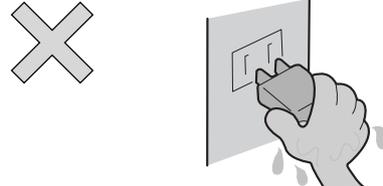
万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると感電や火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を  
差し込まない



通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電するおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグ  
を触らない



ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

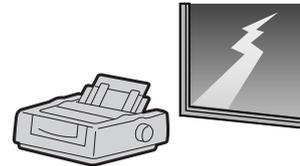
## ⚠ 注意

### 高温注意



プリンタの内部には、使用中に高温になる印刷ヘッドという部品があります。カバーを開けて作業する場合は十分に冷めてから行ってください。使用中に触ると火傷するおそれがあります。

### 雷が鳴りだしたら プリンタに触らない



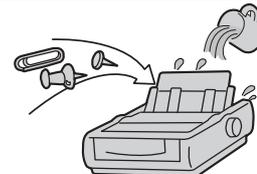
火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めてプリンタには触らないでください。

### 壊れた液晶ディスプレイ には触らない



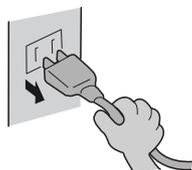
壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して医師に相談してください。

### プリンタ内に 異物を入れない



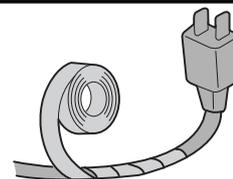
プリンタ内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。

### 電源コードを抜くときは コードを引っ張らない



電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。

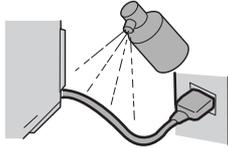
### 損傷した電源コード は使わない



電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、すぐに同じ電源コードに取り替えてください。

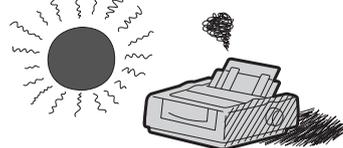
## ⚠ 注意

電源コードに薬品類  
をかけない



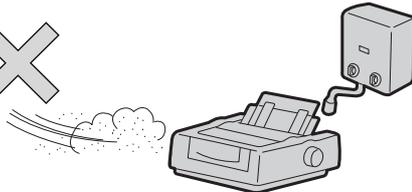
電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

直射日光が当たる  
ところには置かない



プリンタを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンタが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

ほこり・湿気の多い  
場所で使用しない



- ・プリンタをほこりの多い場所、給湯器のそばなど湿気の多い場所には置かないでください。火災になることがあります。
- ・プラグ部分はときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災になることがあります。

巻き込み注意



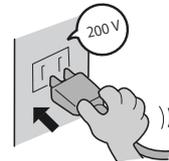
プリンタの動作中は用紙挿入口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

不安定な場所に  
置かない



プリンタを縦型OAラックの上段など不安定な場所には置かないでください。けがや周囲の破損の原因となることがあります。

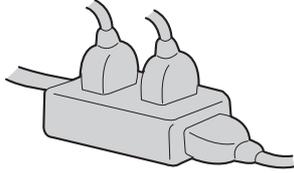
100V 以外のコンセントに  
差し込まない



電源は100Vの電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。100V以外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

## ⚠ 注意

電源コードを  
たこ足配線にしない



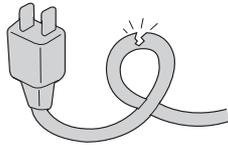
コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグを中途半端  
に差し込まない



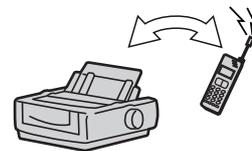
電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

電源コードは曲げたり  
ねじったりしない



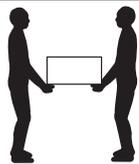
電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステーブルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

プリンタの近くで携帯  
電話等を使用しない



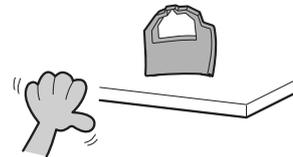
携帯電話、スマートフォン、PHS、ポケットベル、無線通信機をプリンタの近くで使用しないでください。プリンタが異常動作するおそれがあります。

プリンタを一人で  
持ち上げない



プリンタや添付品を含んだ購入時の梱包箱の質量は、約19kgです。一人で持つと腰を痛めることがあります。持ち運ぶときは二人以上で持ってください。

インクリボンを  
なめたりしない



インクリボンカートリッジはお子様の手の届かない所に保管してください。インクリボンをなめたりすると健康を損なうおそれがあります。

 **注意**

腐食性ガスの存在する  
環境、ほこりや空気中



に腐食を促進する成分、導電性の金属などが含まれている環境で使用、保管しない。

- ・腐食性ガス（二酸化硫黄、硫酸化水素、二酸化窒素、塩素アンモニア、オゾンなど）の存在する環境、腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）が含まれている環境に設置し使用しないでください。
- ・装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙、発火の原因となるおそれがあります。

もし、ご使用の環境で上記の疑いがある場合は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。

必ずアース(接地)する



万一漏電した場合、火災・感電のおそれがあります。ただし、ガス管、水道管、蛇口、避雷針などにはアース（接地）を行わないでください。



# 1章

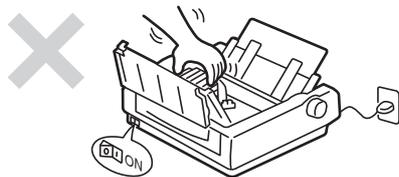
## 初めてお使いになるとき

この章では、プリンタの箱を開けてから、中身を確認し、テスト印刷、コンピュータに接続するまでを以下の手順で説明します。

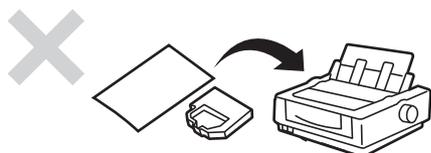
- 1 箱の中身を確認する
- 2 各部の名称を確認する
- 3 保護用部品を取り除く
- 4 インクリボンカートリッジを取り付ける
- 5 トップシートガイドを取り付ける
- 6 電源コードを接続する
- 7 テスト印刷をする
- 8 コンピュータに接続する

## 取り扱い上の注意

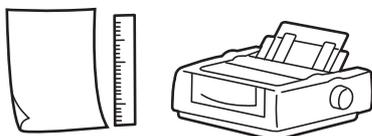
プリンタを正しく安全に活用していただくために、次のことをお守りください。



電源がONになっているときは、印刷ヘッドを手で動かさないでください。



必ず用紙をセット・吸入し、インクリボンカートリッジを取り付けた状態で印刷してください。印刷ヘッドやプラテンを傷つけることになります。



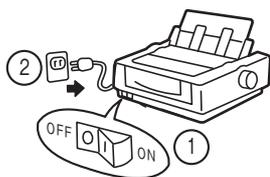
用紙は規格内のものを使用してください。湿った用紙は使用しないでください。



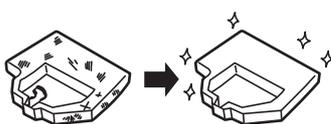
印刷動作中は電源をOFFにしないでください。



接続したコンピュータの電源をOFFにしたときは、必ずプリンタの電源もOFFにしてください。



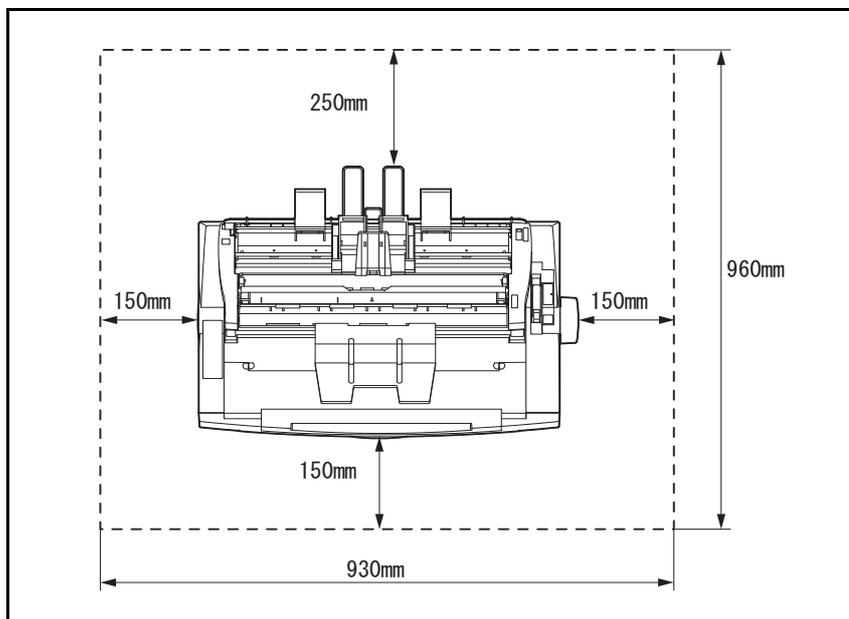
電源コードの抜き差しは、必ず電源スイッチをOFFにしてからプラグを持って行ってください。



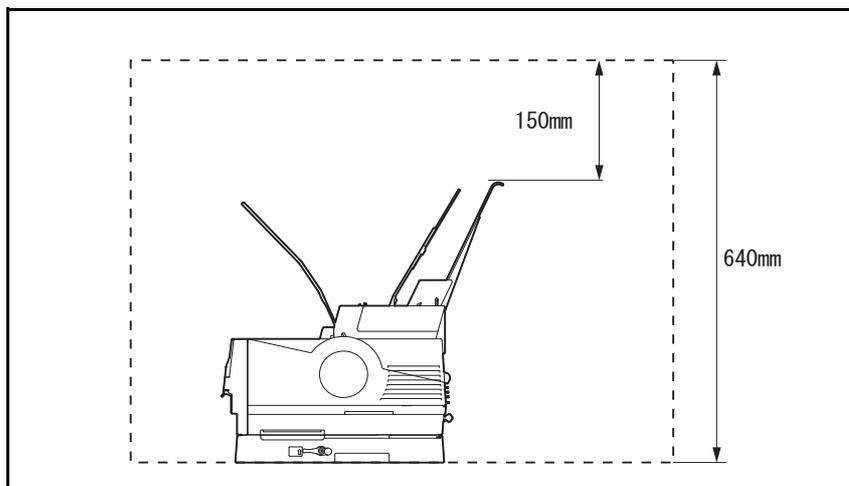
印刷が薄くなったときはインクリボンカートリッジまたはインクリボンを交換してください。インクリボンカートリッジ、インクリボンはNECが指定するものを使用してください。他のインクリボンカートリッジ、インクリボンでは十分性能を発揮できないことがあります。指定のインクリボンカートリッジ、インクリボンであることを確認してください。

## 設置に必要なスペース

MultImpact 201HE/201SEに必要なスペースは次のとおりです。プリンタを安全で快適にご使用いただくために、十分なスペースを確保して風通しのよい場所に設置してください。図は、オプションのシートフィーダおよびフロントトラクタフィーダを装着した場合に必要なスペースの例です。



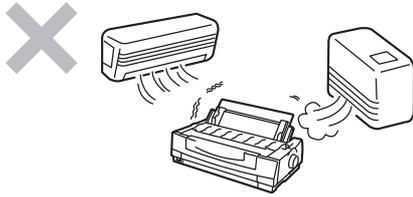
プリンタ上面



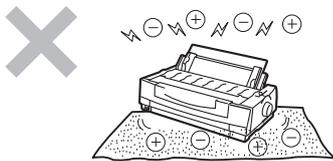
プリンタ右側面

## 設置してはいけない場所

温度変化の激しい場所（暖房器、エアコン、冷蔵庫の近く）には設置しないでください。温度変化により結露現象が起こり故障の原因となることがあります。



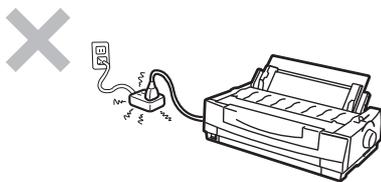
じゅうたんを敷いた場所では使用しないでください。静電気による障害で装置が正しく動作しないことがあります。



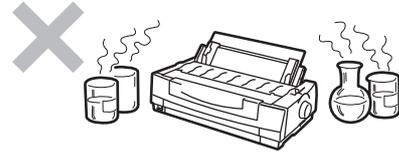
強い振動の発生する場所に設置しないでください。装置が正しく動作しないことがあります。



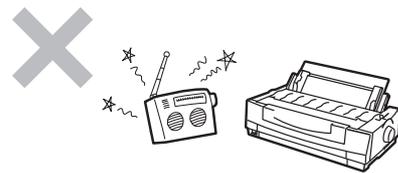
電源の延長コードは使用しないでください。延長コードの過容量、延長コードへのコンセントの差し込みにより発熱するおそれがあります。



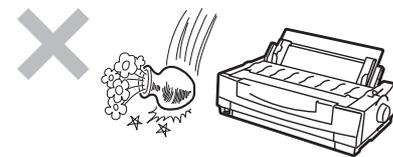
腐食性ガスの発生する場所、薬品類がかかるおそれのある場所には設置しないでください。部品が変形したり傷んだりして装置が正しく動作しないことがあります。



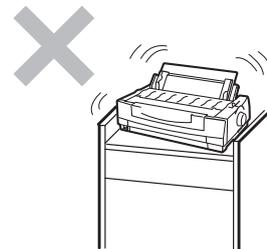
ラジオやテレビなどの近くには設置しないでください。プリンタのそばで使用すると、ラジオやテレビの受信機などに受信障害を与えることがあります。



上から物が落ちてきそうな場所には設置しないでください。衝撃などにより装置が正しく動作しないことがあります。

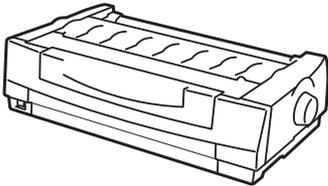
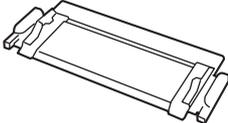
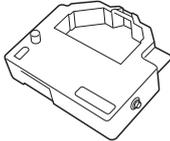
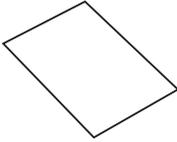
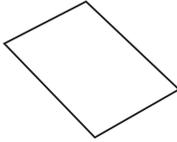
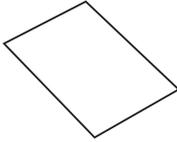
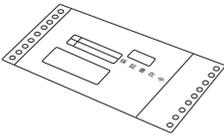
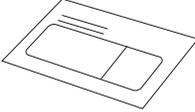


プリンタを縦型OAラック等の上段など不安定な場所に置かないでください。けがのおそれや周囲の破損の原因となることがあります。



# 1 箱の中身を確認する

箱を開けて、次のものが入っていることを確認してください。万一足りないものや破損しているものがある場合は、販売店に連絡してください。

<input type="checkbox"/> プリンタ 本体	<input type="checkbox"/> トップシートガイド	<input type="checkbox"/> ロングライフインクリボン カートリッジ (黒)	<input type="checkbox"/> 変換プラグ
			
<input type="checkbox"/> プリンタソフトウェア CD-ROM	<input type="checkbox"/> はじめにお読みください	<input type="checkbox"/> 設置の手引き	<input type="checkbox"/> こんなときは
			
<input type="checkbox"/> 保証書	<input type="checkbox"/> ソフトウェアのご使用条件		
			

プリンタの箱を開けたら次のことを忘れずに行ってください。

- プリンタとコンピュータを接続するプリンタケーブルは本プリンタには付属していません。別途お買い求めください（13ページ参照）。
- 保証書をなくさないよう大切に保管してください。
- 梱包材（箱や緩衝材）は、プリンタを運搬するときが必要となりますので、保管しておいてください。

## 別売品

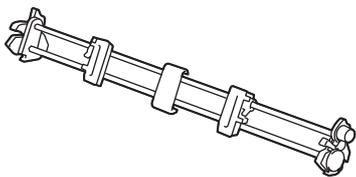
ご購入にあたりましては、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。

## オプション

オプションの詳細い説明については、5章「オプション」(83ページ)をご覧ください。

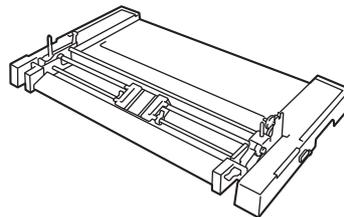
### トラクタフィーダ (PR-D201HE-03)

複写式の連続紙やラベル紙など、用紙送りに高い精度が要求される連続紙に印刷するときに使います。



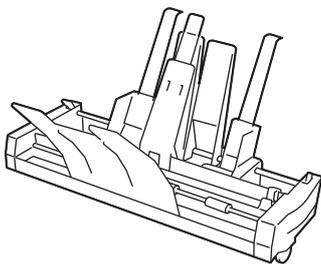
### フロントトラクタフィーダ (PR-D201HE-13)

連続紙を前から給紙することができます。トラクタユニットを使うことにより2種類の連続紙を切り替えて使用できます。



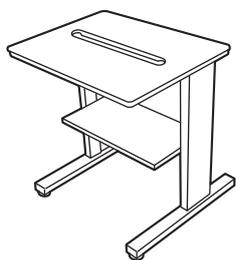
### シートフィーダ (PR-D201HE-04)

カット紙を自動的に給紙します。

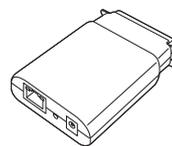


**プリンタ卓 (PR-D201X-09A)**

連続紙を底から給紙する場合に使います。

**プリントサーバ (LANアダプタ) (PR-NP-17)**

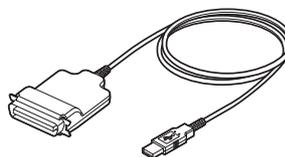
100BASE-TX、10BASE-Tインタフェースを装備し、プリンタの平行インタフェースに直接装着する外付けLANアダプタです。  
LANアダプタに関する詳細についてはプリントサーバのオンラインマニュアルをご覧ください。

**プリンタケーブル  
(PC-PRCA-01 (1.5m)、PC-CA205 (4m))**

PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機 (DOS/V対応機) に対応したケーブルです。

**USB-パラレル変換ケーブル  
(型番 PR-NP-U01)**

USBインタフェースでの印刷に使用するケーブルです。

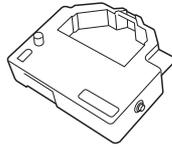
**チェック**

- コンピュータ本体とプリンタの接続は、当社指定のケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用したり、市販のプリンタバッファ、プリンタ切替器、プリンタ共有器、USBハブなどを使用すると、プリンタの機能の一部または全部が正常に動作しない場合があります。
- ネットワークに接続する場合はオプションのLANアダプタとネットワークケーブルが必要です。
- 対応OSについての最新情報はカタログや情報サービス (126ページ参照) で提供しています。
- オプションのプリントサーバでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備 (ADSLモデムやCATVなど) へ直接接続することは許可されていません。

## 消耗品

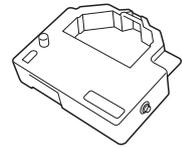
### ロングライフインクリボンカートリッジ (黒) (PR-D700XX2-01)

長寿命インクリボンカートリッジです。  
標準添付品と同一です。



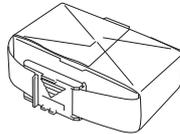
### カラーインクリボンカートリッジ (PR-D700XX2-11)

カラー印刷のための4色インクリボンカートリッジです。  
(MultiImpact 201HEのみ)



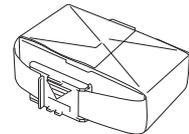
### 交換用ロングライフインクリボン (黒) (PR-D700XX2-02)

インクリボンカートリッジ (黒) (PR-D700XX2-01)用の交換用インクリボンです (2個入り)。



### 交換用カラーインクリボン (PR-D700XX2-12)

カラーインクリボンカートリッジ (PR-D700XX2-11)用の交換用インクリボンです (4個入り)。  
(MultiImpact 201HEのみ)



### ロングライフインクリボンカートリッジセット (黒) (PR-D700XX2-06)

ロングライフインクリボンカートリッジ (黒) (PR-D700XX2-01) と交換用ロングライフインクリボン (黒) (PR-D700XX2-02) を組み合わせたセットです。

### カラーインクリボンカートリッジセット (PR-D700XX2-16)

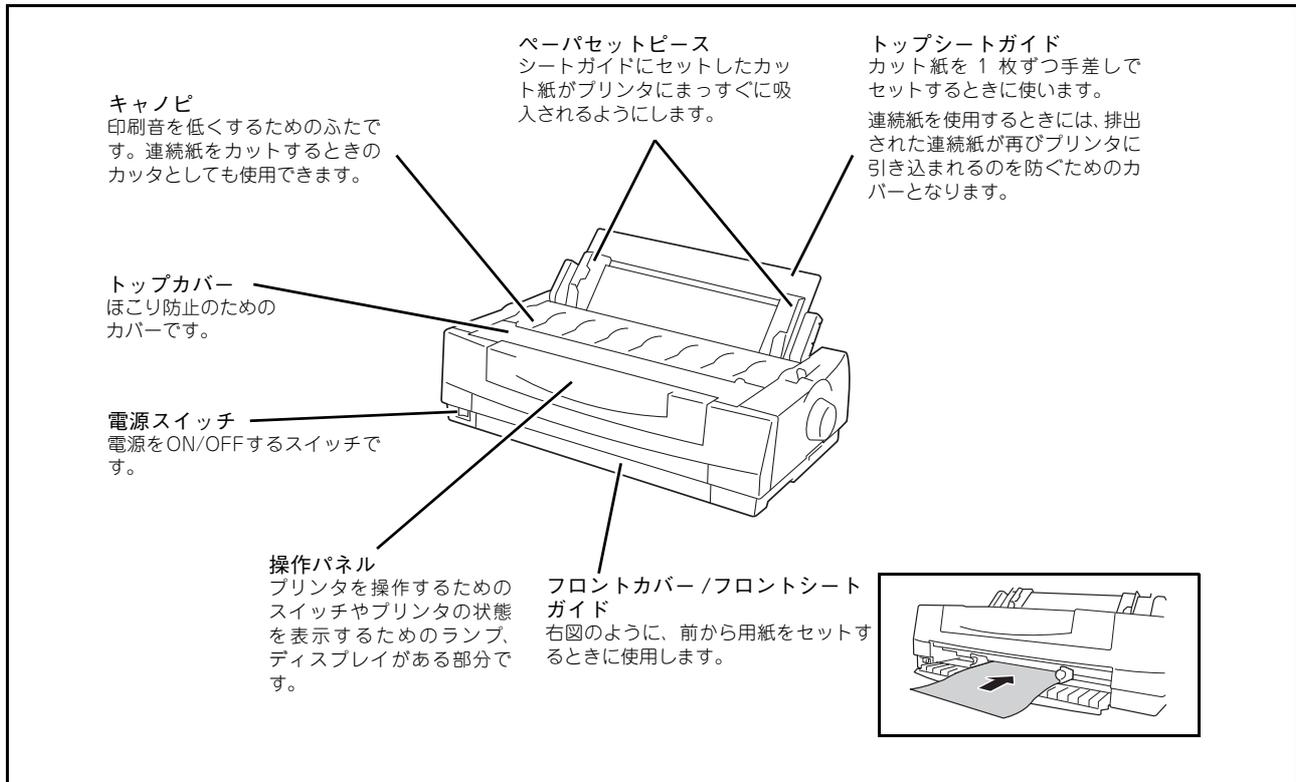
カラーインクリボンカートリッジ (PR-D700XX2-11) と交換用カラーインクリボン (PR-D700XX2-12) を組み合わせたセットです。(MultiImpact 201HEのみ)

## チェック

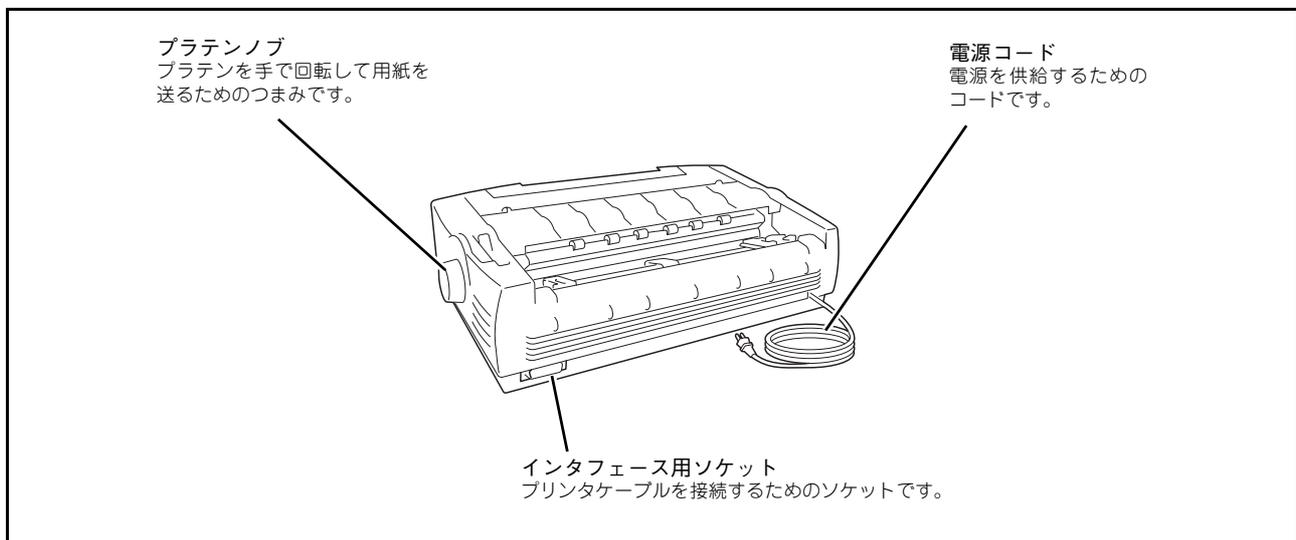
- 本プリンタは、NEC 純正消耗品とあわせてご使用いただくことにより、印刷品質やプリンタ本来の性能を安定して発揮できるよう設計しております。純正品と異なる消耗品を使用した場合、プリンタ本来の性能を発揮できない場合がありますのでNEC純正消耗品のご使用をお勧めします。
- 非純正のインクリボン／インクリボンカートリッジの使用が原因で不具合や故障が発生した場合は、無償保証期間内や保守契約期間内であっても有償修理（特別料金）となりますのでご注意ください。
- 非純正のインクリボン／インクリボンカートリッジの使用による印刷品質や、プリンタ性能の保証はいたしません。また、プリンタの印刷品質／動作保証／寿命／印刷ヘッドの保証もいたしません。
- 印刷品位を保つために、インクリボンカートリッジ、インクリボンは使用期限内にお使いください。
- それぞれの印刷可能数は、付録の131ページの表をご覧ください。

## 2 各部の名称を確認する

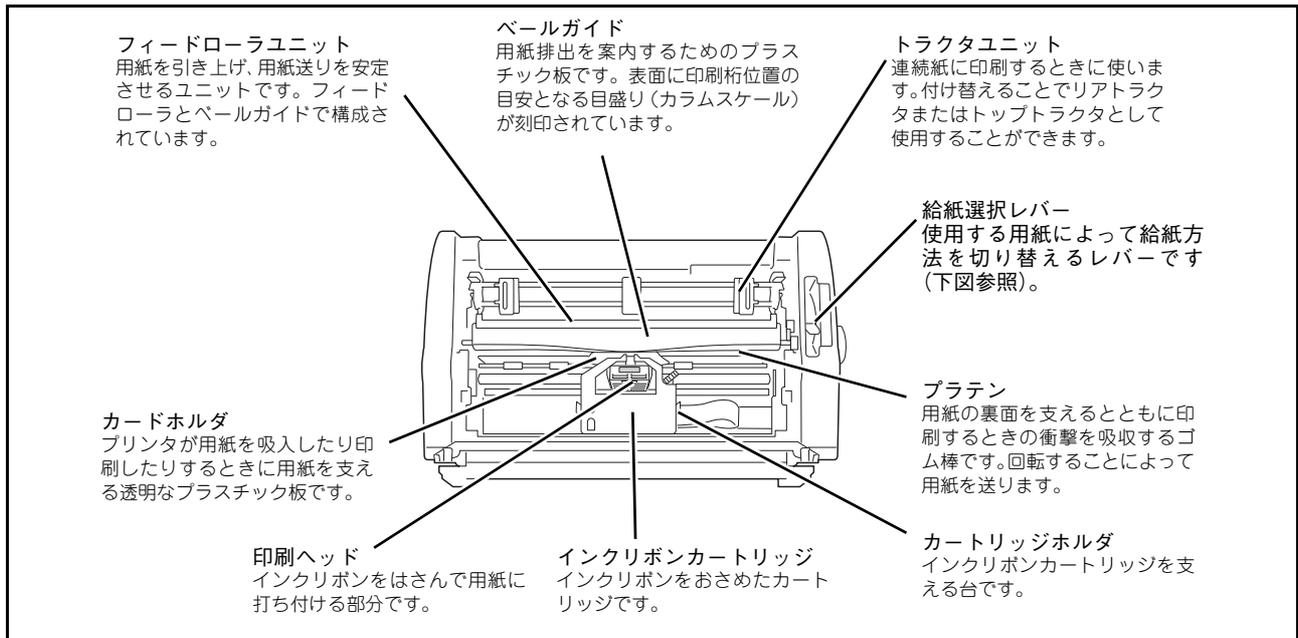
プリンタを使用する前にそれぞれの名称と位置を確認してください。



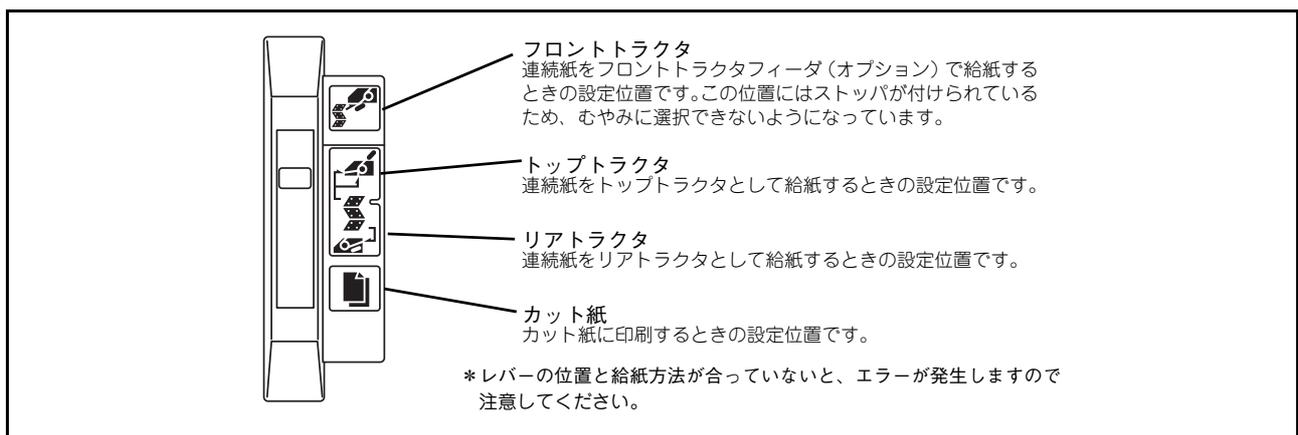
プリンタ前面



プリンタ背面



プリンタ内部

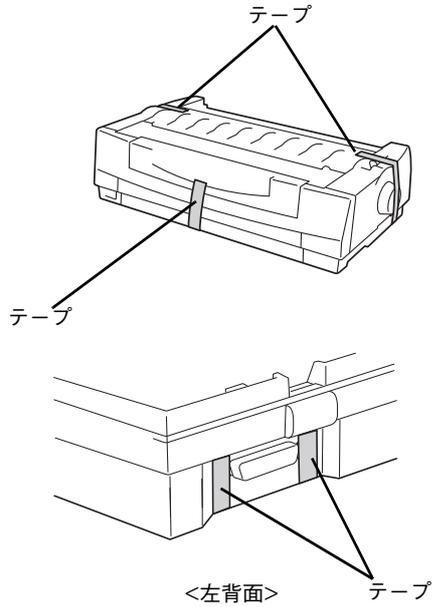


給紙選択レバー

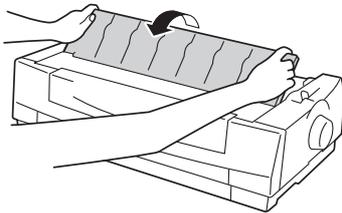
### 3 保護用部品を取り除く

プリンタ本体には保護用部品が取り付けられています。保護用部品は運搬時の衝撃からプリンタを守るためのもので、プリンタを使用するときは必要ありません。

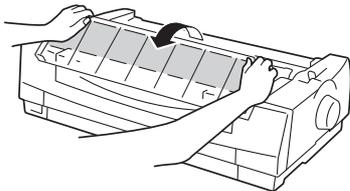
#### 1 テープを取り除く。



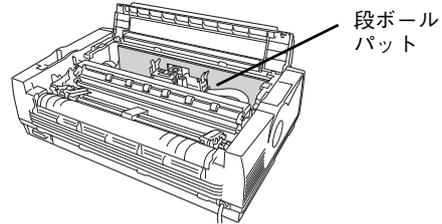
#### 2 キャノピを手前に起こして開ける。



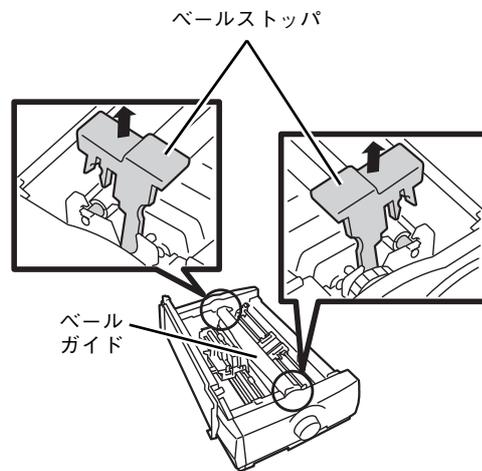
#### 3 トップカバーを手前に起こして開ける。



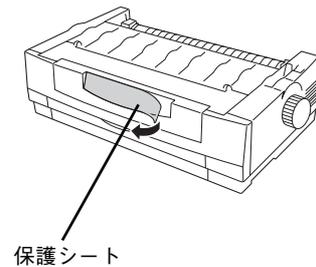
#### 4 段ボールパットを取り除く。



#### 5 ベールガイドの左右にある赤色のベールストップを持ち上げて、プリンタから取り外す。



#### 6 操作パネルを覆っている保護シートをはがす。

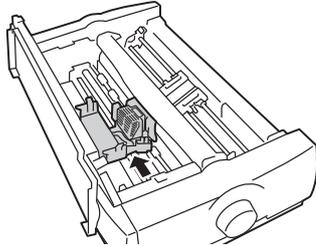


# 4 インクリボンカートリッジを取り付ける

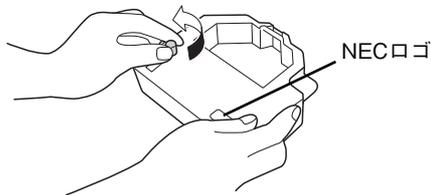
次の手順でインクリボンカートリッジを取り付けてください。

1 キャノピとトップカバーを開ける（17ページ参照）。

2 カートリッジホルダをプリンタの中央付近に手で移動させる。

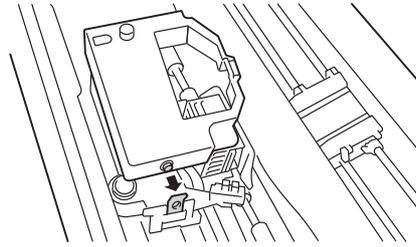


3 リボンがたるんでいる場合は、フィードノブを矢印の方向（反時計回り）に回してたるみをとってください。

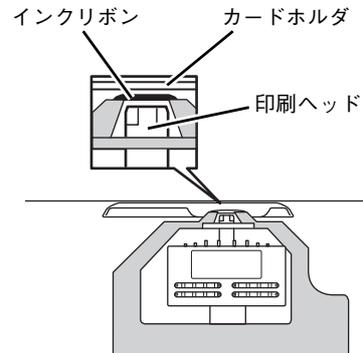
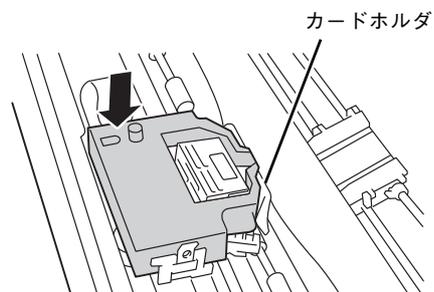


4 インクリボンカートリッジを取り付ける。

インクリボンカートリッジの右の突起をカートリッジホルダに差し込みます。

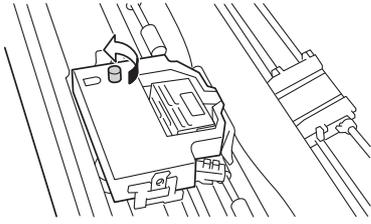


次に、リボンが印刷ヘッドとカートリッジホルダの間に入るようしながらカートリッジの左側を矢印の方向へ静かに押し込みます。

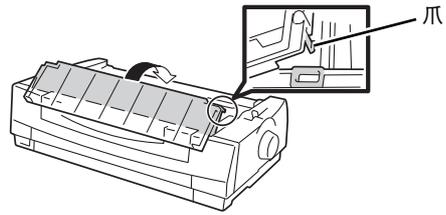
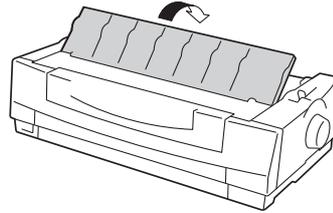


**5** フィードノブを回してインクリボンが軽く動くことを確認する。

動かないときはもう一度やり直してください。

**6** トップカバーを閉める。

下図のようにトップカバーの爪を本体の穴に入れて押し込みます。

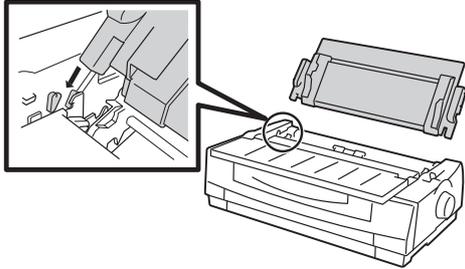
**7** キャノピを閉める。

# 5 トップシートガイドを取り付ける

トップシートガイドは、カット紙を手差しで1枚ずつセットするときに使います。

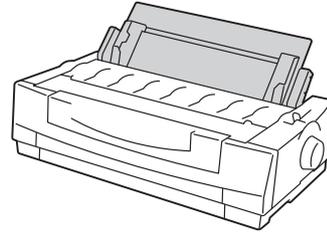
1 キャノピを開ける (17ページ参照)。

2 プリンタ左右の内側の突起の間にシートガイドを斜めにして挿入する。



3 キャノピを閉める (19ページ参照)。

4 シートガイドが図のように立っていることを確認する。



## 6 電源コードを接続する

電源コードは必ずAC100V、50/60Hzの電源コンセントに接続してください。

### 注意

電源コードを接続するときは次のことを守ってください。守らないと火災や感電の原因となります。

- 電源コードは電流容量10アンペア（A）以上の壁付きコンセントに接続してください。
- コンピュータ本体の補助コンセントには接続しないでください。
- 延長コードを使った配線はしないでください。
- たこ足配線はおやめください。
- 変換プラグのアース線は必ずアース端子に接続してください。
- 電源コードの抜き差しはプラグを持って行ってください。
- 電源コードのプラグは根元までしっかりと差し込んでください。
- 電源コードが損傷した場合は、すぐにお買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にて修理を依頼してください。
- 電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないようにしてください。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しを行わないでください。
- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜き、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。
- 長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

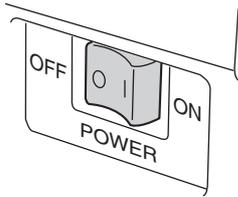
接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。

また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行って下さい。

### 重要

- 変換プラグのアース線は切断しないでください。切断するとアース端子に接続できなくなり、故障の原因となります。
- 変換プラグのアース線は、キャップを外してからアース端子に接続してください。
- 変換プラグのアース線をコンセントと一緒に差し込まないでください。
- プラグを差し込む前にプリンターの電源がOFFになっていることを確認してください。
- 電圧低下を避けるため、空調機や電動機器など、大容量の電流を使う系統との電源共用は避けてください。
- 添付の変換プラグを他の装置で使用しないでください。

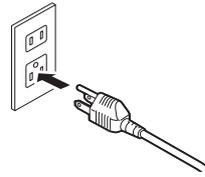
- 1 プリンタの電源スイッチが OFF になっていることを確認する。



- 2 電源コードのプラグをコンセントに差し込む。

<コンセントが3極の場合>

電源コードをそのままコンセントに接続する。

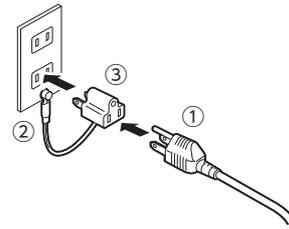


<コンセントが2極の場合>

1 電源コードのプラグに変換プラグを取り付ける。

2 変換プラグのアース線をコンセントにあるアース端子に接続する。

3 変換プラグをコンセントに接続する。



電源スイッチをONにしてから印刷できる状態になるまで、プリンタは次のように動作します。

- (1) 操作パネルのすべてのランプが点灯します。
- (2) 印刷ヘッドが左端に移動します。
- (3) 電源ランプ、用紙ランプ以外のランプが消灯します。(用紙がセットされているときは、電源ランプ、印刷可ランプ以外のランプが消灯します。)

#### ✓ チェック

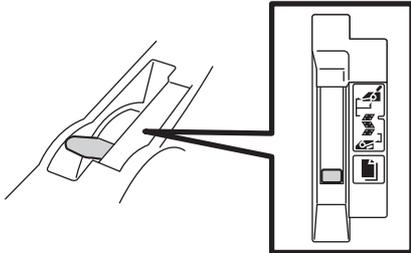
電源をONにするときは、トップカバーとキャノピが閉まっていることを確認してください。

# 7 テスト印刷をする

プリンタが正常に動くことを確かめるために、テスト印刷を行います。このテスト印刷は「7章 故障かな?と思ったときは」の処置が済んだ後にも必要に応じて実行することをお勧めします。

テスト印刷には381mm（15インチ）幅以上の連続紙、またはB4サイズ以上のカット紙を横置きにして使用します。ここでは、B4サイズのカット紙を使う場合を例にとってテスト印刷の手順を説明します。

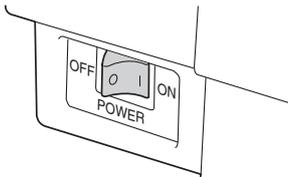
- 1 給紙選択レバーをカット紙（手前）にする。



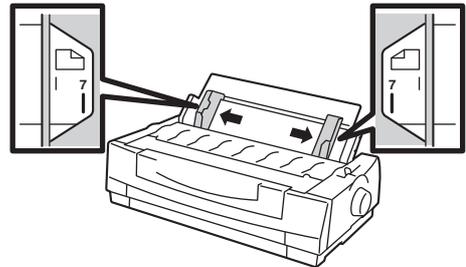
- 2 トップシートガイドを取り付ける（20ページ参照）。

- 3 電源をONにする。

電源ランプと用紙ランプが点灯します。

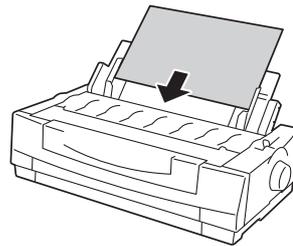


- 4 トップシートガイド上の用紙スケールを参考にして、左右のペーパーセットピースをB4用紙横置き幅に合わせる。



- 5 B4用紙を横置きにしてペーパーセットピースの間に挿入し、突き当たるまで差し込む。

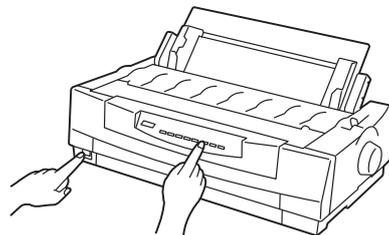
用紙ランプが消灯し、約2秒後に用紙が吸入されればセット完了です。



- 6 いったん電源をOFFにする。

- 7 [改頁] スイッチを押しながら再び電源をONにする。

テスト印刷が始まるまで [改頁] スイッチを押し続けてください。



1ページ分印刷が終わると、用紙ランプが点灯し、テスト印刷が中断します。テスト印刷を終了させるときは手順8に進んでください。テスト印刷を続けたいときは、新しいB4用紙をセット・吸入してください。テスト印刷を再開します。

- 8** プリンタが正常にテスト印刷を行っていることが確認できたら、[印刷可] スイッチを押しながら [改行] スイッチを2回押してテスト印刷を終了させる。

- 9** [排出/カット] スイッチを押して用紙を排出する。

- 10** テスト印刷が終わったら、技術情報の「テスト印刷サンプル」(165ページ)を参照して印刷の状態を確認する。

文字の一部が欠けていたり文字の周囲が汚れていたりしたときは「4インクリボンカートリッジを取り付ける」(18ページ)に従ってインクリボンカートリッジを取り付け直し、もう一度テスト印刷を行ってください。それでも印刷の状態が良くならない場合には、お買い求めの販売店に連絡してください。

 **チェック**

- テスト印刷中に [印刷可] スイッチを押すとテスト印刷が中断します。もう一度 [印刷可] スイッチを押すとテスト印刷が再開します。
- テスト印刷中に [機能選択] スイッチを押すと、現在印刷中の印刷モードを中断して次の印刷モードに移ります。
- 途中で用紙がなくなった場合は、新しい用紙をセット・吸入してください。続きが印刷されます。

## 8 コンピュータに接続する

本プリンタにはプリンタケーブルが添付されていません。プリンタをコンピュータに接続するには別売のプリンタケーブルをお買い求めいただく必要があります。プリンタケーブルのタイプは、コンピュータによって異なります。本プリンタを接続するコンピュータに合ったプリンタケーブルを販売店で求めください。詳細については「プリンタケーブル」(13ページ)を参照してください。

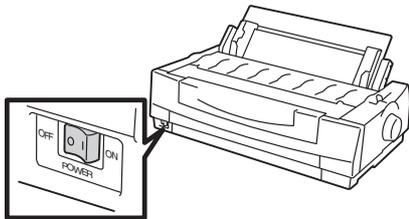
### ✓チェック

オプションのUSB-パラレル変換ケーブルをご使用の際は、“プリンタケーブル”を“USB-パラレル変換ケーブル”に読み替えてください。

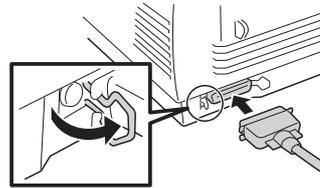
- 1 プリンタおよびコンピュータの電源スイッチがOFFになっていることを確認する。

### ✓チェック

電源がONになっている状態で接続すると故障の原因になることがあります。必ずOFFになっていることを確認してください。



- 2 プリンタケーブルのコネクタをインタフェース用ソケットに差し込み、留め金具で抜けないように固定する。



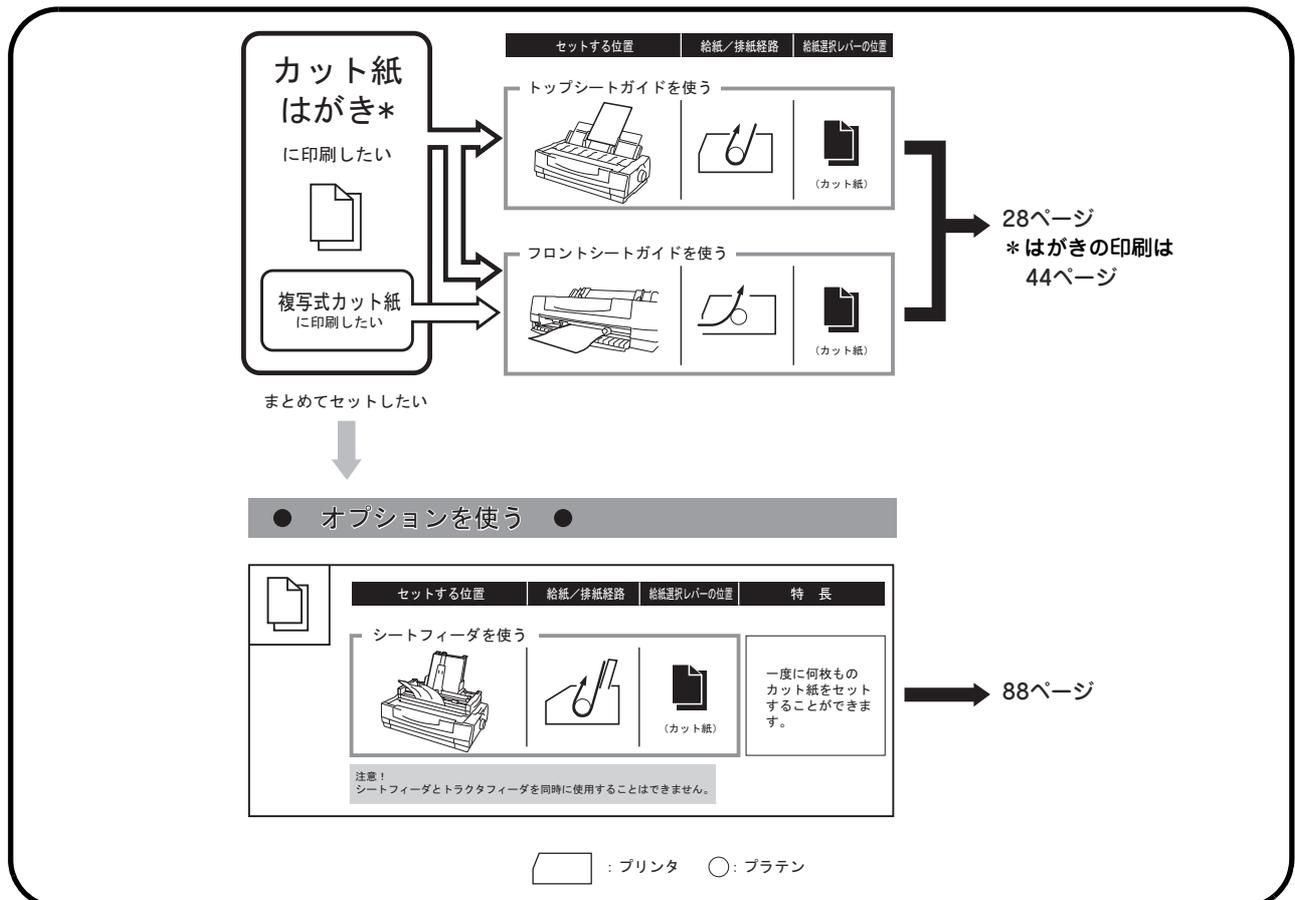
- 3 プリンタケーブルのもう一方のコネクタをコンピュータに接続する。

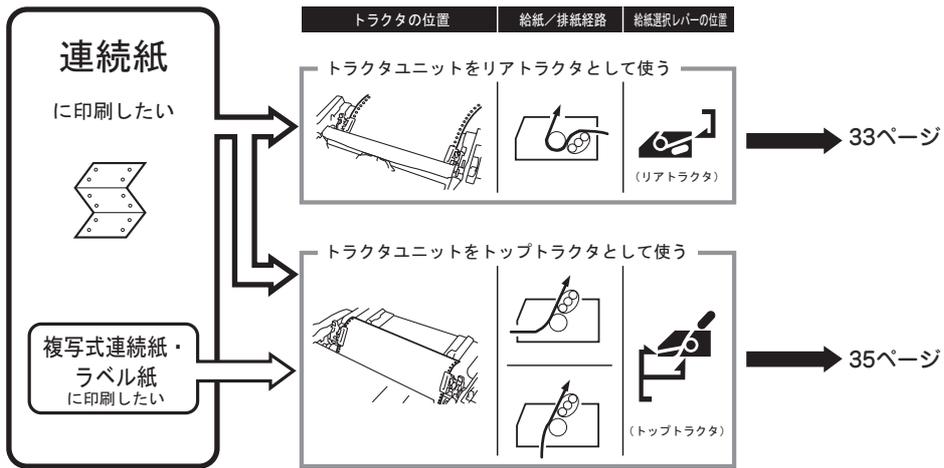
コンピュータのインタフェース用ソケットの位置については、コンピュータに添付されているマニュアルをご覧ください。

# 2章 用紙の取り扱い

この章では、用紙のセット方法について説明します。

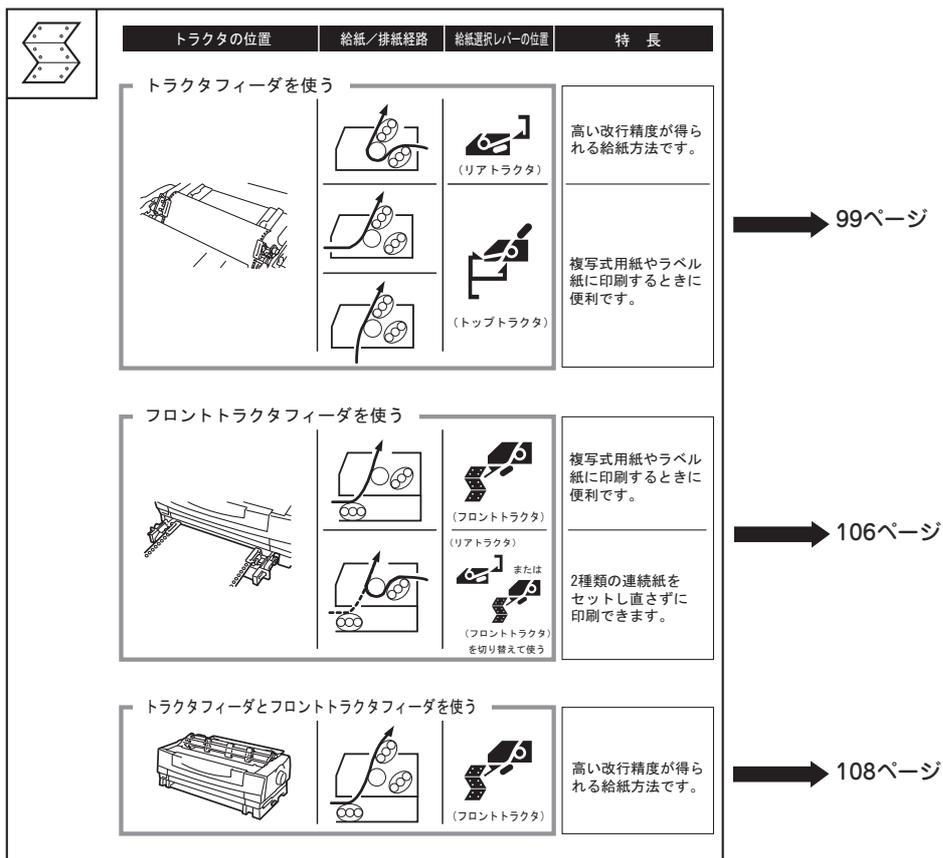
印刷する用紙が決まったら、下の図を見ながら適切な給紙方法を選んでください。





より正確な位置に印刷したい  
 (特に5P用紙等の複写紙でフォーマット印刷紙に印刷する場合)  
 2種類の連続紙をセットしたまま切り替えて使用したい

● オプションを使う ●



 : プリンタ     : トラクタ     : プラテン

# カット紙に印刷する

カット紙に印刷するときは、トップシートガイドまたはフロントシートガイドを使用します。オプションのシートフィーダを使えば一度に何枚ものカット紙をセットすることができます。

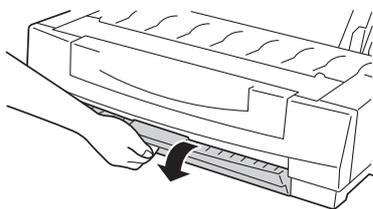
## カット紙のセット

### ✓チェック

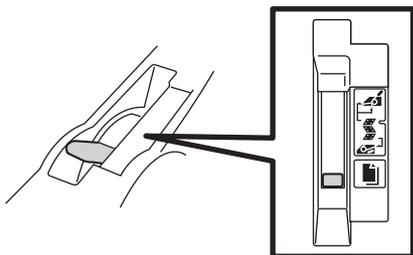
トラクタユニットがトップトラクタとして取り付けられている場合、またはトラクタフィーダ（オプション）を取り付けている場合は、カット紙は使用できません。カット紙を使用する場合は、トップトラクタまたはトラクタフィーダを取り外してください。

### 1 トップシートガイドを使う場合はトップシートガイドを立てる（20ページ参照）。

フロントシートガイドを使う場合は、フロントカバーを開けます。



### 2 給紙選択レバーをカット紙（手前）にする。

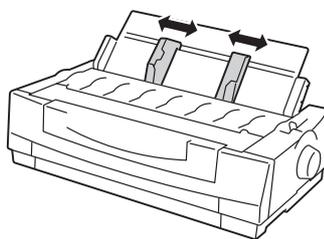


### 3 電源をONにする。

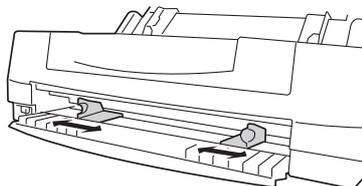
電源ランプと用紙ランプが点灯します。

### 4 それぞれのシートガイド上の用紙スケールを参考に、左右のペーパーセットピースを使用するカット紙の幅に合わせる。

- トップシートガイドの場合



- フロントシートガイドの場合



### 5 カット紙をペーパーセットピースに沿って挿入し、突き当たるまで差し込む。

用紙ランプが消灯し、約2秒\*後にカット紙が吸入され、印刷可ランプが点灯すれば、セット完了です。

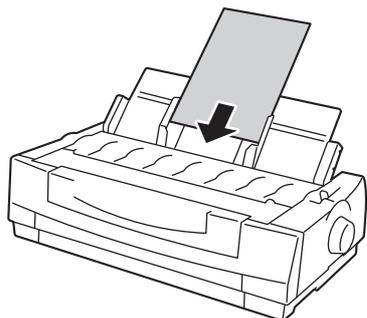
### ✓チェック

カット紙はまっすぐにセットしてください。傾いて吸入された場合は、[排出/カット]スイッチを押していったんカット紙を排出し、セットし直してください。

\* スペシャルメニューモード（63ページ）で設定変更が可能です。

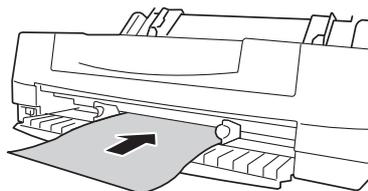
## ● トップシートガイドの場合

印刷する面を下にして軽く押し込んでください。



## ● フロントシートガイドの場合

印刷する面を上にしてください。



## ✓ チェック

ここで、カット紙の吸入位置を微調整することができます。微調整したいときは「用紙吸入位置の微調整」(41ページ)をご覧ください。プラテンノブを回して用紙吸入位置を調整しないでください。用紙吸入位置を調整する場合は、「用紙吸入位置の微調整」(41ページ)をご覧ください。

これでプリンタは印刷データをコンピュータから受信し、カット紙に印刷できる状態になりました。

## 🚨 重要

- ・ シートガイドには連続紙をセットしないでください。紙づまりやその他のトラブルの原因になります。
- ・ 印刷範囲より幅の狭い用紙は使用しないでください。印刷ヘッドやプラテンを傷つけることがあります。

## ✓ チェック

印刷の途中で用紙がなくなった(用紙ランプ点灯)場合は、新しいカット紙をセット・吸入してください。続きが印刷されます。

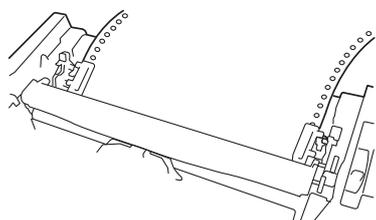
## カット紙の排出

カット紙を排出する場合は〔排出/カット〕スイッチを押します。

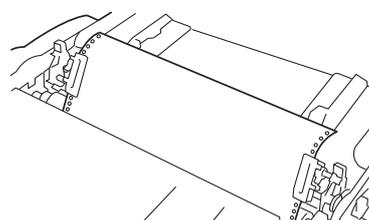
次のページを印刷する場合は、排出したカット紙を取り除き、新しいカット紙をセットし、吸入させてください。

# 連続紙に印刷する

連続紙に印刷するときは、トラクタユニットを使用します。このトラクタユニットは付け替えることによって、リアトラクタまたはトップトラクタとして使用することができます。トップトラクタは複写式連続紙やラベル紙に印刷するときに使用します。



リアトラクタ



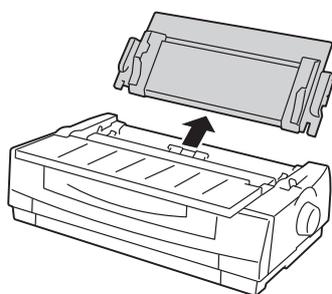
トップトラクタ

## トラクタユニットの付け替え方

トラクタユニットの付け替え方を説明します。工場出荷時は、リアトラクタとしてプリンタの後部に取り付けられています。

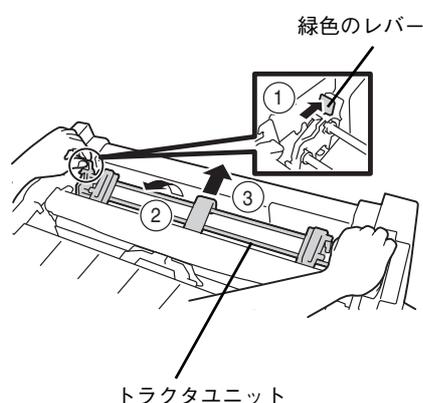
### トップトラクタとして取り付ける

- 1 プリンタの電源スイッチをOFFにする。
- 2 キャノピを開ける (17ページ参照)。
- 3 トップシートガイドを取り外す。



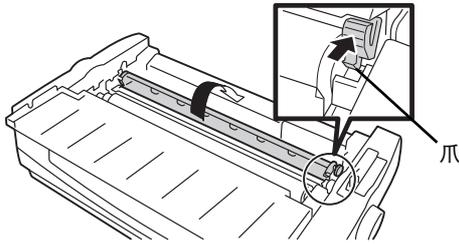
### 4 トラクタユニットを取り外す。

リアトラクタとして取り付けられているトラクタユニットの左右についている緑色のレバーを押しながら、手前に軽く引き上げ、トラクタユニットを奥側上方に持ち上げてプリンタ本体から取り外します。



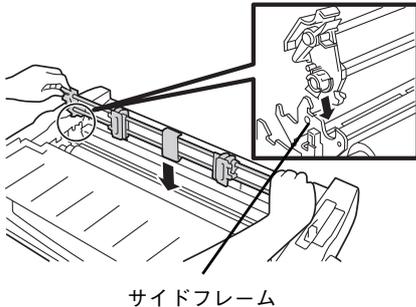
## 5 フィードローラユニットを後ろへ倒す。

フィードローラユニットの左右のタブを押しながらフィードローラユニットを固定している爪を外し、手前側から押し上げて、後ろへ倒します。

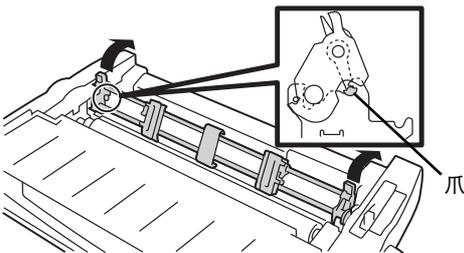


## 6 トラクタユニットをトップトラクタとして取り付ける。

1) 両端のサイドフレームの凹みにトラクタユニットを合わせて垂直に入れます。



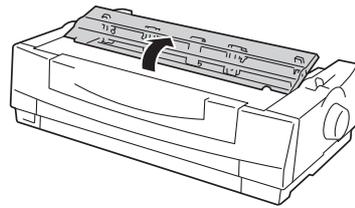
2) 左右の緑色のレバーを押しながらトラクタユニットを後ろへ倒し、手を離します。左右の緑色の爪の部分がサイドフレームに引っかかれば取り付け完了です。



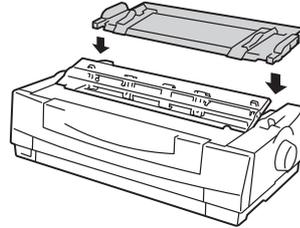
## ✓ チェック

トラクタユニットが確実に固定されたことを確認してください。固定されていないと用紙が送られません。

## 7 キャノピをトラクタユニットにかぶせる。



## 8 トップシートガイドを水平に取り付ける。

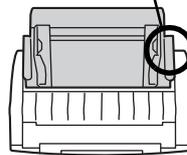


## ✓ チェック

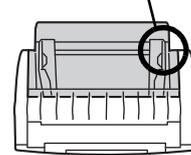
トップシートガイドを水平に取り付ける場合、トラクタユニットをトップトラクタとして使用するときと、リアトラクタとして使用するときでは取り付け位置が異なります。

プリンタからはみ出る

プリンタからはみ出ない



トップトラクタとして使用する場合

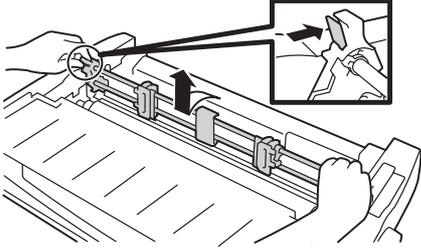


リアトラクタとして使用する場合

## リアトラクタとして取り付ける

- 1 プリンタの電源スイッチをOFFにする。
- 2 キャノピを開ける (17ページ参照)。
- 3 トップシートガイドを取り外す (30ページ参照)。
- 4 トップトラクタとして取り付けられているトラクタユニットを取り外す。

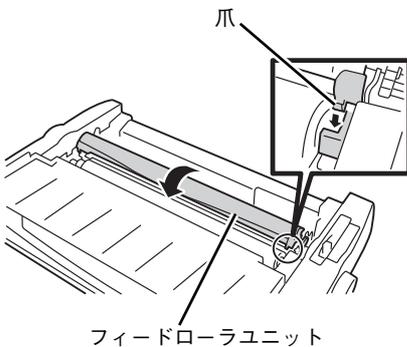
トラクタユニットの上部の左右にある緑色のレバーを押しながら、手前に回し、上に持ち上げます。



- 5 フィードローラユニットを手前に回し、左右の爪がロックするまで上から押し込む。

### ✓チェック

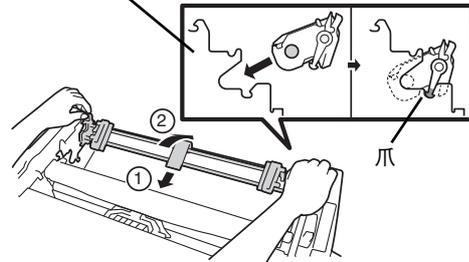
必ず左右ともロックするまで押し込んでください。用紙づまりが発生する場合があります。



- 6 トラクタユニットをリアトラクタとして取り付ける。

プリンタ後部の両端のサイドフレームに、トラクタユニットを奥までしっかりとすべり込ませ、後に倒します。爪の部分がサイドフレームに引っ掛かっていることを確認してください。

サイドフレーム

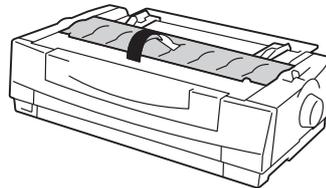


### ✓チェック

トラクタユニットが確実に固定されたことを確認してください。固定されていないと用紙が送られません。

- 7 トップシートガイドを水平に取り付け、キャノピを閉める。

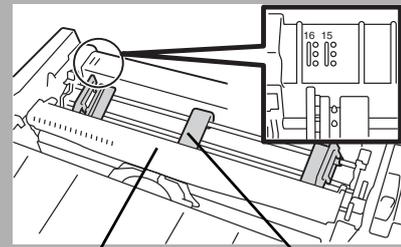
トップシートガイドの取り付け位置については31ページを参照してください。



## リアトラクタへの連続紙のセット

### 重要

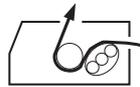
- ・ 用紙幅127~406.4mm (5~16インチ) の連続紙をご使用ください。
- ・ 連続紙は、左側に合わせてセットしてください。
- ・ 連続紙の用紙幅が381mm (15インチ) 以下の場合は「15」、406.4mm (16インチ) の場合は「16」のマークに合わせて用紙の左端をセットしてください。



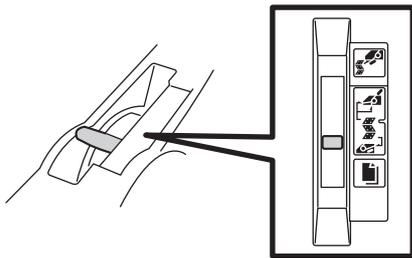
ベールガイド

センタガイド

リアトラクタでの給紙方法は後ろからになります。

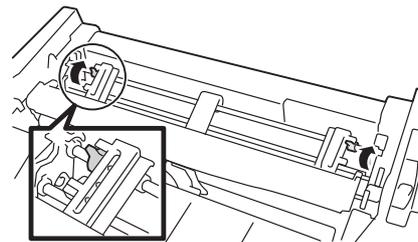


- 1 給紙選択レバーをリアトラクタ（手前から2番目）にする。

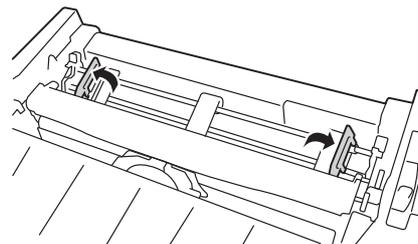


- 2 キャノピを開けてトップシートガイドを取り外す（17、30ページ参照）。

- 3 左右のトラクタの緑色のロックレバーを引き上げてロックを解除する。



- 4 左右のトラクタカバーを開ける。

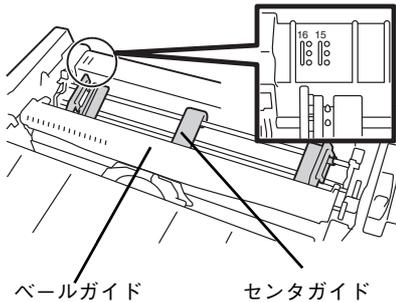


- 5 ベールガイド上の目盛り(カラムスケール)を使って、左右のトラクタを連続紙の幅に合わせる。また、センタガイドを左右のトラクタの中央にくるように移動させる。

リアパネル上に381mm (15インチ) および406.4mm (16インチ) 幅の連続紙セット位置が刻印されています。

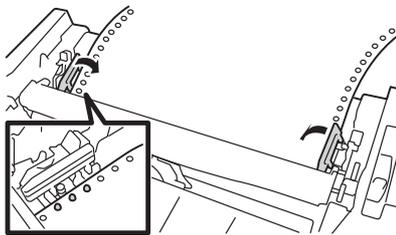
**✓チェック**

連続紙の用紙幅が381mm (15インチ) 以下の場合には「15」、406.4mm (16インチ) の場合は「16」のマークに合わせて用紙の左端をセットしてください。



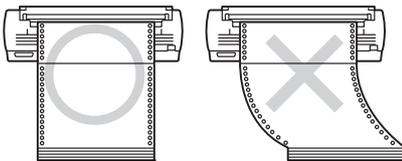
- 6 連続紙の印刷面を下にしてセットし、トラクタカバーを閉める。

トラクタの位置を微調整しながら連続紙の先端左右の用紙送り穴をトラクタピンにはめ込み、トラクタカバーを閉めます。

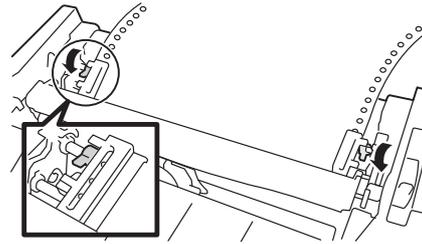


**✓チェック**

セットする連続紙のストック分は、リアトラクタの連続紙セット位置に対して鉛直線上で、プリンタ本体と平行にしてください。



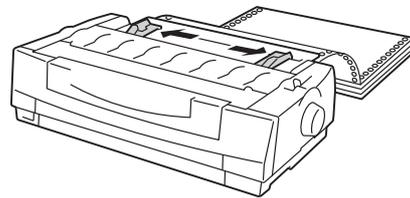
- 7 連続紙が左右方向にたるまないようにトラクタの位置を決め、左右のロックレバーを手前側にロックする。



- 8 トップシートガイドを水平の状態に取り付ける (31ページ参照)。

- 9 キャノピを閉める。

- 10 トップシートガイド上の左右のペーパーセットピースを両端いっぱいに広げる。



- 11 電源をONにする。

電源ランプと用紙ランプが点灯します。

- 12 [吸入/退避] スイッチを押す。

連続紙が自動的に吸入され、用紙ランプが消灯し、印刷可ランプが点灯します。

**✓チェック**

- ここで、連続紙の吸入位置を微調整することができます。微調整したいときは「用紙吸入位置の微調整」(41ページ)をご覧ください。
- プラテンノブを回して用紙吸入位置を調整しないでください。用紙吸入位置を調整する場合は、「用紙吸入位置の微調整」(41ページ)をご覧ください。

これでプリンタは印刷データをコンピュータから受信し、連続紙に印刷できる状態になりました。

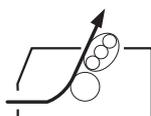


印刷範囲より幅の狭い用紙は使用しないでください。印刷ヘッドやプラテンを傷つけることがあります。

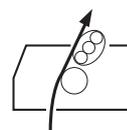
## トップトラクタへの連続紙のセット

トップトラクタは、複写式の連続紙、ラベル紙などに印刷するときに使用します。トップトラクタでの給紙経路は2種類あります。使用環境に合わせて使い分けてください。

前から給紙



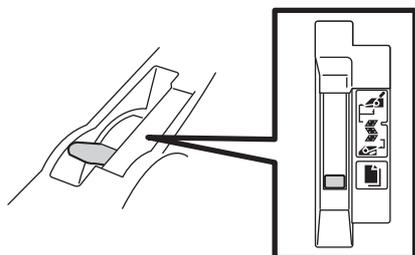
底から給紙



底からの給紙には、専用のプリンタ卓（オプション）をお使いください。

次の方法で連続紙をセットしてください。

### 1 給紙選択レバーをカット紙（手前）にセットする。



### 2 電源をONにする。

電源ランプと用紙ランプが点灯し、ディスプレイに“フロント マタハ ボトム ニ ヨウシヲ セット シテクダサイ”と表示されます。



“フロント マタハ ボトム ニ ヨウシヲ セット シテクダサイ”という表示は前または底から給紙できるという意味です。これはトラクタがトップトラクタとして取り付いており、給紙選択レバーがカット紙になっているときに表示されます。表示中はカット紙が使えません。

### 3 使用する給紙経路に合わせて連続紙を挿入する。

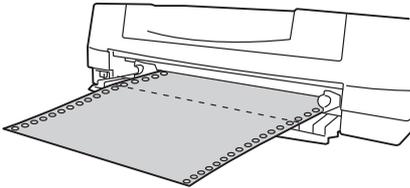
用紙は突き当たるまで挿入してください。用紙が挿入されると、用紙ランプが消灯し、直ちに用紙が吸入されます。

#### ✓チェック

- 幅の狭い用紙を吸入する場合は、用紙を左端に寄せてから吸入してください。
- 用紙が吸入されるとディスプレイに“レバー トップトラクタ ニ モドシテクダサイ”と表示されますが、給紙選択レバーをトップトラクタにすれば消えます。

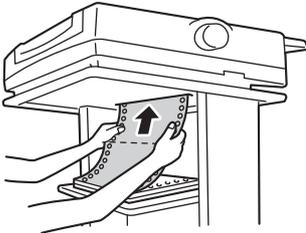
#### <前から吸入するときは>

- 1) フロントカバーを開けます (28ページ参照)。
- 2) フロントシートガイドの左右のペーパーセットピースを両端いっぱいに広げます (28ページ参照)。
- 3) 印刷したい面を上にして、用紙を挿入すると、自動的に吸入されます。

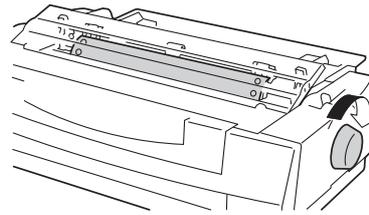


#### <底から吸入するときは>

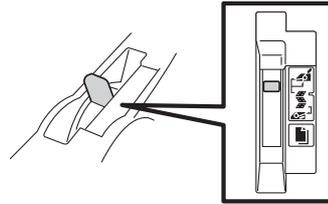
印刷したい面を手前にして、プリンタの底から用紙を挿入すると、自動的に吸入されます。



### 4 プラテンノブを回して、用紙をトラクタの高さまで引き上げる。



### 5 給紙選択レバーをトップトラクタ (手前から 3 番目) にする。

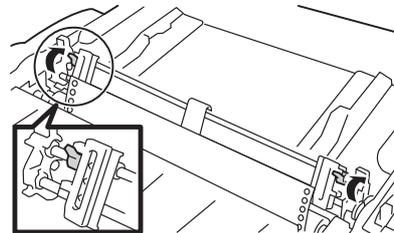


### 6 キャノピを開ける (17ページ参照)。

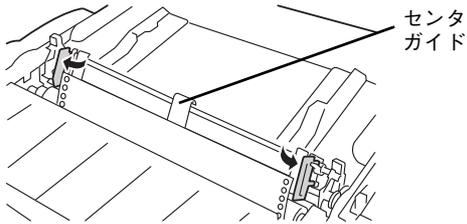
#### ✓チェック

電源をONにしたままキャノピを開けると、ディスプレイに“カバーオープン”と表示されます。キャノピを閉めれば (手順14) 表示が消えます。

### 7 左右のトラクタの緑色のロックレバーを上げてロックを解除する。



- 8 用紙幅に合わせてトラクタを移動させ、左右のトラクタカバーを開ける。また、センタガイドを左右のトラクタの中央にくるように移動させる。

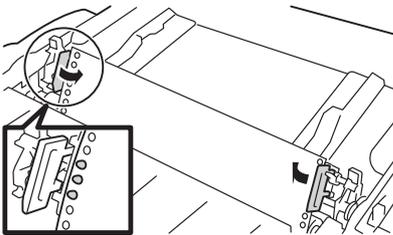


✓チェック

連続紙は、左端に合わせてセットしてください。

- 9 連続紙をセットし、トラクタカバーを閉める。

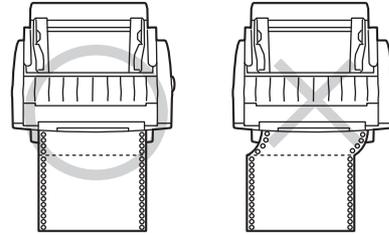
トラクタの位置を微調整しながら連続紙の先端左右の用紙送り穴をトラクタピンにはめ込み、トラクタカバーを閉めます。



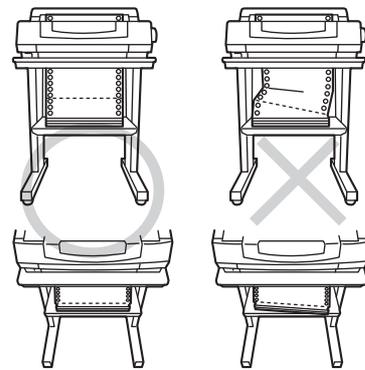
✓チェック

セットする連続紙のストック分は、トップトラクタの連続紙セット位置に対して鉛直線上で、プリンタ本体と平行にしてください。

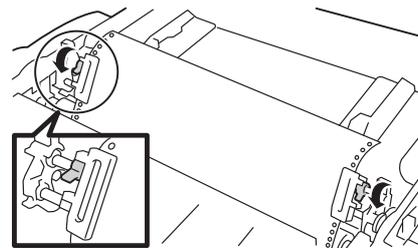
- 前面にストックする場合



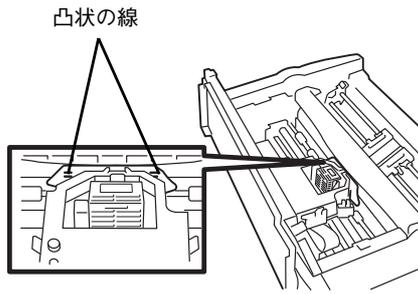
- 底面にストックする場合



- 10 連続紙が左右方向にたるまないようにトラクタの位置を決めたら、左右のロックレバーを下げてロックする。



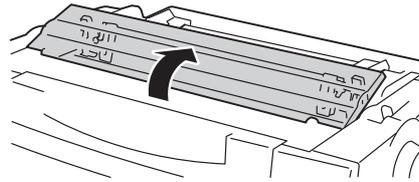
- 11** 第1印刷行はカードホルダの左右にある2本の凸状の線の間にくるので、位置が合わない場合はプラテンノブを回して調整する（手順4参照）。



- 12** トップシートガイドを水平な状態にして(31ページ参照)、左右のペーパーセットピースを両端いっぱいに広げる。

- 13** キャノピをトップトラクタにかぶせる。

ディスプレイの“カバーオープン”が消えます。



- 14** [印刷可] スイッチを押して印刷可ランプを点灯させる。

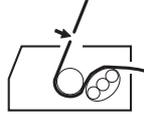
これでプリンタは印刷データをコンピュータから受信し、連続紙に印刷できる状態になりました。

**✓ チェック**

- 印刷範囲より幅の狭い用紙は使用しないでください。
- トップトラクタで印刷するときは、カット機能は使用できないため、プラテンノブを使って用紙を送り、カットします。
- トップトラクタにすると、ハガキ印刷モード、[吸入/退避] スイッチ、[排出/カット] スイッチおよび用紙吸入位置の微調整機能は無効になります。

## 連続紙のカット

使用している連続紙が坪量46.5～81.4g/m<sup>2</sup>（連量40～70kg）の上質紙で1枚の場合、連続紙のカット機能を使うことができます。トpptラクタで印刷しているとき、またはカット機能を使わないで連続紙をカットするときには、プラテンノブを使って用紙を送り出してからカットしてください。



### ✓チェック

- カット機能とは、連続紙をカット位置（ミシン目がキャノピの先端にそろう位置）まで送り出し、カット後、次ページの先頭位置（用紙の吸入位置）まで自動的に逆送りする機能です。これにより、連続紙をむだなく使用することができます。プラテンノブを使って印刷開始位置を調整された場合は、カット機能使用後に、[吸入/退避]スイッチを押して連続紙を再吸入してください。
- カット機能を使うためには、あらかじめ連続紙の用紙長を正しく設定しておく必要があります。用紙長の設定方法は4章の「メニューモード」（55ページ）またはソフトウェアマニュアルのプリンタドライバを参照してください。
- 印刷終了後、トラクタユニットにかかっている連続紙が残り少ない場合は、カット機能は動きません。
- トpptラクタで印刷しているときは、排出/カット機能は動作しません。

## カット機能を使う

### 1 [排出/カット] スイッチを押す。

連続紙がカット位置まで送られます。

カット位置の微調整が必要な場合は2～4の手順で調整してください

### ✓チェック

[排出/カット] スイッチを押したとき、すでに連続紙の下端がトラクタから外れている場合は、用紙は排出されてしまいます。

### 2 [印刷可] スイッチを押して、ディセレクト状態（印刷不可能な状態）にする。

印刷可ランプが消灯します。

### 3 [微調] スイッチを押す。

ディスプレイに“カットイチ ピチヨウ ±XX.Xmm”と表示されます。

### ✓チェック

ディスプレイ下段、右端に表示される\*は、現在設定されている値であることを示します。

この状態で、[▲] スイッチまたは [▼] スイッチを押して、ミシン目がキャノピの先端にくるように調節します。

[▲] スイッチと [▼] スイッチの機能は以下の表のとおりです。

スイッチ	1 回押す	1 秒以上押す
[▲] スイッチ	約0.4mm (2/120インチ) 順方向に用紙を送る	連続して送る
[▼] スイッチ	約4.2mm (20/120インチ) 逆方向に用紙を送る	(連続動作なし)

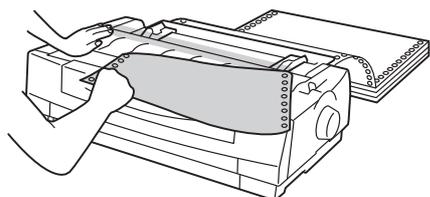
### ✓チェック

- 微調整時の用紙送りには順方向、逆方向とも限界位置があります。調整範囲は約－4.2mm(－20/120 インチ)～約4.2mm(20/120インチ)です。
- 設定した新しいカット位置は記憶され、次からのカット機能実行時のカット位置になります。

**4** [微調] スイッチまたは [印刷可] スイッチを押して、設定した値を記憶する。

**5** 用紙をカットする。

キャノピの先端が用紙カッタになりますので、ミシン目をキャノピの先端に合わせ、キャノピを押さえながら連続紙を手前に引っ張ってカットします。



**6** 連続紙がカット位置まで排出された後、しばらくして自動的に先端が吸入位置まで戻ることを確認する。

自動動作を待たなくても、もう一度 [排出/カット] スイッチを押せば、用紙がすぐに戻ります。

### ✓チェック

[排出/カット] スイッチを押して連続紙をカット位置に送ってから、またはカット位置の微調整を終了してから15秒経過すると、連続紙を自動的に逆送りし、次の印刷位置に戻します。

## 自動カット位置送り機能を使う

印刷終了後、自動的にカット位置まで用紙を送る機能です。用紙を送り出した後、約15秒\*経過すると、連続紙を自動的に逆送りし、次の印刷位置に戻します。メモリスイッチ3-5で機能のON、OFFを選択します。用紙送り量はメモリスイッチ4-3で設定します。詳しくは4章の「メモリスイッチ設定モード」(71ページ)を参照してください。

\* スペシャルメニューモードで設定変更が可能です。

# 用紙吸入位置の微調整

用紙を吸入したとき、吸入位置を微調整することができます。吸入位置はカット紙、連続紙、はがきに対して個別に設定できます。たとえばカット紙吸入時に吸入位置を微調整した場合、その設定は次からのカット紙の吸入位置になりますが、連続紙やはがきの吸入位置には影響しません。

## ✓チェック

トラクタユニットをトップトラクタとして使用しているときおよびトラクタフィーダ（オプション）を使用しているときは、この機能は使えません。

### 1 用紙をセット・吸入する。

カット紙はシートガイドから自動的に吸入されます。連続紙の場合は用紙のセット後、[吸入/退避]スイッチを押して用紙を吸入します。

### 2 [印刷可] スイッチを押して、ディセレクト状態（印刷不可能な状態）にする。

印刷可ランプが消灯します。

### 3 [微調] スイッチを押して微調モードにする。

ディスプレイには以下のように表示されます。

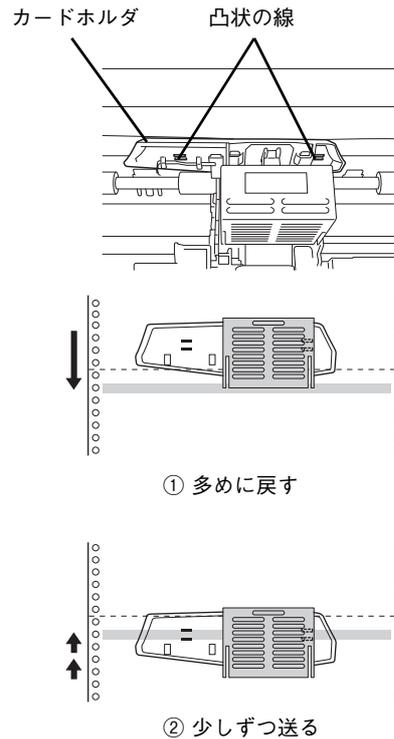
セ	レ	ク	ト						
シ	ー	ト	カ	イ	ト		ハ	カ	キ

### 4 [▲] スイッチまたは [▼] スイッチを使って吸入位置を微調整する。

[▼] スイッチで用紙を多めに戻してから、[▲] スイッチで微調整するようにしてください。

## ✓チェック

ディスプレイ下段、右端に表示される\*は、現在設定されている値であることを示します。



[▲] スイッチと [▼] スイッチの機能は以下の表のとおりです。

スイッチ	1 回押す	1 秒以上押す
[▲] スイッチ	約0.4mm (2/120インチ) 順方向に用紙を送る	連続して送る
[▼] スイッチ	約4.2mm (20/120インチ) 逆方向に用紙を送る	(連続動作なし)

**5** [微調] スイッチまたは [印刷可] スイッチを押す。

新規に設定した吸入位置がプリンタに記憶されます。

**チェック**

[▲] スイッチを押し続けると約0.4mm (2/120インチ) 単位で連続して用紙を送ります。

用紙吸入の基準位置は次のとおりです。

用紙の種類	用紙上端から第 1 印刷行までの距離
カット紙 (シートガイド使用時)	25.4mm (文字下端)
連続紙	25.4mm (文字下端)
はがき	11.5mm (文字中央まで)
カット紙 (シートフィーダ使用時)	9.73mm (文字下端)

**チェック**

- 用紙吸入位置の微調整可能範囲は、用紙上端から第 1 印刷行 (文字下端) までの距離がカット紙、連続紙共に 8.5 ~ 27.9mmになる範囲です。
- 微調整後の用紙吸入位置を記憶するかしないかは、メモリスイッチ3-3で切り替えることができます (71ページ参照)。

# カット紙と連続紙の切り替え印刷

吸入されている連続紙は、[吸入/退避] スイッチを押すことにより吸入前の位置（連続紙のセット位置）まで戻すことができます。この機能を使えば、セットした連続紙を取り除かずにカット紙に印刷することができます。カット紙と連続紙を交互に印刷したいときに便利な機能です。

**チェック**

トラクタユニットをトップトラクタとして使用しているときおよびトラクタフィーダ（オプション）を使用しているときは、この機能は使えません。

## 連続紙からカット紙への切り替え

連続紙への印刷が終わってカット紙への印刷に切り替えるときは、連続紙の先端をセット位置まで戻してからカット紙をセットします。

- 1 印刷の終了した連続紙をそのページまでカットする（「連続紙のカット」（39ページ）参照）。
- 2 [吸入/退避] スイッチを押す。  
連続紙はセット位置に戻ります（連続紙の一時退避）。
- 3 給紙選択レバーをカット紙（いちばん手前）にする。
- 4 カット紙をセットする（「カット紙のセット」（28ページ）参照）。  
約2秒後、カット紙が吸入され、印刷可ランプが点灯します。

## カット紙から連続紙への切り替え

カット紙への印刷が終わって連続紙への印刷に切り替えるときは、カット紙を排出してから一時退避させておいた連続紙を吸入します。

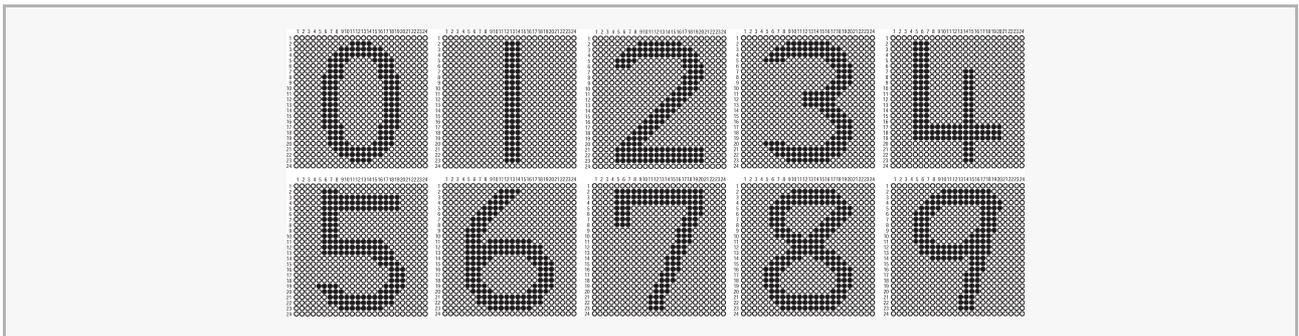
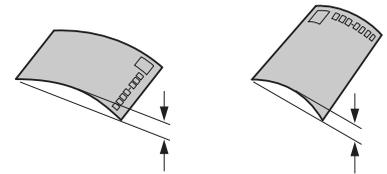
- 1 カット紙が吸入されている場合は、[排出/カット] スイッチを押して、排出する。
- 2 給紙選択レバーをリアトラクタ（手前から2番目）またはフロントトラクタ（いちばん奥）にする。
- 3 トップシートガイドが立っているなら水平にし、ペーパーセットピースを両端いっばいに広げる。
- 4 [吸入/退避] スイッチを押す。  
連続紙が吸入され、印刷可ランプが点灯します。

# はがきに印刷する

## はがきに印刷するときの注意

はがきに印刷するときは次のことに注意してください。あわせて付録の「用紙の規格」(133ページ)、「印刷範囲」(147ページ)も確認してください。

- はがきへの印刷は、環境温度、湿度がそれぞれ10～35℃、45～70%の場所で行ってください。
- はがきがカール（反り）しているときは、カールを直してからセットしてください。カールが小さいときは凹部が上側になるようにセットしてください。
- はがきの両面に印刷するときは、片面印刷後必ずカールを直してから反対面に印刷してください。
- はがきを投函するときは、カール（反り）が5mm以下になるように直してください。カールしていると、郵便番号読取機が番号を読み取れないことがあります。
- はがきを保管するときは、はがきのカール（反り）を防ぐため、直射日光や風の当たらない場所に保管してください
- お手持ちのソフトウェアで外字登録を行うことができる場合、下記の日本郵政公社推奨の郵便番号パターンを登録してご使用になることをお勧めします。



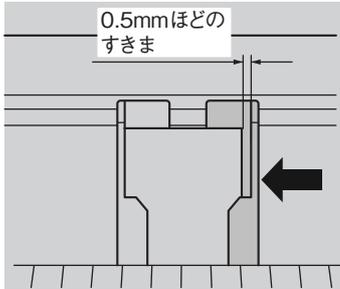
実際のはがきに印刷する場合は、官製はがきと同等の用紙を使って試し印刷を行い、印刷位置や印刷濃度を確かめてからにしてください。



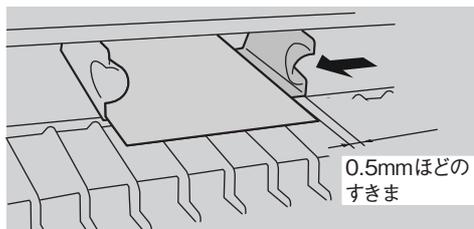
## 5 はがきを左側のペーパーセットピースに沿って軽く挿入し、右側のペーパーセットピースをはがきの幅に合わせて移動させる。

はがきの右端とペーパーセットピースの間にわずかなすきま（約0.5mm）を残すようにしてください。

- トップシートガイドの場合  
印刷する面を下にしてください。



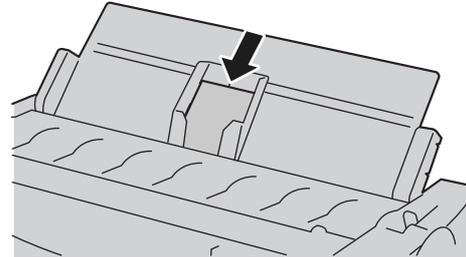
- フロントシートガイドの場合  
印刷する面を上にしてください。



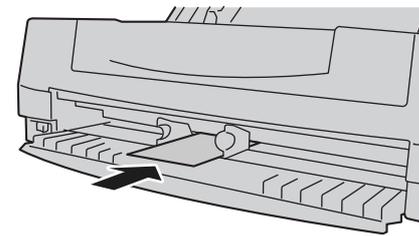
## 6 はがきを突き当たるまで差し込む。

用紙ランプが消灯し、はがきが吸入されればセット完了です。はがきが吸入されるまで、用紙が突き当たった状態のまま押さえていてください

- トップシートガイドの場合



- フロントシートガイドの場合



### ✓ チェック

はがきの吸入時あるいは印刷中に紙づまり、改行不良などが発生した場合には、電源をOFFにしてから直接またはプラテンノブを回してはがきを取り除いてください。

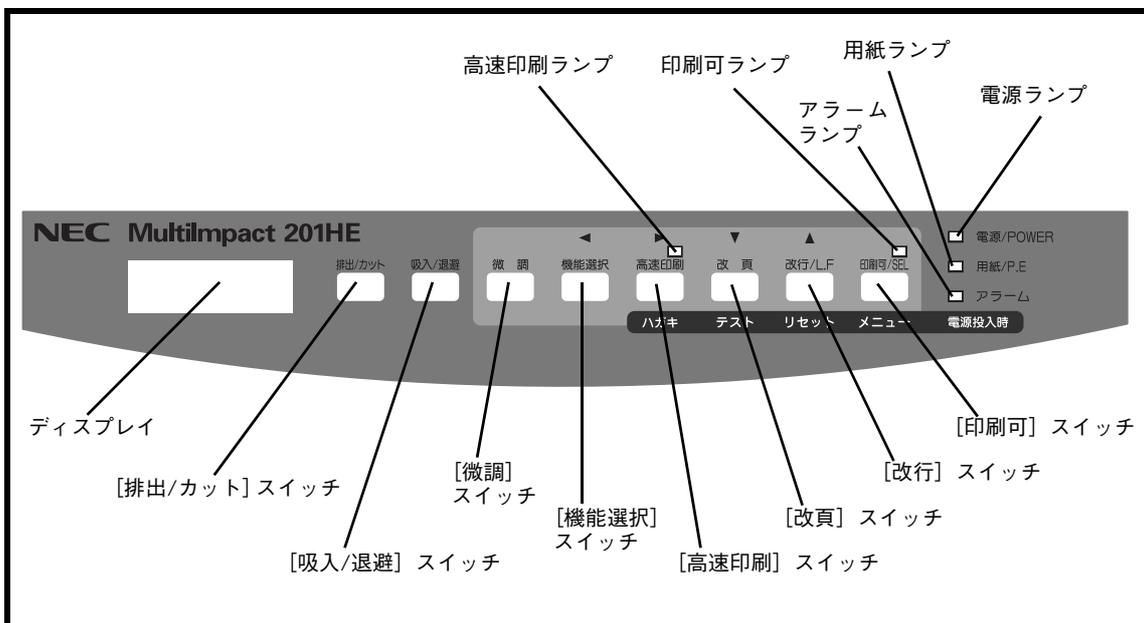
ここで、はがきの吸入位置を微調整することができます。微調整したいときは、「用紙吸入位置の微調整」(41ページ)をご覧ください。

# 3章

## 操作パネルとスイッチの機能

この章では、操作パネルやメニューモードなどプリンタの操作の基本的なことについて説明しています。

操作パネル上には、ディスプレイと8個のスイッチと5個のランプがあります。プリンタのさまざまな設定をしたり、変更したりする際にスイッチを使います。ディスプレイとランプはプリンタの状態やエラーを知らせます。ディスプレイ、スイッチ、ランプの機能については次ページ以降をご覧ください。



操作パネル (MultilImpact 201HEの場合) \*

\* スイッチ、ランプの名称はMultilImpact 201SEも同じです。

# スイッチの基本機能

操作パネルには8個のスイッチがあります。スイッチの中には複数の機能を持つものがありますが、ここでは各スイッチの基本的な機能について説明します。

<p><b>【印刷可】 スイッチ</b></p>	<p>【印刷可】 スイッチを1回押すごとにセレクト状態（データ受信して印刷できる状態、印刷可ランプ点灯）とディセレクト状態（データ受信せずに印刷しない状態、印刷可ランプ消灯または点滅）に交互に切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>印刷中にこのスイッチを押すと、印刷が一時的に停止します。</li> <li>もう一度押すと印刷が再開します。</li> </ul>
<p><b>【改行】 スイッチ</b></p>	<p>改行スイッチを1回押すごとに、用紙を1行分送ります。スイッチを1秒以上押し続けると、連続して用紙を送ることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>印刷可ランプが消灯しているときに機能します。</li> <li>1行は約4.2mm（1/6インチ）です。</li> <li>逆方向改行設定でも用紙は順方向に送られます。</li> </ul>
<p><b>【改頁】 スイッチ</b></p>	<p>あらかじめ設定された用紙長分の改行を行います。1回押すごとに設定された用紙長に従って次ページの第1印刷行へ改行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>印刷可ランプが消灯しているときに機能します。</li> <li>縮小モード中は、縮小率を掛けた改行幅で改行されます。</li> <li>逆方向改行設定時でも用紙は順方向に送られます。</li> </ul>
<p><b>【機能選択】 スイッチ</b></p>	<p>ディセレクト状態でメニューモードへ切り替えます。 メニューモードについては、「メニューモード」（55ページ）を参照してください。</p>
<p><b>【高速印刷】 スイッチ</b></p>	<p>高速印刷の選択、解除を行います。高速印刷を選択すると、印刷速度を上げて印刷時間を短縮できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スイッチを押すごとに高速印刷の選択／解除を行います。</li> <li>高速印刷が選択されているときは高速印刷ランプが点灯します。</li> <li>高速印刷を選択すると、プリンタは通常の印刷データを1ドットおきに印刷するので、印刷品質は通常印刷より劣ります。</li> </ul> <div data-bbox="496 1025 1315 1167" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> <b>チェック</b></p> <p>印刷中はこのスイッチを押さないでください。高速印刷を選択するときや解除するときは、印刷が終了していることを確認してからスイッチを押します。</p> </div>
<p><b>【微調】 スイッチ</b></p>	<p>吸入位置およびカット位置の微調整を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>印刷可ランプが消灯しているときに機能します。</li> <li>スイッチを押すと微調モードに入ります。</li> </ul>
<p><b>【排出/カット】 スイッチ</b></p>	<p>用紙の排出またはカットを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>連続紙使用時に【排出/カット】スイッチを押すと、連続紙をカット位置まで送ります。もう一度押すと、連続紙を吸入位置まで戻します（逆方向）。</li> <li>カット紙使用時に【排出/カット】スイッチを押すと、用紙を排出します。</li> </ul>
<p><b>【吸入/退避】 スイッチ</b></p>	<p>用紙の吸入または退避（排出）を行います。選択した給紙方法と用紙の状態によって、プリンタの【吸入/退避】の動作が異なります。各設定および用紙の状態での【吸入/退避】スイッチの機能については、下の表を参照してください。</p>

## 【吸入/退避】スイッチの機能

給紙方法	用紙の状態	動作
トップトラクタ	用紙あり	動作せず
	用紙なし	動作せず
リアトラクタ フロントトラクタ	用紙あり	連続紙の退避
	用紙なし	連続紙の吸入
シートガイド	用紙セット後	用紙吸入*
	用紙あり	用紙排出
	用紙なし	動作せず
シートフィーダ	用紙あり	用紙排出後、吸入
	用紙なし	用紙吸入

\* メモリスイッチ4-8 (MSW4-8) がON (マニュアル設定) 時の動作となります。

# スイッチの応用機能

スイッチには「改行する」、「用紙を排出する」などの基本機能の他にもいろいろな機能があります。ここではスイッチの応用的な機能について説明します。

## メニューモード、スペシャルメニューモード

MultimImpact 201HE/201SEには、プリンタの内部設定を変更するための2つのモードがあります。

- ・ メニューモード：比較的頻繁に設定変更を行う項目（書式設定）
- ・ スペシャルメニューモード：あまり設定変更を行わない項目（メモリスイッチ設定など）

ディセレクト状態になっているときに、[機能選択]（◀）スイッチを押すとメニューモードに入ることができます。



[印刷可] スイッチを押しながらプリンタの電源スイッチをONにするとスペシャルメニューモードに入ることができます。



詳しくは「メニューモードの入り方と終了方法」（57ページ）または「スペシャルメニューモードの入り方と終了方法」（63ページ）を参照してください。

## ハガキ印刷モード

はがきに適した印刷位置に自動的にはがきを吸入します。

[高速印刷] スイッチを押しながら、プリンタの電源スイッチをONにします。



チェック

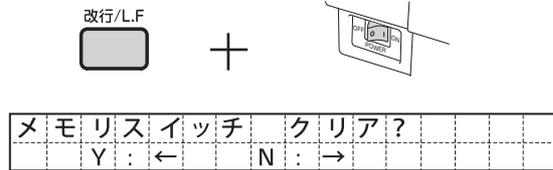
はがきの印刷は2章の「はがきに印刷する」（44ページ）をご覧ください。

## 設定内容のリセット

メニューモード、またはスペシャルメニューモードで設定した内容を工場設定値にリセットします。

- 1 [改行] スイッチを押しながらプリンタの電源スイッチをONにする。

ディスプレイに“メモリスイッチ クリア? Y:← N:→”とリセットの確認を促すメッセージが表示されます。



- 2 [機能選択] (◀) スイッチを押す。

設定内容が工場設定値にリセットされます。

設定内容のリセットを中止したい場合は [高速印刷] (▶) スイッチを押します。



## テスト印刷

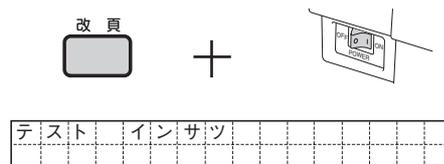
インクリボンカートリッジを交換した後、またはプリンタが故障して、その処置が済んだ後、動作確認をするためにテスト印刷を行います。

- 1 用紙をセットする。

用紙のセット方法については2章「用紙の取り扱い」(26ページ)をご覧ください。

- 2 [改頁] スイッチを押しながら、プリンタの電源スイッチをONにする。

ディスプレイに“テスト インサツ”と表示されテスト印刷が開始されます。



テスト印刷を中止したい場合は [印刷可] スイッチを押します。

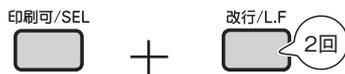
テスト印刷を終了したい場合は [印刷可] スイッチを押しながら [改行] スイッチを2回押します。

## 強制リセット

強制リセットは電源ON直後の状態にプリンタを戻します。強制リセットを行うとプリンタ内にデータが残っていた場合は消去します。

[印刷可] スイッチを押しながら [改行] スイッチを2回押します。

プリンタは強制的に電源ON直後の状態に戻ります。



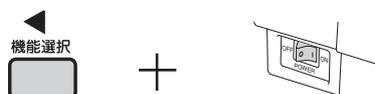
### ✓ チェック

カバーオープン、紙づまり等のアラームおよび復旧不可能なエラー発生時は無効です。

## ネットワーク設定モード

プリンタからプリントサーバのネットワーク設定を変更します。

[機能選択] スイッチを押しながら、プリンタの電源 スイッチをONにします。



詳しくは、「ネットワーク設定モードの入り方と終了方法」(78ページ)を参照してください。

## ランプの表示

操作パネルには5個のランプがあります。これらのランプは点灯、点滅、または消灯することでプリンタの状態を知らせます。

ランプ	色	状態	表示の意味
電源ランプ	緑	点灯	プリンタの電源がONになっています。
		消灯	プリンタの電源がOFFになっています。
用紙ランプ	赤	点灯	用紙がセットされていないまたは用紙が残り少なくなっている状態です。
		点滅	アラームランプとの同時点滅で用紙ジャム、連続紙ジャム、連続紙退避エラーなどの復旧可能エラー状態です。
		消灯	用紙がセットされている状態です。
高速印刷ランプ	橙	点灯	高速印刷モード状態です。
		消灯	通常印刷モード状態です。
印刷可ランプ	緑	点灯	プリンタがセレクト状態（印刷可能状態）です。
		点滅	プリンタがディセレクト状態（印刷不可能状態）で、未印刷のデータがプリンタ内に残っています。
		消灯	プリンタがディセレクト状態（印刷不可能状態）です。
アラームランプ	赤	点灯	復旧不可能なエラーが発生しました。「修理の依頼について」(124ページ)を参照した後、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。
		点滅	復旧可能なエラーが発生しました。「エラー表示が出ているときは」(116ページ)を参照してください。

# ディスプレイの表示



操作パネルのディスプレイには、左図のようにプリンタの状態やアラーム時の解除方法およびプリンタのメニュー設定時の項目などが表示されます。ここでは、プリンタが通常の状態での表示とその他の状態での表示について記載しています。アラームの表示については「エラー表示が出ているときは」(116ページ)をご覧ください。

## ディスプレイ通常表示

表示の種類	表示	表示の意味
電源スイッチをONまたは初期化動作中の表示	イニシャライズ チュウ	プリンタを初期状態に戻しています。
印刷可能状態の表示	セレクト	プリンタが印刷可能な状態になっています。
印刷不可状態の表示	ディセレクト	プリンタが印刷不可能な状態になっています。
テスト印刷中の表示	テスト インサツ	テスト印刷中です。
HEXダンプ中の表示	HEXダンプ	HEXダンプ印刷モードになっています。
用紙モードに関する表示	シートガイド	給紙方法がシートガイドになっています。
	シートガイド ハガキ	給紙方法がシートガイドのハガキ印刷モードになっています。
	シートフィーダ	給紙方法がシートフィーダになっています。
	シートフィーダ ハガキ	給紙方法がシートフィーダのハガキ印刷モードになっています。
	フロントトラクタ	給紙方法がフロントトラクタになっています。
	リアトラクタ	給紙方法がリアトラクタになっています。
用紙厚に関する表示	(表示なし)	用紙厚調整の設定が「オート」になっています。自動的に用紙厚を検出します。
	M1	用紙厚が手動で設定されています。複写式用紙の枚数に合わせてM1 (1枚) ~M5 (5枚) の範囲で数値が設定されています。 ※ご使用の複写式用紙の枚数に設定されていることをご確認ください。設定が適正でない場合、印刷汚れや印刷かすれ、印刷ヘッドの故障の原因となることがあります。 ※本製品の最大複写枚数は5枚です。「複写枚数と坪量(連量)」(136ページ)を参照してください。
	M2	
	M3	
	M4	
M5		

## その他の状態での表示

表示の種類	表示	表示の意味
用紙吸入位置の微調整	キュウニュウイチ ピチヨウ XX. Xmm	吸入位置の微調整モード中です。XX.Xmmは用紙上端からの物理的な距離です。
カット位置微調整	カットイチ ピチヨウ ±XX. Xmm	連続紙カット位置微調整モード中です。XX.Xmmは用紙上端からの物理的な距離です
連続紙カット位置	ヨウシ カット デキマス	連続紙をカットできる位置になっています。
メニュー表示	メニュー表示は、メニューモードを使用しているときに表示されます。メニューモードについては「メニューモード」(55ページ)をご覧ください。	

# 4章 プリンタの設定変更

## メニューモード

ここでは、メニューモードで変更できる設定項目、メニューモードの入り方と終了方法および設定方法について説明します。

## メニューモードで変更できる設定項目

メニューモードで変更できる設定項目および初期値を次の表に示します。

設定項目		初期値* 1	
書式設定	用紙長	66行	
	レフトマージン幅	0行	
	ライトマージン幅	136桁	
	吸入位置	フロントトラクタ	25.4mm (文字下端)
		リアトラクタ	25.4mm (文字下端)
		シートガイド	25.4mm (文字下端)
		シートフィーダ	9.7mm (文字下端)
はがき	11.5mm (文字中央)		
書式クリア	しない		
書式選択*2		書式0	
書体選択*3		明朝体	
用紙厚調整の設定		オート	
印刷圧の微調整		0	
縮小印刷*3		縮小なし	

\* 1 ディスプレイの末尾に\*で示された設定値は現在の設定値です。

\* 2 書式選択が「書式0」のときは、レフトマージン、ライトマージンの選択はできません。

\* 3 縮小印刷の選択、書体選択はプリンタの電源スイッチをOFFにするとクリアされます。

## メニューモードの入り方と終了方法

### メニューモードの入り方

- 1 プリンタの電源スイッチをONにする。
- 2 ディセレクト状態になっていることを確認する。  
セレクト状態になっているときは、[印刷可] スイッチを押してディセレクト状態にしてください。印刷可ランプが消灯します。
- 3 [機能選択] スイッチを押す。  
メニューモードに入ります。

デ	ィ	セ	レ	ク	ト						
フ	ロ	ン	ト	ト	ラ	ク	タ	フ	ィ	ー	タ

### メニューモードの終了方法

- 1 [印刷可] スイッチを押す。  
メニューモードで選択した値をメモリに書き込み、メニューモードを終了します。

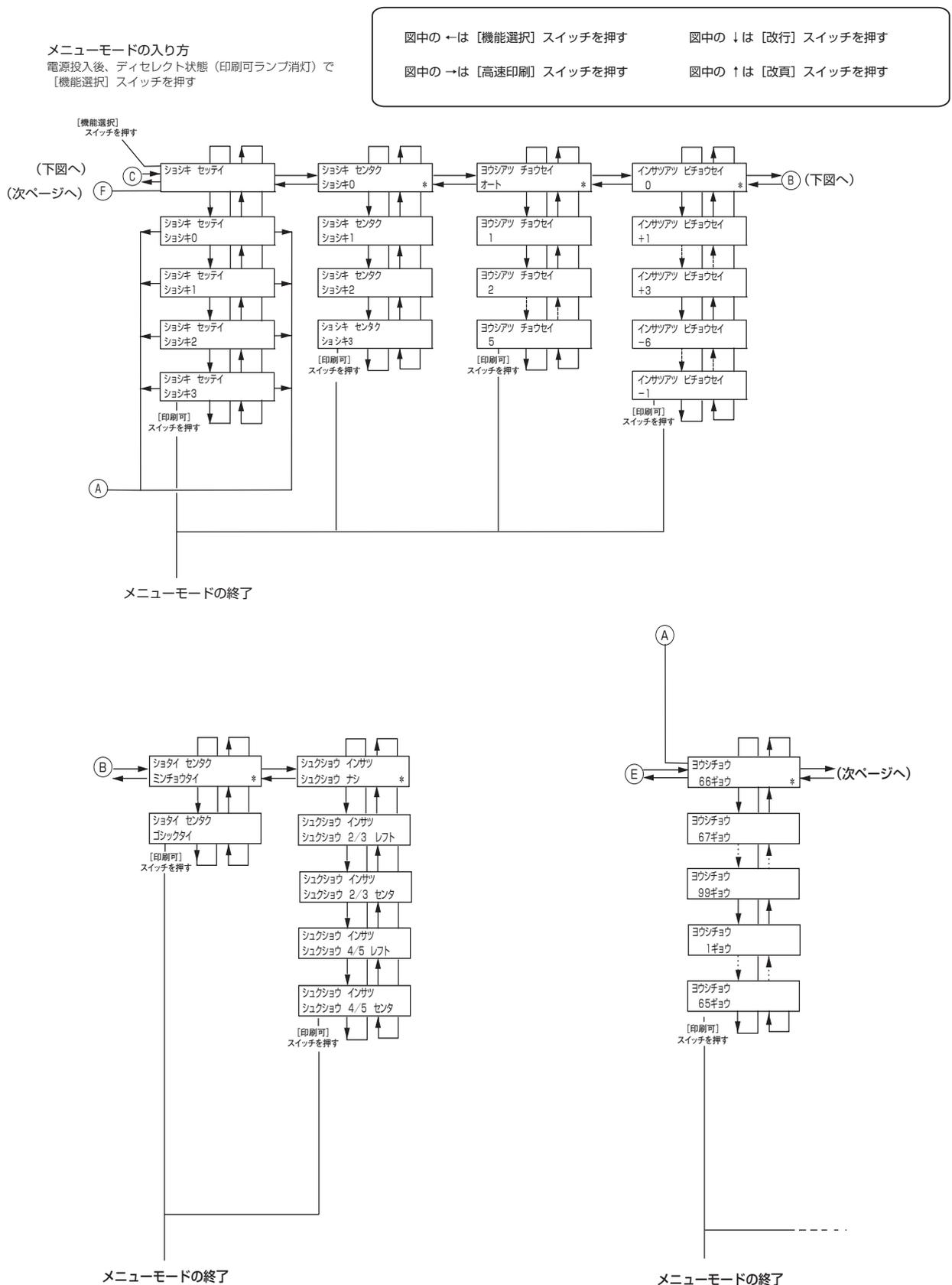
## メニューモード時のスイッチ機能

プリンタがメニューモードに入ると、操作パネル上のスイッチは次のような機能になります。

スイッチ		機能
通常の状態	メニューモード時	
機能選択	◀	機能設定項目の選択スイッチとして機能する。
高速印刷	▶	
改行	▲	設定値の変更スイッチとして機能する。これらのスイッチを押すことにより、各項目の数値が増減します。
改頁	▼	
印刷可		メニューモードで選択した値をメモリに書き込み、メニューモードで終了させる。
上記以外のスイッチ		無効

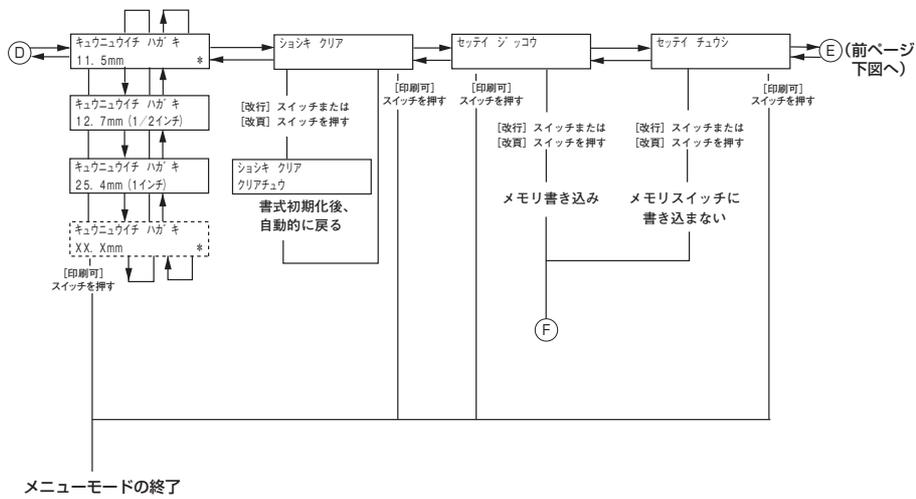
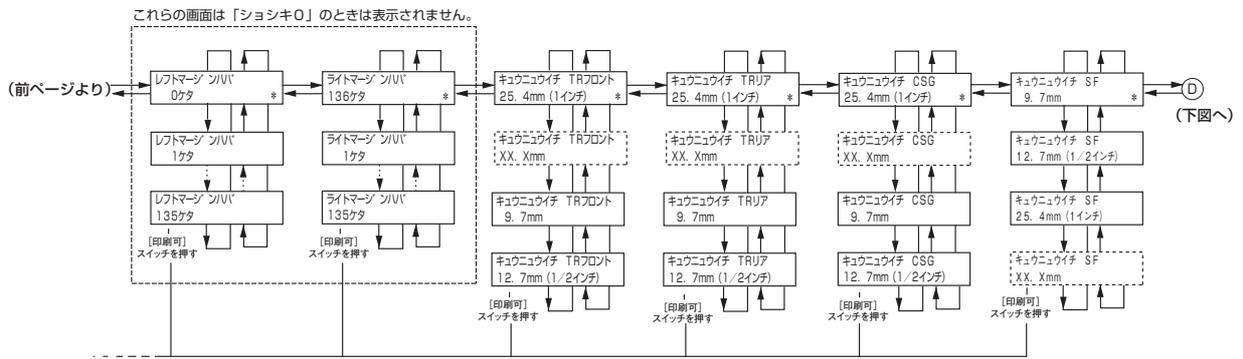
# メニューツリー

ここでは、メニューモードのメニューツリーを載せています。



図中の ← は [機能選択] スイッチを押す      図中の ↓ は [改行] スイッチを押す      キョウニューイチ XXX  
XX, Xmm \*

図中の → は [高速印刷] スイッチを押す      図中の ↑ は [改頁] スイッチを押す      この表示は吸入位置の微調により、メニュー項目にない値に設定されたときのみ表示されます。



## 設定の手順

メニューモードに入り、設定を変更するまでの手順は次のとおりです。例以外の設定を変更したいときは「設定の詳細」(61ページ)を見ながら、例を参考にして変更してください。

例：「書式選択」書式0の「用紙長」を99にする。(初期設定値は66)

1 プリンタの電源スイッチをONにする。

2 [印刷可] スイッチを押して、ディセレクト状態にする。

印刷可ランプが消灯していることを確認してください。

デ	ィ	セ	レ	ク	ト										
フ	ロ	ン	ト	ト	ラ	ク	タ	フ	ィ	ー	タ				

3 [機能選択] スイッチを押す。

プリンタはメニューモードに入ります。

シ	ョ	シ	キ	セ	ッ	テ	イ								

4 [▲] スイッチを押し、下のように表示されていることを確認する。

シ	ョ	シ	キ	セ	ッ	テ	イ								
シ	ョ	シ	キ	0											

5 [▶] スイッチを押し、下のように表示されていることを確認する。

ヨ	ウ	シ	チ	ヨ	ウ										
6	6	キ	ヨ	ウ											*

6 [▲] スイッチをディスプレイの表示が“ヨウシチヨウ 99キョウ”となるまで押し、下のように表示されることを確認する。

ヨ	ウ	シ	チ	ヨ	ウ										
9	9	キ	ヨ	ウ											

7 [印刷可] スイッチを押す。

選択した値をメモリに書き込みメニューを終了します。

## 設定の詳細

ここでは、メニューモードで設定できる内容を説明します。設定項目の（ ）内は選択できる設定値、【 】内は工場設定値です。

### 書式設定

書式に設定できる情報（用紙長、マージン幅など）を設定します。書式の設定は4通り（書式0～書式3）まで登録できます。

1. 用紙長（1～【66】～99）

用紙長を改行幅、約4.2mm（1/6インチ）単位で設定します。現在の改行量には影響されません。

2. レフトマージン（【0】～135）

レフトマージン幅を10dpi文字の桁数で設定します。メモリスイッチ2-7（MSW2-7）の設定には影響されません。縮小コマンド受信時は無効となります。書式0では設定できません。

3. ライトマージン（1～【136】）

ライトマージン幅を10dpi文字の桁数で設定します。メモリスイッチ2-7（MSW2-7）の設定には影響されません。縮小コマンド受信時は無効となります。書式0では設定できません。

4. 吸入位置（9.7、12.7、【25.4】）

文字下端での用紙吸入位置を選択します。設定値の単位はmmです。フロントトラクタ、リアトラクタ、シートガイド、シートフィーダ、はがき、それぞれ独立して吸入位置を設定することができます。

はがきの吸入位置はハガキ印刷モードのときに有効となります。書式1～3の吸入位置はMSW3-3（吸入位置を記憶する／しない）に影響されません。

各用紙をセットした場合の設定可能な値、不可能な値については以下の表を参照してください。

吸入基準位置	連続紙	カット紙	はがき	備考
9.7mm（文字下端）	○	○	×	文字上端6mm シートフィーダ使用時の推奨吸入位置
11.5mm（文字中央）	×	×	○	はがきの推奨吸入位置
12.7mm（1/2インチ、文字下端）	○	○	○	—
25.4mm（1インチ、文字下端）	○	○	○	シートガイド使用時および連続紙の推奨吸入位置

5. 書式クリア

現在、設定されている書式番号の内容を初期値に戻します。

## 機能選択

### 1. 書式選択 (【書式0】、書式1、書式2、書式3)

どの書式で印刷するかを選択します。[◀] スイッチまたは [▶] スイッチを押して、現在選択されている書式番号を表示した後、[▲] スイッチまたは [▼] スイッチで設定したい書式番号を選択します。

### 2. 書体選択 (【明朝体】、ゴシック)

漢字書体を選択します。選択できる書体は明朝体、ゴシック体のどちらかです。プリンタの電源スイッチをOFFにすると設定は初期化されます。

### 3. 用紙厚調整の設定 (【オート】、1～5)

用紙厚調整動作を選択します。オートを選択した場合は、自動的に用紙の厚さを検出し、用紙枚数1～5枚までの設定値を選択します。

マニュアル設定値と用紙厚の目安は以下のとおりです。

用紙枚数	用紙坪量 (連量)	厚さ (mm)	マニュアル設定値
1枚	46.5g/m <sup>2</sup> (40kg)	約0.06mm	1
	64.0g/m <sup>2</sup> (55kg)	約0.08mm	1
	81.4g/m <sup>2</sup> (70kg)	約0.10mm	1～2
	104.7g/m <sup>2</sup> (90kg)	約0.12mm	2
	127.9g/m <sup>2</sup> (110kg)	約0.16mm	2～3
	157.0g/m <sup>2</sup> (135kg)	約0.19mm	3
2枚	39.5g/m <sup>2</sup> (34kg)	約0.12mm	2
3枚	39.5g/m <sup>2</sup> (34kg)	約0.18mm	3
4枚	39.5g/m <sup>2</sup> (34kg)	約0.24mm	4
5枚	39.5g/m <sup>2</sup> (34kg)	約0.30mm	5

### 4. 印刷圧の微調整 (-6 ~ 【0】 ~ +3)

印刷圧のコピー能力を増やしたいまたは減らしたいときに印刷圧の調整を行います。調整単位は0.01mmです。数値を「+」に設定すると印刷圧が増加し、「-」に設定すると印刷圧が減少します。

### 5. 縮小印刷の選択 (【縮小なし】、縮小2/3 レフト、縮小2/3 センタ、縮小4/5 レフト、縮小4/5 センタ)

ページ縮小印刷モードを設定することができます。縮小基準位置は、装置正面から見てレフトは左側を、センタは中央を基準とします。ハガキ印刷モードまたはMSW2-7がONのときは、縮小印刷モードはOFFになります。また、プリンタの電源スイッチをOFFにすると設定は初期化されます。

# スペシャルメニューモード

ここでは、スペシャルメニューモードで変更できる設定項目、スペシャルメニューモードの入り方と終了方法および設定方法について説明します。

## スペシャルメニューモードで変更できる設定項目

スペシャルメニューモードで変更できる設定項目および初期設定値を次の表に示します。

設定モード	機能項目	初期値
パラメータ設定	用紙セット位置	センタ
	フロントトラクタセンタリング位置	68桁
	リアトラクタセンタリング位置	68桁
	カット紙センタリング位置	40桁
	漢字コード表	1978年版
	フォント1	標準
	フォント2	標準
	連続紙カット位置からの自動戻り時間	15秒
	ハガキ印刷モード	OFF
	シートガイドからの用紙吸入時間	2秒
	自動用紙厚調整再実行時間	10秒
	LFピッチ補正—シートガイド	0
	LFピッチ補正—シートフィーダ	0
	LFピッチ補正—フロントトラクタ	0
LFピッチ補正—リアトラクタ	0	
メモリスイッチ設定	「メモリスイッチ設定モード」(71ページ) 参照	
罫線ぞろえ確認モード	罫線ぞろえ確認印刷	—
	罫線ぞろえHD	0
	罫線ぞろえNHS	0

## スペシャルメニューモードの入り方と終了方法

### スペシャルメニューモードの入り方

- 1 [印刷可] スイッチを押しながらプリンタの電源スイッチをONにする。

スペシャルメニューモードに入り、“セッテイチ インサツ”とディスプレイに表示されます。

セ	ッ	テ	イ	チ	イ	ン	サ	ツ				
---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	--

#### ✓ チェック

用紙なしの場合でもスペシャルメニューモードに入ることができます。

## スペシャルメニューモードの終了方法

- 1 ディスプレイにメインメニューの“ケイセンゾロエ カクニン”が表示されているとき、[印刷可]スイッチを押す。

スペシャルメニューモードを終了します。

ケ	イ	セ	ン	ゾ	ロ	エ	カ	ク	ニ	ン		

## スペシャルメニューモード時のスイッチ機能

プリンタがスペシャルメニューモードに入ると、操作パネル上のスイッチは次のような機能になります。

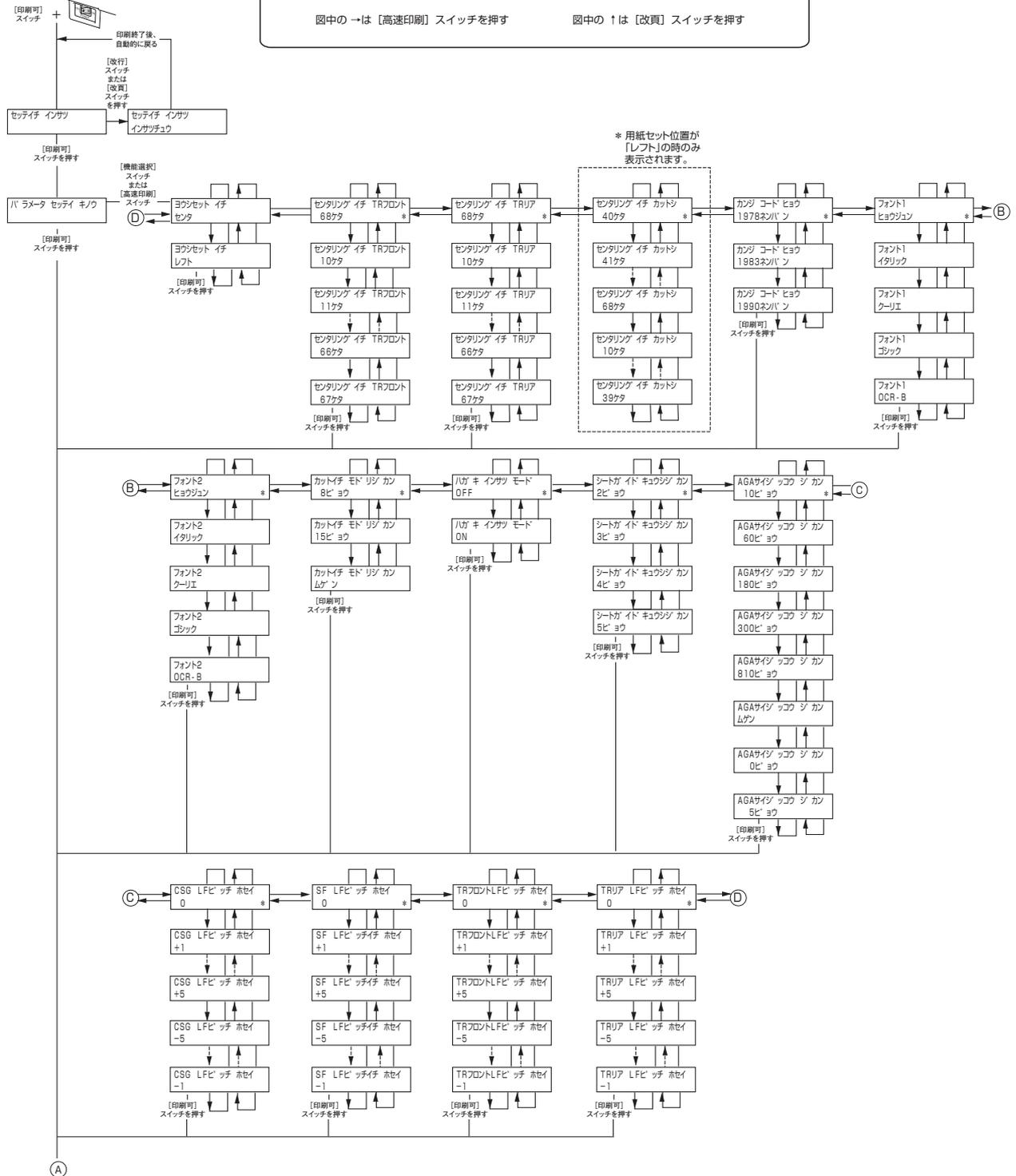
スイッチ		機能
通常の状態	スペシャルメニューモード時	
印刷可	メニュー	メインメニューの“ケイセンゾロエ カクニン”が表示されているときに、スペシャルメニューモードを終了させます。 各種設定から、メインメニューに戻ります。 パラメータの設定を確定します。確定されたパラメータのディスプレイ表示には*が追加されます。
改行	▲	設定値の変更スイッチとして機能します。
改頁	▼	
機能選択	◀	機能項目の選択スイッチとして機能します。
高速印刷	▶	
吸入/退避	吸入/退避	有効（用紙なし検出時）
強制リセット		有効
上記以外のスイッチ		無効

# メニューツリー

ここでは、スペシャルメニューモードのメニューツリーを載せています。

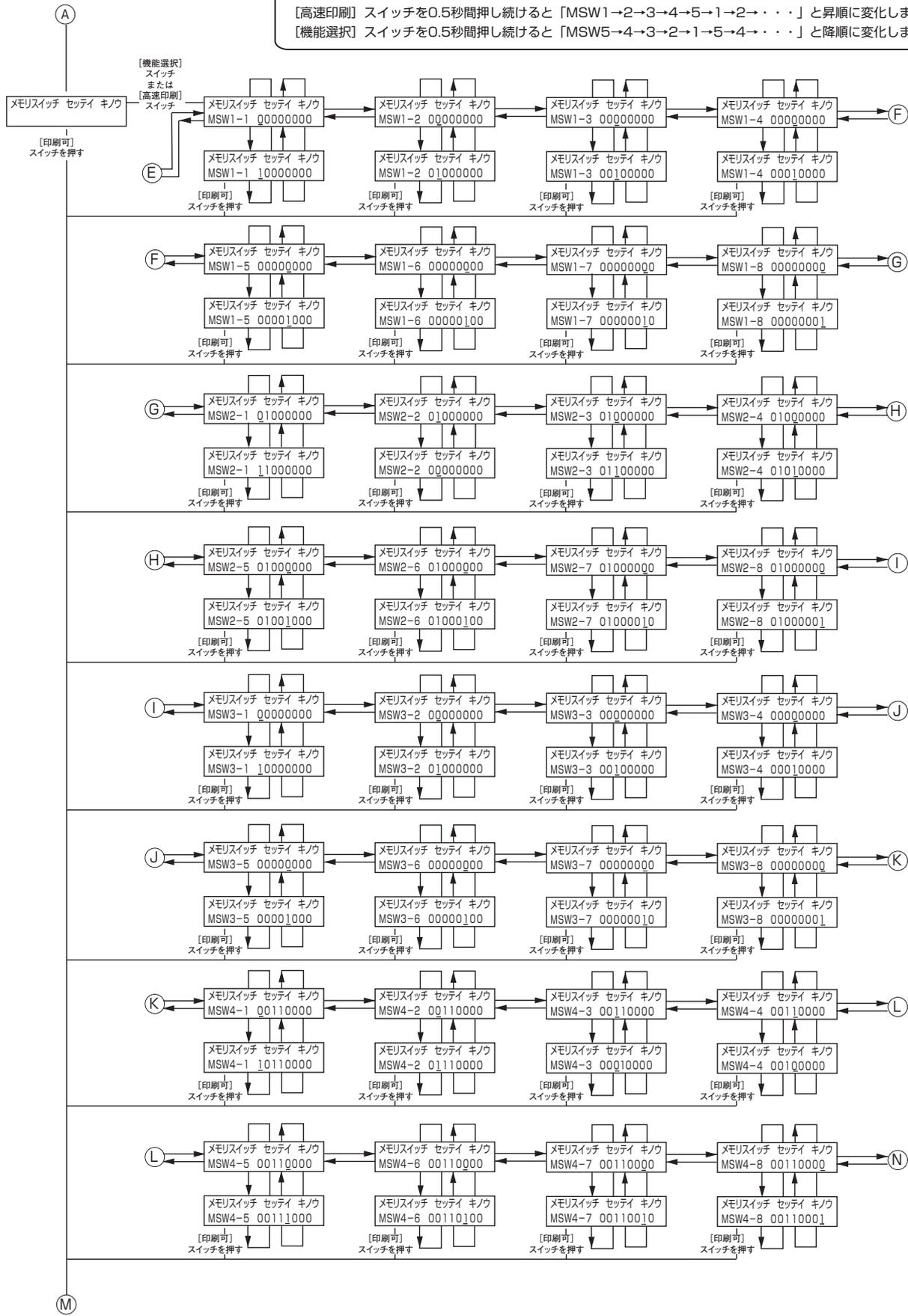
スペシャルメニューモードの入り方  
[印刷可] を押しながら電源スイッチをONにする

図中の ← は [機能選択] スイッチを押す      図中の ↓ は [改行] スイッチを押す  
 図中の → は [高速印刷] スイッチを押す      図中の ↑ は [改頁] スイッチを押す



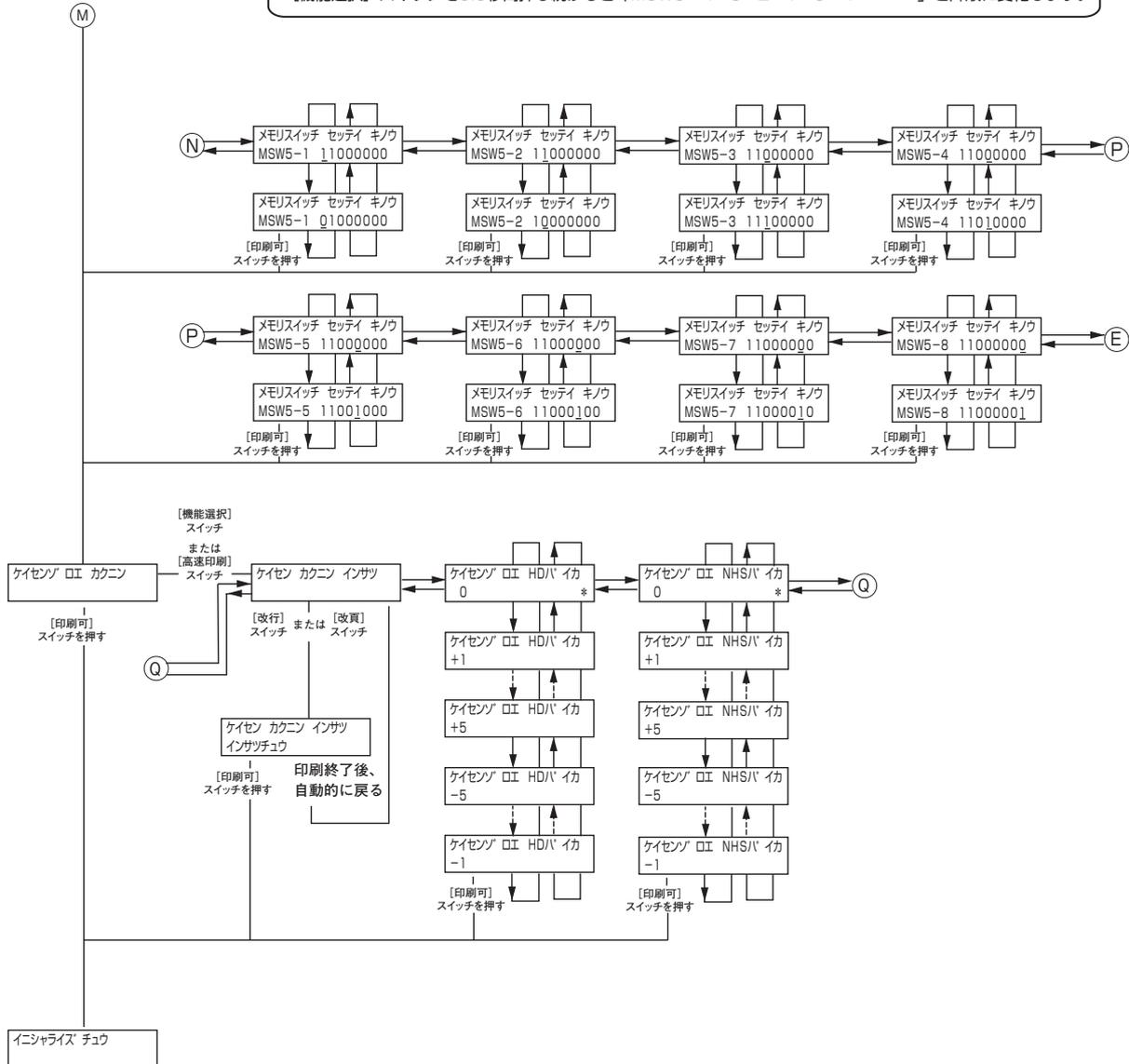
図中の ← は [機能選択] スイッチを押す      図中の ↓ は [改行] スイッチを押す  
 図中の → は [高速印刷] スイッチを押す      図中の ↑ は [改頁] スイッチを押す

[高速印刷] スイッチを0.5秒間押し続けると「MSW1→2→3→4→5→1→2→…」と昇順に変化します。  
 [機能選択] スイッチを0.5秒間押し続けると「MSW5→4→3→2→1→5→4→…」と降順に変化します。



図中の ← は [機能選択] スイッチを押す      図中の ↓ は [改行] スイッチを押す  
 図中の → は [高速印刷] スイッチを押す      図中の ↑ は [改頁] スイッチを押す

[高速印刷] スイッチを0.5秒間押し続けると「MSW1→2→3→4→5→1→2→・・・」と昇順に変化します。  
 [機能選択] スイッチを0.5秒間押し続けると「MSW5→4→3→2→1→5→4→・・・」と降順に変化します。



スペシャルメニューモード終了  
 ディスプレイは「イニシャルズ チュウ」と表示後、  
 通常表示に戻る

## 設定の手順

スペシャルメニューモードに入り、設定を変更するまでの手順は次のとおりです。例以外の設定を変更したいときは「設定の詳細」(69ページ)を見ながら、例を参考にして変更してください。

例：「パラメータ設定機能」の「シートガイドからの吸入待ち時間選択」を5秒にする。  
(初期設定値は [2秒])

1 プリンタの電源スイッチをOFFにする。

2 [印刷可] スイッチを押しながら電源スイッチをONにする。

スペシャルメニューモードに入り、“セッテイチ インサツ”と表示されます。

セ	ッ	テ	イ	チ	イ	ン	サ	ツ				
---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	--

3 [印刷可] スイッチを押し、ディスプレイに“パラメータ セッテイ キノウ”と表示されたことを確認する。

ハ	ラ	メ	ー	タ	セ	ッ	テ	イ	キ	ノ	ウ	
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--

4 [▶] スイッチを9回押し、ディスプレイに“シートガイド キュウシジカン 2ビヨウ\*”と表示されたことを確認する。

シ	ー	ト	カ	イ	ト	キ	ュ	ウ	シ	シ	カ	ン
2	ビ	ヨ	ウ									*

5 [▼] スイッチを押し、ディスプレイに“シートガイド キュウシジカン 5ビヨウ”と表示されたことを確認する。

シ	ー	ト	カ	イ	ト	キ	ュ	ウ	シ	シ	カ	ン
5	ビ	ヨ	ウ									

6 [印刷可] スイッチを押し、ディスプレイに“メモリスイッチ セッテイ キノウ”と表示されたことを確認する。

メ	モ	リ	ス	イ	ッ	チ	セ	ッ	テ	イ	キ	ノ	ウ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

7 [印刷可] スイッチを2回押し。

スペシャルメニューモードを終了します。

## 設定の詳細

ここでは、スペシャルメニューモードで設定できる内容を説明します。設定項目の（ ）内は選択できる設定値、【 】内は工場設定値です。

### パラメータ設定モード

センタリング位置、漢字コード表、フォントの選択などの設定を行います。

1. 用紙セット位置（【センタ】、レフト）  
カット紙をセットするとき、センタ（中央）にセットするかレフト（左端）にセットするかを指定します。連続紙を使用する場合は、この設定にかかわらず用紙を左端にセットしてください。
2. フロントトラクタセンタリング位置（10～【68】）  
フロントトラクタで用紙を吸入するときの印刷ヘッドセンタリング位置を10dpi文字の桁位置で指定します。
3. リアトラクタセンタリング位置（10～【68】）  
リアトラクタで用紙を吸入するときの印刷ヘッドセンタリング位置を10dpi文字の桁位置で指定します。
4. カット紙センタリング位置（10～【40】～68）  
カット紙吸入時の印刷ヘッドセンタリング位置を10dpi文字の桁位置で指定します。  
用紙をセットしたときの用紙の右端の桁位置より大きい桁位置を指定すると、用紙を正しく吸入できないことがあります。桁位置が用紙の中央となるように指定してください。この設定はハガキモード時は無効です。
5. 漢字コード表（【JIS1978年版】、JIS1983年版、JIS1990年版）  
漢字コード表を選択します。
6. フォント1/フォント2（【標準】、イタリック、クーリエ、ゴシック、OCR-B）  
フォントを選択します。フォント1はコマンドESC01で選択されるフォント、フォント2はコマンドESC02で選択されるフォントを示します。
7. 連続紙カット位置からの自動戻り時間（8秒、【15秒】、無限）  
連続紙がカット位置まで送られたとき、用紙を自動的に印刷位置に戻すまでの時間を選択します。
8. ハガキ印刷モード（ON、【OFF】）  
ハガキ印刷モードを設定します。この設定をONにすると、プリンタの電源スイッチをONにしたときの設定がハガキ印刷モードとなります。
9. シートガイドからの用紙吸入時間（【2秒】、3秒、4秒、5秒）  
セットした用紙が吸入されるまでの時間を選択します。
10. 自動用紙厚調整再実行時間（0秒、5秒、【10秒】、60秒、180秒、300秒、810秒、無限）  
シートフィータ使用時に用紙排出後、ここで設定した時間が経過すれば、次の用紙を吸入した時に自動用紙厚設定を行います。

## 11. LF ピッチ補正 — シートガイド (-5 ~ [0] ~ +5)

給紙方法	設定値 ([ ] は、初期設定)	補正量	内容
シートガイド	[0]	0mm	シートガイドの累積改行量の補正量を設定します。補正量は、254mm (10インチ) に対する補正值です。例えば、プレプリント用紙の罫線に対して印刷位置が上方向にずれる場合は、+方向の補正を行います。また、逆の場合は、一方向の補正を行います。
	±1	±0.3mm	
	±2	±0.6mm	
	±3	±0.9mm	
	±4	±1.2mm	
	±5	±1.6mm	

## 12. LF ピッチ補正 — シートフィーダ (-5 ~ [0] ~ +5)

給紙方法	設定値 ([ ] は、初期設定)	補正量	内容
シートフィーダ	[0]	0mm	シートフィーダの累積改行量の補正量を設定します。補正量は、254mm (10インチ) に対する補正值です。例えば、プレプリント用紙の罫線に対して印刷位置が上方向にずれる場合は、+方向の補正を行います。また、逆の場合は、一方向の補正を行います。
	±1	±0.3mm	
	±2	±0.6mm	
	±3	±0.9mm	
	±4	±1.2mm	
	±5	±1.6mm	

## 13. LF ピッチ補正 — フロントトラクタ (-5 ~ [0] ~ +5)

給紙方法	設定値 ([ ] は、初期設定)	補正量	内容
フロントトラクタ	[0]	0mm	フロントトラクタの累積改行量の補正量を設定します。補正量は、用紙の先端を検出してから254mm (10インチ) に対する補正值です。(1Sheet目に対する、その後のSheetの印刷位置ずれを1Sheet目の累積改行量の長さを調整することで補正します。) 例えば、プレプリント用紙の罫線に対して印刷位置が上方向にずれる場合は、+方向の補正を行います。また、逆の場合は、一方向の補正を行います。
	±1	±0.3mm	
	±2	±0.6mm	
	±3	±0.9mm	
	±4	±1.2mm	
	±5	±1.6mm	

## 14. LF ピッチ補正 — リアトラクタ (-5 ~ [0] ~ +5)

給紙方法	設定値 ([ ] は、初期設定)	補正量	内容
リアトラクタ	[0]	0mm	リアトラクタの累積改行量の補正量を設定します。補正量は、用紙の先端を検出してから254mm (10インチ) に対する補正值です。(1Sheet目に対する、その後のSheetの印刷位置ずれを1Sheet目の累積改行量の長さを調整することで補正します。) 例えば、プレプリント用紙の罫線に対して印刷位置が上方向にずれる場合は、+方向の補正を行います。また、逆の場合は、一方向の補正を行います。
	±1	±0.3mm	
	±2	±0.6mm	
	±3	±0.9mm	
	±4	±1.2mm	
	±5	±1.6mm	

## メモリスイッチ設定モード

ここでは、メモリスイッチ設定モードで設定できる内容の詳細について説明します。メモリスイッチで設定できる項目および初期設定値を次の表に示します。

機能項目	機能	OFF	ON	工場設定値	
MSW1	1	各国文字の切り替え		3つのスイッチON/OFFの組み合わせ*1により、日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデンの文字を切り替えます。	OFF
	2				OFF
	3				OFF
	4	データ受信方法の切り替え	従来互換	高速受信	OFF
	5	DC1、DC3コード処理の切り替え	有効	無効	OFF
	6	自動復改の切り替え	復帰改行	復帰のみ	OFF
	7	印刷指令コード切り替え	CRのみ	CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC b	OFF
	8	CR機能の切り替え	復帰のみ	復帰改行	OFF
MSW2	1	数字「0」の字体（1バイトコード系）	スラッシュなし	スラッシュ付き	OFF
	2	シートガイド使用時の用紙なし検出	印刷時検出	常時検出	ON
	3	ドット対応グラフィックドット数の初期設定	ネイティブモード	コピーモード	OFF
	4	未使用			
	5	HDパイカモード/HSパイカモードの初期設定	HDパイカ	HSパイカ	OFF
	6	7/8ビットデータの切り替え	8ビット	7ビット	OFF
	7	印刷桁数の切り替え	136桁	80桁	OFF
	8	印刷方向の初期設定	両方向	片方向	OFF
MSW3	1	自動用紙厚調整実行後の再吸入切り替え	再吸入しない	再吸入する	OFF
	2	PCモード/情処モード切り替え	PCモード	情処モード	OFF
	3	用紙吸入位置の記憶	記憶する	記憶しない	OFF
	4	シートフィーダの吸入コード	ESC a、FF、印刷データ+印刷指令コード	ESC a、FF、LF、US、VT印刷データ+印刷指令コード	OFF
	5	自動カット位置送り機能有効/無効	無効	有効	OFF
	6	改頁実行時のセンタリング動作切り替え	センタリングしない	センタリングする	OFF
	7	数字「0」の字体（2バイトコード系）	スラッシュなし	スラッシュ付き	OFF
	8	ミシン目スキップの初期設定	スキップしない	スキップする	OFF
MSW4	1	印刷ヘッド空打ち防止機能の有効/無効	有効	無効	OFF
	2	未使用			
	3	カット位置送り機能 用紙送り量	固定長	TOF+固定長	ON
	4	ドット列印刷モードの印刷方向の切り替え	片方向	両方向（MSW2-8をOFFにしてください）	ON
	5	高速印刷モードの初期設定	標準モード	高速印刷モード	OFF
	6	未使用			
	7	未使用			
	8	オートローディング方式（シートガイド自動吸入方式）の切り替え	オート方式	マニュアル方式	OFF

機能項目	機能	OFF	ON	工場設定値	
MSW5	1	待機モード移行時間の切り替え	15分	1分	ON
	2	待機モード復帰時の初期化動作切り替え	初期化動作する	初期化動作しない	ON
	3	吸入以外のセンタリング位置切り替え	自動検出による	センタリング位置設定による	OFF
	4	用紙左右端検出位置の切り替え	吸入位置の設定による	25.4mm (1インチ)	OFF
	5	用紙切れ判断の切り替え	用紙長設定に従う	用紙最下端付近まで印刷する	OFF
	6	未使用			
	7	拡大文字、罫線の両方向印刷制御の切り替え	印刷品位優先	スループット優先	OFF
	8	未使用			

\*1 MSW1-1～1-3の組み合わせ。表以外の組み合わせでは、すべてスウェーデン文字となります。

1. MSW1-1 各国文字の切り替え ([OFF]、ON)
2. MSW1-2 各国文字の切り替え ([OFF]、ON)
3. MSW1-3 各国文字の切り替え ([OFF]、ON)

MSW1-1～MSW1-3の3つのメモリスイッチを組み合わせ、各国の文字に切り替えます。メモリスイッチの組み合わせを次の表に示します。

各国文字	MSW1-1	MSW1-2	MSW1-3
アメリカ	OFF	ON	OFF
イギリス	ON	ON	OFF
ドイツ	OFF	OFF	ON
スウェーデン	ON	OFF	ON
【日本】	【OFF】	【OFF】	【OFF】

4. MSW1-4 データ受信方法の切り替え ([OFF]、ON)  
データ受信方法を高速受信にするか従来互換にするか切り替えます。高速受信の場合、同期コマンド等による受信同期機能は無効となります。
5. MSW1-5 DC1、DC3 コード処理の切り替え ([OFF]、ON)  
制御コードDC1、DC3を有効にするか、無効にするかを切り替えます。
6. MSW1-6 自動復改の切り替え ([OFF]、ON)  
バッファフル印刷を行うとき、復帰の動作を行うか、復帰改行動作を行うかを切り替えます。
7. MSW1-7 印刷指令コードの切り替え ([OFF]、ON)  
印刷指令コードをどの制御コードに割り当てるかを設定します。
8. MSW1-8 CR 機能の切り替え ([OFF]、ON)  
制御コードCRを受信したとき、復帰のみの動作を行うか、復帰改行動作を行うかを切り替えます。
9. MSW2-1 数字「0」(1バイトコード系)の字體 ([OFF]、ON)  
8ビットコード表、7ビットコード表において、数字「0」の書体を“0”とするか、“∅”とするかを切り替えます。
10. MSW2-2 シートガイド使用時の用紙無し検出 (OFF、【ON】)  
シートガイド使用時に用紙無し検出を印刷時のみ行うか、常時行うかを切り替えます。用紙無し検出をON(常時)にすると、用紙がセットされていないときに印刷可ランプが消灯します。
11. MSW2-3 ドット対応グラフィックドット数の初期設定 ([OFF]、ON)  
ドット対応グラフィックドット数の横ドット数の初期設定をネイティブモードにするか、コピーモードにするかを切り替えます。コピーモードにすると、横ドット数がネイティブモードのときの1/2になります。

12. MSW2-4 未使用
13. MSW2-5 HD パイカモード / HS パイカモードの初期設定 (【OFF】、ON)  
印刷モードの初期設定をHDパイカにするか、HSパイカにするか切り替えます。
14. MSW2-6 7/8 ビットデータの切り替え (【OFF】、ON)  
インタフェースのデータが7ビット有効か8ビット有効かを切り替えます。グラフィック (ドット列印刷) モードでのデータ転送は、このメモリスイッチの設定にかかわらず8ビット有効です。
15. MSW2-7 印刷桁数の切り替え (【OFF】、ON)  
1行に印刷する文字数を、10cpi文字で136桁にするか、80桁にするかを切り替えます。80桁に指定した場合、用紙のセット位置は左端基準の第1桁から第80桁が印刷範囲となります。
16. MSW2-8 印刷方向の初期設定 (【OFF】、ON)  
印刷方向を両方向最短印刷にするか、片方向印刷にするかを切り替えます。ドット列印刷の印刷方向は、MSW2-8とMSW4-4両方の設定が必要です。
17. MSW3-1 自動用紙厚調整実行後の再吸入切り替え (【OFF】、ON)  
用紙吸入時の自動用紙厚調整後に用紙の再吸入を実施しないか、再吸入を実施するかを切り替えます。この機能はリアトラクタ、もしくはオプションのフロントトラクタフィーダ使用時のみ有効です。
18. MSW3-2 PC モード / 情処モード切り替え (【OFF】、ON)  
PCモード/情処モードを切り替えます。
19. MSW3-3 用紙吸入位置の記憶 (【OFF】、ON)  
用紙吸入位置を微調整したとき、微調整後の吸入位置を記憶するか、しないかを切り替えます。ONにした場合、微調モードで微調整した値は記憶しないので、電源再投入後または強制リセット時に工場設定値に戻ります。
20. MSW3-4 シートフィーダの吸入コード (【OFF】、ON)  
シートフィーダの吸入コードは、一般的に吸入命令 (ESCa) を使用しますが、改行コード (LF、VT、複数改行) でも吸入を実行するか、しないかを切り替えます。
21. MSW3-5 自動カット位置送り機能の有効 / 無効 (【OFF】、ON)  
印刷終了後、自動的にカット位置まで用紙を送る機能を有効にするか、無効にするかを切り替えます。「ON」に設定すると自動カット位置送り機能が有効となります。
22. MSW3-6 改頁実行時のセンタリング動作切り替え (【OFF】、ON)  
次ページの印刷開始位置まで改行動作を行ったときに、印刷ヘッドをセンタリングしないか、センタリングするかを切り替えます。この機能はリアトラクタ、もしくはオプションのフロントトラクタフィーダ使用時のみ有効です。
23. MSW3-7 数字「0」(2 バイトコード系) の字体 (【OFF】、ON)  
漢字コード表において、数字「0」の書体を“0”とするか、“ø”とするかを切り替えます。
24. MSW3-8 ミシン目スキップの初期設定 (【OFF】、ON)  
電源ON時に連続紙のミシン目の前後約25.4mm(1インチ) の印刷をスキップするか、しないかを切り替えます。この機能は連続紙使用時に有効で、ONにするとスキップします。また、VFUコマンドによってボトムライン設定時は、その設定が優先されます。
25. MSW4-1 印刷ヘッド空打ち防止機能の有効 / 無効 (【OFF】、ON)  
有効 (OFF) にすると、用紙の左右端位置を自動的に検出し、プラテンへの空印刷によるプラテン汚れを防止します。
26. MSW4-2 未使用

## 27. MSW4-3 カット機能の用紙送り量 (OFF、【ON】)

カット時の用紙送り量を「固定長」にするか、「ページ先頭位置+固定長」にするかを切り替えます。[排出/カット]スイッチによるカット位置送りのみ有効です。

## 28. MSW4-4 ドット列印字モードの印刷方向 (OFF、【ON】)

ドット列印刷モードの印刷方法を、片方向にするか、両方向にするかを切り替えます。MSW2-8でON (片方向印刷) を指定している場合、MSW4-4をON (両方向) にしてもドット列印刷方向は片方向となります。

## 29. MSW4-5 高速印刷モードの初期設定 (【OFF】、ON)

電源ON時に高速印刷を選択するか、解除するかを切り替えます。

## 30. MSW4-6 未使用

## 31. MSW4-7 未使用

## 32. MSW4-8 オートローディング方式 (シートガイド自動吸入方式) の切り替え (【OFF】、ON)

シートガイドを使用するとき、用紙の吸入方式をマニュアル方式にするか、オート方式にするかを切り替えます。マニュアル方式では [吸入/退避] スイッチを押して用紙を吸入させますが、オート方式にするとカット紙はセットされてから一定時間 (パラメータ設定モードのシートガイドからの用紙吸入時間で設定した時間) 経過後に自動的に吸入されます。

## 33. MSW5-1 待機モード移行時間の切り替え (OFF、【ON】)

印刷動作やスイッチ操作が行われなくなってから待機モードに移行するまでの時間を、1分にするか、15分にするかを切り替えます。待機モードに移行すると待機電力が低下します (省電力)。トップカバーを開けているときは待機モードには移行しません。

## 34. MSW5-2 待機モード復帰時の初期化動作切り替え (OFF、【ON】)

待機モードから復帰するときプリンタの初期化動作を実施するか、初期化動作を実施しないかを切り替えます。ただし、初期化動作をしない設定の場合でも、15分経過後に待機モードから復帰した時は初期化動作を実施します。

## 35. MSW5-3 吸入以外のセンタリング位置切り替え (【OFF】、ON)

用紙を吸入するとき以外のセンタリング位置を、用紙左右端の自動検出による用紙中央位置にするか、パラメータ設定モードのセンタリング位置に従うかを切り替えます。トップカバーを開けているときはこのメモリスイッチの設定にかかわらず装置中央位置にセンタリングします。

## 36. MSW5-4 用紙左右端検出位置の切り替え (【OFF】、ON)

吸入位置設定が20.32mm (0.8インチ) 未満の場合に用紙左右端を検出する動作を、設定された吸入位置で行うか、用紙先端から25.4mm (1インチ) の位置で行うかを切り替えます。この機能はリアトラクタ、もしくはオプションのフロントトラクタフィーダ使用時のみ有効です。

## 37. MSW5-5 用紙切れ判断の切り替え (【OFF】、ON)

用紙切れによる排出動作を、用紙長設定に従って実施するか、用紙最下端付近まで印刷してから実施するかを切り替えます。用紙長設定と吸入された用紙の長さが一致していない場合に切り替えて使用します。

## 38. MSW5-6 未使用

## 39. MSW5-7 拡大文字、罫線の両方向印刷制御の切り替え (【OFF】、ON)

拡大文字、罫線、グラフィックの印刷において、印刷品位を優先するか、スループットを優先するかを切り替えます。印刷品位優先は両方向動作のままでも横方向の印刷ずれを抑えて印刷します。スループット優先は従来互換の動作です。

## 40. MSW5-8 未使用

## 罫線ぞろえ確認モード

罫線印刷位置のずれを調整します。

### 1. 罫線ぞろえ確認印刷

罫線ぞろえ確認印刷を行います。

以下の手順に従ってください。

#### 1 用紙をセットする。

カット紙または連続紙をセットしてください。用紙のセット方法については、2章「用紙の取り扱い」(26ページ)を参照してください。

#### 2 プリンタの電源スイッチをOFFにする。

#### 3 [印刷可] スイッチを押しながら電源スイッチをONにする。

スペシャルメニューモードに入り、“セッテイチ インサツ”と表示されます。

セ	ッ	テ	イ	チ	イ	ン	サ	ツ				
---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	--

#### 4 [印刷可] スイッチを3回押し、ディスプレイに“ケイセンゾロエ カクニン”と表示されていることを確認する。

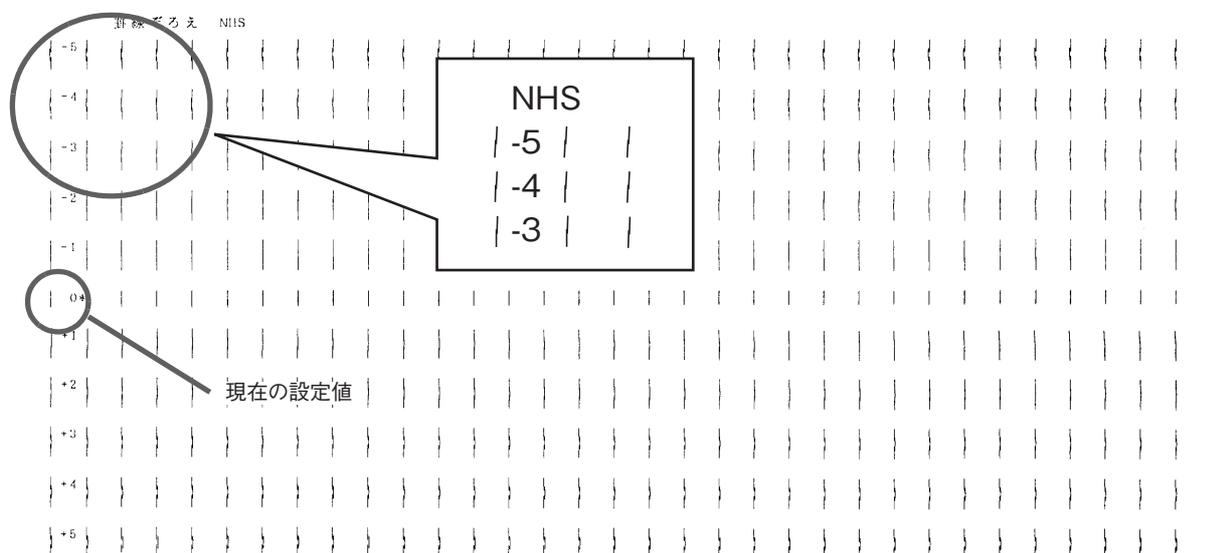
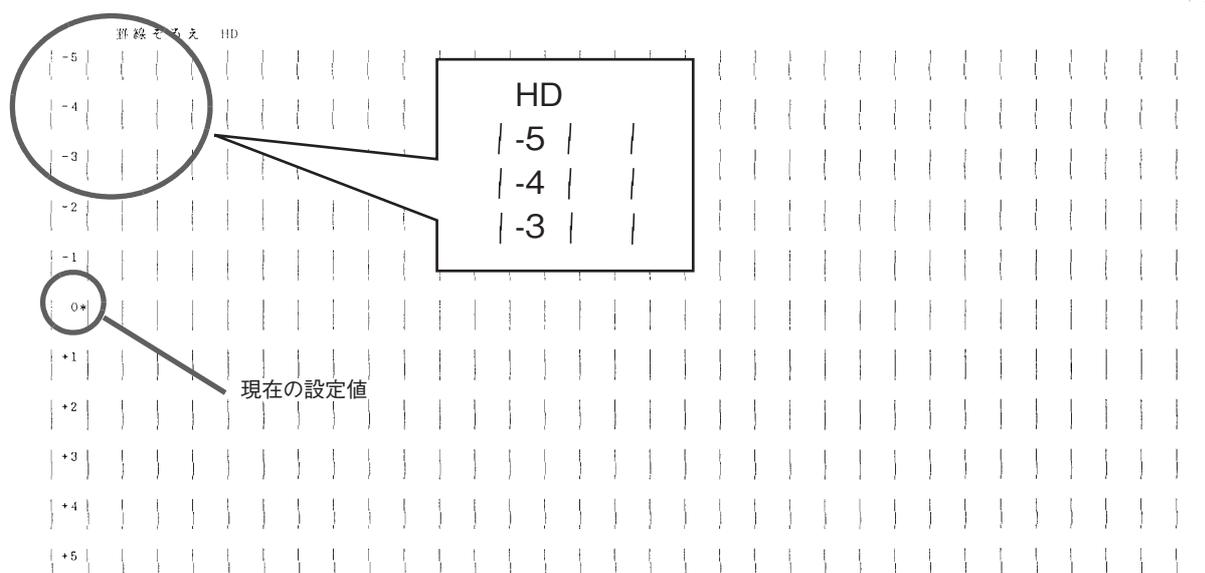
ケ	イ	セ	ン	ゾ	ロ	エ	カ	ク	ニ	ン		
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	--

#### 5 [▶] スイッチを押し、ディスプレイに“ケイセン カクニン インサツ”と表示されていることを確認する。

ケ	イ	セ	ン	カ	ク	ニ	ン	イ	ン	サ	ツ		
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	--

#### 6 [▼] スイッチまたは [▲] スイッチを押す。

次のように罫線ぞろえ確認印刷が出力されます。(例は連続紙の場合)



### 罫線ぞろえテストパターン

#### 2. 罫線ぞろえ HD (-5 ~ 【0】 ~ +5)

漢字、HDパイカの罫線印刷位置のずれを調整します。調整は右から左の方向に対して約0.035mm (1/720インチ) 単位で、-0.175mm (-5/720インチ) から+0.175mm (+5/720インチ) まで可能です。「1. 罫線ぞろえ確認印刷」の出力で罫線が揃うように調整してください。

#### 3. 罫線ぞろえ NHS (-5 ~ 【0】 ~ +5)

高速印刷漢字、高速印刷HDパイカ、NHSパイカの罫線印刷位置のずれを調整します。調整は右から左の方向に対して約0.035mm (1/720インチ) 単位で、-0.175mm (-5/720インチ) から+0.175mm (+5/720インチ) まで可能です。「1. 罫線ぞろえ確認印刷」の出力で罫線が揃うように調整してください。

## HEXダンプモード切り替え

プリンタが受信したデータを16進コードとデータに対する英数カタカナ文字で印刷します。HEXダンプモードはプログラムで正しく印刷できないときなど、その原因を見つけるために使用します。

### ✓チェック

- カバーオープンまたは排出アラーム中はHEXダンプモード切り替えを行うことはできません。
- 用紙サイズは、用紙幅A4縦以上のカット紙か、用紙幅254mm（10インチ）以上の連続紙をセットしてください。これより小さい用紙の場合、印刷データが全部印刷されない可能性があります。

### 1 印刷可ランプが点灯し、セレクト状態（印刷可能な状態）になっていることを確認する。

ディスプレイに“セレクト”と表示されていない場合は[印刷可]スイッチを押してセレクト状態に切り替えてください。（例は、給紙方法がフロントトラクタの場合です。）

セ	レ	ク	ト												
フ	ロ	ン	ト	ト	ラ	ク	タ								

### 2 [印刷可] スイッチを押したまま [改頁] スイッチを2回押す。

### 3 [印刷可] スイッチを押す。

印刷可ランプが点灯し、印刷可能状態になります。

HEXダンプモードに切り替えると、ディスプレイに“HEXダンプ”と表示されます。（例は、給紙方法がフロントトラクタの場合です。）

H	E	X	ダ	ン	プ										
フ	ロ	ン	ト	ト	ラ	ク	タ								

これでプリンタが受信したデータを16進コードとデータに対する英数カタカナ文字で印刷されます。

### 4 HEXダンプモードを終了するときは、[印刷可] スイッチを押しながら [改行] スイッチを2回押してプリンタを強制リセットする。

### ✓チェック

- データに該当する英数カナ文字がないときは、「.」を印刷します。
- HEXダンプを一時中断するときは、[印刷可] スイッチを押してください。もう一度押すと再開します。
- 途中で用紙がなくなった場合（ディスプレイ表示“ヨウシヨ セットシテクダサイ”）は、新しい用紙をセット・吸入してください。続きが印刷されます。
- ハガキ印刷モード時は無効となります。

# ネットワーク設定モード

ここでは、ネットワーク設定モードで変更できる設定項目、ネットワーク設定モードの入り方と終了方法および設定方法について説明します。

## ネットワーク設定モードで変更できる設定項目

ネットワーク設定モードで変更できる設定項目および初期設定値を次の表に示します。

機能項目	初期値
DHCP/BOOTP	OFF
RARP	OFF
IPアドレス	000.000.000.000
サブネットマスク	000.000.000.000
デフォルトゲートウェイ	000.000.000.000

## ネットワーク設定モードの入り方と終了方法

### ネットワーク設定モードの入り方

- 1 プリントサーバが装着された状態で「機能選択」スイッチを押しながらプリンタの電源スイッチをONにする。

ネットワークモードに入り、プリントサーバの装置名、バージョンがディスプレイに表示されます。

※表示例

装置名：PR-NP-17、バージョン：1.2.0のとき

P	R	-	N	P	-	1	7	セ	ッ	テ	イ		
								V	1	.	2	.	0

#### ✓チェック

- ・用紙なしの場合でもネットワーク設定モードに入ることができます。
- ・プリントサーバが装着されていない場合、またはプリントサーバの電源が入っていない場合、ネットワーク設定モードには入れません。
- ・ネットワークケーブルを接続しているとき、ネットワーク設定モードに入れない場合があります。このときは、プリントサーバ側のネットワークケーブルを外して、手順1をやり直してください。
- ・プリントサーバのバージョンが1.2.0より小さい場合、ネットワーク設定モードには入れません。プリントサーバの最新バージョンはWebで公開していますので、NECコーポレートサイト (<http://jpn.nec.com>) よりご確認ください。

### ネットワーク設定モードの終了方法

- 1 プリントサーバが装着された状態でディスプレイに“セッテイシマスカ？”が表示されているとき、「機能選択」または「高速印刷」スイッチを押す。ネットワークモードを終了します。

セ	ッ	テ	イ	シ	マ	ス	カ	？											
		ハ	イ	:	←								イ	イ	エ	:	→		

#### ✓チェック

「機能選択」スイッチを押した場合、設定した内容が確定します。  
「高速印刷」スイッチを押した場合、設定前の内容に戻ります。

## ネットワーク設定モード時のスイッチ機能

プリンタがネットワーク設定モードに入ると、操作パネル上のスイッチは次のような機能になります。

スイッチ		機能
通常の状態	ネットワーク設定モード時	
印刷可	メニュー	次の設定項目へ移動します。
改行	▲	設定値の変更スイッチとして機能します。これらのスイッチを押すことにより、各項目の数値が増減します。
改頁	▼	
機能選択	◀	対象のアドレスの設定フィールド位置を左へ移動します。 実行確認表示「セッテイシマスカ？」の場合は、設定内容を確定して、ネットワーク設定モードを終了します。
高速印刷	▶	対象のアドレスの設定フィールド位置を右へ移動します。 実行確認表示「セッテイシマスカ？」の場合は、設定内容を破棄後、ネットワーク設定モードを終了します。
上記以外のスイッチ		無効

# メニューツリー

ここでは、ネットワーク設定モードのメニューツリーを載せています。

## ネットワーク設定モードの入り方

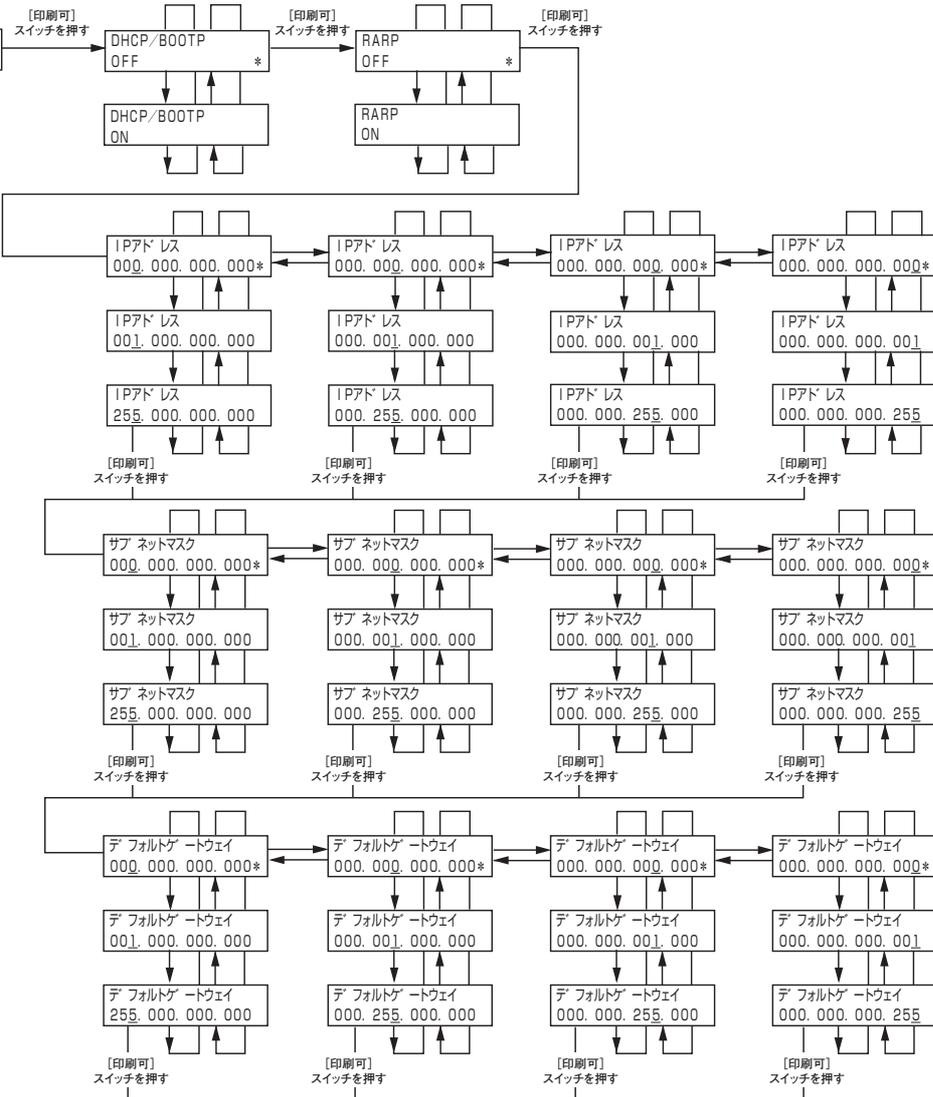
[機能選択] を押しながら  
電源スイッチをONにする



ネットワーク セットアップエラー  
パワーOFF シテグダ サイ

・プリントサーバが  
接続されていない  
・プリントサーバの  
バージョンが古い

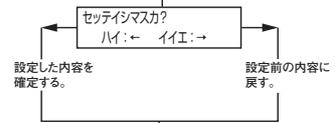
XXXXXXXXX セットアップ  
XX.X.X



図中の ← は [機能選択] スイッチを押す      図中の ↓ は [改訂] スイッチを押す  
 図中の → は [高速印刷] スイッチを押す      図中の ↑ は [改頁] スイッチを押す

XXXXXXXXX セットアップ  
XX.X.X

上段はプリントサーバの装置名、下段はバージョンを表示します



インチャライズ チェック

ネットワーク設定モード終了  
ディスプレイは「インチャライズ チェック」と表示後、  
通常表示に戻る



## 設定の詳細

ここでは、ネットワーク設定モードで設定できる内容を説明します。設定項目の（ ）内は選択できる設定値、【 】内は工場設定値です。

### 1. DHCP/BOOTP を使用する（【OFF】、ON）

DHCP/BOOTPプロトコルの動作を禁止／許可します。DHCP/BOOTPは起動時にDHCPサーバまたはBOOTPサーバよりIPアドレスの取得を行うプロトコルです。プリントサーバのIPアドレスをDHCP/BOOTPによって設定するためには、サブネットワーク内に適切に設定されたDHCPまたはBOOTPサーバが稼動していなければなりません。プリントサーバはDHCPとBOOTPを自動認識し、先に応答のあったIPアドレスを自分のアドレスとして採用します。

### 2. RARP を使用する（【OFF】、ON）

RARPプロトコルの動作を禁止／許可します。RARPは起動時にRARPサーバよりIPアドレスの取得を行うプロトコルです。プリントサーバのIPアドレスをRARPによって設定するためには、サブネットワーク内に適切に設定されたRARPサーバが稼動していなければなりません。

RARPによって設定されたIPアドレスはプリントサーバの動作には反映されますが、プリントサーバの記憶保存領域へ設定されません。プリントサーバの電源をOFFにすることにより、自動的にそのIPアドレスは消去されます。次の起動時以降もそのIPアドレスを用いて起動するには、固定したIPアドレスとしてプリントサーバに手動で設定する必要があります。

### 3. IP アドレス（【000.000.000.000】～ 255.255.255.255）

プリントサーバのIPアドレスを設定します。設定値は、10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定してください。

### 4. サブネットマスク（【000.000.000.000】～ 255.255.255.255）

プリントサーバのサブネットマスクを設定します。設定値は、10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定してください。0.0.0.0を設定するとこの項目は無効になり、IPアドレスに応じたサブネットマスクが自動的に使用されます。

### 5. デフォルトゲートウェイ（【000.000.000.000】～ 255.255.255.255）

ゲートウェイのIPアドレスを設定します。設定値は、10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定してください。

ゲートウェイはプリントサーバと同じサブネットワーク内に存在しなければなりません。0.0.0.0を設定するとこの項目は無効になります。

# 5章 オプション

この章では、MultImpact 201HE/201SE用として提供される別売品（オプション）を紹介し、その取り付け、取り外し、テスト印刷の方法などについて説明します。

- シートフィーダ ..... 85ページ
- トラクタフィーダ ..... 96ページ
- フロントトラクタフィーダ ..... 102ページ

シートフィーダ 85ページ  
(型番 PR-D201HE-04)

- ◇ カット紙を180枚までセットできます (坪量64g/m<sup>2</sup> (連量55kg) のA4サイズ of 用紙の場合)。
- ◇ 複写用紙も2枚綴りのものを50枚までセットできます (A4サイズの複写用紙の場合)。

トラクタフィーダ 96ページ  
(型番 PR-D201HE-03)

- ◇ 用紙の「張り」機能が付いています。
- ◇ 標準装備のトラクタユニット (リアトラクタとして使用) との組み合わせ、またはオプションのフロントトラクタフィーダと組み合わせて使用することでより高い精度で連続紙を送ることができます。

フロントトラクタフィーダ 102ページ  
(型番 PR-D201HE-13)

- ◇ 連続紙を前から給紙することができます。
- ◇ 標準装備のトラクタユニット (リアトラクタとして使用) を使って、2種類の連続紙を常時セットしたままで切り替えて使用できます。
- ◇ オプションのトラクタフィーダと組み合わせて使用することでより高い精度で連続紙を送ることができます。

プリントサーバ (LANアダプタ)  
(型番 PR-NP-17)

- ◇ 取り扱いについては、プリントサーバのオンラインマニュアルをご覧ください。

USB-パラレル変換ケーブル  
(型番 PR-NP-U01)

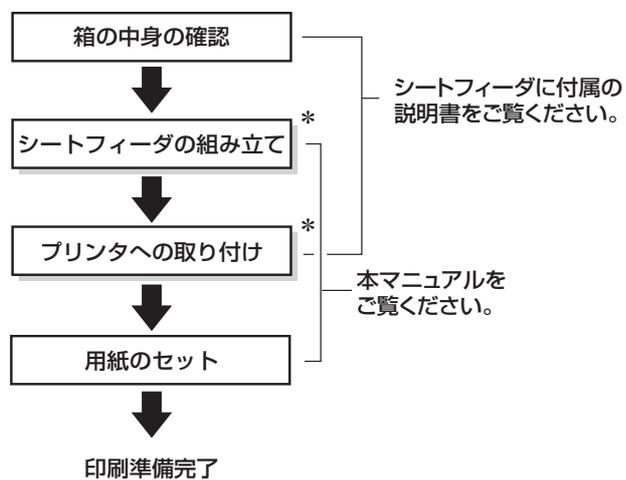
- ◇ 取り扱いについては、1章の「コンピュータに接続する」(25ページ) をご覧ください。

## オプション一覧

# シートフィーダ

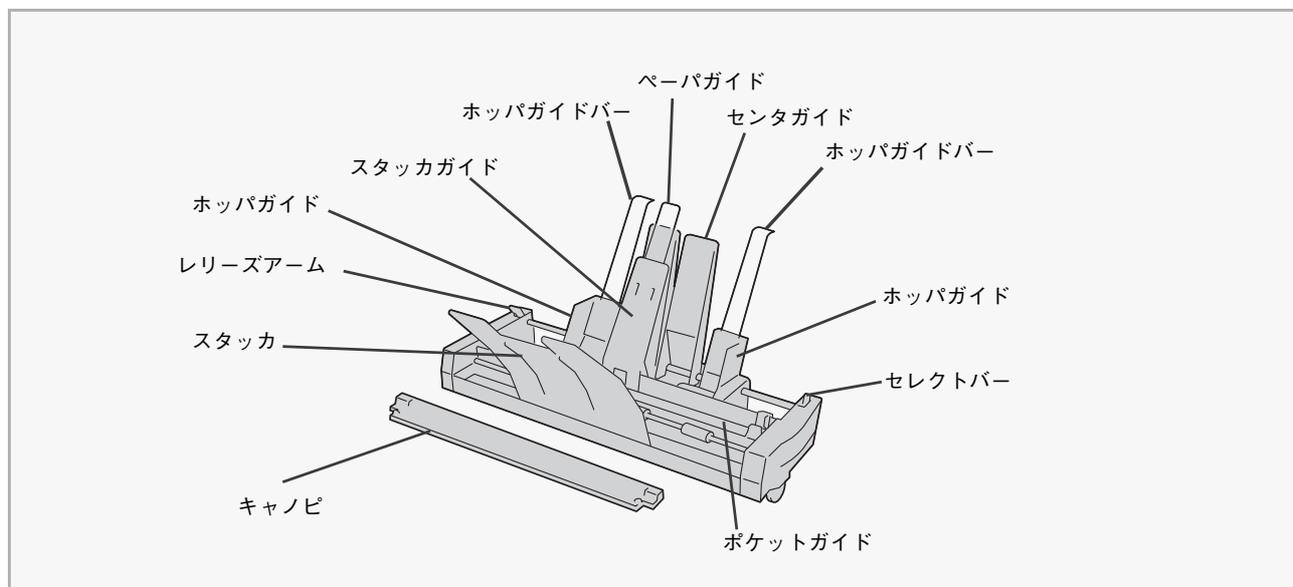
ここでは、PR-D201HE-04 シートフィーダのプリンタへの取り付け・取り外しと、用紙のセット方法について説明します。

シートフィーダを取り付けてから印刷準備完了までの手順は次のとおりです。



\* 「組み立て」と「取り付け」の説明は、本マニュアル、シートフィーダに付属の説明書とともに記載しております。

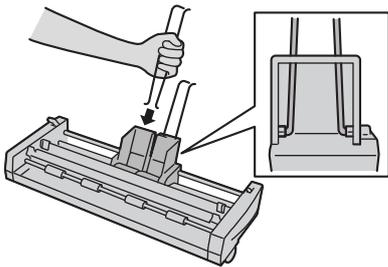
## 各部の名称



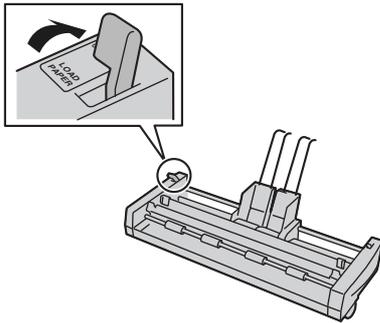
## 組み立て

### 1 ホッパガイドバーを取り付ける。

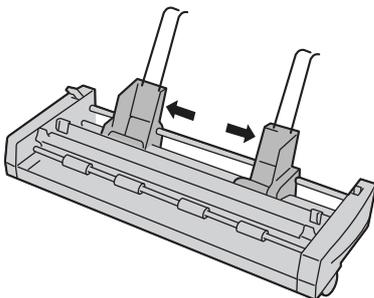
- 1) ホッパガイドバーを握って右側のホッパガイドの上から差し込み、ホッパガイドバーの先端をホッパガイド背面の穴に固定します。ホッパガイドバーの上部が奥方向にカーブする向きに取り付けてください。
- 2) 残りのホッパガイドバーを1)と同じ方法で左側のホッパガイドに取り付けます。



### 2 レリーズアームをOPERATE側（奥側）に倒す。

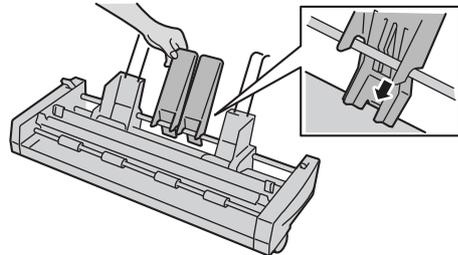


### 3 左右のホッパガイドを両端にそれぞれ移動させる。

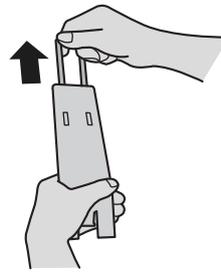


### 4 左右のホッパガイドの間にセンタガイドを取り付ける。

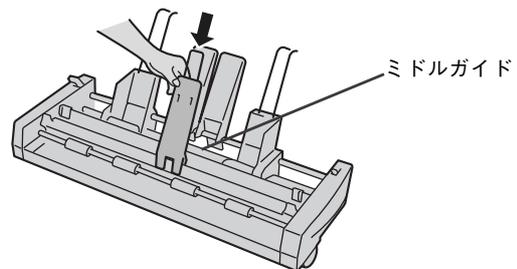
センタガイドの下端のつめで本体の金属部分をはさむようにして取り付けてください。



### 5 スタッカガイドの先端からペーパーガイドを適当な位置まで引き出す。



### 6 スタッカガイドをミドルガイド（透明なプラスチック板）の左右中央付近に差し込む。



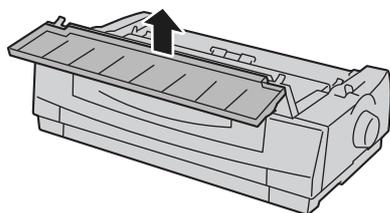
## 取り付け・取り外し

プリンタに用紙がセットされている場合は、シートフィーダを取り付ける前に取り除くか（カット紙、はがき）退避させるか（連続紙）してください。

### ✓チェック

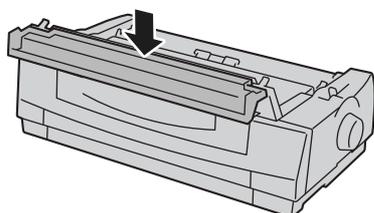
シートフィーダの取り付け・取り外しは、必ず電源をOFFにしてから行ってください。

- 1 プリンタの電源をOFFにする。
- 2 トップシートガイドを取り外す。
- 3 キャノピとトップカバーを開ける。
- 4 キャノピを取り外す。

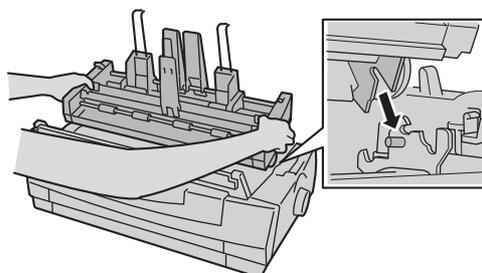


- 5 シートフィーダ用のキャノピを手順 4 と逆の手順でトップカバーに取り付ける。

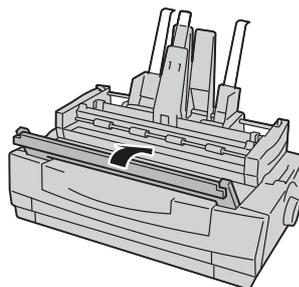
「カチッ」と音がするまではめ込んでください。



- 6 シートフィーダ下部の左右にある半月状の切り欠きをプラテン奥側にあるオプションスタンド（金属棒）に引っかけて、シートフィーダを奥方向に回転させながら取り付ける。

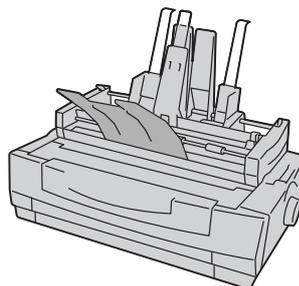


- 7 キャノピとトップカバーを閉める。



- 8 スタッカをシートフィーダ手前のスロットに差し込む。

スタッカを差し込む位置（中央または左）は、カット紙のセット位置に合わせてください。



- 9 電源をONにする。

これで取り付けは完了です。シートフィーダの取り外しは、取り付けと逆の手順で行います。

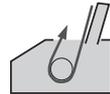
## カット紙のセット

### ✓チェック

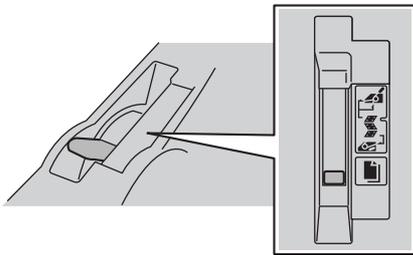
- シートフィーダには2種類以上の用紙を同時にセットしないでください。シートフィーダを使用する場合は、必ず1種類の用紙をセットしてください。
- 用紙をホッパへセットする前に用紙をさばいてください。

## ホッパからのセット

カット紙をまとめてセットして連続吸入させたいときは、ホッパを使います。次の手順に従ってください。



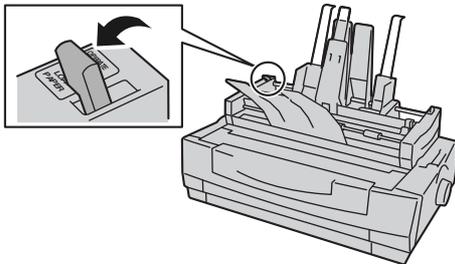
1 給紙選択レバーをカット紙（いちばん手前）にする。



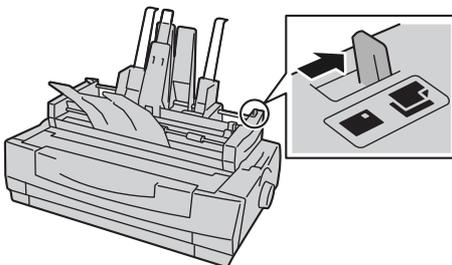
2 電源をONにする。

プリンタ内にカット紙が残っていれば排出されます。

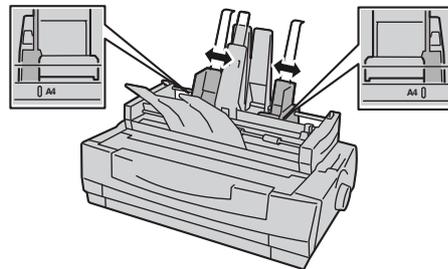
3 レリーズアームをLOAD PAPER側（手前側）に倒す。



4 セレクトレバーをカット紙（奥側）にする。

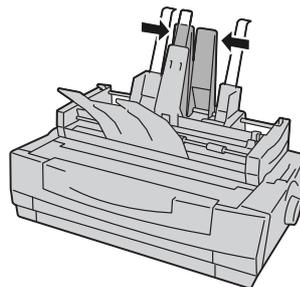


5 ミドルガイド上の用紙スケールを参考にして、左右のホッパガイドを使用するカット紙の幅に合わせる。



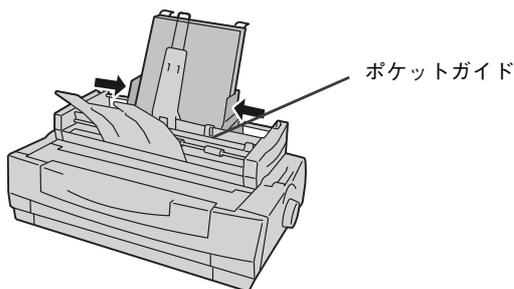
6 センタガイドを左右のホッパガイドの中央にくるように移動させる。

使用するカット紙の幅が狭いためセンタガイドを取り付けるスペースがない場合は、センタガイドを取り外してください。



- 7 まとめたカット紙を十分にさばいてから用紙端をそろえ、印刷する面を下にしてホッパにセットし、ホッパガイドを用紙に合わせる。

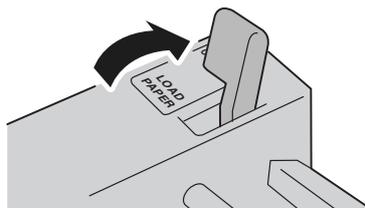
左右のポケットガイドはそれぞれ両端に寄せておいてください。



#### ✓ チェック

- 紙質あるいは厚さの異なるカット紙を混ぜてセットすることは避けてください。うまく吸入されないことがあります。
- ホッパに一度にセットできるカット紙の枚数は、坪量64g/m<sup>2</sup> (連量55kg) の用紙の場合、A4サイズで最高180枚、A3サイズで最高100枚です。

- 8 レリーズアームをOPERATE側 (奥側) に倒す。



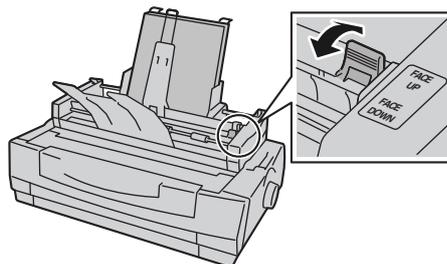
- 9 [吸入/退避] スイッチを押す。

カット紙が1枚ホッパから自動的に吸入されます。

ここでカット紙の吸入位置を微調整することができます。「用紙吸入位置の微調整」(41ページ)をご覧ください。

- 10 カット紙をスタッカガイドに排出するときはイジェクトレバーをFACE UP側 (奥側) に、スタッカに排出するときはイジェクトレバーをFACE DOWN側 (手前側) にする。

カット紙をスタッカガイドに排出すると印刷面を上にして積み重ねられるので、印刷結果を確認しながら印刷を行うことができます。一方、スタッカに排出すると印刷面を下にして積み重ねられるので、数ページにわたる文書を印刷したときに用紙をページ順に並べ直す必要がなくなります。



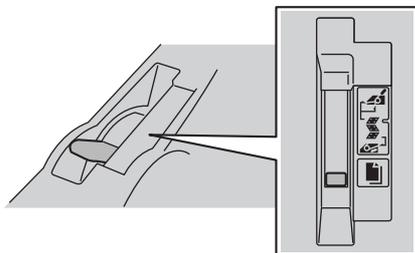
#### ✓ チェック

- スタッカまたはスタッカガイドに一度に積み重ねることができるカット紙の枚数は、坪量64g/m<sup>2</sup> (連量55kg) のA4サイズの場合スタッカで90枚以下、スタッカガイドで50枚以下です。
- 印刷の途中でホッパに用紙がなくなった (用紙ランプ点灯) 場合は、新しいカット紙をセット・吸入してください。続きが印刷されます。
- 印刷枚数が少ない場合は、手差し (ポケット) をご使用ください。
- 印刷範囲より狭い用紙は使用しないでください。印刷ヘッドやプラテンを傷つけることがあります。

## ポケットからのセット

シートフィーダを取り付けたままカット紙を手差しで1枚ずつセットして吸入させたいときは、ポケットを使います。次の手順に従ってください。

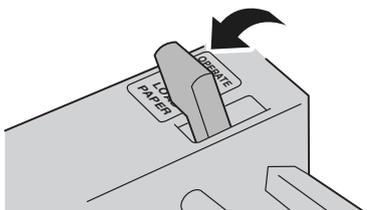
- 1 給紙選択レバーをカット紙（いちばん手前）にする。



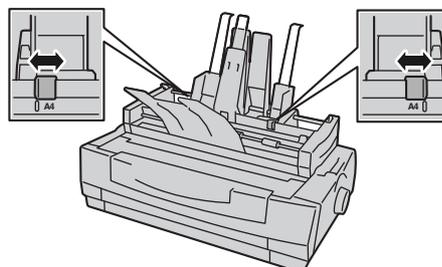
- 2 電源をONにする。

プリンタ内にカット紙が残っていれば排出されます。

- 3 レリーズアームをLOAD PAPER側（手前側）にする。

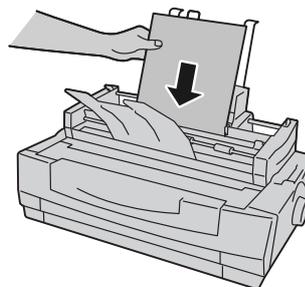


- 4 ミドルガイド上の用紙スケールを参考にして、左右のポケットガイドを使用するカット紙の幅に合わせる。



- 5 [カット紙1枚を水平にして、印刷する面を下にしてポケットの中に突き当たるまで差し込む。

カット紙はポケットの中から自動的に吸入されます。



ここでカット紙の吸入位置を微調整することができます。「用紙吸入位置の微調整」(41ページ)をご覧ください。

### ✓チェック

- ポケットを使う場合は、プラテンノブを使っての逆方向改行は行わないでください。ホッパからカット紙を吸入してしまうことがあります。
- 印刷範囲より幅の狭い用紙は使用しないでください。印刷ヘッドやプラテンを傷つけることがあります。
- 坪量64g/m<sup>2</sup>（連量55kg）未満の用紙は、イジェクトレバーをFACE UP側（奥側）にして使用してください。
- シートフィーダを取り付けた状態では、フロントシートガイドからの手差し印刷はできません。手差し印刷を行う場合は、ポケットをお使いください。

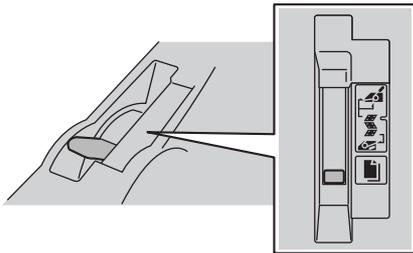
## はがきのセット

はがきをまとめてセットして連続吸入させたいときは、次の手順に従ってください。なお、はがきに印刷するときは、第2章の「はがきに印刷する」(44ページ)に必ず目を通してください。

### ✓チェック

- はがきは70枚までセットできます。
- シートフィーダには2種類以上の用紙を同時にセットしないでください。シートフィーダを使用する場合は、必ず1種類の用紙をセットしてください。

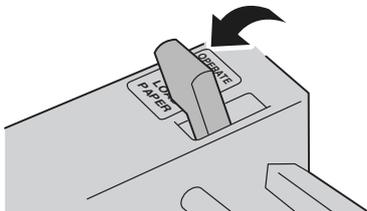
1 給紙選択レバーをカット紙（いちばん手前）にする。



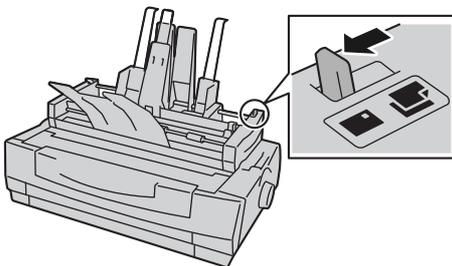
2 [高速印刷] スイッチを押しながら電源をONにする。ディスプレイに“シートフィーダ ハガキ”と表示されます。

3 ホッパにセットされている用紙があれば取り除く。

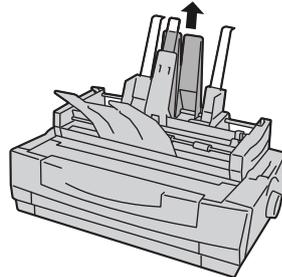
4 レリーズアームをLOAD PAPER側（手前側）に倒す。



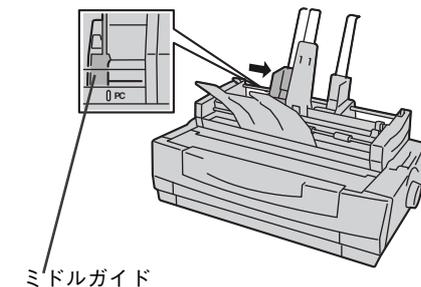
5 セレクトレバーをはがき（手前側）にする。



6 センタガイドを取り外す。



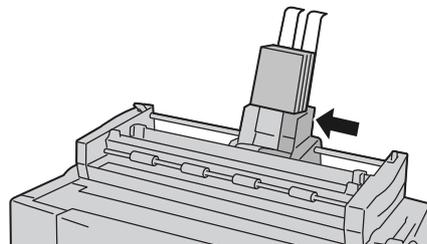
7 左側のホッパガイドをミドルガイド上の用紙スケールの「PC」の位置に動かす。



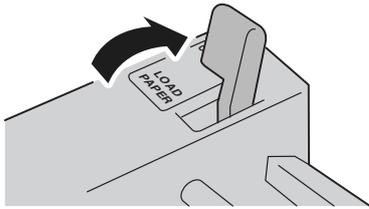
ミドルガイド

8 右側のホッパガイドをはがきの縦置きまたは横置きの幅に移動させる。

まとめたはがきを十分にさばいてから端をそろえ、印刷する面を下にしてホッパにセットします。ホッパには一度に70枚までの官製はがきをセットすることができます。



## 9 レリーズアームをOPERATE側（奥側）に倒す。

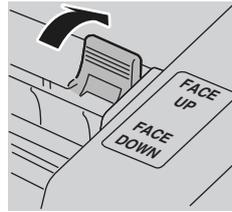


## 10 [吸入/退避] スイッチを押す。

はがきが1枚ホッパから自動的に吸入されます。

ここで、はがきの吸入位置を微調整することができます。「用紙吸入位置の微調整」(41ページ)をご覧ください。

## 11 イジェクトレバーをFACE UP側（奥側）にする。



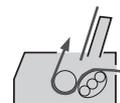
## チェック

- はがきの排出は、必ずイジェクトレバーをFACE UP側（奥側）にして行ってください。はがきは印刷面を上にしてスタッカガイドに積み重ねられます。なお、スタッカガイドには官製はがきで30枚まで排出することができます。
- はがき吸入時あるいは印刷中に紙づまり、改行不良などが発生した場合は、電源をOFFにしてから手作業またはプラテンノブを回してはがきを取り除いてください。
- 手順2で選択されたハガキ印刷モードは、電源をOFFにすると解除されます。電源をOFFにしてもハガキ印刷モードが解除されないようにしたい場合は、パラメータ設定でハガキ印刷モードを選択してください。

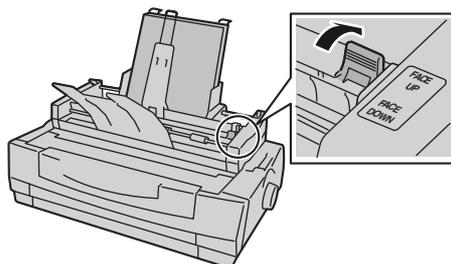
## シートフィーダ使用時の注意

### カット紙と連続紙の切り替え印刷について

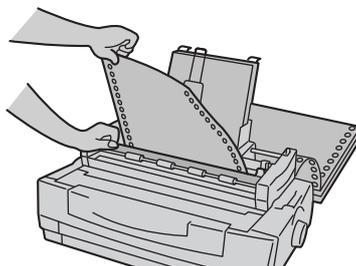
シートフィーダを取り付けたままでも連続紙に印刷することができます。カット紙と連続紙の切り替え手順はシートフィーダを取り付けていない場合と同じですが、次の点に注意してください。



- ・ 連続紙をセットするときは、カバーを開けたままシートフィーダを取り外してセットしてください。用紙セット後にシートフィーダを取り付けてカバーを閉じてください。
- ・ イジェクトレバーはFACE UP側（奥側）にしてください。



- ・ スタッカは取り外してください。
- ・ シートフィーダを取り付けていても、連続紙のカット機能を使うことができます（「連続紙のカット」（39ページ）参照）。カットするときは、イジェクトレバーの先端にミシン目を合わせ、イジェクトレバーを押さえながら連続紙を手前に引っ張ってカットしてください。



- ・ シートフィーダ使用時はフロントシートガイドからの給紙はできません。

### 用紙吸入位置の微調整について

シートフィーダ使用時に用紙吸入位置の微調整を行う場合、吸入中の用紙がある時に微調モードで▼スイッチを押すと、吸入中の用紙は排出されます。その後、新しい用紙が吸入されるので、続けて▲スイッチを押して微調整を行ってください。

「用紙吸入位置の微調整」（41ページ）をご覧ください。

#### ✓ チェック

用紙吸入位置の微調整可能範囲は、用紙上端から第1印刷行（文字下端）までの距離がカット紙、連続紙共に8.5～27.9mmになる範囲です。

## 清掃

シートフィーダを快適にご利用いただくために、次の方法で清掃してください。

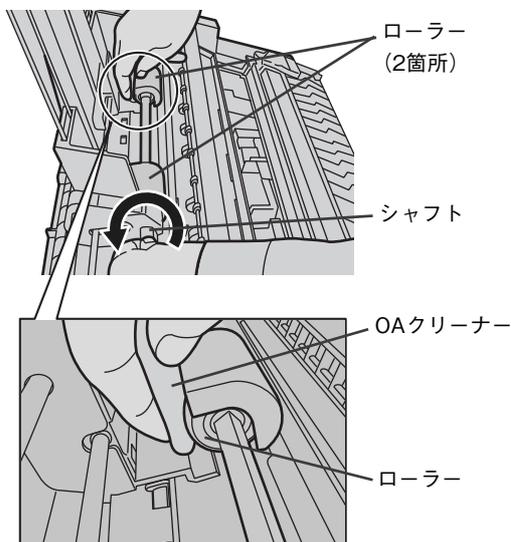
### 清掃箇所

塵埃がローラーに付着すると、用紙の重送（同時に数枚の用紙を送る）や斜行等の搬送不良を誘発する場合がありますので、ローラー清掃を行ってください。  
次の手順でローラ清掃を行ってください。

#### 1. ホッパーガイド部ローラー（2ヶ所）清掃

1 電源をOFFにしてください。

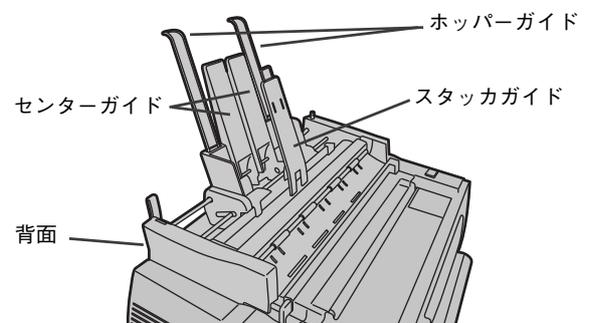
2 無水エタノールまたはOAクリーナー等を柔らかい布にふくませ、ローラーにあて、片方の手でシャフトを回転し、清掃してください。



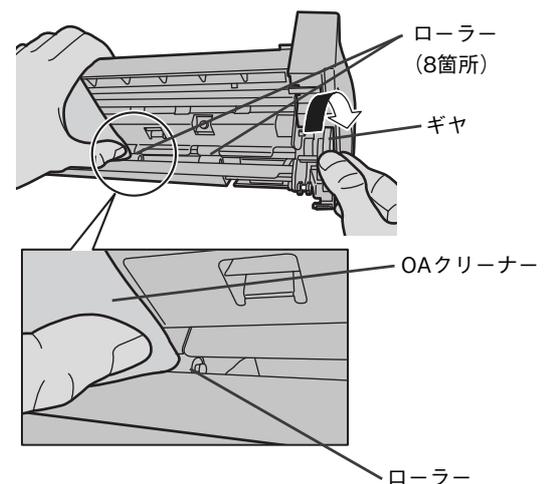
#### 2. 背面部ローラー（8ヶ所）清掃

1 電源をOFFにしてください。

2 ホッパーガイド、センターガイド、スタッカーガイドを外し、シートフィーダをプリンタ本体から取り外してください。



3 シートフィーダの背面を下にして立て、無水エタノールまたはOAクリーナー等を柔らかい布にふくませ、シートフィーダー内部のゴムローラーにあて、片方の手でギヤを回転し、清掃してください。



## 用紙保管上の注意

使用しない状態で長時間用紙をシートフィーダにセットしておく、用紙表面に塵埃が付着したり、用紙に曲がり癖がついて用紙の重送・斜行等の搬送不良を誘発する場合があります。

長時間使用しない場合はシートフィーダから用紙を外し、袋等に入れて平坦な場所において保管してください。

## 用紙がつまったときは

用紙吸入時にカット紙がつまったときは、ディスプレイに“ヨウシラ セット シテクダサイ”（用紙ランプ点灯）または“ヨウシ ツマリ”（用紙ランプ、アラームランプ点滅）が表示されます。また、排出時につまったときは、ディスプレイに“ヨウシ ハイシュツ エラー”（用紙ランプ、アラームランプ点滅）が表示されます。このようなときは、次の手順に従って処理してください。

- 1 プラテンノブを時計回りに回して、つまったカット紙を取り除く。
- 2 [吸入/退避] スイッチを押す。  
カット紙が吸入され、用紙ランプが消灯します。



シートフィーダを着脱する際は、カバーを開けたまま作業を行ってください。元の状態に戻さずカバーを閉めると、オプション着脱エラーとなってしまいます。

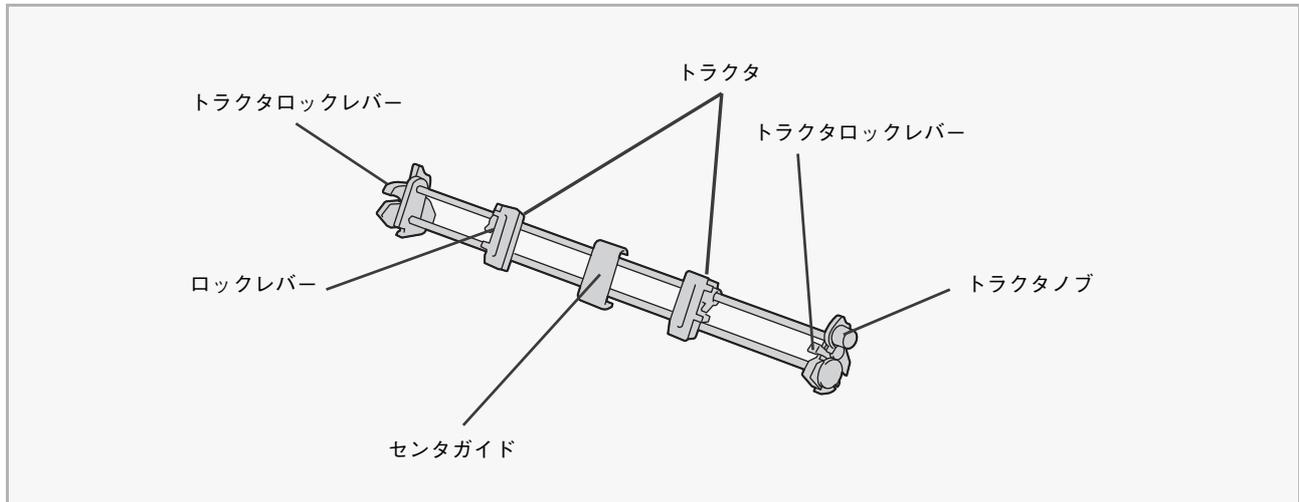
## その他

- ・ 用紙吸入位置から下へ約50.8mm（2インチ）の領域に印刷するときは、改行するたびに印刷ヘッドが自動的に中央に移動（センタリング）するため、印刷速度が少し落ちます。
- ・ カット紙がプリンタ内に残ったまま電源を ON にしたりソフトウェアリセットや強制リセットを行ったりしたときは、そのカット紙は自動的に排出されます。
- ・ ホッパにカット紙がセットされている、いないにかかわらず、用紙ランプは消灯しています。
- ・ シートフィーダを使ってテスト印刷を行うときは、あらかじめ用紙を吸入しておく必要はありません。[改頁] スイッチを押しながら電源を ON にすると、カット紙が自動的に吸入されてテスト印刷が始まります。（カット紙があらかじめ吸入されていた場合、プリンタはそのカット紙を排出してから新しいカット紙を吸入してテスト印刷を開始します。）
- ・ シートフィーダでは逆改行はできません。

# トラクタフィーダ

トラクタフィーダは、トラクタユニット（リアトラクタとして標準装備）またはオプションのフロントトラクタフィーダと一緒に使用することで、トラクタユニットを単独で使うときに比べてより高い精度で連続紙を送ることができます。複写式の連続紙やラベル紙などに印刷するときにはトラクタフィーダのご使用をお勧めします。

## 各部の名称



## 取り付け・取り外し

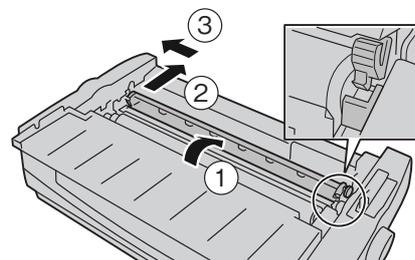
次の手順でトラクタフィーダを取り付けてください。

### ✓チェック

- ・ トラクタフィーダの取り付け・取り外しは、必ず電源をOFFにしてから行ってください。
- ・ トラクタフィーダは、リアトラクタとしてはご使用できません。

- 1 電源をOFFにする。
- 2 トップシートガイドを取り外す。
- 3 キャノピを開ける。
- 4 フィードローラユニットを取り外す。

- ① フィードローラユニットを固定している左右の爪を押しながらか外して後方へ開いてください。
- ② 左側を後ろへ軽く押して、プリンタから取り外します。
- ③ 左へずらして、フィードローラユニット自体をプリンタから取り外します。

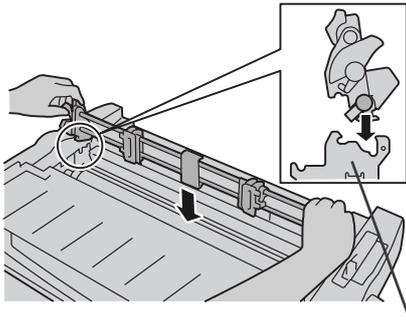


### ✓チェック

フィードローラユニットはトラクタフィーダを取り付けたときは使用しませんが、大切に保管してください。

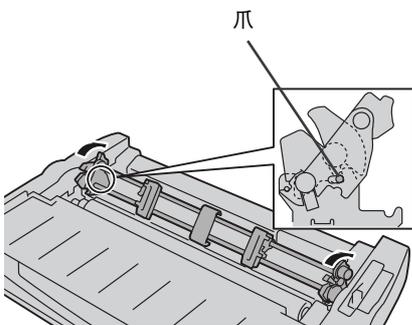
## 5 トラクタフィーダを取り付ける。

- 1) 両端のサイドフレームの凹みにトラクタフィーダを合わせて垂直に入れます。



サイドフレーム

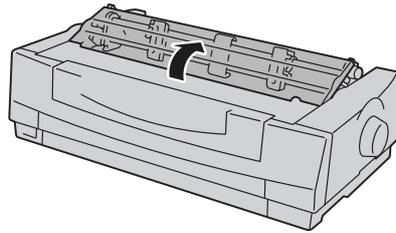
- 2) 左右のトラクタのロックレバーを押しながら、トラクタフィーダを後ろへ倒します。ロックレバーから手をし、爪の部分を実サイドフレームに引っ掛けます。



✓ チェック

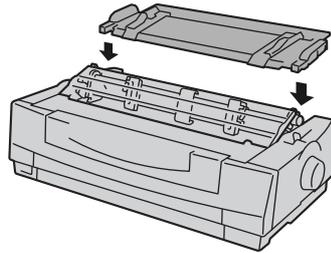
トラクタフィーダが確実に固定されたことを確認してください。固定されていないと用紙が送られません。

## 6 キャノピをトラクタフィーダにかぶせる。



## 7 トップシートガイドを水平に取り付ける。

トップシートガイドの取り付け位置については、31ページをご覧ください。

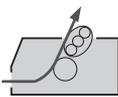
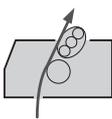
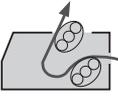
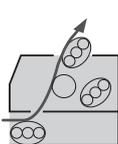


これで取り付けは完了です。

トラクタフィーダの取り外しは、取り付けと逆の手順です。

## 連続紙のセット

トラクタフィーダでの給紙方法は4種類あります。

使用するトラクタと給紙方法		給紙経路	給紙選択レバーの位置
トラクタフィーダのみ	前から		トップトラクタ (手前から3番目)
	底から*1		
トラクタフィーダと トラクタユニット (リアトラクタ)	後ろから		リアトラクタ (手前から2番目)
トラクタフィーダと フロントトラクタフィーダ (オプション)	前から		フロントトラクタ*2 (いちばん奥)

\*1 複写式の連続紙やラベル紙などに印刷する場合にお勧めします。

\*2 フロントトラクタの位置にはストップが付いているので、取り外してから選択してください (106 ページ参照)。

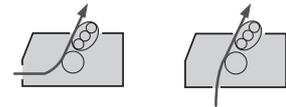
### ✓ チェック

- 印刷範囲より幅の狭い用紙は使用しないでください。印刷ヘッドやプラテンを傷つけることがあります。
- [排出/カット] スイッチ、ハガキ印刷モードは無効になります。
- トラクタフィーダ使用時には、連続紙のカット機能は使えないため、プラテンノブを使ってカットします。

## トラクタフィーダのみを使う場合 —前または底から給紙する—

前から給紙

底から給紙



### 1 給紙選択レバーをカット紙（いちばん手前）にする。

### 2 電源をONにする。

電源ランプと用紙ランプが点灯し、ディスプレイに“フロント マタハ ボトム ニ ヨウシラ セット シテクダサイ”と表示されます。

“フロント マタハ ボトム ニ ヨウシラ セット シテクダサイ”は、前または底から給紙できるという表示です。これはトラクタフィーダが取り付けられており、給紙選択レバーがカット紙になっているときに表示されます。表示中はカット紙が使えません。

#### ✓チェック

カット紙を使用する場合には、トラクタフィーダを取り外してください。

### 3 トップシートガイドを水平な状態にして、左右のペーパーセットピースを両端いっぱい広げる。

### 4 使用する用紙経路に合わせて連続紙を挿入する。

用紙は突き当たるまで挿入してください。用紙が挿入されると用紙ランプが消灯し、用紙が吸入されます。

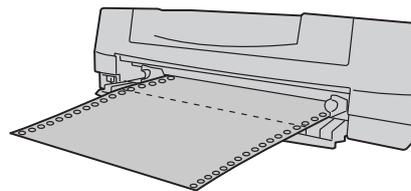
#### ✓チェック

幅の狭い用紙を吸入する場合は、用紙を左側に寄せてから吸入してください。

用紙が吸入されると、ディスプレイには“レバーヲ トップトラクタ ニ モドシテクダサイ”と表示されますが、給紙選択レバーをトップトラクタの位置にすれば消えます。

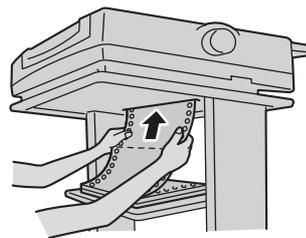
### ● 前から給紙するときは

- 1) フロントカバーを開けます。
- 2) フロントシートガイドの左右のペーパーセットピースを両端いっぱい広げます。
- 3) 印刷したい面を上にして、用紙を挿入します。自動的に吸入されます。

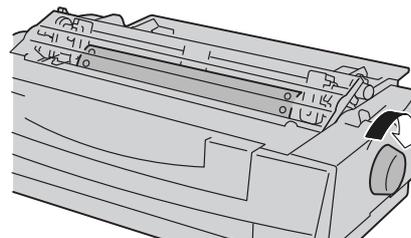


### ● 底から給紙するときは

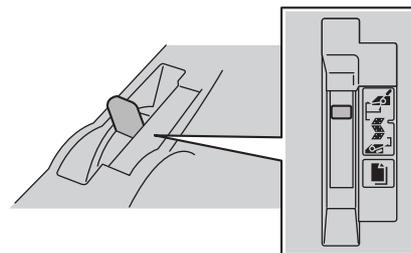
印刷したい面を手前にして、プリンタの底の穴から用紙を挿入します。自動的に吸入されます。



### 5 プラテンノブを回して、用紙をトラクタフィーダの位置まで引き上げる。

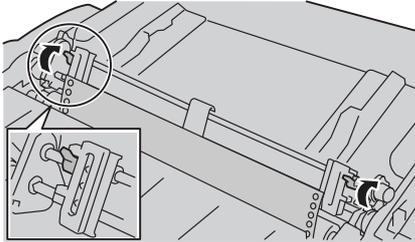
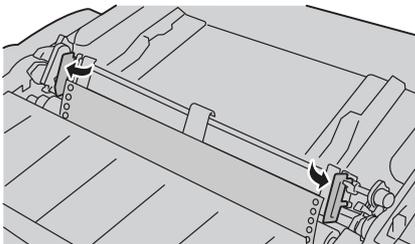


### 6 給紙選択レバーをトップトラクタ（手前から3番目）にする。



**7** キャノピを開ける。

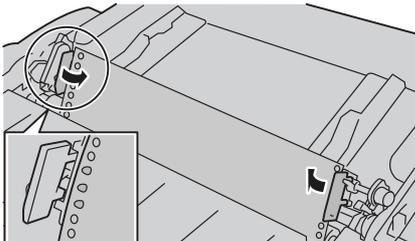
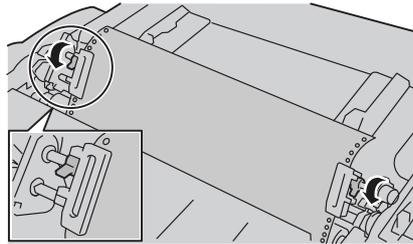
電源をONにしたままキャノピを開けると、ディスプレイに“カバー オープン”と表示されます。キャノピが閉められれば(手順E)表示が消えます。

**8** トラクタフィーダの左右のトラクタのロックレバーを上げてロックを解除する。**9** 用紙幅に合わせてトラクタを移動させ、左右のトラクタカバーを開ける。また、センタガイドを左右のトラクタの中央にくるように移動させる。**10** 連続紙をセットし、トラクタカバーを閉める。

連続紙は左端に合わせてセットしてください。

トラクタの位置を微調整しながら連続紙の先端左右の用紙送り穴をトラクタピンにはめ込み、トラクタカバーを閉めます。

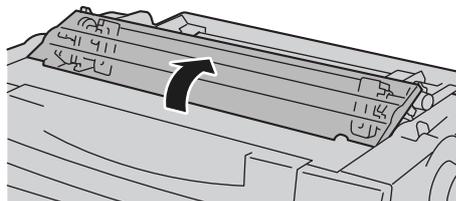
セットする連続紙のストック分がプリンタと平行になるように置いてください。

**11** 連続紙が左右方向にたるまないようにトラクタの位置を決めたら、左右のロックレバーを下げてロックする。**12** トラクタフィーダを他のトラクタと併用して使用する場合(フロントトラクタフィーダまたはリアトラクタ)は、用紙のたるみがなくなるまで、トラクタノブを十分に押し込みながら時計回りに回す。

用紙を張りすぎないようにしてください。

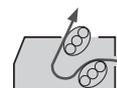
**13** 第1印刷行はカードホルダ左右にある2本の凸状の線の間にくるので、位置が合わない場合は、プラテンノブを回して調整する。**14** キャノピをトラクタフィーダにかぶせる。

インジケータ表示が消えます。

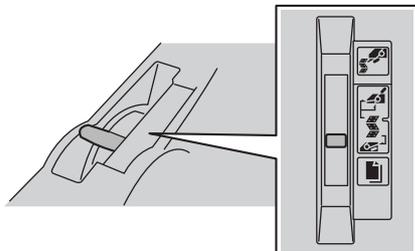
**15** [印刷可] スイッチを押して印刷可ランプを点灯させる。

**リアトラクタとあわせて使う場合 —後ろから給紙する—**

リアトラクタとあわせて使い、用紙を後ろから給紙する場合の連続紙のセット方法は次のとおりです。



- 1** 給紙選択レバーをリアトラクタ（手前から2番目）にする。



- 2** リアトラクタに用紙をセットする。

- 3** 電源をONにする。

- 4** [吸入/退避] スイッチを押して用紙を吸入する。

- 5** いったんキャノピを開けてから、[改頁] スイッチを押して用紙をトラクタフィーダの位置まで送る。

- 6** トラクタフィーダに用紙をセットする。

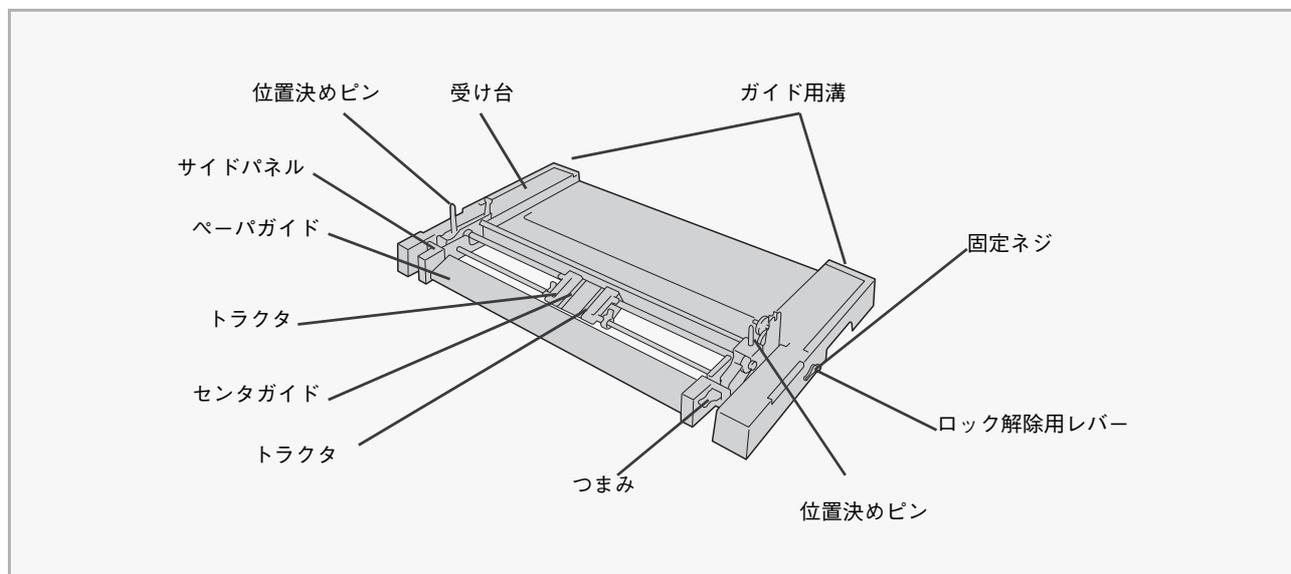
99、100ページの手順 5から手順 14までをご覧ください。

- 7** [印刷可] スイッチを押して印刷可ランプを点灯させる。

# フロントトラクタフィーダ

フロントトラクタフィーダを取り付ければ、リアトラクタとあわせて2種類の連続紙を常時セットしたままで切り替えて使用することができます。また、トラクタフィーダ（オプション）と組み合わせて使用することで、より高い精度で用紙送りを行うことができます。

## 各部の名称



## 取り付け・取り外し

### 取り付け

次の手順でフロントトラクタフィーダを取り付けてください。

#### ✓ チェック

- 安全のために取り付け・取り外しは二人以上で行うことをお勧めします。
- 取り付け・取り外しの作業はプリンタとフロントトラクタフィーダが並べて置ける、水平で安定した机や台の上で行ってください。
- フロントトラクタフィーダの取り付け・取り外しは、必ず電源をOFFにしてから行ってください。
- フロントトラクタフィーダをむやみに取り外すことはおやめください

**1** 電源をOFFにし、電源コードをコンセントから抜く。

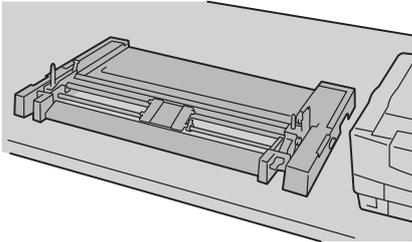
**2** プリンタを作業する机や台に移動させる。

プリントとフロントトラクタフィーダが並べて置ける、水平で安定した机や台の上に移動してください。

## 3 フロントトラクタフィーダを図のように置く。

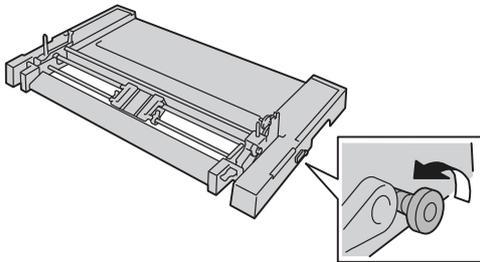


前後左右の向きに注意してください。



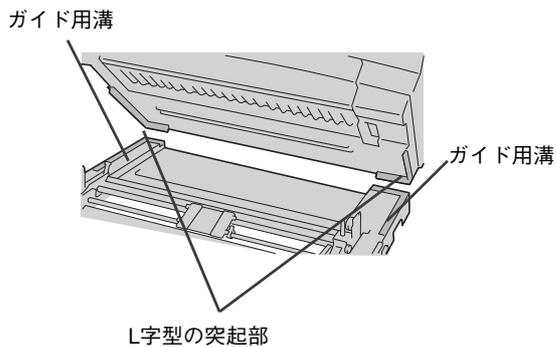
## 4 左右にある固定ネジを反時計方向に回して、十分にゆるめる。

固定ネジは反時計方向に回すと外に出てきます。

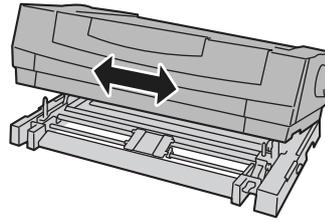


## 5 フロントトラクタフィーダを取り付ける。

1) まず、プリンタを持ち上げ、底面の角にあるL字型の突起部を、プリンタの後部から受け台のガイド用溝に合わせます。



2) プリンタの後部を前後左右にゆすって、突起部がガイド用溝にきちんとはまっていることを確認します。

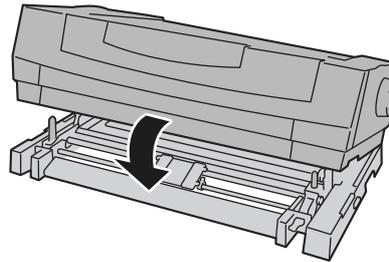


3) プリンタの前部をゆっくり下に降ろします。

位置決めピンがプリンタにはまると、お互いに密着し、ロックされます。

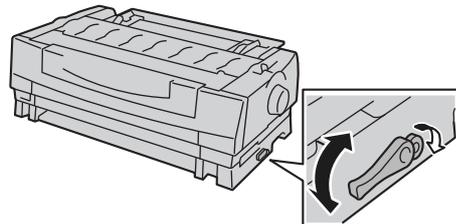


- 受け台とプリンタの底の間にすき間があるときは、プリンタを前後左右に少し動かして密着させてください。
- はまらないときは無理に押し付けずに、1からもう一度やり直してください。



6 左右にあるロック解除用レバーを上下に動かして、ロックされていることを確認した後、固定ネジを時計方向に回して固定する。

固定ネジは締まるまで回してください。

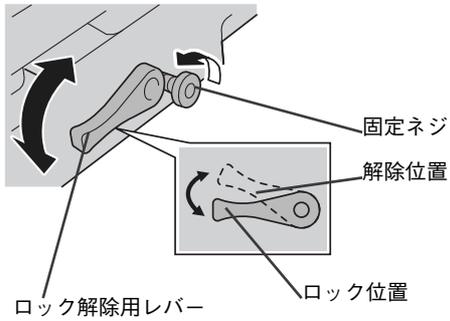


これで取り付けは完了です。

## 取り外し

次の手順でフロントトラクタフィーダを取り外してください。

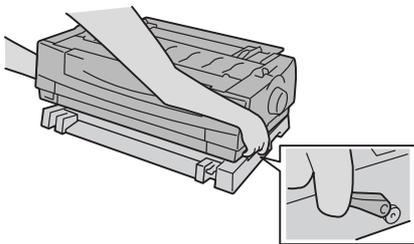
- 1 左右にある固定ネジを反時計方向に回して十分にゆるめ、ロック解除用レバーが上（解除位置）に動くことを確認する。



- 2 左右のロック解除用レバーを同時に指で押し上げながらプリンタの前部を持ち上げる。

### ✓チェック

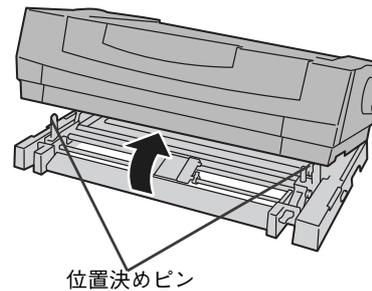
ロック解除用レバーは、安全のために手から離すとロック位置（レバーが水平な状態）に戻りますので、左右同時に解除位置にしてください。



- 3 位置決めピンが外れたのを確認して、プリンタ全体をゆっくり持ち上げる。

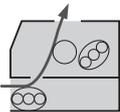
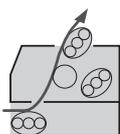
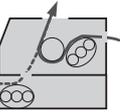
### ✓チェック

取り外すときは、プリンタを左右に傾けないでください。



## 連続紙のセット

フロントトラクタフィーダでの給紙方法は3種類あります。

使用するトラクタと給紙方法		給紙経路	給紙選択レバーの位置
フロントトラクタフィーダのみ	前から		フロントトラクタ (いちばん奥) 
フロントトラクタフィーダと トラクタフィーダ			フロントトラクタ (いちばん奥) 
フロントトラクタフィーダと トラクタユニット (リアトラクタ)	前と後ろから (2集類の用紙 を切り替えて 使用したいと き)		給紙するトラクタによる (フロントトラクタまたはリアトラクタ (手 前から2番目)) 

### ✓チェック

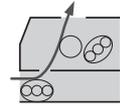
フロントトラクタフィーダとトラクタユニットを組み合わせて使用することはおやめください。改行精度が得られないだけでなく、用紙づまりの原因になります。

フロントトラクタフィーダを取り付けたままでも、オプションのトラクタフィーダを使って底から給紙することができます。セット方法は、「トラクタフィーダ」の「連続紙のセット」(98ページ)をご覧ください。また、次のことに注意してください。

- フロントトラクタフィーダの高さ分だけ用紙経路が長くなります。
- 当社指定外のプリンタ卓あるいはプリンタスタンドなどは、危険なので使用しないでください。

次の方法で連続紙をセットしてください。

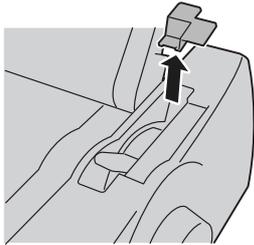
## フロントトラクタフィーダのみを使う場合 —前から給紙する—



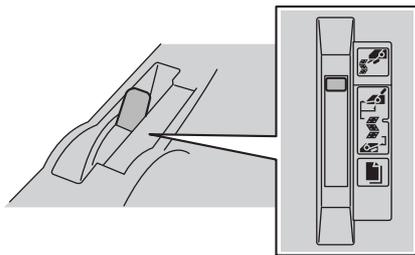
- 1 給紙選択レバーについているストップを外す。

### ✓チェック

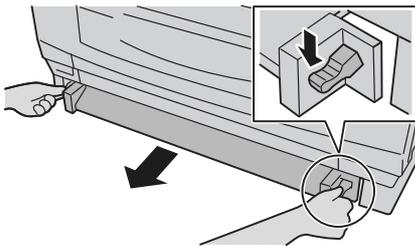
ストップを外さないで給紙選択レバーをフロントトラクタ（いちばん奥）に動かすことができません。



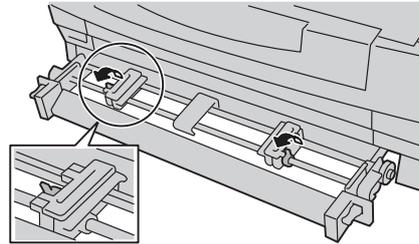
- 2 給紙選択レバーをフロントトラクタ（いちばん奥）にする。



- 3 フロントトラクタフィーダ前面の左右についているつまみを持ち、押し下げながらトラクタを引き出す。

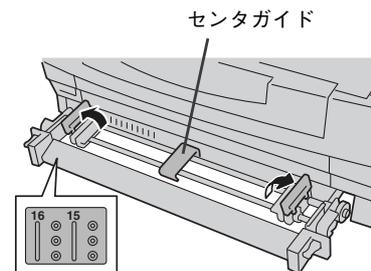


- 4 フロントトラクタフィーダの左右のトラクタのロックレバーを手前に倒してロックを解除する。



- 5 用紙幅に合わせてトラクタを移動させ、左右のトラクタカバーを開ける。また、センタガイドも左右のトラクタの中央にくるように移動させる。

ペーパーガイド上に381mm（15インチ）および406.4mm（16インチ）幅の連続紙のセット位置目安があります。連続紙の用紙幅が381mm（15インチ）以下の場合には「15」、406.4mm（16インチ）の場合には「16」のマークに合わせて用紙をセットしてください。

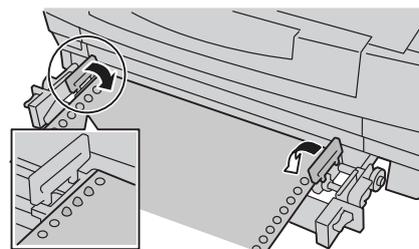


- 6 印刷する面を上にして連続紙をトラクタピンにはめ込み、トラクタカバーを閉める。

トラクタの位置を微調整しながら、連続紙の先端左右の用紙送り穴をトラクタピンにはめ込みます。

### ✓チェック

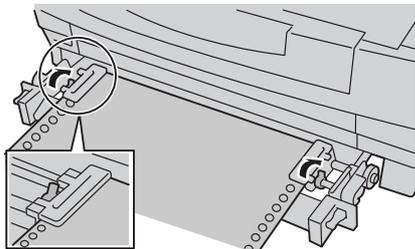
このとき、用紙先端がトラクタカバーからはみ出ないようにセットしてください。



- 7 連続紙がたるまないようにトラクタの位置を決めたら、左右のロックレバーを奥に倒してロックする。

✓**チェック**

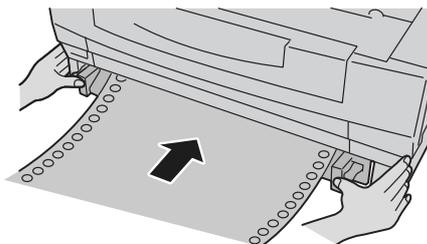
連続紙は張りすぎないようにします。



- 8 トラクタをプリンタ内に押し込む。

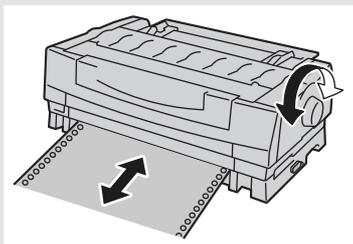
左右のサイドパネルを同時に押して「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

セットする連続紙のストック分は、プリンタと平行になるように置いてください。



✓**チェック**

- トラクタが確実に押し込まれたことを確認してください。
- プラテンノブをまわし、用紙が送られることを確認してください。



- 9 電源をONにする。

電源ランプと用紙ランプが点灯します。

- 10 [吸入/退避] スイッチを押す。

連続紙が吸入され、用紙ランプが消灯します。

✓**チェック**

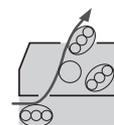
- ここで、連続紙の吸入位置を微調整することができます。微調整したいときは「用紙吸入位置の微調整」(41ページ)をご覧ください。
- プラテンノブを回して用紙吸入位置を調整しないでください。用紙吸入位置を調整する場合は、「用紙吸入位置の微調整」(41ページ)をご覧ください。

✓**チェック**

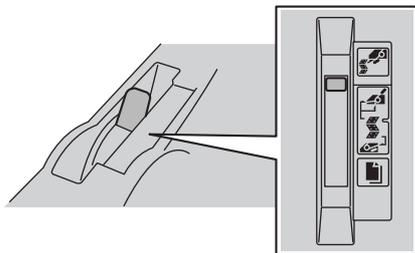
- 印刷範囲より幅の狭い用紙は使用しないでください。印刷ヘッドやプラテンを傷つけることがあります。
- 連続紙を吸入したままトラクタを引きださないでください。用紙づまりの原因となります。
- 連続紙のストック分は、フロントトラクタフィーダよりも低くなるようにしてください。高くすると用紙づまりの原因となります。

## トラクタフィーダ（オプション）とあわせて使う場合 —前から給紙する—

オプションのトップトラクタフィーダとあわせて使う場合の連続紙のセット方法は次のとおりです。



- 1 給紙選択レバーをフロントトラクタ（いちばん奥）にする。



- 2 フロントトラクタフィーダに連続紙をセット・吸入する。

106、107ページの手順3から手順8までをご覧ください。

- 3 電源をONにする。

- 4 [吸入/退避] スイッチを押して用紙を吸入させる。

- 5 いったんキャノピを開けてから、[改頁] スイッチを押して用紙をトラクタフィーダの位置まで送る。

- 6 トラクタフィーダに用紙をセットする。

100ページの手順8から手順14までをご覧ください。

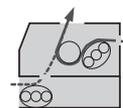
- 7 [印刷可] スイッチを押して印刷可ランプを点灯させる。

### ✓チェック

トラクタフィーダ使用時には連続紙のカット機能は使えないため、ブラテンノブを使ってカットします。

## リアトラクタとあわせて使う場合 —2種類の用紙を切り替えて使用する—

リアトラクタとあわせて使うことで、一度に2種類の用紙をセットできるため、切り替えて使うことができます。給紙方法は前からまたは後ろからになります。連続紙のセット方法と切り替え方法は次のとおりです。

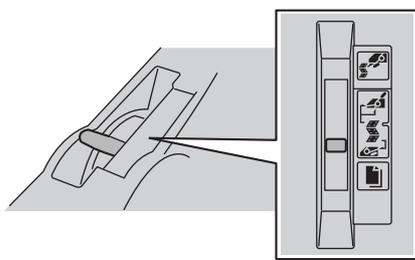
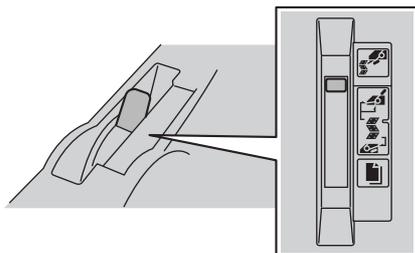


### 1 フロントトラクタフィーダに連続紙をセットする。

106、107ページの手順3から手順8までをご覧ください。

### 2 リアトラクタに連続紙をセットする。

### 3 給紙選択レバーを給紙に使用するトラクタに合わせて（フロントトラクタまたはリアトラクタ）。



### 4 電源をONにする。

### 5 [吸入/退避] スイッチを押す。

連続紙が吸入されます。

### 6 連続紙の切り替え印刷は次の方法で行う。

- 1) 印刷の終了した連続紙を、そのページまでカットします。
- 2) [吸入/退避] スイッチを押します。連続紙はセット位置に戻ります（連続紙の一時退避）。
- 3) 給紙選択レバーを切り替えます（フロントトラクタまたはリアトラクタ）。
- 4) もう一度 [吸入/退避] スイッチを押します。連続紙が吸入されます。

# 6章

## 日常の保守

この章では、日常の保守として消耗品の交換およびプリンタの清掃について説明します。清掃は、MultiImpact 201HE/201SEを正しく動作させるために定期的に行うことをお勧めします。

## インクリボンカートリッジの交換

印刷が薄くなったときには、次の手順でインクリボンカートリッジを交換してください。



### 注意

長時間印刷を続けた後は印刷ヘッドが高温になっているため、手を触れると危険です。十分に温度が下がってから作業をするようにしてください。



### チェック

- 本プリンタは、NEC 純正消耗品とあわせてご使用いただくことにより、印刷品質やプリンタ本来の性能を安定して発揮できるよう設計しております。純正品と異なる消耗品を使用した場合、プリンタ本来の性能を発揮できない場合がありますのでNEC純正消耗品のご使用をお勧めします。
- 非純正のインクリボン/インクリボンカートリッジの使用が原因で不具合や故障が発生した場合は、無償保証期間内や保守契約期間内であっても有償修理（特別料金）となりますのでご注意ください。
- 非純正のインクリボン/インクリボンカートリッジの使用による印刷品質や、プリンタ性能の保証はいたしません。また、プリンタの印刷品質/動作保証/寿命/印刷ヘッドの保証もいたしません。
- 印刷品位を保つために、インクリボンカートリッジ、インクリボンは使用期限内にお使いください。
- それぞれの印刷可能数は、付録の131ページの表をご覧ください。

1 プリンタの電源スイッチがONになっていることを確認する。

2 キャノピとトップカバーを開ける。

中央に印刷ヘッドとカードホルダが移動します。



### 注意

印刷ヘッドとカードホルダが移動し終わるまでは、プリンタ内部には手を入れないでください。けがをしますおそれがあります。

3 カートリッジホルダがプリンタの中央付近に移動したことを確認後、電源をOFFにする。

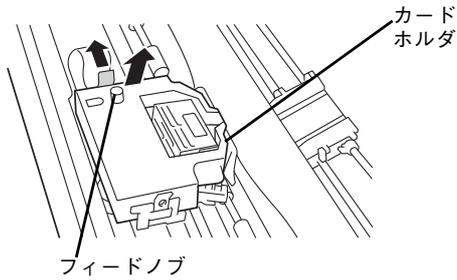


### 注意

必ずプリンタの電源スイッチをOFFにしてください。ONにしたままインクリボンカートリッジを取り付けると、プリンタが突然動作して、けがをしますおそれがあります。

**4 使い終わったインクリボンカートリッジを取り外す。**

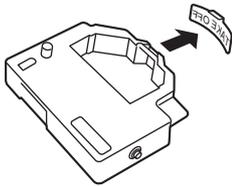
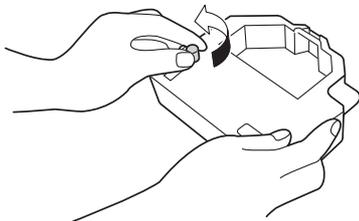
カートリッジホルダの左側を軽く押し広げるようにして使い終わったインクリボンカートリッジの左の突起を外します。続いてインクリボンを印刷ヘッドとカードホルダの間から抜くように持ち上げながら右の突起を外します。



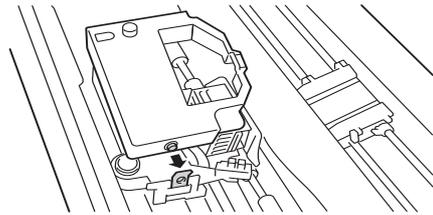
インクリボンが外れにくいときは、フィードノブを矢印の方向（反時計回り）に回しながら取り外してください（手順6を参照）。

**5 新しいカラーインクリボンカートリッジからは保護シートを取り外す。**

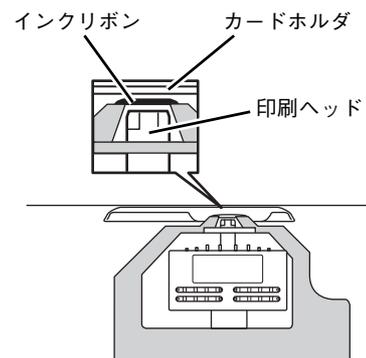
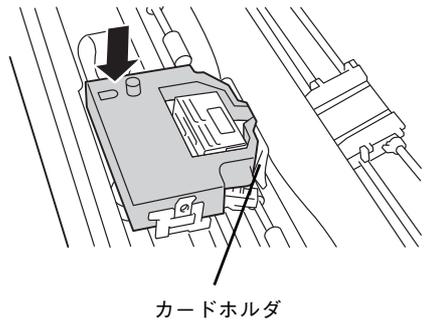
MultImpact 201HEの場合のみ

**6 インクリボンがたるんでいる場合は、フィードノブを矢印の方向（反時計回り）に回してください。****7 インクリボンカートリッジを取り付ける。**

インクリボンカートリッジの右の突起をカートリッジホルダに差し込みます。

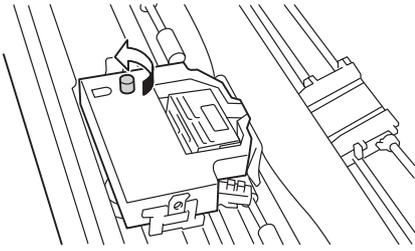


次に、リボンが印刷ヘッドとカートリッジホルダの間に入るようしながらカートリッジの左側を矢印の方向へ静かに押し込みます。



**8** フィードノブを回してインクリボンが軽く動くことを確認する。

動かないときはもう一度やり直してください。

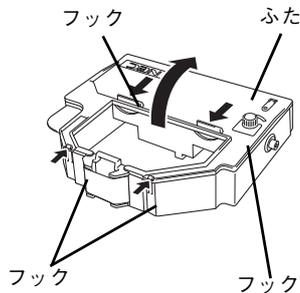


**9** トップカバーとキャノピを閉める。

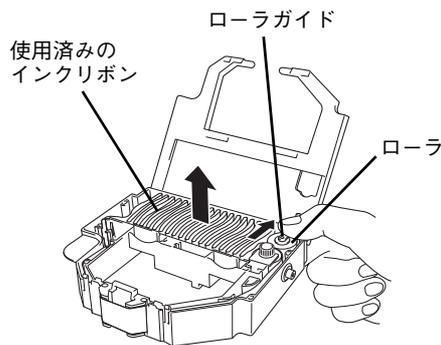
# インクリボンの交換方法

MultilImpact 201HE/201SEで使用できるインクリボンカートリッジは中のインクリボンを交換できます。交換の前にカセットに合ったインクリボンかどうかをご確認ください（「消耗品」（14ページ）参照）。

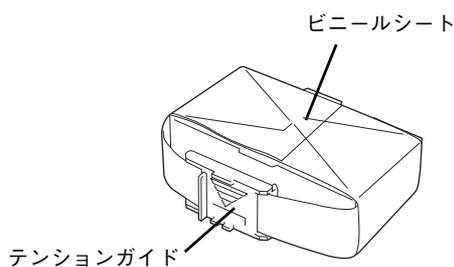
- 1 インクリボンカートリッジのフック4か所を外してふたを開ける。



- 2 ローラガイド（グレーの部分）の上下を指で押さえ、「カチッ」と音がするまで矢印方向にスライドさせてロックする。使用済みのインクリボンをインクリボンカートリッジから抜き出す。

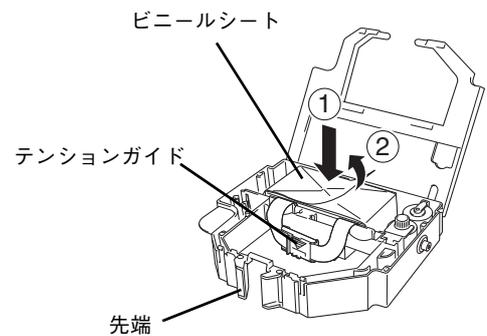


- 3 新しいインクリボンをビニール袋から取り出し、テンションガイドを引き出す。

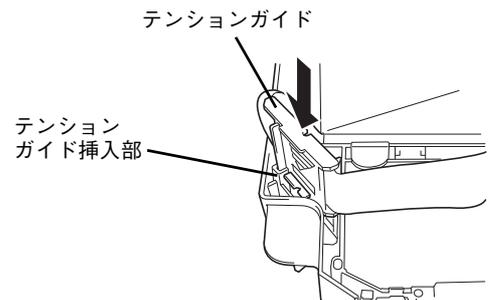


- 4 インクリボンのテンションガイドをインクリボンカートリッジの先端に向けて、インクリボンをインクリボンカートリッジに入れる。

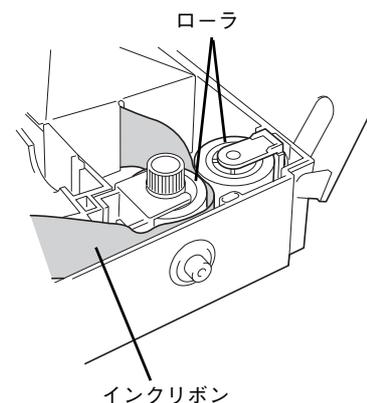
①インクリボンを押さえながら、②ビニールシートを矢印方向に静かに抜き取る。



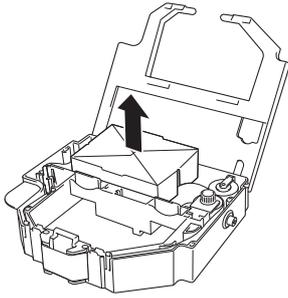
- 5 テンションガイドをテンションガイド挿入部に入れる。



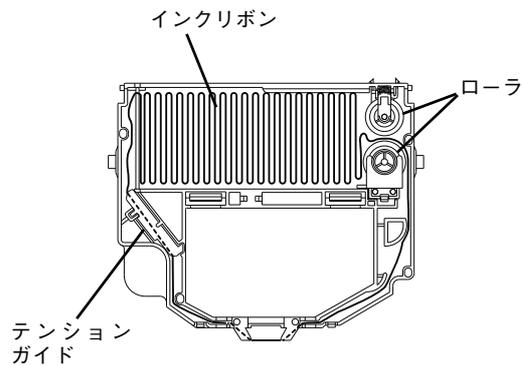
- 6 ローラの上にインクリボンを底まで確実に入れる。



- 7 インクリボンを入れた箱の中央部を押し、インクリボンが完全に押し出されたことを確認しながら、箱を静かに取り除く。

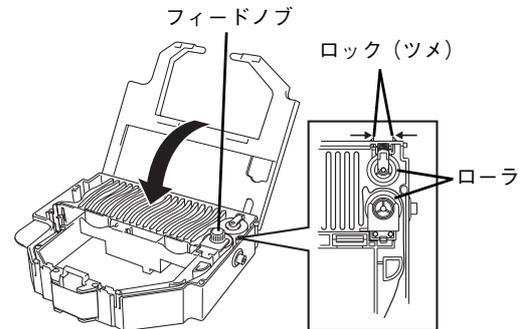


インクリボンの経路は次のとおりです。きちんとセットされていることを確認してください。



- 8 ローラのロック（ツメ）を解除し、インクリボンカートリッジのふたを閉め、フィードノブをふたに表示されている矢印方向に回してインクリボンのたるみをなくす。

必ずロックを解除してフタを閉めてください。フィードノブがスムーズに動くことを確認してください。



- 9 使用回数ラベルの詰替回数欄に×印を記入する。

インクリボンカートリッジに対するインクリボンの交換回数は2回までです。

使用上の注意	1	2
	×	

## プリンタの清掃

プリンタをいつまでもきれいな状態で使っていただくために、プリンタの外まわりを定期的に乾いた柔らかい布でふいてください。汚れが落ちにくい場合は、つぎのような方法できれいにしてください。

### ⚠ 注意

プリンタを絶対に分解しないでください。感電などの事故の原因となり危険です。

- 1 電源をOFFにし、電源コードをコンセントから外す。
- 2 シートガイドとスタッカを取り外す。
- 3 無水エタノールまたはOAクリーナー等を柔らかい布にふくませ、プリンタの汚れた部分を清掃してください。

### ✓ チェック

- ・ シンナー、ベンジンなど揮発性の溶剤は使わないでください。材質をいためたり、変色の原因になることがあります。
- ・ コンセント、ケーブル、およびプリンタ内部は絶対に水などでぬらさないようにしてください。内部にゴミや異物があるときは、掃除機で吸い取ってください。

# 7章 故障かな？と思ったときは

この章では、「故障かな？」と思ったときの症状、原因、および処置方法を説明します。また、プリンタ本体、および消耗品の廃棄方法についても記載しています。

# エラー表示が出ているときは

プリンタに何らかのエラーが発生して印刷できない状態になった場合は、おもなエラーであればディスプレイの表示からその原因を知ることができます。本プリンタのエラー表示とその意味、および処置方法は次の表のとおりです（ディスプレイ表示をアイウエオ順に並べています）。処置を行っても回復しない場合は、プリンタの故障が考えられます。お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。

また、ディスプレイにエラー表示が出ていないのに印刷できない場合は、「エラー表示が出ていないのにおかしいときは」（118ページ）を参照してください。

ディスプレイ表示	アラームの内容 (ランプの状態)	アラームの詳細と処置方法
イニシャライズ チュウ	プリンタの初期化（全ランプ点灯）	プリンタの電源をONにしたとき、プリンタの設定を初期化しています。 → 初期化が終わるまでしばらくお待ちください。
カバー オープン カバー ヲトジテクダサイ	キャノピが開いている（アラームランプ点滅）	キャノピが開いています。 → キャノピを閉じてください。
データガ ノコッテイマス インサツカニ シテクダサイ	印刷されていないデータが残っている（印刷可ランプが点滅）	まだ印刷されていないデータが残っている状態で、ディセレクト状態（印刷不可）になっています。 → [印刷可] スイッチを押してセレクト状態にして残りのデータを印刷してください。
データガ ノコッテイマス ヨウシヨセツシテクダサイ		まだ印刷されていないデータが残っている状態で、用紙がセットされていません。 → 用紙をセットして残りのデータを印刷してください。
トツトラクタ ガアリマセン レバーヨモドシテクダサイ	トツトラクタがセットされていないのに、トツトラクタを選択した（用紙ランプ、アラームランプ点滅）	トツトラクタがセットされていないのに、トツトラクタを選択しました。 → 給紙選択レバーを元に戻し、電源をOFFにしてから給紙選択レバーをトツトラクタにし、トツトラクタを取り付け、電源をONにしてください。
フロント ノ ヨウシヨ ヌイテクダサイ	リアトラクタが選択されているときに、フロントの給紙口に用紙が検出された（用紙ランプ、アラームランプ点滅）	リアトラクタが選択している状態で、フロントシートガイドから用紙を挿入しました。 → フロントシートガイドの用紙を取り除き、給紙選択レバーをカット紙に切り替えてください。
フロント マタハ トツ ノ ヨウシヨヌイテクダサイ	シートガイドで、トツとフロントの両方のセンサ上で用紙を検出している（用紙ランプ、アラームランプ点滅）	フロントシートガイドとトツシートガイドの両方に用紙をセットしています。 → フロントシートガイドまたはトツシートガイドのどちらかより用紙を取り除いてください。
ヘッド コウオン カタハウコウインサツチュウ	印刷ヘッドが高温になっている	印刷ヘッドが高温になっています。 → さらに印刷を続けると“ヘッド コウオン シバラクオマチクダサイ”とディスプレイに表示され約6秒間印刷が中断されます。自動的に印刷を再開します。
ヘッド コウオン シバラクオマチクダサイ	印刷ヘッドが高温になっている（アラームランプ、高速印刷ランプが点滅）	印刷ヘッドの温度が高くなっています。 → 約6秒間印刷が中断されます。自動的に印刷を再開します。さらに印刷を続けると“ヘッドコウオン ヒエルマデオマチクダサイ”とディスプレイに表示され印刷が一時中断されます。印刷ヘッドの温度が下がると自動的に印刷を再開します。
ヘッド コウオン ヒエルマデオマチクダサイ		印刷ヘッドの温度が高くなっています。 → 印刷が一時中断されます。印刷ヘッドの温度が下がると自動的に印刷を再開します。
ヨウシ タイヒ エラー	連続紙の退避が正しく行われていない（用紙ランプ、アラームランプが点滅）	連続紙の退避が正しく行われませんでした。 → 紙づまりの場合：「紙づまりの処理」（122ページ）を参照してください。
ヨウシ ツマリ	用紙吸入が正しく行われていない（用紙ランプ、アラームランプが点滅）	用紙の吸入が正しく行われませんでした。紙づまりの発生、または用紙サイズが違います。 → 紙づまりの場合：「紙づまりの処理」（122ページ）を参照してください。用紙サイズが違う場合：規定のサイズの用紙または、設定に合った用紙をセットしてください。
ヨウシ ハイシュツエラー	用紙の排出が正しく行われていない（用紙ランプ、アラームランプが点滅）	用紙の排出が正しく行われませんでした。 → 紙づまりの場合：「紙づまりの処理」（122ページ）を参照してください。

ディスプレイ表示	アラームの内容 (ランプの状態)	アラームの詳細と処置方法
ヨウシヲ セット シテクダサイ	用紙なし (用紙ランプ点灯)	用紙がセットされていません。 → 用紙をセットしてください。
リア マタハ トップノ ヨウシヲヌイテクダサイ	フロントトラクタが選択されているとき、にリアの給紙口に用紙が検出された (用紙ランプ、アラームランプ点滅)	フロントトラクタが選択されている状態でトップシートガイドから用紙を挿入しました。 → トップシートガイドの用紙を取り除き、給紙選択レバーをカット紙に切り替えてください。
レバーヲ ***ニ モドシテクダサイ	用紙ありの状態 (用紙ランプ、アラームランプ点滅)	用紙をセットしている給紙口と異なる給紙口を選択しました。 → ディスプレイに表示している給紙口にレバーを戻してください。現在の給紙口の用紙を取り除いてから給紙選択レバーを切り替えてください。
レバーヲ トップトラクタ ニ モドシテクダサイ	トップトラクタがセットされているときにカット紙が選択されて用紙が吸入された (用紙ランプ、アラームランプ点滅)	トップトラクタがセットされている状態で給紙選択レバーをカット紙に切り替えました。 → 給紙選択レバーをトップトラクタに戻してください。または、電源をOFFにしてからトップトラクタを外し、カット紙に切り替えてください。

# エラー表示が出ていないのにおかしいときは

プリンタが思うように動作しなかったり印刷の状況がよくなかったりしたときは、次の表でプリンタの症状に当てはまる項目を探し、確認作業を行ったうえでそれぞれの処置方法に従ってください。

症状	原因と処置方法
電源ランプが点灯しない	電源コードがコンセントから抜けていませんか。 → 電源スイッチをOFFにしてから電源コードのプラグを確実に差し込んでください。 電源スイッチがOFFになっていませんか。 → 電源スイッチをONにしてください。 コンセントに電気がきていますか。 → コンセントにスイッチがある場合は、そのスイッチをONにしてください。(スイッチがないときは、他の電気製品の電源プラグを差し込んで動作するかどうかを確認してください)。
電源ランプがいったん点灯した後消灯してしまい、再度電源スイッチをONにしても点灯しない	コンセントとプリンタの電圧が違っていませんか。 → プリンタ背面のラベルに印刷されている電圧とコンセントの電圧を確認してください。万一違う電圧を使用した場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご相談ください。
印刷動作しない	印刷可ランプが消灯していませんか。 → [印刷可] スイッチを押して、印刷可ランプを点灯させてください。 用紙ランプが点灯していませんか。 → 用紙を正しくセット・吸入してください。 プリンタケーブルが外れていませんか。 → プリンタとコンピュータをプリンタケーブルで正しく接続してください。
印刷音はしているのに印刷されない	インクリボンカートリッジは正しく取り付けられていますか。 → 正しく取り付け直してください。
印刷速度が急に遅くなった	長時間印刷を続けていませんか。 → ヘッドが高温になったため、両方向最短印刷から片方向印刷に切り替えています。印刷ヘッドの温度が下がれば元の印刷速度に戻りますので、しばらくお待ちください。 黒の比率が高い印刷を行っていますか。 → 印刷ヘッドが高温になるのを避けるため速度を遅くして印刷しています。黒の比率の低い印刷を行えば、元の印刷速度に戻ります。
印刷が欠ける	インクリボンカートリッジは正しく取り付けられていますか。 → 正しく取り付け直してください。 インクリボンがたるんだり、印刷ヘッドから外れかけたりしていませんか。 → インクリボンカートリッジを正しく取り付け直してください。 用紙の右上または左上が破れていたり、用紙に黒または濃い色のマークが印刷されていませんか。 → 用紙の右上・左上は正しくきれいにカットしてください。黒または濃い色のマークの印刷された用紙は避けてください。
印刷が横一列に欠ける	印刷ヘッドのピンが折れています。お買い求めの販売店にご相談ください。
左右端の文字が印刷されない	印刷範囲より狭い用紙に印刷を行いませんでしたか。 → 印刷範囲に合った用紙をセットし直してください。
印刷が薄い	インクリボンのインクが薄くなったり、波を打つような状態になっていませんか。 → 新しいインクリボンカートリッジと交換してください。
シートガイドから吸入されない	用紙はしっかりと差し込まれていますか。 → 突き当たる感じがするまで、用紙をしっかりと差し込んでください。 ディスプレイに「シートガイド」と表示されていますか。 → 給紙選択レバーをカット紙 (いちばん手前) にしてください。
シートガイドから曲がって吸入される	用紙はしっかりと差し込まれていますか。 → 突き当たる感じがするまで、用紙をしっかりと差し込んでください。 ペーパーガイドの位置は正しいですか → ペーパーガイドを正しくセットする。 用紙に折り目やしわがありませんか。 → 新しい用紙を使用してください。古くなった用紙や折り目がついた用紙は使用しないでください。 用紙は規格に合っていますか。 → 規格内の用紙を使用してください (付録の「用紙の規格」(133ページ) 参照)。
シートフィーダ使用時、カット紙が吸入されない	ディスプレイに「シートフィーダ」と表示されていますか。 → 給紙選択レバーをカット紙 (いちばん手前) にしてください。

症状	原因と処置方法
シートフィーダ使用時、カット紙がうまく送れない	<p>用紙が正しくセットされていますか。 → 用紙を正しくセットし直してください。</p> <p>セットする用紙が多すぎませんか。<sup>*1</sup> → セットする枚数を減らしてください。ホッパーに一度にセットできるカット紙の枚数は、坪量64g/m<sup>2</sup> (連量55kg) の用紙の場合、A4サイズで最高180枚、A3サイズで最高100枚です。</p> <p>スタッカに用紙がたまりすぎていませんか。<sup>*1</sup> → スタッカの印刷済み用紙を取り除いてください。スタッカ部に一度に積み重ねることができるカット紙の枚数は、坪量64g/m<sup>2</sup> (連量55kg) のA4サイズの用紙の場合、スタッカで90枚以下、スタッカガイドで50枚以下です。</p> <p>用紙に折り目やしわがありませんか。 → 新しい用紙を使用してください。古くなった用紙や折り目がついた用紙は使用しないでください。</p> <p>用紙は規格に合っていますか。 → 規格内の用紙を使用してください (付録の「用紙の規格」(133ページ) 参照)。</p>
連続紙が吸入されない	<p>用紙がトラクタから外れていませんか。 → 用紙をトラクタに正しくセットしてください。</p>
連続紙が曲がって吸入される	<p>ディスプレイに表示された給紙方法は正しいですか。 → 給紙選択レバーを給紙方法に合った位置にしてください。</p> <p>用紙の穴がトラクタピンに正しくかみ合っていますか。左右でずれていませんか。 → 用紙の穴をトラクタピンに正しくかみ合うようにセットし直してください。</p> <p>左右のトラクタの間隔が狭いため用紙がたるんでいませんか。 → 左右どちらかのトラクタを動かして、用紙のたるみをとってください。</p> <p>セットした用紙のストック分は正しい位置に置かれていますか。 → 用紙のストック分は連続紙セット位置に対して鉛直線上に、プリンタ本体と平行になるように置いてください。</p> <p>用紙のストック分を置いてある位置がプリンタから遠すぎませんか。 → 用紙のストック分はプリンタから1m以内に置いてください。</p> <p>用紙が何かに引っかかっていますか。 → 用紙が引っかかっているものを取り除いてください。</p>
連続紙が曲がって吸入される、またはプリンタの中でひっかかってつまる	<p>用紙は規格に合っていますか。 → 規格内の用紙を使用してください (付録の「用紙の規格」(133ページ) 参照)。</p>
ミシン目スキップがずれてしまう	<p>用紙の設定が使用している用紙の折れ長に合っていますか。 → 連続紙の用紙長を正しく設定してください (4章の「メニューモード」(55ページ) 参照)。</p>

\*1 各用紙の推奨枚数については、付録の「用紙の規格」(133ページ)をご覧ください。

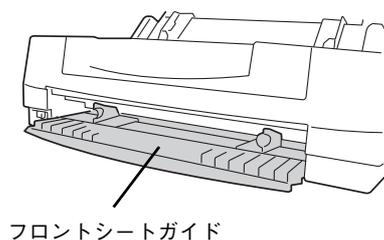
症状	原因と処置方法
<p>用紙が詰まる。 用紙が斜めに吸入される。 用紙が重なって吸入される。</p>	<p>規格外の用紙を使用すると発生することがあります。用紙は規格外ではありませんか。 → 例えば、用紙のとり方、用紙の厚さ、複写枚数、横ミシン目部の盛り上がり高さ等が規格内であるかご確認ください。尚、綴り伝票から一部ずつ剥がしたり、連帳用紙をミシン目で切り取って使用することはできません(付録の「用紙の規格」(133ページ)と「用紙設計に関する注意事項」(138ページ)参照)。</p> <p>用紙の取り扱いにより発生することがあります。 → シートフィーダをお使いの場合は用紙をさばいてからお使いください。封筒をお使いの場合はフラップの位置を間違わないようにお使いください。連続紙の置き方はプリンタに適正に置いてください。(付録の「用紙の規格」(133ページ)と「用紙設計に関する注意事項」(138ページ)参照)</p>
<p>印刷した文字が薄い。 複写紙の2枚目以降が薄い。 用紙の表面が汚れる。</p>	<p>用紙の厚さに合っていないマニュアル設定をしていませんか → 用紙厚調整はオートでご使用ください。マニュアル設定が必要な場合は用紙の厚さにあった適正な値を設定してください(「メニューモード」(55ページ)参照)。</p>
<p>印刷位置が用紙送り方向にずれる。 プレプリントに対して印刷位置がずれる。 用紙カット位置がずれる。</p>	<p>使用する用紙長とアプリケーションで設定した用紙長が合っていないと発生することがあります。 → 用紙長を合わせてお使いください(「メニューモード」(55ページ)参照)</p> <p>用紙吸入位置は合っていますか。 → 用紙に合わせて用紙吸入位置の微調整を行ってください(「メニューモード」(55ページ)参照)。</p>
<p>ネットワーク環境で印刷できない IPが設定できない。</p>	<p>IPが正しく設定されているか確認してください。 → 例えば、IPアドレスが重なっていないか、ネットワークの番号帯(セグメント)が一致しているか確認してください(「ネットワーク設定モード」(78ページ)またはプリントサーバのオンラインマニュアル参照)。</p>
<p>右側(又は左側)が印刷されない。</p>	<p>用紙先端に用紙の切り過ぎや切り残し、パンチ穴、濃い色の太文字や塗り潰しの記号がないか確認してください。それらが有りますと、その部分を用紙の端と認識するため用紙の右側(又は左側)が印刷されません。 → 用紙をカットする場合はミシン目部に沿って丁寧にカットしてください。また、パンチ穴、濃い色の太文字や記号の変更ができない場合はメモリスイッチMSW4-1をONにしてお試しください(「メニューモード」(55ページ)参照)。 → 用紙障害が発生しやすい用紙(規格外)の一覧をご確認ください(付録の「用紙設計に関する注意事項」(138ページ)参照)。</p>

症状	原因と処置方法
文字の上下の一部が印刷されない。	インクリボン取り付け時にリボン布が折れて取り付けられると発生することがあります。 → インクリボンカートリッジを正しく取り付け直してください。(インクリボンの箱に記載した「取り付け時の注意」もしくは「インクリボンカートリッジの交換」(110ページ)参照)
印刷が欠ける用紙が詰まる。 リボンに穴があく。	用紙以外のところに印刷すると発生することがあります。 → 用紙がないところ、用紙の厚さが変わるところ、パンチ穴、ミシン目には絶対に印刷をしないでください(付録の「用紙設計に関する注意事項」(138ページ)参照)。
印刷中にヒューンヒューンと音がする。	正常な稼働音であり、故障ではありません。
用紙吸入量が多い	印刷ヘッドのセンタリング位置と用紙のセット位置は合っていますか。 → 使用している用紙に合わせて印刷ヘッドのセンタリング位置を変更してください(「メニューモード」(55ページ)参照)。
印刷の途中で排出してしまう	用紙長の設定が使用している用紙の長さに合わせていますか。 → 用紙長を正しく設定してください(「メニューモード」(55ページ)参照)。 → 用紙切れ判断の切り替え(MSW5-5)を切り替えてお試しください(「メニューモード」(55ページ)参照)。
	プラテンノブを手回しして用紙を吸入していませんか。 → [吸入/退避]スイッチを押して用紙を吸入してください。

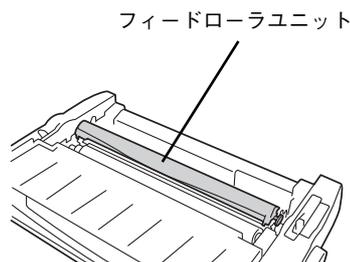
以上のことを確認して、それぞれの処置を行っても症状が改善されない場合は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。

# 紙づまりの処理

紙づまりの発生が考えられる場所は次の2か所です。



フロントシートガイド



フィードローラユニット

用紙がプラテンやその周囲につまって取り除けない場合は、つまった用紙を無理に引っ張ったりせず、次の手順に従って用紙を取り除いてください。



## 注意

- 用紙がプリンタ内部につまったときは、必ず電源をOFFにして電源コードのプラグをコンセントから抜いてから、つまった用紙を取り除いてください。電源がONのまま装置内部に手を入れると、プリンタが突然動作してけがをするおそれがあります。
- 電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張ると、コードが傷み、火災や感電の原因となることがあります。

## フィードローラユニットの付近でつまったときは

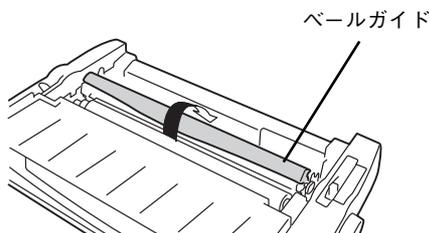
- 1 プリンタの電源スイッチをOFFにし、電源コードのプラグをコンセントから抜く。



### チェック

印刷途中の場合は、プリンタの電源スイッチをOFFにすると、送ったデータが消失します。つまった用紙を取り除いた後、再度データを送り直してください。

- 2 キャノピを開ける。
- 3 トップシートガイドを取り外す。
- 4 ベールガイドを開ける。



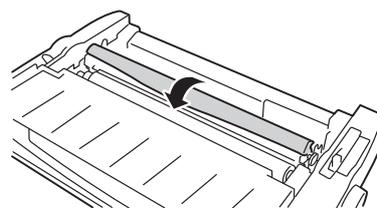
ベールガイド

- 5 つまった用紙を取り除く。

用紙が取り除けたら、プラテンの周囲やプリンタ内部に用紙の切れ端などが残っていないことを確認してください。

- 6 ベールガイドを元に戻す。

「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



- 7 トップシートガイドを取り付け、キャノピを閉める。

## フロントシートガイド付近でつまったときは

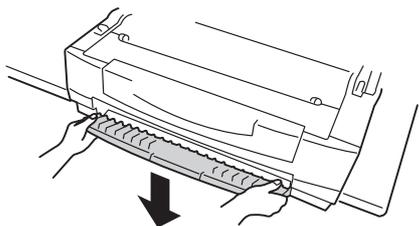
- 1 プリンタの電源スイッチをOFFにし、電源コードのプラグをコンセントから抜く。



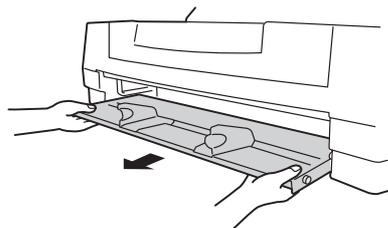
印刷途中の場合は、プリンタの電源スイッチをOFFにすると、送ったデータが消失します。つまった用紙を取り除いた後、再度データを送り直してください。

- 2 フロントカバーを取り外す。

プリンタを台や机の端に移動し、フロントカバーを45度くらいに開いて下に引っ張ります。



- 3 フロントシートガイドを引き出す。

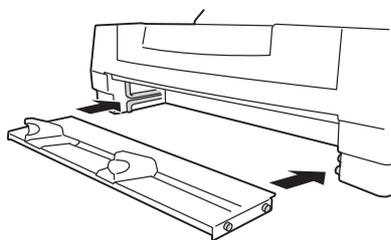


- 4 つまった用紙を取り除く。

用紙が取り除けたら、プラテンの周囲やプリンタ内部に用紙の切れ端などが残っていないことを確認してください。

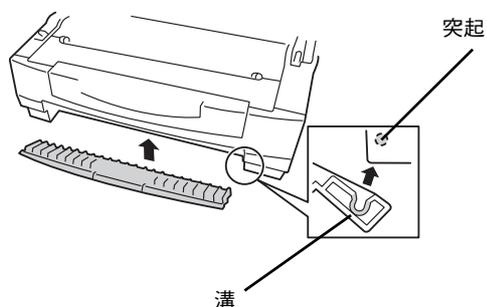
- 5 フロントシートガイドを取り付ける。

フロントシートガイドの左右4つの突起をプリンタ内側の溝に沿って押し込みます。「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



- 6 フロントカバーを取り付ける。

フロントカバーの溝をプリンタの円筒状の突起に入れるように押し上げます。



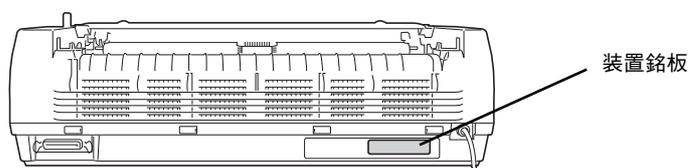
# 保証および修理の依頼について

## 保証について

本プリンタには「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認の上、大切に保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、「保証書」の記載内容にもとづき無償修理いたします。詳細については「保証書」をご覧ください。保証期間後の修理については、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。

### ✓チェック

本体の背面に、製品の型番、SERIAL No. (製造番号)、定格、製造業者名、製造国が明記された装置銘板が貼られています。販売店にお問い合わせをする際にこの内容をお伝えください。また装置銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していませんと、万一プリンタが保証期間内に故障した場合でも、保証を受けられないことがあります。お問い合わせの際にご確認ください。



## 修理の依頼について

「故障かな?」と思ったら、修理に出される前に以下の手順を行ってください。

- ①電源コードおよびプリンタケーブルが正しく接続されていることを確認する。
- ②インクリボンカートリッジの取り付けが確実に行われていることを確認する。
- ③「エラー表示が出ているときは」(116ページ)、または「エラー表示が出ていないのにおかしいときは」(118ページ)を参照し、該当する症状があれば記載されている処置を行う。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご連絡ください。なお、保証期間中の修理は『保証書』を添えてお申し出ください。

### ✓チェック

- 電話をする際、ディスプレイの表示内容やランプの状態(点灯または点滅)をご確認ください。故障時の表示は修理の際の有用な情報となることがあります。
- プリンタをお持ち込みいただくときは「運搬するときは」(127ページ)の手順に従ってプリンタを梱包してください。

## プリンタの寿命について

本プリンタの製品寿命は使用年数5年です。その後も継続して使用される場合は、必ずお買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください（損耗状態によっては継続して使用できない場合があります）。

## 有寿命部品（有償）について

プリンタの機能・性能を維持するために交換<sup>\*4</sup>を必要とする部品があり、これを「有寿命部品（有償）」と呼びます。有寿命部品（有償）の推奨交換周期（交換の目安）<sup>\*5</sup>は、印刷ドット数によって設定されています。本製品の有寿命部品（有償）と、その推奨交換周期（交換の目安）は次のとおりです。

### プリンタ本体用

部品名	推奨交換周期（交換の目安） <sup>*5</sup>
印刷ヘッド	2億ドット/ピン

<sup>\*4</sup> 有寿命部品（有償）の交換は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。

<sup>\*5</sup> NEC 純正インクリボンを使用し、15×11 インチ用紙（坪量 64g/m<sup>2</sup> の一枚綴りの連続紙）にプリンタ内蔵テスト印刷を連続印刷した際の交換周期の目安です。

お客様のご使用する用紙サイズ、用紙種類、印刷環境や条件などにより、交換周期が大きく異なる場合があります。

お客様がドット / ピンを確認することができません。印刷機能・性能が維持できなくなった場合が交換時期になります。

文字換算：漢字 3300 万字、NHS パイカ 6600 万字

55kg、1P（一枚綴り）の連続紙にて内蔵テスト印刷による連続印刷

## 補修用性能部品について

本プリンタの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。

## 情報サービスについて

NEC製品に関する最新情報を下記で提供しています。

インターネットのWebページ	NEC コーポレートサイト ( <a href="http://jpn.nec.com/">http://jpn.nec.com/</a> )
----------------	---

## 運搬するときは

本プリンタを引っ越しや修理などで移動するときは、次の手順に従って付属品などを取り外し、運搬時の衝撃からプリンタを守るために、お買い上げ時にプリンタを梱包していた包装材を使い梱包してください。

- 1 インクリボンカートリッジを取り外す。  
詳しくは、6章の「インクリボンカートリッジの交換」(110ページ)を参照してください。
- 2 プリンタおよびコンピュータの電源をOFFにする。
- 3 電源コードをコンセントから抜く。  
抜くときは、プラグを持って電源コードを抜いてください。
- 4 プリンタケーブルを取り外す。
- 5 トップシートガイドが付いていれば取り外す。
- 6 オプション類を使用していたときは、すべて取り外す。  
5章「オプション」(83ページ)を参照してください。
- 7 保護用部品をもとの位置に取り付ける。  
1章の「保護用部品を取り除く」(17ページ)を参照してください。
- 8 梱包材を元のように取り付けて、プリンタおよび付属品を箱にしまう。  
これで運搬準備完了です。

# プリンタの廃棄とインクリボンカートリッジ、インクリボンの処理について

## プリンタの廃棄について

プリンタおよびオプションの廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。  
詳しくは、各自治体へお問い合わせ願います。

## インクリボンカートリッジ、インクリボンの処理について

使用済みのインクリボンカートリッジ、インクリボンを廃棄するときは各自治体の廃棄ルールに従ってください。  
詳しくは、各自治体へお問い合わせ願います。

- ・ 使用済みインクリボンカートリッジ、インクリボンは、各自治体の条例等に従って処分してください。  
使用済みインクリボンカートリッジ、インクリボンを不法投棄すると、法律で罰せられます。

# 付録

## 仕様

- ・ 印刷方式                   インパクトドットマトリクス方式
- ・ 印刷ヘッドワイヤ数    24本（12本 x 2列 千鳥配列）
- ・ 印刷ヘッドワイヤ径    0.2mm
- ・ 印刷桁数と印刷速度

文字幅				印刷桁数/行		印刷速度 / 秒			
						MultilImpact 201SE		MultilImpact 201HE	
				136 桁設定	80 桁設定	通常印刷時	高速印刷時	通常印刷時	高速印刷時
A N K （英 数 カ ナ ）	パイカ	HS	NHS	136字	80字	245字	245字	269字	269字
		HD		136字	80字	123字	245字	135字	269字
	コンデンス			233字	137字	280字	280字	308字	308字
	エリート			163字	96字	130字	260字	143字	286字
	プロポーショナル			最大362字	最大213字	131~327字	262~654字	144~359字	287~718字
C G グ ラ フ ィ ッ ク	パイカ	HS	NHS	136字	80字	245字	245字	269字	269字
		HD		136字	80字	123字	245字	135字	269字
	コンデンス			233字	137字	280字	280字	308字	308字
	エリート			163字	96字	130字	260字	143字	286字
	プロポーショナル			136字	80字	123字	245字	135字	269字
漢 字 （全 角）	10.5p、3/20インチ幅			90字	53字	82字	164字	90字	179字
	10.5p、1/5インチ幅			68字	40字	61字	122字	67字	135字
	9.5p、1/6インチ幅			81字	48字	65字	131字	72字	143字
	9.5p、2/15インチ幅			102字	60字	82字	164字	90字	179字
	7p、1/10インチ幅			136字	80字	82字	164字	90字	179字
	12p、1/6インチ幅			81字	48字	65字	131字	72字	143字

文字幅			印刷桁数/行		印刷速度 / 秒			
					MultiImpact 201SE		MultiImpact 201HE	
			136 桁設定	80 桁設定	通常印刷時	高速印刷時	通常印刷時	高速印刷時
グラフィック	8ビット	コピーモード	1088ドット	640ドット	490字	490字	538字	538字
		ネイティブモード	2176ドット	1280ドット	245字	490字	269字	538字
	16ビット		2176ドット	1280ドット	123字	245字	135字	269字
	24ビット		2176ドット	1280ドット	82字	164字	90字	179字

- 印刷方向 両方向最短距離および片方向印刷
- 混在印刷 同一行の混在についてはコンデンスモードおよびコピーモードのグラフィック以外はすべて可能
- 改行幅 4.233mm (1/6インチ)、3.175mm (1/8インチ)、  
および0.212 x n mm (n/120インチ) \*  
\*n=0~99
- 改行時間 50ms (4.233mm (1/6インチ) 改行時)
- 改行方向 順方向および逆方向
- 最小改行量 0.212mm (1/120インチ)
- 登録文字 外字256文字 ダウンロード文字128文字
- 用紙送り方式
  - トップシートガイド
  - フロントシートガイド
  - トラクタユニット (リアトラクタ、トップトラクタ)
  - シートフィーダ (オプション)
  - トラクタフィーダ (オプション)
  - フロントトラクタフィーダ (オプション)
- 用紙厚調整 自動

- インクリボンカートリッジ

品名	印刷可能数* <sup>2</sup>	
	NHS パイカ	漢字
カラーインクリボンカートリッジ* <sup>1</sup>	約100万字	約50万字
ロングライフインクリボンカートリッジ (黒)	約700万字	約300万字

\*<sup>1</sup> MultImpact 201HE のみ

\*<sup>2</sup> お客様のご使用する用紙サイズ、用紙種類、印刷環境や条件などにより、交換周期が大きく異なる場合があります。

- インタフェース

IEEE1284準拠双方向パラレル

- 使用コード

— 8ビットコード\*<sup>3</sup>

— 7ビットコード\*<sup>3</sup>

— 漢字コード

\*<sup>3</sup> メモリスイッチにより切り替えます。

- 環境

— 動作温度：5～38℃

— 動作湿度：10～85%RH

— 保管温度：-25～60℃\*<sup>4</sup>

— 保管湿度：0～90%RH

— 塵埃量、ガス成分：一般事務室程度

\*<sup>4</sup> 開封前の状態での保管条件は、0～40℃の環境で1年以内とします。使用時は使用場所の環境に十分なじませてください。

- 電源

100V±10%、50/60Hz

- 定格電流

1.1A (MultImpact 201SE)

1.1A (MultImpact 201HE)

- 質量

約15kg

- 寸法

幅600mm x 奥行370mm x 高さ165mm (プラテンノブ、シートガイド含まず)

- 消費電力

項目	MultImpact 201SE	MultImpact 201HE
動作時最大	107W (109VA)	107W (109VA)
動作時平均	70W	70W
省電力モード時* <sup>5</sup> (節電機能使用時)	2.5W以下	2.5W以下
電源スイッチOFF時* <sup>6</sup>	0W	0W

\*<sup>5</sup> 節電機能とは、プリンタの電源をONにしたまま1分以上(工場出荷時)、印刷動作やスイッチ操作が行われなかったときに、電力消費を節約する機能のことです。

\*<sup>6</sup> 電源スイッチはメカニカルスイッチを使用しています。

オプション装着時にも上記の各消費電力は変わりません。

- 騒音

約59dB (A補正) (測定はISO7779による)

- 製品寿命

使用年数5年\*<sup>1</sup>

\*<sup>1</sup> 製品寿命の5年を越えて使用される場合、または使用量が使用年数5年相当を越えて使用される場合は、必ずお買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。

- 有寿命部品（有償）

部品名	推奨交換周期（交換の目安）
印刷ヘッド	2億ドット/ピン* <sup>2</sup>

\*<sup>2</sup> NEC 純正インクリボンを使用し、15×11 インチ用紙（坪量 64g/m<sup>2</sup> の一枚綴りの連続紙）にプリンタ内蔵テスト印刷を連続印刷した際の交換周期の目安です。

お客様のご使用する用紙サイズ、用紙種類、印刷環境や条件などにより、交換周期が大きく異なる場合があります。お客様がドット/ピンを確認することができません。印刷機能・性能が維持できなくなった場合が交換時期になります。

文字換算：漢字 3300 万字、NHS パイカ 6600 万字

55kg、1P（一枚綴り）の連続紙にて内蔵テスト印刷による連続印刷

- 製品保守（修理業務）

本製品の保守および修理業務は、製品出荷停止後5年間です。その後の保守および修理業務は打ち切りとなります。

# 用紙の規格

## 用紙サイズと坪量

用紙は次のものを使用してください。坪量 (g/m<sup>2</sup>) は1m<sup>2</sup>の質量をグラムで示したものです。

用紙の種類	サイズ	坪量 (連量) または用紙の厚さ
連続紙		
普通紙	127.0~406.4mm (5~16インチ)	46.5~81.4g/m <sup>2</sup> (40~70kg相当)
複写式用紙 ・感圧紙 ・裏カーボン紙 ・ワнтаムカーボン紙	127.0~406.4mm (5~16インチ)	「用紙の種類と複写枚数」(135ページ) を参照
ラベル紙* <sup>1</sup>	127.0~406.4mm (5~16インチ)	0.2mm以下 (台紙含む)
カット紙		
普通紙 複写式用紙	定型サイズ: A5、B5、A4、B4、A3 定型外サイズ: 幅127~420mm×長さ91.4~420mm* <sup>2</sup> (幅5~16.5インチ×長さ3.6~16.5インチ)* <sup>2</sup>	46.5~81.4g/m <sup>2</sup> (40~70kg相当)
はがき		
官製はがき、または同等品	幅100mm×長さ148mm	最大157.0g/m <sup>2</sup> (135kg相当)

\*<sup>1</sup> ラベル紙の材質が紙以外の「合成紙」「PET紙」などはインクがのりませんので、使用しないでください。

\*<sup>2</sup> オプションのシートフィーダ使用時は、定型外サイズ幅 148 ~ 420mm × 長さ 109 ~ 364mm (幅 5.8 ~ 16.5インチ × 長さ 4.3 ~ 14.3インチ) となります。



往復はがきは印刷できません。

## 用紙のセット方向

- ・ 「印刷範囲」(147ページ)を参照してください。
- ・ シートガイドおよびシートフィーダ使用時の取り扱い可能な定型用紙は次のとおりです。  
複写式用紙の場合は、縦置き、横置きにかかわらず、のり付け部分から先にセットして吸入させます。

◇ シートガイド使用時

使用方向	用紙サイズ				
	A3	B4	A4	B5	A5
縦置き	○	○	○	○	○
横置き	○	○	○	○	○

◇ シートフィーダ使用時

使用方向	用紙サイズ				
	A3	B4	A4	B5	A5
縦置き	×	○	○	○	○
横置き	○* <sup>1</sup>	○	○	○	○

\*<sup>1</sup> 感圧紙は使用できません。

## 用紙の推奨枚数

シートフィーダでの各用紙の推奨枚数は、次の表のとおりです。

用紙の種類	サイズ	ホッパ推奨 セット枚数	スタッカ容量	
			スタッカ	スタッカガイド
上質紙 (坪量64g/m <sup>2</sup> ) (連量55kg)	A4	20~180枚	90枚以下	50枚以下
	B4	20~120枚	60枚以下	30枚以下
	A3	20~100枚	45枚以下	25枚以下
感圧紙	A4	10~50枚	—	25枚以下
	B4	10~30枚	—	15枚以下
はがき	はがき	10~70枚	—	30枚以下

## 用紙の種類と複写枚数

バーコード／カスタマバーコードを印刷するときは、坪量81.4g/m<sup>2</sup>（連量70kg）の用紙を使用してください。それ以外の用紙は推奨していません。また、複写用紙には絶対に印刷しないでください。

用紙の種類	給紙方法	印刷用紙* <sup>1</sup>	最大複写枚数（オリジナルを含む）
カット紙	トップシートガイド	上質紙* <sup>2</sup>	1
		複写式用紙（感圧紙）* <sup>3</sup>	2 「複写枚数と坪量（連量）」（136ページ）参照。
		はがき	1
	フロントシートガイド	上質紙* <sup>2</sup>	1
		複写式用紙（感圧紙）* <sup>3</sup>	5 「複写枚数と坪量（連量）」（136ページ）参照。
		はがき	1
	シートフィーダ （オプション）	上質紙* <sup>2</sup>	1
		複写式用紙（感圧紙）* <sup>3</sup>	2 「複写枚数と坪量（連量）」（136ページ）参照。
		はがき* <sup>4</sup>	1
連続紙	リアトラクタ フロントトラクタ	上質紙* <sup>2</sup>	1
		複写式用紙（感圧紙）* <sup>3</sup>	5 「複写枚数と坪量（連量）」（136ページ）参照。
		ラベル紙	1

\*<sup>1</sup> プレプリント用紙において、パウダなどの付着があると用紙走行に支障をきたす場合がありますので、注意してください。

\*<sup>2</sup> 再生紙および A3 サイズの用紙は一般室温の環境下で使用してください。また紙質によってはインクのにじみや紙づまりや印刷汚れが発生することがあります。その場合は紙質の良いものに変更してください。

\*<sup>3</sup> 一般室温の環境下で使用してください。

\*<sup>4</sup> シートフィーダで、はがきなどの厚紙を頻繁に使用すると、用紙吸入部の摩耗が普通紙使用時に比べて早まる場合があります。

## 複写枚数と坪量（連量）

複写枚数	1		2		3	4	5
	坪量 (g/m <sup>2</sup> ) (連量 (kg))						
1枚目	46.5~ 81.4 (40~70)	ハガキ 157.0 (135)	46.5~ 64.0 (40~55)	S/F 使用時 39.5 (34)	39.5~46.5 (34~40)	34.9~39.5 (30~34)	34.9~39.5 (30~34)
2枚目	—		46.5~ 64.0 (40~55)	50.0~ 64.0 (43~55)	39.5~46.5 (34~40)	34.9~39.5 (30~34)	34.9~39.5 (30~34)
3枚目	—				39.5~46.5 (34~40)	34.9~39.5 (30~34)	34.9~39.5 (30~34)
4枚目	—					34.9~39.5 (30~34)	34.9~39.5 (30~34)
5枚目	—						34.9~39.5 (30~34)

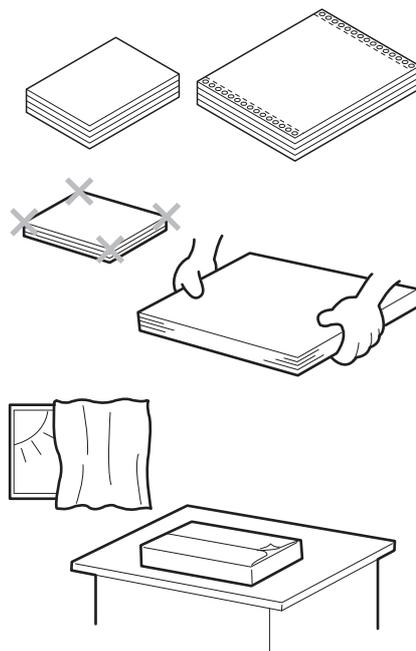
- 複写枚数はオリジナル（1枚目）を含めます。
- オリジナル（1枚目）はリボンのインクを急速に吸収し、かつインクのにじみが少ないものを使用してください。
- 複写紙の2枚目以降は、ノーカーボン紙または裏カーボン紙を使用してください。
- 使用できるカット紙の厚さは複写式用紙で約0.3mmまでです。
- 推奨規格を超える厚さの用紙を使用する場合やシートフィーダから用紙が重なって吸入された場合は、用紙ジャムが発生し、印刷不可（ディセレクト）状態になる場合があります。  
推奨規格内の厚さの用紙を使用し、シートフィーダに用紙をセットする場合は、よくさばいて、上下左右を揃えてください。
- バーコード領域は反射率80%以上の白色で、染み・汚れ・しわなどのない用紙を使用してください。
- バーコード使用時は、坪量81.4g/m<sup>2</sup>（連量70kg）の用紙を使用してください。
- 厚い用紙を使用した場合、印刷速度が遅くなります。厚い用紙はフロントトラクタまたはトップトラクタを使用してください。

## 保管上の注意

印刷する用紙が規格に合っていることを確認してください（用紙の規格については「用紙の規格」（133ページ）で説明しています）。規格に合った用紙を使うことは印刷品質を高めるだけでなく、紙づまりなどの発生を抑える効果もあります。

用紙を持つときは角を持たずに中央部分を持つようにしてください。角を持つと用紙が折れて紙づまりの原因になります。

残った用紙は包装紙に包み、直射日光を避けて保管してください。用紙が変形しないように、平らな場所に置いてください。

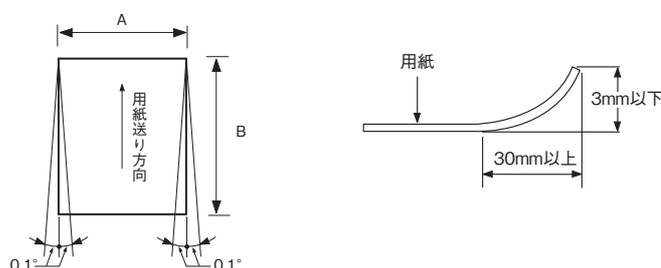


# 用紙設計に関する注意事項

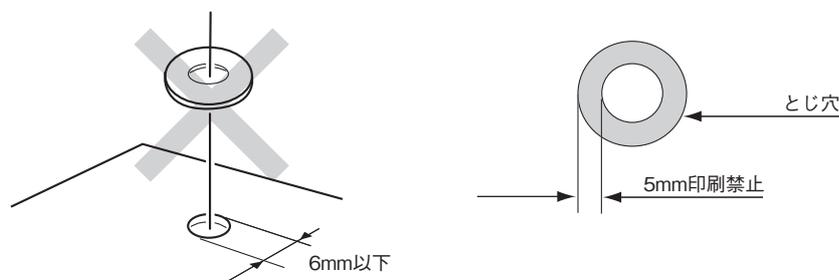
## カット紙に関する注意

### 普通紙について

- ・ 長方形の用紙（インデックス、切欠きのないもの）を使用してください。
- ・ 用紙の角のカッティングやアールは45° の面とり8mmまたは半径8mm以下の用紙を使用してください。
- ・ 横方向の切断寸法は±0.5mm以下、縦方向の直角度は±0.1° 以下の用紙を使用してください。
- ・ カール（反り）、折れ、曲がりなどのくせのない用紙を使ってください。



- ・ A/B比が3/5以上、2以下の用紙を使ってください。
- ・ 用紙の切断面は凹凸や“けば”がない用紙を使用してください。ミシン目においてカットした用紙は使用しないでください。用紙づまりの原因となります。
- ・ とじ穴は直径6mm以下で1個または2個までの用紙を使用してください。穴を補強した用紙は使用しないでください。

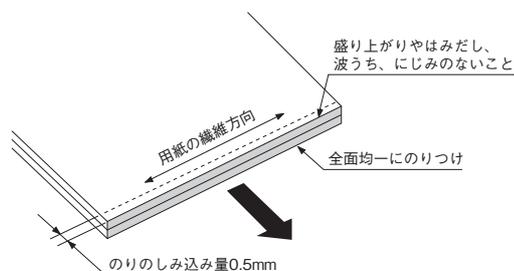


- ・ シートフィーダから吸入動作を行わせる場合は、用紙のとじ穴の“だれ”や“けば”などが無い用紙を使用してください。
- ・ 用紙の横と縦の長さの関係が、3:5以上（＝横の長さ／縦の長さ）、2:1以下（＝横の長さ／縦の長さ）となっている用紙を使用してください。
- ・ 厚さが均一でない用紙を使用すると用紙づまり、リボンひっかけ、印刷ヘッドの損傷およびその周辺に障害が発生する場合があります。
- ・ とじ穴の周囲5mm以内には、印刷しないでください。リボンひっかけ、印刷ヘッドの損傷およびその周辺に障害が発生する場合があります。
- ・ 用紙の表面が黒や濃い色の場合、正しく印刷できない場合があります。

## 複写式のカット紙について

カット紙に関する注意の他に、次のことに注意してください。

- ・ ノーカーボン紙（感圧紙）を使用してください。
- ・ 最上層用紙（1枚目）はリボンのインクを急速に吸入し、かつインクのにじみがないものを使用してください。
- ・ 用紙送り方向の先端を天側のり付けした用紙を使用してください。
- ・ 綴じてある方から給紙してください。
- ・ 複写紙の糊付け部は十分乾燥し、半乾きのない状態の用紙をご使用ください。



- ・ フロントシートガイドを使って給紙することをお勧めします。
- ・ 複写枚数は、フロントシートガイドを使って給紙するときはオリジナル（1枚目）を入れて5枚まで、トップシートガイドを使って給紙するときはオリジナルを入れて2枚までです。

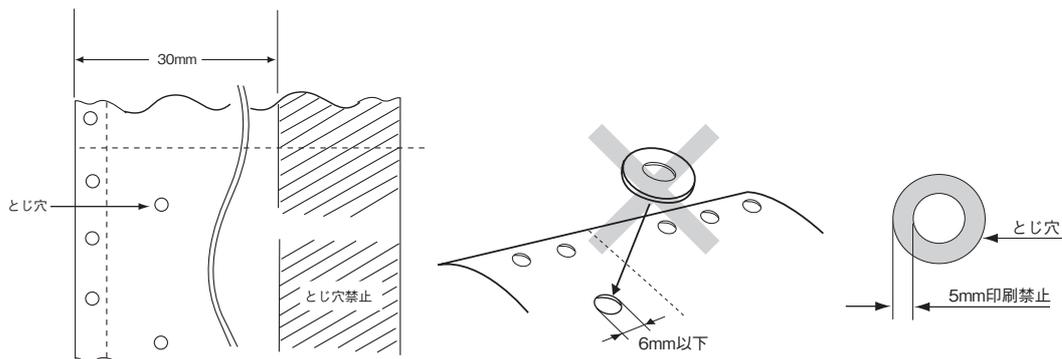


前から給紙

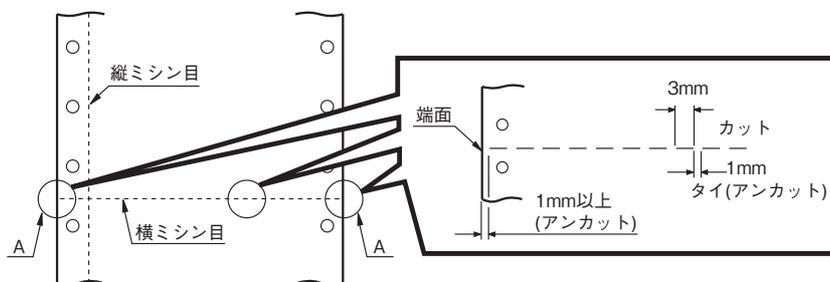
## 連続紙に関する注意

### 普通紙について

- とじ穴は直径6mm以下で1個または2個までの用紙を使用してください。
- 用紙の左側から30mm（1.2インチ）を越える位置にとじ穴を配置しないでください。用紙左側から30mmを越える位置にとじ穴加工をした用紙を使用した場合、とじ穴を用紙切れと誤検知するおそれがあります。
- とじ穴を補強した用紙は使用しないでください。
- とじ穴の周囲5mm以内には印刷しないでください。リボンひっかけや印刷ヘッドの損傷およびその周辺に故障が発生する場合があります。



- 印刷範囲内で用紙を左右に分割するような縦ミシン目はいれしないでください。用紙づまりが発生する場合があります。
- 次の図に示されたミシン目の入れ方をした用紙を使用してください。ミシン目の両端部Aについては、下図の寸法を守ってください。

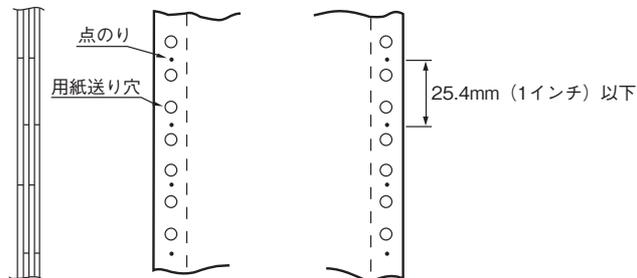


- ミシン目を強く入れすぎたり、ミシン目のタイ（アンカット）、カット比が大きすぎると用紙取り扱い時および用紙フィード時にミシン目から破れて用紙づまりが発生する場合があります。
- 厚さが均でない用紙を使用すると用紙づまり、リボンひっかけ、印刷ヘッドの損傷およびその周辺に障害が発生する場合があります。
- 用紙の表面が黒や濃い色の場合、正しく印刷できない場合があります。

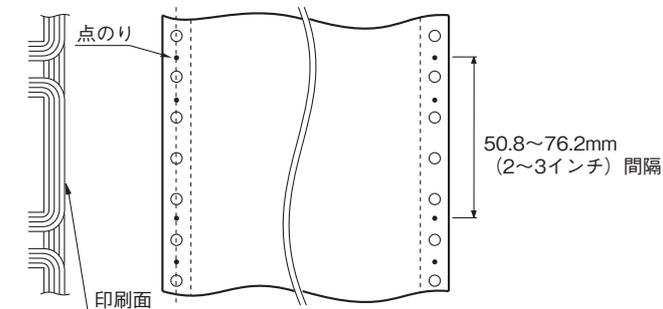
## 複写式の連続紙について

連続紙に関する注意のほかに、次のことを注意してください。

- 最上層用紙（1枚目）はりボンのインクを急速に吸入し、かつインクのにじみが少ないものを使用してください。
- 複写にあたっては次の要領で用紙をまとめてください。
  - － 両端の用紙送り穴付近で点のりづけ（双方向改行を行う場合は必ずこのとじ方にする）。



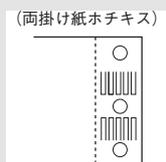
- － 片端の用紙送り穴付近で紙ホチキス止め（ダブルギャザー）、他端の用紙送り穴付近で点のりづけ。



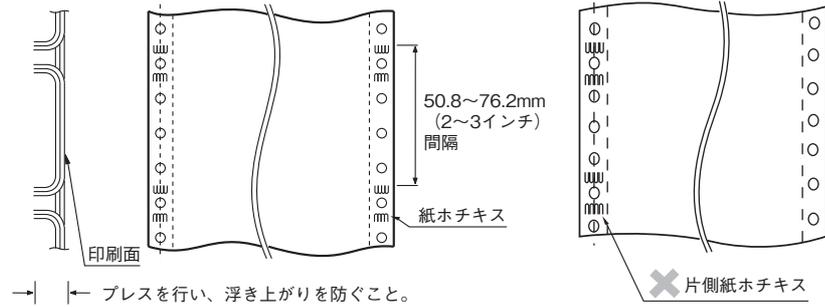
→ | ← プレスを行い、浮き上がりを防ぐこと。

### ✓ チェック

片側ホチキス止めの用紙は使用しないでください。用紙枚数2枚の場合は、両端の用紙送り穴付近の紙ホチキス止めの用紙が使用可能です。ただし、紙ホチキスは、両掛け紙ホチキス止めの用紙をご使用ください（シートフィーダ使用時は、両端点のり付け用紙を使用してください）。両端点のり方式は保管状態にもよりますが、経時変化が激しく、のり硬化による凹凸の「しわ」が発生することがあります。その状態で使用すると用紙ズレが起きることがあります。

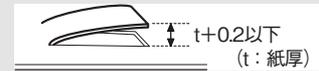


－ 両端の紙ホチキス止め（ダブルギャザー）（用紙枚数2枚の場合のみ可）

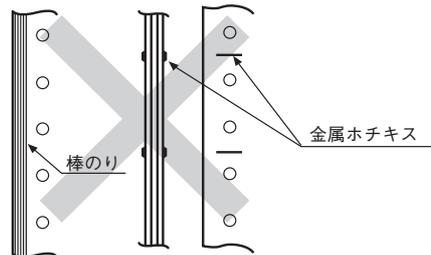


✓ チェック

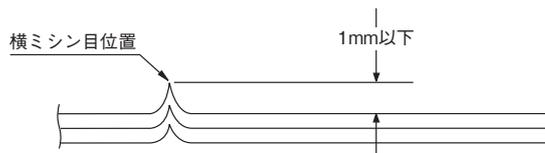
- ・ 両端紙ホチキス止めの場合、上層紙と下層紙の印刷位置ズレが発生しやすいので、片側点のリ/片側紙ホチキスを推奨します。
- ・ 片側紙ホチキスや片側とじは使用できません。
- ・ ミシン目の前後12.7mm (1/2インチ) 以内の紙ホチキスは避けてください。
- ・ 紙ホチキス部は、用紙が盛り上がりますので、紙厚が厚くならないように十分注意して加工してください。紙ホチキス部が厚くなると、その影響により紙ホチキス付近の印字品位が低下する場合があります。
- ・ 紙ホチキスの加工部は右の図のようにしてください。
- ・ 印刷面には紙ホチキスは出ないようにしてください。



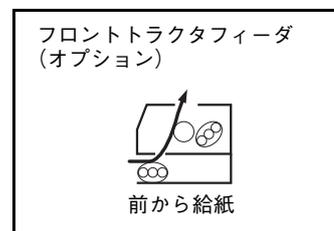
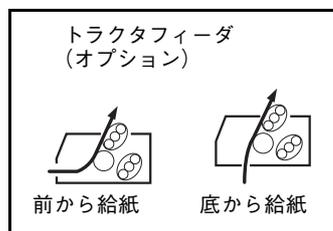
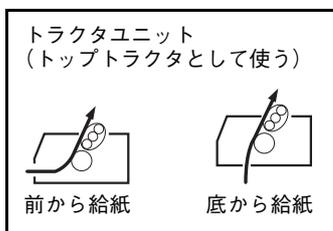
- － 金属ホチキスは使用しないこと。
- － 棒のりとじの用紙は使用しないこと。



- ・ 横ミシン目部の盛り上がりが1mm以下の用紙を使用してください。



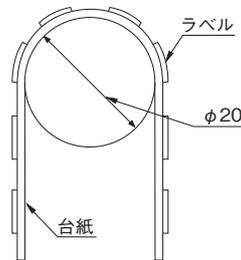
- ・ 次の給紙方法で印刷することをお勧めします。



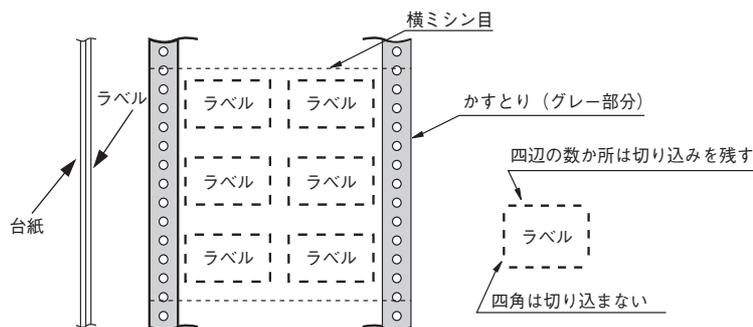
- ・ 複写枚数はオリジナル（1枚目）を入れて5枚までです。

## ラベル紙（タック紙）に関する注意

- ラベル紙と台紙の厚さは合計で0.2mm以下で、ラベル紙の厚さより台紙の厚さが同等か厚い用紙を使用してください。
- 直径20mmの円筒にラベルを表にして180°巻き付けたとき、ラベルが台紙からめくれたり、はがれたりしない用紙を使用してください。



- 再剥離ラベルはラベルが台紙からめくれたり、はがれる場合がありますので、お使いになる前に確認してください。
- ラベル紙は、台紙を丸めるとはがれやすくなり、はがれたラベル紙がプリンタの内部に貼り付いて正常な用紙送りができなくなりますので注意してください。
- 以下の用紙形態の用紙を使用してください。
  - 用紙穴付近のみ“かすとり”\*したタック紙

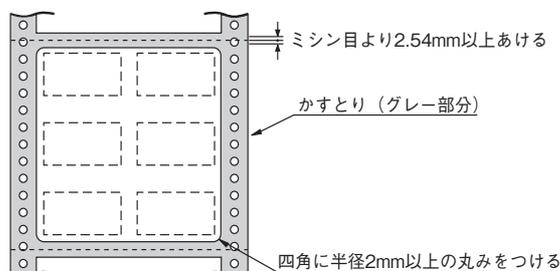


\* “かすとり”とは、台紙に貼り付けたラベル紙全体から必要な部分だけを残してはぎ取ることです。

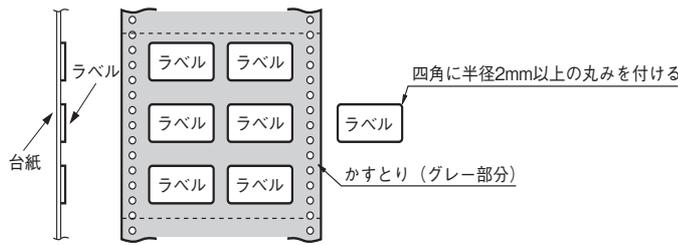
### ✓チェック

- ラベルシールの端は切り込みを残すこと。
- 横ミシン目にもラベルシールが貼られているため、盛り上がりおよびしわが発生しやすいので、フォーム加工の際は注意すること。

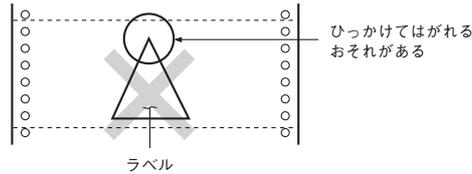
- 用紙穴付近と横ミシン目部を「かすとり」したタック紙



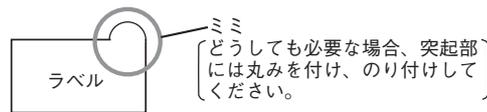
－ アイランド（島）状に貼られたタック紙



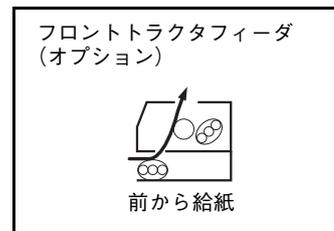
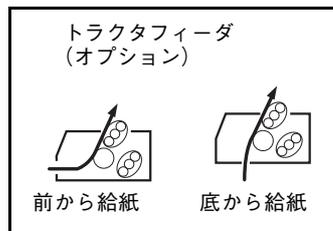
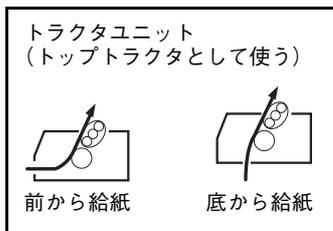
- － ラベル紙の角には半径2mm以上アール（丸み）を付けた用紙を使用してください。
- － 三角形の頂点のように、用紙送り方向に鋭い角のある形状のラベル紙は使用しないでください。



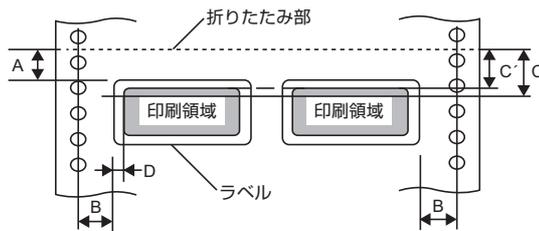
- ・ のりがラベルの端よりはみ出しているラベル紙は使用しないでください。
- ・ ミシン目での盛り上がりか1mmを超えるラベル紙は使用しないでください。
- ・ はぎ取りやすくするために、あらかじめラベル紙のコーナや端にのりを付けていないラベル紙は使用しないでください。
- ・ “みみ”加工をしたラベル紙は使用しないでください。



- ・ ラベル紙は、台紙を丸めるとはがれやすくなり、はがれたラベル紙がプリンタの内部に張り付いて正常な用紙送りができなくなりますので注意してください
- ・ 次の給紙方法で印刷することをお勧めします。シートフィーダでは使用できません。



- ラベル紙の位置を折りたたみ部から2.54mm以上離れた用紙を使用してください。



記号	寸法
A	2.54mm 以上(1/10 ｲﾝﾁ)
B	6.35mm 以上(1/4 ｲﾝﾁ)
C	23.6mm 以上 (文字中心)
D	3.18mm 以上 (1/8 ｲﾝﾁ)

- 長時間使用しない場合はラベルを取り外して保管してください。
- 強粘着の剥がれにくいラベルを選定してください。
- ご使用前に十分評価をしてください。

## プレプリント用紙に関する注意

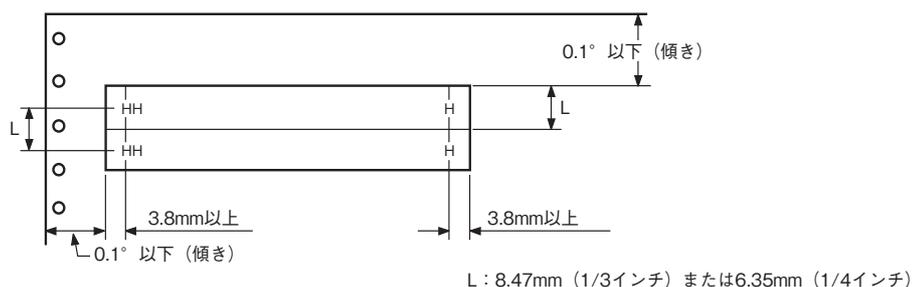
プレプリント用紙とは、書式があらかじめ印刷されている用紙のことです。

- 横罫線の印刷は8.47mm（1/3インチ）または6.35mm（1/4インチ）間隔とし、印刷文字は行間の中心に入れるようにしてください。



行間を4.23mm（1/6インチ）にした場合は横罫線に印刷文字がかかる場合があります。

- 横罫線の傾きは用紙上端を基準として0.1°以下、縦罫線の傾きは用紙左端を基準として0.1°以下にしてください。
- 横罫線は文字中心から3.8mm（0.15インチ）以上、離すようにしてください。



- 用紙の一部または全部の領域が黒色や濃い色でプレプリントされている場合、用紙の吸入や印刷結果が正しくありませんので、黒色や濃い色でプレプリントしないでください。

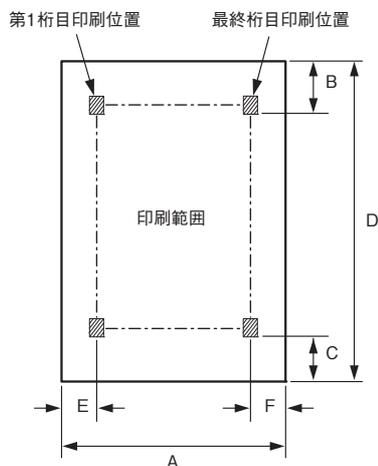
## 使用できない用紙への注意

使用できない用紙の一例を記載します。

使用できない用紙	理由
合成紙 コート紙	インクが転写せず、乾かないため印刷品位を満足することができません。 また、静電気が帯電しやすいため、機械の故障の原因となります。
通帳 重ね折りした用紙	段差があるためリボン引掛けや印刷ヘッドの故障の原因となります。 また、印刷汚れの原因となります。
綴り伝票（手書き伝票）	剥がして使用すると糊が装置内に付着し、機械の故障の原因になります。 また、用紙送りの搬送にも影響します。
厚さの制限を超える厚紙や冊子	用紙汚れ、リボン引掛け、ピン折れ、斜め印刷、用紙の重送、紙詰まりの原因になります。

# 印刷範囲

## カット紙

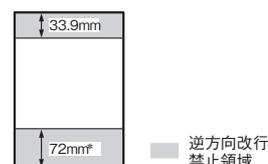


符号	項目	寸法		
		推奨印刷範囲		最大印刷範囲
		シートガイド	シートフィーダ	
A	用紙幅	127~420mm (5~16.5インチ)	148~420mm (5.8~16.5インチ)	—
B	用紙上端から第1印刷行までの距離	25.4mm以上 (文字下端)	9.73mm以上 (文字下端)	8.5mm (文字下端)
	用紙吸入位置 (工場設定)	25.4±2mm (文字下端)	9.73±2mm (文字下端)	—
C	用紙下端から最終印刷行までの距離	25.5mm以上のこと (文字下端)	6.3mm以上のこと (文字下端)	6.3mm (文字下端)
D	用紙長	91.4~420mm (3.6~16.5インチ)	109~364mm (4.3~14.3インチ)	—
E*1	用紙左端から第1桁目印刷位置までの距離	12.7mm以上のこと (文字中央)	12.7mm以上のこと (文字中央)	8mm (文字中央)
F*1	用紙右端から第1桁目印刷位置までの距離	12.7mm以上のこと (文字中央)	12.7mm以上のこと (文字中央)	8mm (文字中央)

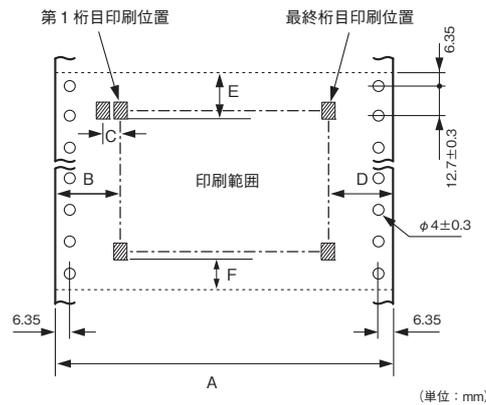
\*1 A3 横サイズ用紙を使用する場合、E・F寸法は約38.5mmとなります。

## カット紙に関する注意

- 用紙幅両端から12.7mmの範囲には印刷しないでください。
- 推奨印刷範囲を超える印刷については、印刷位置がばらつくことがあるためできるだけ避けてください。
- 用紙上端より約35mmまでおよび用紙下端より約25mmまでの範囲内では印刷位置がばらつくことがあるため、この領域では合成印刷（拡大、強調印刷など）、罫線印刷、絵の印刷などは行わないでください。
- 用紙を自動吸入した場合、用紙吸入位置は8.5～27.9mm（文字下端）の範囲で調整してお使いいただけます。2章の「用紙吸入位置の微調整」（41ページ）を参照してください。  
ただし、紙先端が傷んだり、プリンタに用紙がつまったりするのを防ぐため、用紙上端から9.73mm（文字下端）の範囲内で印刷は行わないでください。
- シートガイドで用紙ランプが点灯している（用紙が残り少なくなっている）場合、逆方向改行は無効になります。
- シートガイドでは、紙端が痛んだり、プリンタに用紙がつまったりするのを防ぐため、右の図に示した領域での逆方向改行は行わないでください。  
\* フロントシートガイドを使用する場合は90mmとなります。
- シートフィーダでは逆改行はできません。
- 第1桁目印刷位置（E）は、用紙幅に応じてセットしてください。



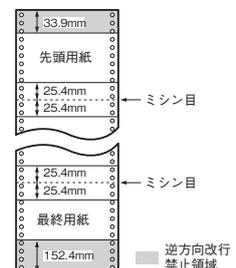
# 連続紙



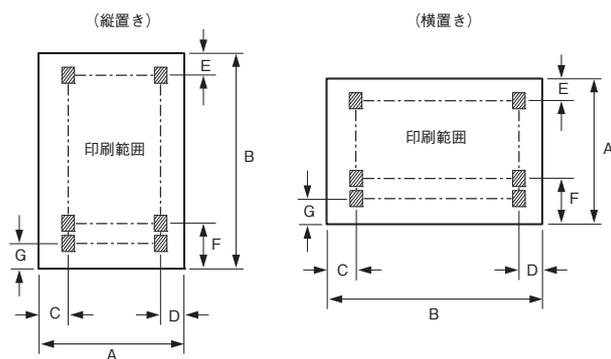
符号	項目	推奨印刷範囲寸法
A	用紙幅	127~406.4mm (5~16インチ)
B	トラクタから最左端に寄せたときの用紙左端から第1桁目印刷位置までの距離	35mm (文字中央)
C	トラクタを最左端および最右端に寄せたときの第1桁目印刷位置の移動量	406.4mm (16インチ) 用紙で5mm
D	トラクタを最右端に寄せたときの用紙右端から第136桁目印刷位置までの距離	33mm (文字中央)
E	ミシン目および折り目の影響による汚れおよび 改行ピッチ乱れを避けるため、印刷をしないことが望ましい範囲	25.4mm (文字下端)
F		23.6mm (文字中央)
		25.4mm (文字下端)

## 連続紙に関する注意

- 用紙幅両端から12.7mmの範囲は印刷しないでください。
- 連続紙の用紙吸入位置は25.4±2mm (文字下端・工場設定) です、用紙吸入位置は8.5~27.9mm (文字下端) の範囲で調整してお使いいただけます。2章の「用紙吸入位置の微調整」(41ページ) を参照してください。ただし、紙先端が傷んだり、プリンタに用紙がつかまったりするのを防ぐため、用紙上端から9.73mm(文字下端) の範囲内の印刷は行わないでください。
- 用紙ランプが点灯している (用紙が残り少なくなっている) 場合、逆方向改行は無効になります。
- 連続紙の最後の部分は、用紙下端から6.3mmまで印刷可能です。ただし、リアトラクタを使用している場合、用紙下端から152.4mm (6インチ) の範囲では、用紙穴がトラクタピンから外れてしまうため、印刷位置がばらつくことがあります。この領域では合成印刷 (拡大、強調印刷など)、罫線印刷、絵の印刷などは行わないでください。
- 用紙上端より約35mmまでの範囲内では印刷位置がばらつくことがあるため、この領域では合成印刷 (拡大、強調印刷など)、罫線印刷、絵の印刷などは行わないでください。
- 紙端が傷んだり、プリンタに用紙がつかまったりするのを防ぐため、右の図に示した領域での逆方向改行は行わないでください。
- トラクタユニットをトップトラクタとして使用しているときおよびトラクタフィーダ (オプション) を使用しているときは、逆改行できません。



## はがき



符号	項目	推奨印刷範囲寸法
A	はがき横幅	100mm
B	はがき長さ	148mm
C	はがき左端から第1桁目印刷位置までの距離	12.7mm (文字中央)
D	はがき右端から最終桁目印刷位置までの距離	11.5mm (文字中央)
E	はがき上端から第1印刷行までの距離	11.5mm (文字中央)
F	はがき下端から最終印刷桁までの推奨距離	24mm (文字中央)
G	はがき下端から最終印刷行までの最小距離	14mm (文字中央)

- はがき上端より25mmおよびF-Gの範囲内では改行ピッチがばらつくことがあるため、合成印刷（拡大、強調印刷など）、罫線印刷、絵の印刷などは行わないでください。
- 官製はがきあるいは官製はがきと同等品をお使いください。
- 往復はがきは使用できません。

# 技術情報

ここでは、本プリンタの初期状態、文字コード、その他の技術情報について説明します。

# 初期状態

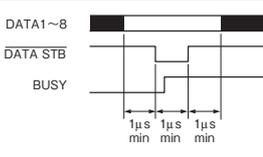
電源をONにしたとき、ソフトウェアリセット (ESC c1)、パラメータリセット (ESC c8)、強制リセットをしたとき、およびインタフェース信号INPUT PRIMEを受信したときの初期状態を次に示します。【太字】は工場設定です。

項目	電源 ON	強制リセット	ESC c1	INPUT PRIME	ESC c8
用紙長	【66行 (11インチ)】または設定値 (パラメータ設定による)			変化しない	
ボトム領域	なし			変化しない	
垂直タブセット位置	チャンネル2: 第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61行目 チャンネル3~6: なし			変化しない	
用紙行位置	現在行を第1印刷行 (T.O.F) 位置とする				
レフトマージン幅	000				
ライトマージン幅	【136】または080 (メモリスイッチ2-7による)				
水平タブセット位置	なし				
行メモリ	クリア				
行メモリアドレス	最左端相当位置				
改行幅	1/6インチ				
キャラクタモード	【カタカナモード (8ビットコード)】または英数モード (7ビットコード) (メモリスイッチ2-6による)				
グラフィックモード	【ネイティブモード】またはコピーモード (メモリスイッチ2-3による)				
印刷モード	【HDパイカ】またはHSパイカ (メモリスイッチ2-5による)				
セレクト/ディセレクト	セレクト ただし用紙なし時はディセレクト			変化せず ただし用紙なし時はディセレクト	変化しない
印刷方向 (文字)	【両方向最短】または片方向 (メモリスイッチ2-8による)				
改行方向	順方向改行				
拡大印刷	解除				
強調印刷	解除				
ラインの指定	アンダーライン				
ラインの太さの指定	細線				
ライン印刷モード	解除				
外字登録	未登録状態 (クリア)				クリアしない
ダウンロード文字登録	未登録状態 (プリンタ内蔵文字印刷モード)				クリアしない
半角縦印刷	解除				
半角組文字縦印刷	解除				
漢字文字幅	3/20インチ				
漢字文字サイズ	10.5ポイント				
スクリプト文字	解除				
高速印刷	【解除】または選択 (メモリスイッチ4-5による)				変化しない
カラー	黒				
シートフィーダ	全排出実行、用紙なし状態解除				第1印刷行 (T.O.F) 位置では排出しない
ミシン目スキップ	【スキップしない】またはスキップする (メモリスイッチ3-8による)				
印刷方向 (ドット列)	片方向または【両方向】 (メモリスイッチ2-8、4-4による)				
漢字書体	明朝体			変化しない	

項目	電源 ON	強制リセット	ESC c1	INPUT PRIME	ESC c8
ANK 文字フォント	【標準】、イタリック、クーリエ、ゴシック、OCR-B (パラメータ設定による)				変化しない
ハガキ印刷モード	【解除】 または選択 (パラメータ設定による)		変化しない		
固定ドットスペース	解除 (0ドット)				
倍率設定	解除				
縮小組文字縦印刷	解除				
文字修飾	解除				
縮小印刷	解除		変化しない		
漢字コード表	【1978年】、1983年、1990年 (パラメータ設定による)				

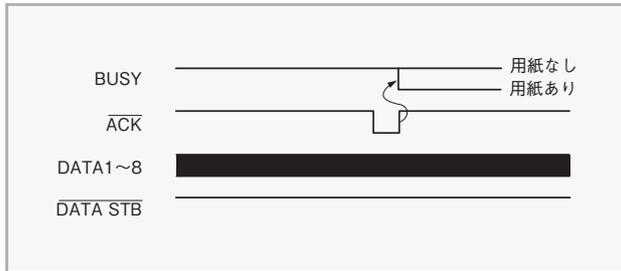
# インタフェース

## インタフェース信号の機能

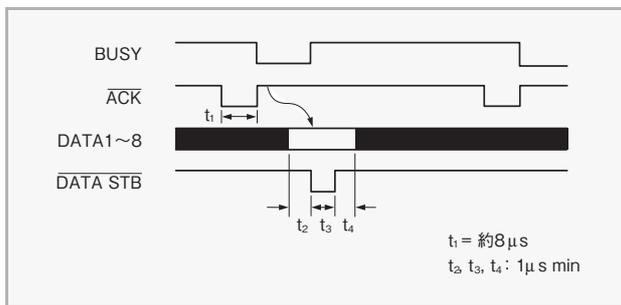
ピン番号	信号名	略称	方向 プリンタ ← コンピュータ →	機能
1	データストロブ	DATA STB	←	DATA 1~8を読み込むための同期信号である。定常状態はHIGHであり、HIGHからLOWになったときBUSYがHIGHになり、次にLOWからHIGHになるまでにDATA 1~8を読み込む。パルス幅は最小1 $\mu$ sとする。LOWのままでは次の動作を開始しない。 
2 3 4 5 6 7 8 9	データ1 データ2 データ3 データ4 データ5 データ6 データ7 データ8	DATA 1 DATA 2 DATA 3 DATA 4 DATA 5 DATA 6 DATA 7 DATA 8	←	各信号は、データの1ビット目から8ビット目の情報を受信する入力信号である。論理1はHIGHである。DATA 1が最下位桁 (LSB)、DATA 8が最上位桁 (MSB) である。パルス幅は最小3 $\mu$ sとする。
10	アクノレージ	ACK	→	受信したデータをプリンタ内へ取り込み完了したことを示す信号で、DATA STB受信に対する応答である。ただし、電源ON時、インプットプライム処理終了時、および操作パネルによるリセットの処理終了時には無条件に一度出力する。定常状態はHIGHであり、約8 $\mu$ s LOWとなるパルスを出力する。
11	ビジィ	BUSY	→	プリンタがデータ受信不可能 (BUSY) 状態であることを知らせる信号である。LOWの場合、データ入力が可能である。次の条件を満たすものが1つでもあればHIGHになる。それ以外ではLOWである。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ディセレクト中のとき。</li> <li>● INPUT PRIME信号がLOWになったときから所定時間経過し、かつINPUT PRIME信号がHIGHになるまでの間。</li> <li>● データを受信してから、プリンタ内へ取り込み完了するまでの間。</li> </ul>
12	ペーパーエンド	PE	→	用紙の有無を示す。
13	セレクト	SELECT	→	プリンタがセレクト中 (HIGH) かディセレクト中 (LOW) かを示す。セレクト中はデータの受信が可能である。
14	オートフィード	AUTOFEED	←	IEEE1284準拠モードの場合、逆方向通信の時使用する。
15	—	—	—	将来の拡張用
16	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
17	フレームグランド	FG	—	フレームグランド
18	デバイスコネク	DCN	→	プリンタが電源投入状態であることを示す。
19~30	TWISTED PAIRGND	—	—	(信号グランドに接続されている。)
31	インプットプライム	INPUT PRIME	←	この信号がLOWになるとプリンタは初期状態になる。定常状態はHIGHである。
32	フォルト	FAULT	→	次のいずれかの条件が発生したときLOWになる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ディセレクト中のとき。</li> <li>● プリンタがエラー状態のとき。</li> </ul>
33	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
34~35	—	—	—	将来の拡張用
36	セレクトイン	SELECT IN	←	IEEE1284準拠モードにする信号

## タイムチャート

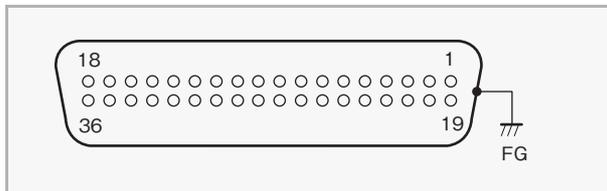
### ● 電源ON時



### ● データ受信時



## コネクタピン配置



ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	DATA STB	11	BUSY	21*	TWISTED PAIR GND	31	$\overline{\text{INPUT PRIME}}$
2	DATA 1	12	PE	22*	TWISTED PAIR GND	32	$\overline{\text{FAULT}}$
3	DATA 2	13	SELECT	23*	TWISTED PAIR GND	33*	SG
4	DATA 3	14	$\overline{\text{AUTOFEED}}$	24*	TWISTED PAIR GND	34	(将来の拡張用)
5	DATA 4	15	(将来の拡張用)	25*	TWISTED PAIR GND	35	(将来の拡張用)
6	DATA 5	16*	SG	26*	TWISTED PAIR GND	36	$\overline{\text{SELECT IN}}$
7	DATA 6	17	FG	27*	TWISTED PAIR GND		
8	DATA 7	18	DCN	28*	TWISTED PAIR GND		
9	DATA 8	19*	TWISTED PAIR GND	29*	TWISTED PAIR GND		
10	$\overline{\text{ACK}}$	20*	TWISTED PAIR GND	30*	TWISTED PAIR GND		

\* これらのピン端子はプリンタ内部で相互に接続されています。

## 電気的特性

### 入力回路

信号名	回路形式
DATA1~8 INPUT PRIME	<p>470pF 4.7kΩ +5V 10kΩ LS04または LS14相当品</p>

信号名	回路形式
DATA STB	<p>470pF 4.7kΩ +5V 2.4kΩ LS04または LS14相当品</p>

### 出力回路

信号名	回路形式
ACK FAULT PE SELECT DCN	<p>LS244相当品 470pF</p>

信号名	回路形式
BUSY	<p>100Ω LS244 相当品 470pF</p>

# 文字コード表

本プリンタは、8ビットコード、7ビットコードのうちの1つと漢字コードを使用することができます。8ビットコードと7ビットコードの切り替えはメモリスイッチ2-6によって行います。工場設定は8ビットコードです。また、メモリスイッチ1-1~1-3を切り替えることによりアメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデンの各国特殊文字が入ったコードにすることができます。工場設定は各国特殊文字の入らないコードです。漢字コードは、半角文字、JIS第1水準の漢字や記号など、およびJIS第2水準の漢字を印刷するのに使用できます。半角文字とは全角（普通の漢字）の半分の横幅の文字で、英字、数字、記号、カナなどがあります（JIS 1978年版準拠）。

印刷モード	ANK			CG グラフィック 56種	ANK 各国文字 15種	漢字*1 7014種
	英数字・記号 (SPを含む) 96種	カタカナ・記号 63種	ひらがな 55種			
	214種					
	270種					
	285種					
NHSパイカモード	○	○	○	○	○	—
HDパイカモード	○	○	○	○	○	—
コンデンスモード	○	○	○	○	○	—
エリートモード	○	○	○	○	○	—
プロポーションアルモード	○	○	○	○	○	—
漢字モード	—	—	—	—	—	○

\*1 漢字の詳細：

JIS 第1水準漢字	2965種	○：印刷可能
JIS 第2水準漢字	3384種	
記号（SPを含む）	108種	
英数字	62種	
ひらがな	83種	
カタカナ	86種	
ギリシャ文字	48種	
ロシア文字	66種	
半角文字（SPを含む）	212種	
合計	7014種	

# 1バイト系コード表

## 8ビットコード表

8ビットコード表 —カタカナモード—

b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	列 行	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	0	0	0	0	0	0	0	0			SP	0	注3	P	注8	p	—	⊥		—	タ	ミ	=	×
0	0	0	0	1	1	1	1	1	DC1	!	1	A	Q	a	q	—	⊥	。	ア	チ	ム	フ	円	
0	0	1	0	2				2		"	2	B	R	b	r	—	⊥	「	イ	ツ	メ	キ	年	
0	0	1	1	3	DC3	注1		3		3	C	S	c	s	■	⊥	」	ウ	テ	モ	ヨ	月		
0	1	0	0	4	EOT	注2		4		4	D	T	d	t	■	⊥	、	エ	ト	ヤ	▲	日		
0	1	0	1	5				5		%	5	E	U	e	u	■	⊥	・	オ	ナ	ユ	▲	時	
0	1	1	0	6				6		&	6	F	V	f	v	■	⊥	ワ	カ	ニ	ヨ	▼	分	
0	1	1	1	7				7		'	7	G	W	g	w	■	⊥	ア	キ	ヌ	ラ	▼	秒	
1	0	0	0	8	CAN			8		(	8	H	X	h	x		⊥	イ	ク	ネ	リ	♠		
1	0	0	1	9	HT EM			9		)	9	I	Y	i	y		⊥	ウ	ケ	ノ	ル	♥		
1	0	1	0	A	LF			A		*	:	J	Z	j	z		⊥	エ	コ	ハ	レ	♦		
1	0	1	1	B	VT ESC			B		+	;	K	注4	k	注9	■	⊥	オ	サ	ヒ	ロ	♣		
1	1	0	0	C	FF FS			C		,	<	L	注5	l	注10	■	⊥	ヤ	シ	フ	ワ	●		
1	1	0	1	D	CR GS			D		-	=	M	注6	m	注11	■	⊥	ユ	ス	ヘ	ン	○		
1	1	1	0	E	SO RS			E		.	>	N	注7	n	注12	■	⊥	ヨ	セ	ホ	〃	/		
1	1	1	1	F	SI US			F		/	?	O		o		+	⊥	ッ	ソ	マ	°	\		

8ビットコード表 —ひらがなモード—

b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	列 行	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	0	0	0	0	0	0	0	0			SP	0	注3	P	注8	p	—	⊥		—	た	み	=	×
0	0	0	0	1	1	1	1	1	DC1	!	1	A	Q	a	q	—	⊥	。	あ	ち	む	フ	円	
0	0	1	0	2				2		"	2	B	R	b	r	—	⊥	「	い	つ	め	キ	年	
0	0	1	1	3	DC3	注1		3		3	C	S	c	s	■	⊥	」	う	て	も	ヨ	月		
0	1	0	0	4	EOT	注2		4		4	D	T	d	t	■	⊥	、	え	と	や	▲	日		
0	1	0	1	5				5		%	5	E	U	e	u	■	⊥	・	お	な	ゆ	▲	時	
0	1	1	0	6				6		&	6	F	V	f	v	■	⊥	を	か	に	よ	▼	分	
0	1	1	1	7				7		'	7	G	W	g	w	■	⊥	あ	ま	ぬ	ら	▼	秒	
1	0	0	0	8	CAN			8		(	8	H	X	h	x		⊥	い	く	ね	り	♠		
1	0	0	1	9	HT EM			9		)	9	I	Y	i	y		⊥	う	け	の	る	♥		
1	0	1	0	A	LF			A		*	:	J	Z	j	z		⊥	え	こ	は	れ	♦		
1	0	1	1	B	VT ESC			B		+	;	K	注4	k	注9	■	⊥	お	さ	ひ	ろ	♣		
1	1	0	0	C	FF FS			C		,	<	L	注5	l	注10	■	⊥	や	し	ふ	わ	●		
1	1	0	1	D	CR GS			D		-	=	M	注6	m	注11	■	⊥	ゆ	す	へ	ん	○		
1	1	1	0	E	SO RS			E		.	>	N	注7	n	注12	■	⊥	よ	せ	ほ	〃	/		
1	1	1	1	F	SI US			F		/	?	O		o		+	⊥	っ	そ	ま	°	\		

# 7ビットコード表

								0 または 1								
b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	列 行	0	1	2	3	4	5	6	7
0	0	0	0	0	0	0	0	0			SP	0	注3	P	注8	p
0	0	0	0	1	1	1	1	1	DC1	!	1	A	Q	a	q	
0	0	1	0	0	1	1	1	2	DC2	"	2	B	R	b	r	
0	0	1	1	0	0	1	1	3	DC3	注1	3	C	S	c	s	
0	1	0	0	0	0	1	1	4	EOT	DC4	注2	4	D	T	d	t
0	1	0	1	0	0	1	1	5			%	5	E	U	e	u
0	1	1	0	0	0	1	1	6			&	6	F	V	f	v
0	1	1	1	0	0	1	1	7			'	7	G	W	g	w
1	0	0	0	0	0	0	0	8		CAN	(	8	H	X	h	x
1	0	0	1	0	0	0	0	9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
1	0	1	0	0	0	0	0	A	LF		*	:	J	Z	j	z
1	0	1	1	0	0	0	0	B	VT	ESC	+	;	K	注4	k	注9
1	1	0	0	0	0	0	0	C	FF	FS	,	<	L	注5	l	注10
1	1	0	1	0	0	0	0	D	CR	GS	-	=	M	注6	m	注11
1	1	1	0	0	0	0	0	E	SO	RS	.	>	N	注7	n	注12
1	1	1	1	0	0	0	0	F	SI	US	/	?	O		o	

注13

<注1~注12> 各国特殊文字  
(メモリスイッチ1-1~1-3で切り替えます)。

<注13> 2~5列はキャラクタモードによって以下のように切り替わります。

注 No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コード	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	\$	@	[	\	]	^	`	{		}	~
イギリス	£	\$	@	[	\	]	^	`	{		}	~
ドイツ	#	\$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
日本	#	\$	@	[	¥	]	^	`	{		}	~

列 行	CGグラフィックモード				ひらがなモード				カタカナモード			
	2	3	4	5	2	3	4	5	2	3	4	5
0	—	⊥	=	×		—	た	み		—	タ	ミ
1	—	⊥	F	円	。	あ	ち	む	。	ア	チ	ム
2	—	⊥	キ	年	「	い	つ	め	」	イ	ツ	メ
3	—	⊥	月	」	う	て	も	」	ウ	テ	モ	
4	■	—	▲	日	、	え	と	や	、	エ	ト	ヤ
5	■	—	▲	時	・	お	な	ゆ	・	オ	ナ	ユ
6	■		▲	分	を	か	に	よ	ヲ	カ	ニ	ヨ
7	■		▲	秒	あ	き	ぬ	ら	ア	キ	ヌ	ラ
8		┌	♠		い	く	ね	り	イ	ク	ネ	リ
9		┌	♥		う	け	の	る	ウ	ケ	ノ	ル
A	■	┌	◆		え	こ	は	れ	エ	コ	ハ	レ
B	■	┌	♣		お	さ	ひ	ろ	オ	サ	ヒ	ロ
C	■	┌	●		や	し	ふ	わ	ヤ	シ	フ	ワ
D	■	┌	○		ゆ	す	へ	ん	ユ	ス	ヘ	ン
E	■	┌	/		よ	せ	ほ	ゝ	ヨ	セ	ホ	ゝ
F	+	ノ	/		っ	そ	ま	。	ッ	ソ	マ	。

# 漢字コード表 (2バイト系コード表)



本プリンタでは、従来の1978年版のJIS漢字コード表に加えて、1983年版、1990年版の漢字コード表にも対応しています。それらをコンピュータから切り替えるときは、拡張制御コードをご使用ください。詳しくは、「FS 05F 漢字コード表の選択」(172ページ)をご覧ください。

次の漢字コード表(半角文字、全角文字—JIS第1水準—、全角文字—JIS第2水準—)は、JIS1978年版に準拠しています。

漢字コード表 —半角文字—

行 \ 列	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0020		!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
0030	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
0040	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0050	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
0060	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0070	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	
0080		。	「	」	、	・	々	あ	い	う	え	お	や	ゆ	よ	っ
0090	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	ず	せ	そ
00A0		。	「	」	、	・	ヲ	ア	イ	ウ	エ	オ	ヤ	ユ	ヨ	ッ
00B0	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
00C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
00D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	〃	。
00E0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
00F0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	〃	。

<注> 0列、0030行の「0」の書体はメモリスイッチ3-7により「0」に変更できます。





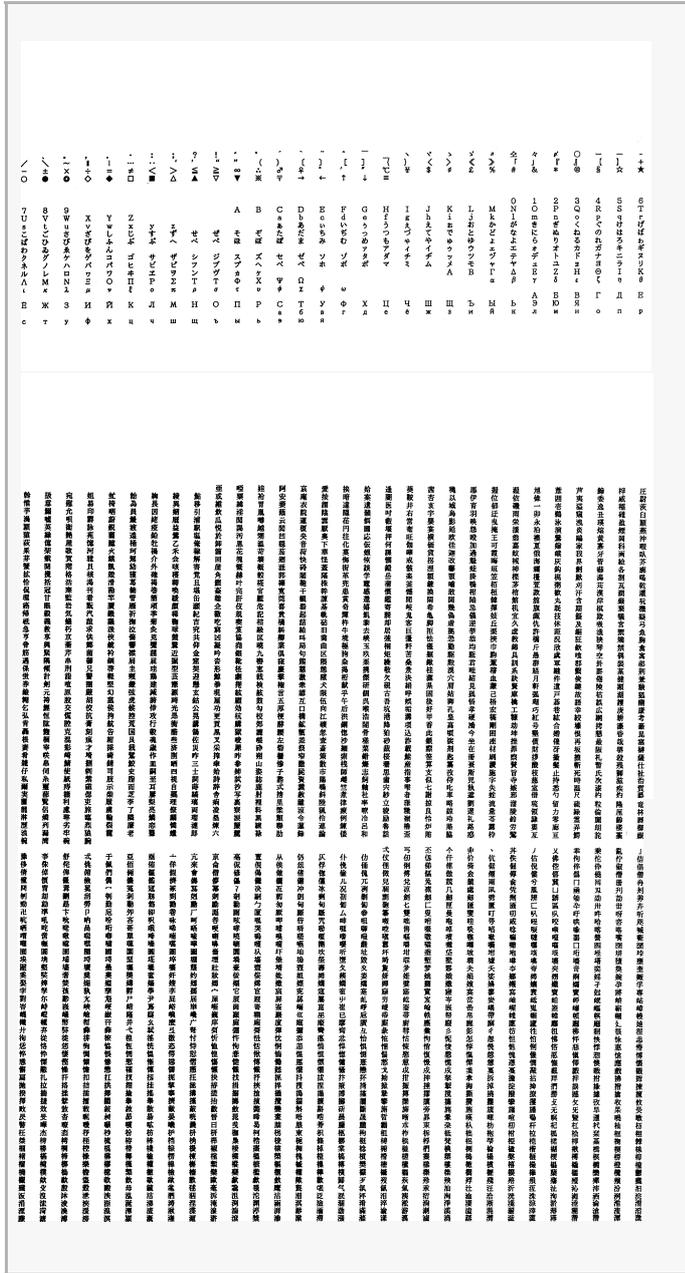
漢字コード表 一全角文字 (JIS第2水準) 一

第2バイト	第1バイト	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
50	弌	式	𠄎	𠄏	𠄐	𠄑	𠄒	𠄓	𠄔	𠄕	𠄖	𠄗	𠄘	𠄙	𠄚	𠄛	𠄜	𠄝	𠄞	𠄟	𠄠	𠄡	𠄢	𠄣	𠄤	𠄥	𠄦	𠄧	𠄨	𠄩	𠄪	𠄫	𠄬	𠄭	𠄮	𠄯	𠄰	𠄱	𠄲	𠄳	𠄴	𠄵	𠄶	𠄷	𠄸	𠄹																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
51	𠄺	𠄻	𠄼	𠄽	𠄾	𠄿	𠅀	𠅁	𠅂	𠅃	𠅄	𠅅	𠅆	𠅇	𠅈	𠅉	𠅊	𠅋	𠅌	𠅍	𠅎	𠅏	𠅐	𠅑	𠅒	𠅓	𠅔	𠅕	𠅖	𠅗	𠅘	𠅙	𠅚	𠅛	𠅜	𠅝	𠅞	𠅟	𠅠	𠅡	𠅢	𠅣	𠅤	𠅥	𠅦	𠅧	𠅨	𠅩																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
52	𠅪	𠅫	𠅬	𠅭	𠅮	𠅯	𠅰	𠅱	𠅲	𠅳	𠅴	𠅵	𠅶	𠅷	𠅸	𠅹	𠅺	𠅻	𠅼	𠅽	𠅾	𠅿	𠆀	𠆁	𠆂	𠆃	𠆄	𠆅	𠆆	𠆇	𠆈	𠆉	𠆊	𠆋	𠆌	𠆍	𠆎	𠆏	𠆐	𠆑	𠆒	𠆓	𠆔	𠆕	𠆖	𠆗	𠆘	𠆙	𠆚	𠆛																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
53	𠆞	𠆟	𠆠	𠆡	𠆢	𠆣	𠆤	𠆥	𠆦	𠆧	𠆨	𠆩	𠆪	𠆫	𠆬	𠆭	𠆮	𠆯	𠆰	𠆱	𠆲	𠆳	𠆴	𠆵	𠆶	𠆷	𠆸	𠆹	𠆺	𠆻	𠆼	𠆽	𠆾	𠆿	𠇀	𠇁	𠇂	𠇃	𠇄	𠇅	𠇆	𠇇	𠇈	𠇉	𠇊	𠇋	𠇌	𠇍	𠇎	𠇏																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
54	𠇐	𠇑	𠇒	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	𠇳	𠇴	𠇵	𠇶	𠇷	𠇸	𠇹	𠇺	𠇻	𠇼	𠇽	𠇾	𠇿	𠈀	𠈁	𠈂	𠈃	𠈄	𠈅	𠈆	𠈇	𠈈	𠈉	𠈊	𠈋	𠈌	𠈍	𠈎	𠈏	𠈐	𠈑	𠈒	𠈓	𠈔	𠈕	𠈖	𠈗	𠈘	𠈙	𠈚	𠈛	𠈜	𠈝	𠈞	𠈟	𠈠	𠈡	𠈢	𠈣	𠈤	𠈥	𠈦	𠈧	𠈨	𠈩	𠈪	𠈫	𠈬	𠈭	𠈮	𠈯	𠈰	𠈱	𠈲	𠈳	𠈴	𠈵	𠈶	𠈷	𠈸	𠈹	𠈺	𠈻	𠈼	𠈽	𠈾	𠈿	𠉀	𠉁	𠉂	𠉃	𠉄	𠉅	𠉆	𠉇	𠉈	𠉉	𠉊	𠉋	𠉌	𠉍	𠉎	𠉏	𠉐	𠉑	𠉒	𠉓	𠉔	𠉕	𠉖	𠉗	𠉘	𠉙	𠉚	𠉛	𠉜	𠉝	𠉞	𠉟	𠉠	𠉡	𠉢	𠉣	𠉤	𠉥	𠉦	𠉧	𠉨	𠉩	𠉪	𠉫	𠉬	𠉭	𠉮	𠉯	𠉰	𠉱	𠉲	𠉳	𠉴	𠉵	𠉶	𠉷	𠉸	𠉹	𠉺	𠉻	𠉼	𠉽	𠉾	𠉿	𠊀	𠊁	𠊂	𠊃	𠊄	𠊅	𠊆	𠊇	𠊈	𠊉	𠊊	𠊋	𠊌	𠊍	𠊎	𠊏	𠊐	𠊑	𠊒	𠊓	𠊔	𠊕	𠊖	𠊗	𠊘	𠊙	𠊚	𠊛	𠊜	𠊝	𠊞	𠊟	𠊠	𠊡	𠊢	𠊣	𠊤	𠊥	𠊦	𠊧	𠊨	𠊩	𠊪	𠊫	𠊬	𠊭	𠊮	𠊯	𠊰	𠊱	𠊲	𠊳	𠊴	𠊵	𠊶	𠊷	𠊸	𠊹	𠊺	𠊻	𠊼	𠊽	𠊾	𠊿	𠋀	𠋁	𠋂	𠋃	𠋄	𠋅	𠋆	𠋇	𠋈	𠋉	𠋊	𠋋	𠋌	𠋍	𠋎	𠋏	𠋐	𠋑	𠋒	𠋓	𠋔	𠋕	𠋖	𠋗	𠋘	𠋙	𠋚	𠋛	𠋜	𠋝	𠋞	𠋟	𠋠	𠋡	𠋢	𠋣	𠋤	𠋥	𠋦	𠋧	𠋨	𠋩	𠋪	𠋫	𠋬	𠋭	𠋮	𠋯	𠋰	𠋱	𠋲	𠋳	𠋴	𠋵	𠋶	𠋷	𠋸	𠋹	𠋺	𠋻	𠋼	𠋽	𠋾	𠋿	𠌀	𠌁	𠌂	𠌃	𠌄	𠌅	𠌆	𠌇	𠌈	𠌉	𠌊	𠌋	𠌌	𠌍	𠌎	𠌏	𠌐	𠌑	𠌒	𠌓	𠌔	𠌕	𠌖	𠌗	𠌘	𠌙	𠌚	𠌛	𠌜	𠌝	𠌞	𠌟	𠌠	𠌡	𠌢	𠌣	𠌤	𠌥	𠌦	𠌧	𠌨	𠌩	𠌪	𠌫	𠌬	𠌭	𠌮	𠌯	𠌰	𠌱	𠌲	𠌳	𠌴	𠌵	𠌶	𠌷	𠌸	𠌹	𠌺	𠌻	𠌼	𠌽	𠌾	𠌿	𠍀	𠍁	𠍂	𠍃	𠍄	𠍅	𠍆	𠍇	𠍈	𠍉	𠍊	𠍋	𠍌	𠍍	𠍎	𠍏	𠍐	𠍑	𠍒	𠍓	𠍔	𠍕	𠍖	𠍗	𠍘	𠍙	𠍚	𠍛	𠍜	𠍝	𠍞	𠍟	𠍠	𠍡	𠍢	𠍣	𠍤	𠍥	𠍦	𠍧	𠍨	𠍩	𠍪	𠍫	𠍬	𠍭	𠍮	𠍯	𠍰	𠍱	𠍲	𠍳	𠍴	𠍵	𠍶	𠍷	𠍸	𠍹	𠍺	𠍻	𠍼	𠍽	𠍾	𠍿	𠎀	𠎁	𠎂	𠎃	𠎄	𠎅	𠎆	𠎇	𠎈	𠎉	𠎊	𠎋	𠎌	𠎍	𠎎	𠎏	𠎐	𠎑	𠎒	𠎓	𠎔	𠎕	𠎖	𠎗	𠎘	𠎙	𠎚	𠎛	𠎜	𠎝	𠎞	𠎟	𠎠	𠎡	𠎢	𠎣	𠎤	𠎥	𠎦	𠎧	𠎨	𠎩	𠎪	𠎫	𠎬	𠎭	𠎮	𠎯	𠎰	𠎱	𠎲	𠎳	𠎴	𠎵	𠎶	𠎷	𠎸	𠎹	𠎺	𠎻	𠎼	𠎽	𠎾	𠎿	𠏀	𠏁	𠏂	𠏃	𠏄	𠏅	𠏆	𠏇	𠏈	𠏉	𠏊	𠏋	𠏌	𠏍	𠏎	𠏏	𠏐	𠏑	𠏒	𠏓	𠏔	𠏕	𠏖	𠏗	𠏘	𠏙	𠏚	𠏛	𠏜	𠏝	𠏞	𠏟	𠏠	𠏡	𠏢	𠏣	𠏤	𠏥	𠏦	𠏧	𠏨	𠏩	𠏪	𠏫	𠏬	𠏭	𠏮	𠏯	𠏰	𠏱	𠏲	𠏳	𠏴	𠏵	𠏶	𠏷	𠏸	𠏹	𠏺	𠏻	𠏼	𠏽	𠏾	𠏿	�0	�1	�2	�3	�4	�5	�6	�7	�8	�9	𠐊	𠐋	𠐌	𠐍	𠐎	𠐏	𠐐	𠐑	𠐒	𠐓	𠐔	𠐕	𠐖	𠐗	𠐘	𠐙	𠐚	𠐛	𠐜	𠐝	𠐞	𠐟	𠐠	𠐡	𠐢	𠐣	𠐤	𠐥	𠐦	𠐧	𠐨	𠐩	𠐪	𠐫	𠐬	𠐭	𠐮	𠐯	𠐰	𠐱	𠐲	𠐳	𠐴	𠐵	𠐶	𠐷	𠐸	𠐹	𠐺	𠐻	𠐼	𠐽	𠐾	𠐿	�0	�1	�2	�3	�4	�5	�6	�7	�8	�9	𠑊	𠑋	𠑌	𠑍	𠑎	𠑏	𠑐	𠑑	𠑒	𠑓	𠑔	𠑕	𠑖	𠑗	𠑘	𠑙	𠑚	𠑛	𠑜	𠑝	𠑞	𠑟	𠑠	𠑡	𠑢	𠑣	𠑤	𠑥	𠑦	𠑧	𠑨	𠑩	𠑪	𠑫	𠑬	𠑭	𠑮	𠑯	𠑰	𠑱	𠑲	𠑳	𠑴	𠑵	𠑶	𠑷	𠑸	𠑹	𠑺	𠑻	𠑼	𠑽	𠑾	𠑿	𠒀	𠒁	𠒂	𠒃	𠒄	𠒅	𠒆	𠒇	𠒈	𠒉	𠒊	𠒋	𠒌	𠒍	𠒎	𠒏	𠒐	𠒑	𠒒	𠒓	𠒔	𠒕	𠒖	𠒗	𠒘	𠒙	𠒚	𠒛	𠒜	𠒝	𠒞	𠒟	𠒠	𠒡	𠒢	𠒣	𠒤	𠒥	𠒦	𠒧	𠒨	𠒩	𠒪	𠒫	𠒬	𠒭	𠒮	𠒯	𠒰	𠒱	𠒲	𠒳	𠒴	𠒵	𠒶	𠒷	𠒸	𠒹	𠒺	𠒻	𠒼	𠒽	𠒾	𠒿	�0	�1	�2	�3	�4	�5	�6	�7	�8	�9	𠓊	𠓋	𠓌	𠓍	𠓎	𠓏	𠓐	𠓑	𠓒	𠓓	𠓔	𠓕	𠓖	𠓗	𠓘	𠓙	𠓚	𠓛	𠓜	𠓝	𠓞	𠓟	𠓠	𠓡	𠓢	𠓣	𠓤	𠓥	𠓦	𠓧	𠓨	𠓩	𠓪	𠓫	𠓬	𠓭	𠓮	𠓯	𠓰	𠓱	𠓲	𠓳	𠓴	𠓵	𠓶	𠓷	𠓸	𠓹	𠓺	𠓻	𠓼	𠓽	𠓾	𠓿	�0	�1	�2	�3	�4	�5	�6	�7	�8	�9	𠔊	𠔋	𠔌	𠔍	𠔎	𠔏	𠔐	𠔑	𠔒	𠔓	𠔔	𠔕	𠔖	𠔗	𠔘	𠔙	𠔚	𠔛	𠔜	𠔝	𠔞	𠔟	𠔠	𠔡	𠔢	𠔣	𠔤	𠔥	𠔦	𠔧	𠔨	𠔩	𠔪	𠔫	𠔬	𠔭	𠔮	𠔯	𠔰	𠔱	𠔲	𠔳	𠔴	𠔵	𠔶	𠔷	𠔸	𠔹	𠔺	𠔻	𠔼	𠔽	𠔾	𠔿	𠕀	𠕁	𠕂	𠕃	𠕄	𠕅	𠕆	𠕇	𠕈	𠕉	𠕊	𠕋	𠕌	𠕍	𠕎	𠕏	𠕐	𠕑	𠕒	𠕓	𠕔	𠕕	𠕖	𠕗	𠕘	𠕙	𠕚	𠕛	𠕜	𠕝	𠕞	𠕟	𠕠	𠕡	𠕢	𠕣	𠕤	𠕥	𠕦	𠕧	𠕨	𠕩	𠕪	𠕫	𠕬	𠕭	𠕮	𠕯	𠕰	𠕱	𠕲	𠕳	𠕴	𠕵	𠕶	𠕷	𠕸	𠕹	𠕺	𠕻	𠕼	𠕽	𠕾	𠕿	�0	�1	�2	�3	�4	�5	�6	�7	�8	�9	𠖊	𠖋	𠖌	𠖍	𠖎	𠖏	𠖐	𠖑	𠖒	𠖓	𠖔	𠖕	𠖖	𠖗	𠖘	𠖙	𠖚	𠖛	𠖜	𠖝	𠖞	𠖟	𠖠	𠖡	𠖢	𠖣	𠖤	𠖥	𠖦	𠖧	𠖨	𠖩	𠖪	𠖫	𠖬	𠖭	𠖮	𠖯	𠖰	𠖱	𠖲	𠖳	𠖴	𠖵	𠖶	𠖷	𠖸	𠖹	𠖺	𠖻	𠖼	𠖽	𠖾	𠖿	�0	�1	�2	�3	�4	�5	�6	�7	�8	�9	𠗊	𠗋	𠗌	𠗍	𠗎	𠗏	𠗐	𠗑	𠗒	𠗓	𠗔	𠗕	𠗖	𠗗	𠗘	𠗙	𠗚	𠗛	𠗜	𠗝	𠗞	𠗟	𠗠	𠗡	𠗢	𠗣	𠗤	𠗥	𠗦	𠗧	𠗨	𠗩	𠗪	𠗫	𠗬	𠗭	𠗮	𠗯	𠗰	𠗱	𠗲	𠗳	𠗴	𠗵	𠗶	𠗷	𠗸	𠗹	𠗺	𠗻	𠗼	𠗽	𠗾	𠗿	�0	�1	�2	�3	�4	�5	�6	�7	�8	�9	𠘊	𠘋	𠘌	𠘍	𠘎	𠘏	𠘐	𠘑	𠘒	𠘓	𠘔	𠘕	𠘖	𠘗	𠘘	𠘙	𠘚	𠘛	𠘜	𠘝	𠘞	𠘟	𠘠	𠘡	𠘢	𠘣	𠘤	𠘥	𠘦	𠘧	𠘨	𠘩	



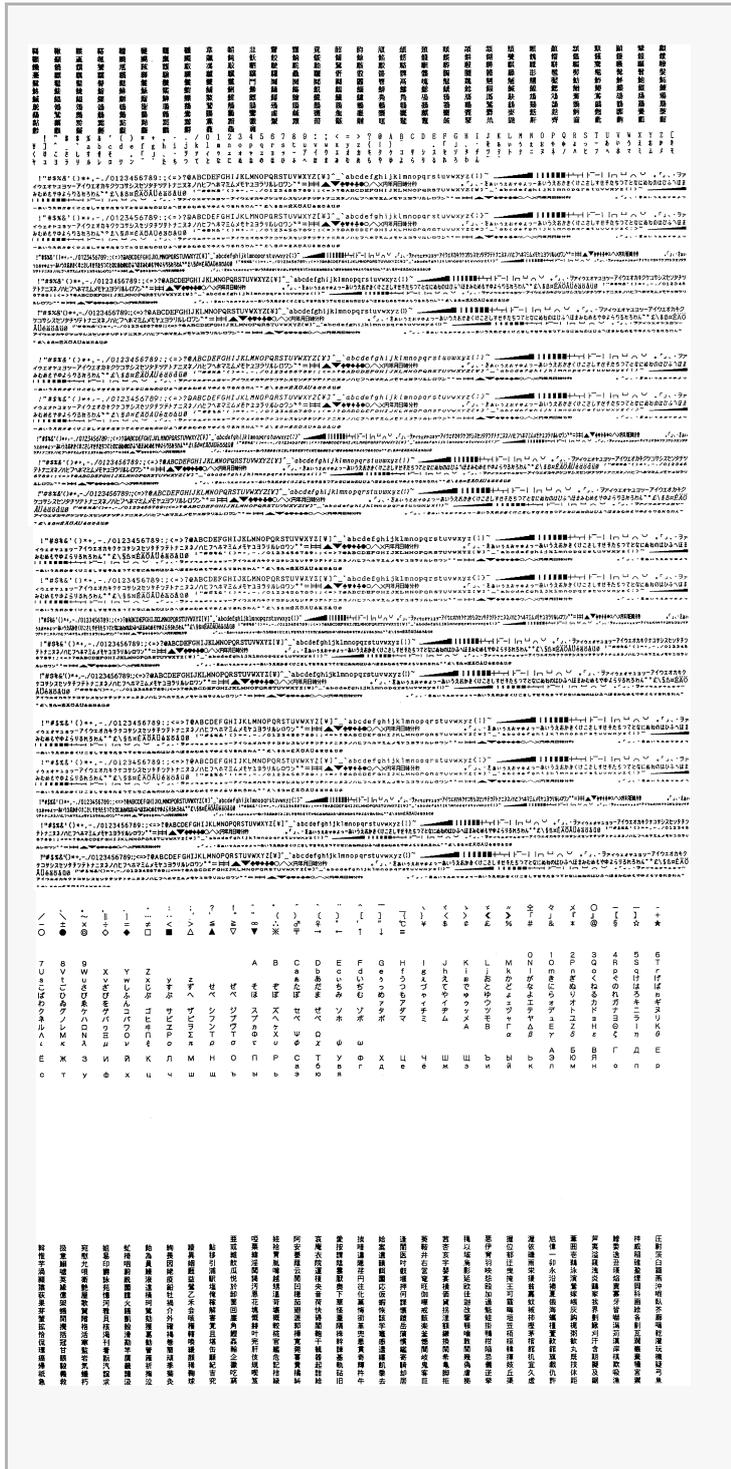
# テスト印刷サンプル

(30%縮小)



←2バイト系 明朝体 全角文字 (JIS第1水準)

←2バイト系 明朝体 全角文字 (JIS第2水準)



←2バイト系 明朝体 半角文字

←1バイト系 標準 HDパイカ文字

←1バイト系 標準 NHSパイカ文字

←1バイト系 標準 コンデンス文字

←1バイト系 標準 エリート文字

←1バイト系 標準 プロポーショナル文字

←1バイト系 イタリック HDパイカ文字

←1バイト系 イタリック NHSパイカ文字

←1バイト系 イタリック エリート文字

←1バイト系 イタリック HDパイカ文字

←1バイト系 イタリック プロポーショナル文字

←1バイト系 クーリエ HDパイカ文字

←1バイト系 クーリエ NHSパイカ文字

←1バイト系 クーリエ コンデンス文字

←1バイト系 クーリエ エリート文字

←1バイト系 クーリエ プロポーショナル文字

←1バイト系 ゴシック HDパイカ文字

←1バイト系 ゴシック NHSパイカ文字

←1バイト系 ゴシック コンデンス文字

←1バイト系 ゴシック エリート文字

←1バイト系 ゴシック プロポーショナル文字

(以下省略)

# 制御コード一覧

以下の制御コード表の詳細については、「日本語シリアルプリンタ言語201PLリファレンスマニュアル」を参照してください。

## 基本制御コード表

○：有

分類	コード	16 新数	機能概要	機能の有無
印刷	CR	0D	印刷し復帰	○
改行	LF	0A	1行改行	○
水平タブの実行	HT	09	水平タブ位置へ移動	○
垂直タブの実行	VT	0B	垂直タブ位置へ移動	○
改ページ	FF	0C	改ページ	○
倍角文字コード および キャラクタモード	SO	0E	倍角文字モード設定 (8ビットコード)	○
			カタカナモード設定 (7ビットコード)	○
	SI	0F	倍角文字モード解除 (8ビットコード)	○
			英数モード設定 (7ビットコード)	○
	DC2	12	無効 (8ビットコード)	○
			倍角文字モード設定 (7ビットコード)	○
	DC4	14	無効 (8ビットコード)	○
			倍角文字モード解除 (7ビットコード)	○
キャンセル	CAN	18	バッファの印刷データをキャンセル	○
セレクト/ディセレクト	DC1	11	セレクト状態にする	○
	DC3	13	ディセレクト状態にする	○
VFUの設定	GS	1D	VFUの設定開始	○
	RS	1E	VFUの設定終了	○
n行改行	US	1F	0~72行改行	○
VFUの実行			VFUの実行	○
外字の登録終了	EOT	04	外字の登録終了	○
同期コード*	EM	19	印刷動作が終了するまでデータを受け付けない	○

\* マークの付いているコードは201PLリファレンスマニュアルに記載されていないコードです。詳しくは「新制御コードのコマンド仕様」(171ページ)をご覧ください。

## 拡張制御コード表

○：有、×：無

分類	コード	16 新数	機能概要	機能の有無
印刷モード	ESC N	1B 4E	HSパイカモード設定	○
	ESC H	1B 48	HDパイカモード設定	
	ESC Q	1B 51	コンデンスモード設定	
	ESC E	1B 45	エリートモード設定	
	ESC P	1B 50	プロポーションナルモード設定	
	ESC K	1B 4B	漢字（横印刷）モード設定	
	ESC t	1B 74	漢字（縦印刷）モード設定	
HSパイカモード	ESC n 0	1B 6E 30	NHSパイカモード設定	×
	ESC n 1	1B 6E 31	SHSパイカモード設定	
キャラクタモード	ESC \$	1B 24	カタカナモード設定（8ビットコード）	○
			英数モード設定（7ビットコード）	
	ESC &	1B 26	ひらがなモード設定（8ビットコード）	
			ひらがなモード設定（7ビットコード）	
	ESC #	1B 23	無効（8ビットコード）	
CGグラフィックモード設定（7ビットコード）				
スクリプト文字モード	ESC s 1	1B 73 31	スーパースクリプト文字モード設定	○
	ESC s 2	1B 73 32	サブスクリプト文字モード設定	
	ESC s 0	1B 73 30	スクリプト文字モード解除	
外字	ESC +	1B 2B	外字（24 x 24ドット）の登録	○
	ESC *	1B 2A	外字（16 x 16ドット）の登録	○
ダウンロード文字	ESC l	1B 6C	ダウンロード文字の登録	○
	ESC l+	1B 6C 2B	ダウンロード文字印刷	○
	ESC l-	1B 6C 2D	プリンタ内蔵文字印刷	○
	ESC l0	1B 6C 30	ダウンロード文字クリア	○
文字の拡大	ESC e	1B 65	縦横拡大率指定	○
キャラクタリピート	ESC R	1B 52	キャラクタリピート	○
強調印刷モード	ESC !	1B 21	強調印刷モード設定	○
	ESC "	1B 22	強調印刷モード解除	
アンダライン／オーバライン	ESC X	1B 58	ライン印刷モード設定	○
	ESC Y	1B 59	ライン印刷モード解除	○
	ESC _	1B 5F	ラインの指定	○
	FS 0 4 L	1C 30 34 4C	ラインの太さの指定	○
高速印刷モード	ESC d 0	1B 64 30	高速印刷モード設定	○
	ESC d 1	1B 64 31	高速印刷モード解除	
ドットスペース	ESC [00] <sub>H</sub>	1B 00	0ドットスペース	○
	ESC [01] <sub>H</sub>	1B 01	1ドットスペース	
	ESC [02] <sub>H</sub>	1B 02	2ドットスペース	
	ESC [03] <sub>H</sub>	1B 03	3ドットスペース	
	ESC [04] <sub>H</sub>	1B 04	4ドットスペース	
	ESC [05] <sub>H</sub>	1B 05	5ドットスペース	
	ESC [06] <sub>H</sub>	1B 06	6ドットスペース	
	ESC [07] <sub>H</sub>	1B 07	7ドットスペース	
	ESC [08] <sub>H</sub>	1B 08	8ドットスペース	
	FS w	1C 77	固定ドットスペース	
ドット列印刷モード	ESC S	1B 53	8ビットドット列対応グラフィック印刷モード	○
	ESC I	1B 49	16ビットドット列対応グラフィック印刷モード	
	ESC J	1B 4A	24ビットドット列対応グラフィック印刷モード	

分類	コード	16 新数	機能概要	機能の有無
ドット列印刷モード	ESC V	1B 56	8ビットドット列リピートモード	○
	ESC W	1B 57	16ビットドット列リピートモード	
	ESC U	1B 55	24ビットドット列リピートモード	
	ESC F	1B 46	ドットアドレッシング	
ドット対応グラフィックドット数	ESC D	1B 44	コピーモード設定	○
	ESC M	1B 4D	ネイティブモード設定	
印刷方向	ESC >	1B 3E	片方向印刷モード設定	○
	ESC J	1B 5D	両方向印刷モード設定	
水平タブ	ESC (	1B 28	水平タブセット	○
	ESC )	1B 29	水平タブ部分クリア	
	ESC 2	1B 32	水平タブオールクリア	
簡易VFU	ESC v	1B 76	VFUのセット	○
マージン	ESC L	1B 4C	レフトマージン設定	○
	ESC /	1B 2F	ライトマージン設定	
漢字半角文字の縦印刷モード	ESC h 1	1B 68 31	漢字半角文字の縦印刷モード設定	○
	ESC h 0	1B 68 30	漢字半角文字の縦印刷モード解除	
	ESC q	1B 71	漢字半角の組文字縦印刷モード設定	
倍率設定と縮小文字の組文字印刷モード	FS m	1C 6D	倍率設定	○
	FS P	1C 50	縮小文字の組文字印刷モード設定	
漢字文字幅と漢字文字サイズ	FS A	1C 41	漢字文字幅3/20インチ、漢字文字サイズ10.5ポイント	○
	FS B	1C 42	漢字文字幅1/5インチ、漢字文字サイズ10.5ポイント	
	FS C	1C 43	漢字文字幅1/6インチ、漢字文字サイズ9.5ポイント	
	FS D	1C 44	漢字文字幅2/15インチ、漢字文字サイズ9.5ポイント相当	
	FS F	1C 46	漢字文字幅1/10インチ、漢字文字サイズ7ポイント相当	
	FS G	1C 47	漢字文字幅1/6インチ、漢字文字サイズ12ポイント相当	
漢字文字幅	FS p	1C 70	漢字文字幅の切り替え	○
漢字文字サイズ	FS 0 4 S	1C 30 34 53	漢字文字サイズの切り替え	○
改行幅	ESC A	1B 41	1/6インチ改行モード設定	○
	ESC B	1B 42	1/8インチ改行モード設定	
	ESC T	1B 54	n/120インチ改行モード設定	
改行方向	ESC f	1B 66	順方向改行モード設定	○
	ESC r	1B 72	逆方向改行モード設定	
シートフィーダ制御	ESC a	1B 61	排出後吸入（シートフィーダ装着時）	○
	ESC b	1B 62	排出（シートフィーダ装着時）	
ANK文字フォント	ESC O	1B 4F	ANK文字フォントの切り替え	○
	FS 0 6 F	1C 30 36 46	文字フォントの選択	
漢字フォント	ESC O	1B 4F	漢字フォントの切り替え	○
カラー	ESC C	1B 43	カラーの切り替え	○
文字修飾	FS c	1C 63	文字修飾の設定または解除	○
ソフトウェアリセット	ESC c 1	1B 63 31	初期状態にリセット	○
縮小設定*	FS 0 5 f	1C 30 35 66	縮小印刷の設定	○
書体選択*	FS 0 6 F	1C 30 36 46	書体の選択	○
パラメータリセット*	ESC c 8	1B 63 38	初期状態にリセット	○
漢字コード表の選択*	FS 0 5 F	1C 30 35 46	漢字コード表を選択する	○
バーコード印刷*	FS '	1C 60	バーコードの印刷	○

\* マークの付いているコードは201PLリファレンスマニュアルに記載されていないコードです。詳しくは「新制御コードのコマンド仕様」（171ページ）をご覧ください。

次の倍率に関する制御コードはプリンタに依存します。

- (1) ESC e
- (2) FS m

本プリンタの場合は、以下のようになります。

- (1) ESC e (縦横拡大率指定)

コマンド仕様

ESC e n1 n2

n1:縦拡大率  n1、n2共に1、2、3、4、6、8を設定可能

- (2) FS m (倍率指定)

コマンド仕様

FS m n1/n2、n3/n4、P1.

n1/n2:縦倍率  下表の設定となります。

		横倍率 n3/n4								
		1/2	1/1	2/1	3/1	4/1	5/1	6/1	7/1	8/1
縦倍率 n1 / n2	1/2	○	○	×	×	×	×	×	×	×
	1/1	○	○	○	○	○	×	○	×	○
	2/1	×	○	○	○	○	×	○	×	○
	3/1	×	○	○	○	○	×	○	×	○
	4/1	×	○	○	○	○	×	○	×	○
	5/1	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	6/1	×	○	○	○	○	×	○	×	○
	7/1	×	×	×	×	×	×	×	×	×
8/1	×	○	○	○	○	×	○	×	○	

# 新制御コードのコマンド仕様

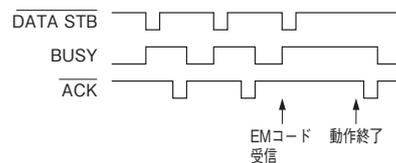
201PLリファレンスマニュアルに記載されていない制御コードにて、本プリンタで対応している制御コードについて説明します。

## EM 同期コード

	EM
16進	19
10進	25

同期動作を行います。

- 同期コードは印刷開始コードの直後に入れてください。
- 同期コードを受信すると、受信バッファが空になり、印刷および改行などの機械的動作が終了するまで次のデータを受け付けません。
- 同期データ受信後、すべての動作終了までBUSY信号をHIGHに保ちます。すべての動作終了後、BUSY信号をLOWにしてACK信号を出力します。
- 動作例：印刷+印刷開始コード+同期コード



## FS 05f 縮小設定

	FS	0	5	f	$n_1$	$n_2$	$n_3$	$p_1$
16進	1C	30	35	66	$n_1$	$n_2$	$n_3$	$p_1$
10進	28	48	53	102	$n_1$	$n_2$	$n_3$	$p_1$

縮小印刷を設定します。

$n_1$ と $n_2$ と $n_3$ は縮小率を表し、組み合わせは次の中から選択します。

...縮小率印刷解除

...4/5縮小印刷

...2/3縮小印刷

$p_1$ は縮小基準位置を表します。設定は次のとおりです。

...左端基準

...中央基準

- すべての文字コードに対して有効です。
- 行の先頭で指定してください。その行から縮小印刷します。
- 縮小印刷は、操作パネルを使っても設定できます。詳しい操作は「メニューモード」(55ページ)を参照してください。
- 縮小印刷は受信したデータを2/3または4/5に縮小して印刷しますので、例えばA4サイズのデータをA5サイズの用紙に、またはB4サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷したいようなときに役立つ機能です。
- プリンタがサポートしていない縮小率を設定しようとした場合、その命令は無視されます。
- ハガキ印刷モードが選択されているとき、またはメモリスイッチの切り替えにより1行の文字数が80桁になっているときは、縮小印刷はできません。
- 縮小を行うと、改行幅も縮小されます。また文字によっては見づらくなるものがあります。

## FS 06F 書体選択

	FS	0	6	F	n <sub>1</sub>	-	n <sub>21</sub>	n <sub>22</sub>	n <sub>23</sub>
16進	1C	30	36	46	n <sub>1</sub>	2D	n <sub>21</sub>	n <sub>22</sub>	n <sub>23</sub>
10進	28	48	54	70	n <sub>1</sub>	45	n <sub>21</sub>	n <sub>22</sub>	n <sub>23</sub>

使用する漢字フォントを直接指定します。

n<sub>1</sub>は“2”を指定します。

n<sub>21</sub>とn<sub>22</sub>とn<sub>23</sub>の組み合わせは次の中から選択します。

000…明朝体

200…ゴシック体

851…詳細は「カスタマバーコードを印刷する」(178ページ)を参照してください。

C LR…詳細は「カスタマバーコードを印刷する」(178ページ)を参照してください。

## ESC c8 パラメータリセット

	ESC	c	8
16進	1B	63	38
10進	27	99	56

各種パラメータをリセットします。

リセットされる内容については、「初期状態」(152ページ)をご覧ください。

## FS 05F 漢字コード表の選択

	FS	0	5	F	n <sub>1</sub>	-	n <sub>21</sub>	n <sub>22</sub>
16進	1C	30	35	46	n <sub>1</sub>	2D	n <sub>21</sub>	n <sub>22</sub>
10進	28	48	53	70	n <sub>1</sub>	45	n <sub>21</sub>	n <sub>22</sub>

漢字コード表を選択します。

n<sub>1</sub>は“2”を指定します。

n<sub>21</sub>とn<sub>22</sub>の組み合わせは次の中から選択します。

00…JIS 1978年版 (JIS C6226-1978)

01…JIS 1983年版 (JIS X0208-1983)

02…JIS 1990年版 (JIS X0208-1990)

- 本プリンタでは、従来の1978年版のJIS漢字コード表に加えて、1983年版、1990年版の漢字コード表に対応しています。漢字コード表をコンピュータから切り替えるときは、この制御コードを使用してください。
- 本プリンタで印刷される文字は、基本的に上記JISに準拠していますが、デザイン処理など都合により、多少字形の異なるものがあります。
- コンピュータが対応していないコード表を選択した場合には、コンピュータのディスプレイと印刷結果の文字とが異なる場合があります。

# 特殊文字の印刷

本プリンタでは、「バーコード」と「OCR-B相当フォント」の印刷ができます。印刷するには、それぞれの制御コードを送ります。ここではプリンタ内部のフォントを使用する場合について説明しています。

## バーコードを印刷する

- 印刷範囲内であれば、1行にいくつでもバーコードを印刷することができます。ただし、1つのバーコードが次の行にまたがる場合は、そのバーコードは印刷されずにその部分のデータが無効となります。
- 本プリンタで印刷したバーコードは、ドットの組み合わせで印刷するため、本来の規格と多少差異が生じます。したがってバーコードの読み取りは、十分評価を行ってから使用してください。
- インクが薄くなったインクリボンで印刷したバーコードは、読み取りができないことがあります。バーコードを印刷するときはなるべく新しいインクリボンを使用してください。
- バーコードと文字を同一行に印刷する場合、文字を基準に印刷処理を行います。したがってバーコード印刷の制御コードを分解し、改行幅の指定が必要になります。
- バーコードの縦の長さより縦拡大文字の縦の長さの方が大きい場合、バーコードの下端と下部に印刷される文字が離れることがあります（177ページ参照）。
- JANはJIS B 9550に準拠していますが、レフト／ライトガイドバー、センタバーは下方へ拡大できません。
- 印刷するバーコードの左右には、読み取り用の空白エリアが必要になります。水平タブ（`[HT]`）などを使用してください。
- バーコード／カスタマバーコードを印刷するときは、坪量81.4g/m<sup>2</sup>（連量70kg）の用紙を使用してください。それ以外の用紙は推奨していないので事前にご確認ください。また、複写用紙には絶対に印刷しないでください。

## 制御コード

### FS' バーコード印刷

	FS	`	n <sub>11</sub>	n <sub>12</sub>	,	n <sub>2</sub>	,	n <sub>3</sub>	,	n <sub>41</sub>	n <sub>42</sub>	,
16進	1C	60	n <sub>11</sub>	n <sub>12</sub>	2C	n <sub>2</sub>	2C	n <sub>3</sub>	2C	n <sub>41</sub>	n <sub>42</sub>	2C
10進	28	96	n <sub>11</sub>	n <sub>12</sub>	44	n <sub>2</sub>	44	n <sub>3</sub>	44	n <sub>41</sub>	n <sub>42</sub>	44

n <sub>51</sub>	n <sub>52</sub>	n <sub>53</sub>	,	n <sub>61</sub>	n <sub>62</sub>	.
n <sub>51</sub>	n <sub>52</sub>	n <sub>53</sub>	2C	n <sub>61</sub>	n <sub>62</sub>	2E
n <sub>51</sub>	n <sub>52</sub>	n <sub>53</sub>	44	n <sub>61</sub>	n <sub>62</sub>	46

バーコードを印刷します。

n<sub>11</sub>、n<sub>12</sub>は2桁の10進数を指定します。

- ① …NW-7（スタート／ストップキャラクタ指定）
- ② …NW-7
- ③ …JAN標準  
…JAN短縮
- ④ …CODE 39
- ⑤ …INDUSTRIAL 2 OF 5
- ⑥ …INTERLEAVED 2 OF 5

n2は1桁の10進数で、0、1、2のいずれかを指定します。

- 0 …ヒューマンリーダブルエリアの印刷なし
- 1 …ヒューマンリーダブルエリアをバーコードの下部に印刷する
- 2 …ヒューマンリーダブルエリアをバーコードの上部に印刷する

n3は2、3、4のいずれかのモジュール幅を1桁の10進数で指定します。

n41、n42は2桁の10進数で30を指定します。

- 3 0 …3:1 (ワイド : ナロー=3:1)

n51、n52、n53は0~9までの数字で、バーコードの縦の長さ (n/160インチ) を3桁の10進数で指定します。

n61、n62は0~9までの数字で、バーコードの桁数を2桁の10進数で指定します。

- バーコードを印刷するには、この制御コードに引き続き、n61、n62で指定した桁数分のバーコードデータを送ります。
- n11、n12が01であるときは、NW-7のスタート/ストップキャラクタの指定になります。このとき、n2~n5は省略し、n6には2を指定します。この制御コードに引き続きスタートキャラクタとストップキャラクタを送ります。
- スタート/ストップキャラクタのデフォルト値はともに“a”とします。
- JAN標準 (13桁) と短縮 (8桁) の区別は、n61、n62に指定されたデータの桁数によって行います。
- ヒューマンリーダブルエリアは、バーコードの下部、または上部にOCR-B文字にて指定されたデータキャラクタを印刷します。
- モジュール幅とは、バー 1本の印刷ドット数を意味します。
- INTERLEAVED 2 OF 5のデータ桁数は、偶数で指定してください。
- バーコードの縦の長さ (n/160インチ) のnの範囲は、 $1 \leq n \leq 999$ です。ただしn=0が指定された場合は、現在設定されている改行幅がバーコードの縦の長さになります。したがって、改行幅の切り替え機能と組み合わせることによって、最小0.212mm (1/120インチ) 単位での設定が可能となります。ただし、実際の印刷はドットピッチで行うため、0.159mm (1/160インチ) 単位で変換されます。

## バーコードの概要

バーコードに関する概要を説明します。

### バーコードの種類

名称	機能概要	桁数
NW-7 (コーダバー)	データ 数字 0~9 (10個)* <sup>1</sup> 記号 — \$ : / . + (6個)	可変 (34)
	スタート、ストップ abcdetn* ABCDETn (15個)	
JAN標準	データ 数字 0~9 (10個)	12+CD* <sup>2</sup> (13)
	レフトガードバー、センタバー、ライトガードバー	
JAN短縮	同上	7+CD (8)
Code 39	データ 数字 0~9 (10個) 英字 A~Z (26個) 記号 — \$ / . + % SP (7個)	可変 (34)
	スタート、ストップ *	
Industrial 2 OF 5	データ 数字 0~9 (10個)	可変 (34)
	スタート、ストップ	
Interleaved 2 OF 5	データ 数字 0~9 (10個)	可変 (34) (ただし偶数のみ)
	スタート、ストップ	

\*1 桁数の ( ) 内は最大桁数を表します。

\*2 CD とは、「チェックディジット」のことです。

### バーコード指令の概要

バーコードは次の表のとおり、6つのパラメータで形成され、それぞれの指令により各種のバーコードが印刷できます。

単位：ドット

パラメータ	概要
$n_1$	バーコードの種類を指定する。
$n_2$	ヒューマンリーダブルエリアの有無を指定する。
$n_3$	バーコードのモジュール幅をドット数で指定する。
$n_4$	バーコードのワイドバーとナローバーの横の長さの比を指定する。
$n_5$	バーコードの縦の長さをドット数 ( $n/160$ インチ) で指定する。
$n_6$	バーコードデータの桁数を指定する。チェックディジットは本プリンタでは自動付加しないためコンピュータから出力する。

## バーコードの横の長さ

各バーコード種別によるバーコードの横の長さの算出は次のとおりです。

単位：ドット

種別	スタートバー	ストップバー	センタバー	データバー	備考
NW-7	14	13	—	14/12	0~9-\$は12ドット :/.+は14ドット
JAN標準	3	3	5	7	合計95ドット
JAN短縮	3	3	5	7	合計67ドット
Code 39	16	15	—	16	—
Industrial 2 OF 5	10	9	—	14	—
Interleaved 2 OF 5	4	5	—	18	データキャラクタ2桁で 1個のデータバーとする

ただし、表はモジュール幅が1ドットの場合であり、実際のモジュール幅は「n3」で指定したモジュール幅を掛け合わせて求めることができます。JANの場合は、合計ドット数に「n3」で指定したモジュール幅を掛け合わせ求めることができます。

例： NW-7（モジュール幅：3、桁数：6）

$$\begin{array}{ccccccc}
 \text{モジュール幅} & \text{スタート} & \text{データ} & \text{ストップ} & & \text{インチ・ミリ概算 (固定)} & \text{印刷ドット密度 (固定)} \\
 \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow & & \downarrow & \downarrow \\
 3 & \times (14 & + (12 \times 6) & + 13) = 297 & \rightarrow & 297 \times 25.4 & \div 160 \approx 47\text{mm}
 \end{array}$$

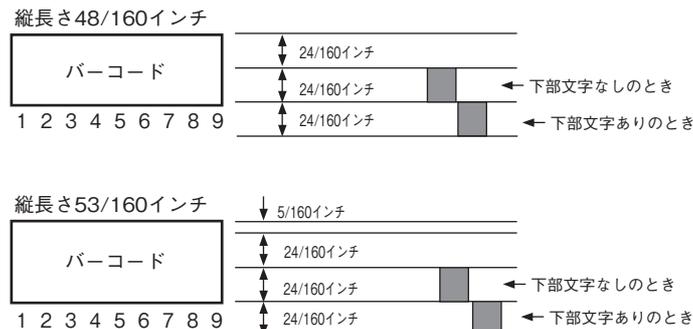
バーコード印刷時は、「上記で求めた長さ+余白の長さ」が印刷範囲を超えないように注意してください。

## バーコード印刷時の印刷ヘッドの位置に関する注意

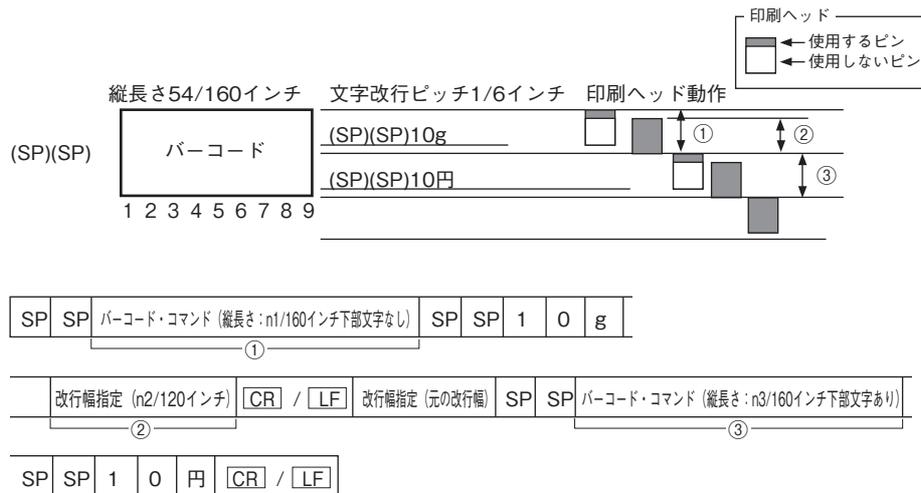
- 印刷開始位置は、次に印刷する文字の左上をバーコードの左上として印刷します。



- バーコード印刷は、印刷ヘッドの24ピン（24/160インチ）を基準に印刷処理を行うため、改行ピッチとの間にギャップがあるので、印刷終了時の印刷ヘッドの位置に注意してください。



- バーコードと通常の文字を同じ行に印刷する場合、文字を基準に印刷処理を行います。その場合は、バーコードコマンドを分解し、n/120インチ改行命令により改行する必要があります。



- ① 文字ピッチ分のバーコードの幅の長さを指定します。

バーコードの縦の長さ = 改行ピッチ  
= 1/6インチ

$$\approx 27/160 \text{ インチ (端数切り上げ)} * 1$$

n1=27

- ② ①のコマンド終了時に、印刷ヘッドを次の印刷行に改行させます。

改行幅 = 印刷ヘッドの高さ  
= 24/160インチ  
= 18/120インチ

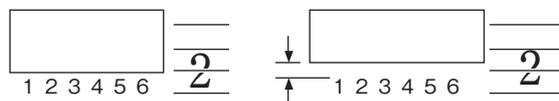
n2=18

- ③ 残りのバーコードを印刷します。

残りのバーコードの縦の長さ = バーコードの縦の長さ - 1のコマンドの縦の長さ  
= 54/160 - 27/160インチ  
= 27/160インチ (端数切り上げ)

n3=27

- バーコードの縦の長さより縦拡大文字の長さの方が大きい場合、バーコードの下端とその下部の文字が離れる場合があります。



\* 1 バーコードの縦の長さを 1/160 インチに換算したときの端数は保持されます。この端数の累積による印刷位置ずれを防ぐためには、改ページコード (FF) で改ページするか、1/160 インチ換算で端数のないバーコードの縦の長さを設定してお使いください。

## カスタマバーコードを印刷する

本プリンタでは、カスタマバーコードは、通常の漢字と同様に2バイト文字として扱われます。したがって、201PLで定義された文字制御（文字幅、文字サイズ、アンダーライン、文字修飾など）の影響を受けます。しかし、カスタマバーコードの仕様から逸脱した文字サイズ指定や不適切な文字ピッチ指定、拡大・縮小、アンダーライン、文字修飾などが行われると、読み取り機で読み取れなくなってしまうので注意が必要です。カスタマバーコードは文字サイズ9.5ポイント、文字幅2/15インチの設定で印刷してください。

カスタマバーコードに盛り込む情報は、文字、-（ハイフン）、およびアルファベットから構成される新郵便番号および住所表示番号\*です。ただし住所の方書き部分にビル、マンション等の棟・室番号などが存在する場合には、これを含めます。（\*住所番号とは住所の文字部分をハイフンで結んだものであり、住所表示実施地域については丁目一番一号まで、住居表示未実施地域については番地一丁目までの情報を基本とします）。

- 住所表示実施地域の例  
〒153 世田谷区若林3丁目16番4号  
↓  
154-0023 3-16-4  
新郵便番号 住所表示番号
- 住所表示実施地域の例  
〒213 川崎市高津区溝口1207-4  
↓  
213-0001 1207-4  
新郵便番号 住所表示番号

## カスタマバーコードフォントを指定する制御コード

<2バイト文字書体の選択>

[FS] [0] [6] [F] [2] [-] [n1] [n2] [n3]

[n1] [n2] [n3] は3桁の文字表現の10進数であり、書体番号を示します。

851 カスタマバーコード書体（回転なし）

CLR 2バイト文字書体を初期状態に戻す。

## カスタマバーコードのフォーマット

以下にカスタマバーコードのフォーマットを示します。ただし、新郵便番号の3桁目と4桁目の間のハイフンおよび新郵便番号と住所表示番号をつなぐハイフンは省くものとします。また、英字1文字は、制御コードと数字コードの組み合わせにより実現し、バーコード2桁分として扱います。

フォーマット : スタートコード+新郵便番号+住所表示番号+チェックディジット+ストップコード

バーコード桁数: (1) (7) (13) (1) (1)

<住所表示番号が規定の桁数13桁に対して過不足のある場合>

- 13桁を超える場合 13桁までの住所表示番号をバーコードに変換し、それ以上の情報は含めません。ただし、制御コード+数字コードで表される英字の制御コードが13桁目にあたる場合、この制御コードに該当するバーコードまでを含めるものとする。
- 13桁に満たない場合 13桁になるまで制御コードCC4に該当するバーコードで埋めるものとする。

また、チェックディジットは、新郵便番号～住所表示番号に盛り込む情報の各キャラクターをチェック用数字に置き換え、その合計が19の倍数になるように生成する。

各キャラクターのチェック用数字への置き換えは、次のとおりです。

キャラクタ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	-	CC1	CC2	CC3	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
チェック用	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18

### <住所表示番号を抜き出すルール>

- ・ 町域名以降の住所から、住所表示番号を抜き出す基本ルールは次のようになります。
  - ① アルファベットの小文字は大文字に置き換える。
  - ② “&”、“/”、“.”、“.” は取り除き、後ろのデータをつめる。
  - ③ ①、②で整理されたデータから算用数字、ハイフン、連続していないアルファベット1文字を必要な文字情報として抜き出す。
  - ④ 抜き出された文字の前にある「漢字」、「かな文字」、「カタカナ文字」、「漢数字」、「2文字以上連続したアルファベット文字」、「ブランク」はハイフン1文字に置き換える。
  - ⑤ ④の置き換えで、ハイフンが連続する場合には1つにまとめる。
  - ⑥ 先頭がハイフンの場合は取り除く。
- ・ さらに次のような補足ルールがあります。
  - ① 漢数字が下記の特定文字の前にある場合は抜き出し対象とし、算用数字に変換して抜き出す。  
特定文字：「丁目」、「丁」、「番地」、「番」、「号」、「地割」、「線」、「の」、「ノ」
  - ② 連続していないアルファベット 1文字は抜き出し対象となるが、算用数字に続くアルファベット1文字 ‘F’ に限っては抜き出し対象としない。
  - ③ ②に記述したように、算用数字に続くアルファベット1文字 ‘F’ は抜き出し対象とならないが、さらに、‘F’ 以降のデータに抜き出し対象となる文字がある場合、F’ はハイフン1文字に置き換える。
  - ④ 抜き出し後のバーコードデータについて、アルファベット文字の前後にあるハイフンは取り除く。
  - ⑤ ④の処理でアルファベット文字の前後に当たるハイフンを取り除いた結果、2文字以上の連続したアルファベット文字が残った場合、取り除かないでそのままにする。

#### 例) 住所表示番号抜き出し例

```

東3丁目ー 20ー 5 郵便・A&bコーポB603号
      ↓          (基本ルール①)
東3丁目ー 20ー 5 郵便・A&BコーポB603号
      ↓          (基本ルール②)
東3丁目ー 20ー 5 郵便ABコーポB603号
      ↓          (基本ルール③、④)
ー 3ーー 20ー 5ー B603
      ↓          (基本ルール⑤、⑥)
3ー 20ー 5ー B603
      ↓          (補足ルール⑦)
3ー 20ー 5B603
  
```

#### 例) カスタマバーコードの生成例

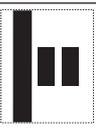
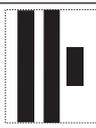
- ー 住所  
千葉県鎌ヶ谷市右京塚 東3丁目ー 20ー 5 郵便・A&bコーポB603号
- ー 新郵便番号 (273ー 0102) + 住所表示番号 (3ー 20ー 5B603)  
273ー 01023ー 20ー 5B603
- ー 郵便番号の3~4桁目間のハイフンを省く  
27301023ー 20ー 5B603
- ー 英字は制御コード+数字に置き換える  
27301023ー 20ー 5CC1 1 603
- ー 住所表示部分が13桁になるまで制御コードCC4を付加する  
27301023ー 20ー 5CC1 1 603 CC4 CC4
- ー チェックディジット (CD) を計算する  
 $2+7+3+0+1+0+2+3+10+2+0+10+5+11+1+6+0+3+14+14+CD=94+CD=19$ の倍数  
 $CD=(19 \times 5) - 94=1$
- ー CD、スタートコード、ストップコードを付加する  
STC 27301023ー 20ー 5CC1 1 603 CC4 CC4 1 SPC
- ー それぞれのコードを読み取る  
<27301023ー 20ー 5a1603dd1>
- ー プリンタの印刷モードを漢字 (横印刷) モード設定にするため、ESC Kコマンドをプリンタに送信する
- ー 読み替えたコードをプリンタに送信する。

## カスタマバーコードのコード体系

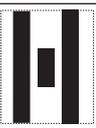
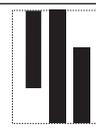
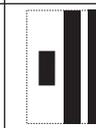
- 数字 (0~9)
- ハイフンおよびスタート・ストップコード
- 制御コード (英語用制御コード3種・予備用制御コード5種)
- 英字 (A~Z)

以下の文字コード以外が指定されたときは、全角スペースを印刷します。

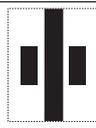
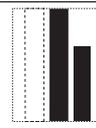
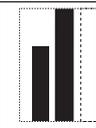
### 数字

キャラクタ	0	1	2	3	4
コード割付	2330h 数字「0」	2331h 数字「1」	2332h 数字「2」	2333h 数字「3」	2334h 数字「4」
カスタマ バーコード					
コード組合せ	—	—	—	—	—
バー種類	144	114	132	312	123

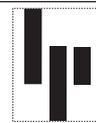
キャラクタ	5	6	7	8	9
コード割付	2335h 数字「5」	2336h 数字「6」	2337h 数字「7」	2338h 数字「8」	2339h 数字「9」
カスタマ バーコード					
コード組合せ	—	—	—	—	—
バー種類	141	321	213	231	411

### ハイフンおよびスタート・ストップコード

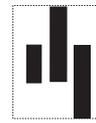
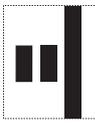
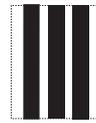
キャラクタ	—	スタート(STC)	ストップ(STP)
コード割付	215Dh マイナス「-」	2163h 不等号「<」	2164h 不等号「>」
カスタマ バーコード			
コード組合せ	—	—	—
バー種類	414	13	31

## 制御コード（英字用制御コード、予備用制御コード）

### 英字用制御コード

キャラクタ	CC1	CC2	CC3
コード割付	2361h 英数字「a」	2362h 英数字「b」	2363h 英数字「c」
カスタマ バーコード			
コード組合せ	—	—	—
バー種類	324	342	234

### 予備用制御コード

キャラクタ	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
コード割付	2364h 英数字「d」	2365h 英数字「e」	2366h 英数字「f」	2367h 英数字「g」	2368h 英数字「h」
カスタマ バーコード					
コード組合せ	—	—	—	—	—
バー種類	432	243	423	441	111

英字

キャラクタ	A	B	C	D	E
コード割付	2361h+ 2330h	2361h+ 2331h	2361h+ 2332h	2361h+ 2333h	2361h+ 2334h
カスタム バーコード					
コード組合せ	CC1+0	CC1+1	CC1+2	CC1+3	CC1+4
バー種類	324144	324114	324132	324312	324123

キャラクタ	F	G	H	I	J
コード割付	2361h+ 2335h	2361h+ 2336h	2361h+ 2337h	2361h+ 2338h	2361h+ 2339h
カスタム バーコード					
コード組合せ	CC1+5	CC1+6	CC1+7	CC1+8	CC1+9
バー種類	324141	324321	324213	324231	324411

キャラクタ	K	L	M	N	O
コード割付	2362h+ 2330h	2362h+ 2331h	2362h+ 2332h	2362h+ 2333h	2362h+ 2334h
カスタム バーコード					
コード組合せ	CC2+0	CC2+1	CC2+2	CC2+3	CC2+4
バー種類	342144	342114	342132	342312	342123

キャラクタ	P	Q	R	S	T
コード割付	2362h+ 2335h	2362h+ 2336h	2362h+ 2337h	2362h+ 2338h	2362h+ 2339h
カスタム バーコード					
コード組合せ	CC2+5	CC2+6	CC2+7	CC2+8	CC2+9
バー種類	342141	342321	342213	342231	342411

キャラクタ	U	V	W	X	Y
コード割付	2363h+ 2330h	2363h+ 2331h	2363h+ 2332h	2363h+ 2333h	2363h+ 2334h
カスタム バーコード					
コード組合せ	CC3+0	CC3+1	CC3+2	CC3+3	CC3+4
バー種類	234144	234114	234132	234312	234123

キャラクタ	Z
コード割付	2363h+ 2335h
カスタム バーコード	
コード組合せ	CC3+5
バー種類	234141

## バーコードの印刷位置

カスタマバーコードの上下左右には2mm以上の余白を設けるものとなっています。ただし、窓枠の上下左右とカスタマバーコードの間の空白は封筒と内容物のズレにかかわらず、常に2mm以上必要です。

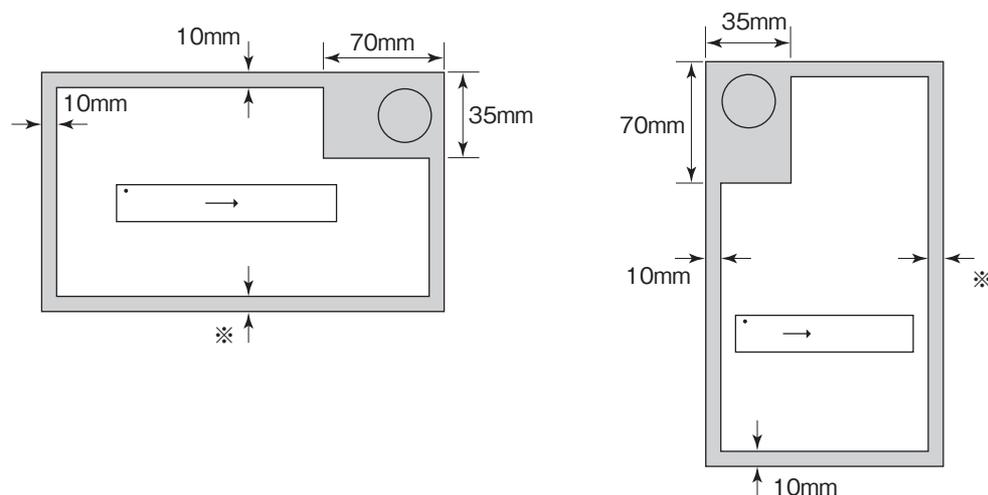
宛名を横書きする場合には、宛先氏名の直下にカスタマバーコードを単独で印刷します。

宛名を縦書きする場合には、左右または下部に単独で印刷します。

カスタマバーコードは郵便物の表面縁から10mmおよび消印領域である70mm x 35mmを除いた範囲内で印刷することができます。

ただし、\*部分はできるだけ15mm以上空けてください。

印刷方向は「・」を先頭とし、→の方向です。

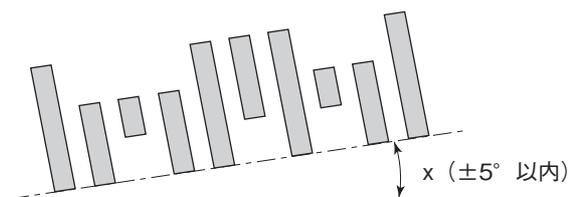


## カスタマバーコードが印刷される下地

カスタマバーコードが印刷されるバーコードの下地は白色または地模様のない淡い色のみです。

## カスタマバーコードの傾き

カスタマバーコードの傾きは、バーコードの長辺と同一方向の郵便物辺が成す角が、5度以内となるようにしてください。



## 使用するインクリボン

カスタマバーコードを印刷する時は黒のなるべく新しいインクリボンを使用してください。インクが薄くなったインクリボンで印刷するとバーコード読み取りができなくなる場合があります。

## 印刷品質

カスタマバーコード印刷面には反射率50%以上の紙を使用してください。印刷面とカスタマバーコードとの反射率PCSは0.6以上必要です。また、カスタマバーコードにはインクのにじみやかすれなどがないようにしてください。

## OCR-B相当フォントを印刷する

OCR-B相当フォントとは次のようなフォントです。

!"#\$%&'()\*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOI

以下の制御コードでANK文字の書体をOCR-B相当に指定することにより、ANK文字を印刷する際の書体がOCR-B相当になります。

### FS 06F

### 書体選択

	FS	0	6	F	n <sub>1</sub>	-	n <sub>21</sub>	n <sub>22</sub>	n <sub>23</sub>
16進	1C	30	36	46	n <sub>1</sub>	2D	n <sub>21</sub>	n <sub>22</sub>	n <sub>23</sub>
10進	28	48	54	70	n <sub>1</sub>	45	n <sub>21</sub>	n <sub>22</sub>	n <sub>23</sub>

ANK文字フォントのうちどれを使うかを直接指定します。

n<sub>1</sub>は“1”にします。

n<sub>21</sub>、n<sub>22</sub>、n<sub>23</sub>の組み合わせは次の中から選択します。

…標準フォント

…イタリック

…クーリエ

…ゴシック

…OCR-B相当

# 索引

## 記号

1 バイト系コード表 .....	158
2 バイト系コード表 .....	160
7 ビットコード表 .....	159
8 ビットコード表 .....	158

## H

HEX ダンプモード .....	77
------------------	----

## J

JIS 第 1 水準 .....	161
JIS 第 2 水準 .....	163

## O

OCR-B 相当フォント .....	184
--------------------	-----

## ア

アラームランプ .....	52
安全上のご注意 .....	2
安全にお使いいただくために .....	1
安全にかかわる表示 .....	ii

## イ

インクリボン .....	14
～の交換方法 .....	113
～の処理 .....	128
インクリボンカートリッジ .....	
～の交換 .....	110
～の処理 .....	128
～を取り付ける .....	18
印刷可ランプ .....	52
印刷桁数 .....	129
印刷速度 .....	129
印刷範囲 .....	147
カット紙 .....	147
はがき .....	150
連続紙 .....	149
印刷方向 .....	130
印刷方式 .....	129
インタフェース .....	131
インタフェース信号 .....	154

## エ

エラー表示が出ていないのにおかしいときは .....	118
エラー表示が出ているときは .....	116

## オ

オプション .....	83
温度 .....	131

## カ

改行時間 .....	130
改行幅 .....	130
改行方向 .....	130
改行量 .....	130
拡張制御コード表 .....	168
各部の名称 .....	
シートフィーダ .....	85
トラクタフィーダ .....	96
フロントトラクタフィーダ .....	102
カスタマバーコード .....	178
スペシャルメニューモード .....	
カット機能の用紙送り量 .....	74
カット紙 .....	16
印刷範囲 .....	147
～に印刷する .....	28
～に関する注意 .....	138
カット紙と連続紙の切り替え印刷 .....	43
カット紙のセット .....	
シートフィーダ .....	88
紙づまりの処理 .....	122
フィードローラユニットの付近でつまったときは .....	122
フロントシートガイド付近でつまったときは .....	123
カラーインクリボンカートリッジ .....	14
漢字コード表 .....	160

## キ

技術情報 .....	151
基本制御コード表 .....	167
給紙選択レバー .....	16
強制リセット .....	51

## ケ

警告ラベル .....	1
罫線ぞろえ確認モード .....	75

## コ

高速印刷ランプ .....	52
コネクタピン配置 .....	155

コンピュータに接続する .....	25
-------------------	----

## シ

シートフィーダ .....	85
各部の名称 .....	85
カット紙と連続紙の切り替え印刷 .....	93
カット紙のセット .....	88
組み立て .....	86
使用時の注意 .....	93
取り付け .....	87
取り外し .....	87
はがきのセット .....	91
用紙がつまったときは .....	95
用紙吸入位置の微調整 .....	93
湿度 .....	131
質量 .....	131
修理の依頼 .....	124
寿命 .....	132
仕様 .....	129
使用コード .....	131
使用できない用紙への注意 .....	146
消費電力 .....	131
情報サービス .....	126
消耗品 .....	14
初期状態 .....	152
新制御コード .....	171

## ス

スイッチ .....	
～の応用機能 .....	50
～の基本機能 .....	48
スペシャルメニューモード .....	
7/8 ビットデータ .....	73
CR 機能 .....	72
DC1、DC3 コード処理 .....	72
HD パイカモード / HS パイカモード .....	73
HEX ダンプモード切り替え .....	77
LF ピッチ補正 .....	70
PC モード / 情処モード .....	73
印刷桁数 .....	73
印刷指令コード .....	72
印刷ヘッド空打ち防止機能 .....	73
印刷方向 .....	73
オートローディング方式 .....	74
各国文字 .....	72
カット紙センタリング位置 .....	69
漢字コード表 .....	69
罫線ぞろえ確認モード .....	75
高速印刷モード .....	74
シートガイドからの用紙吸入時間 .....	69
シートガイド使用時の用紙無し検出 .....	72
シートフィーダの吸入コード .....	73
自動カット位置送り機能 .....	73
自動復改 .....	72
自動用紙厚調整再実行時間 .....	69
終了方法 .....	64

スイッチ機能 .....	64
数字「0」の字体 .....	
1 バイトコード .....	72
2 バイトコード .....	73
設定の詳細 .....	69
設定の手順 .....	68
データ受信方法 .....	72
ドット対応グラフィックドット数 .....	72
ドット列印字モードの印刷方向 .....	74
入り方 .....	63
ハガキ印刷モード .....	69
パラメータ設定モード .....	69
フォント .....	69
フロントトラクタセンタリング位置 .....	69
変更できる設定項目 .....	63
ミシン目スキップ .....	73
メニューツリー .....	65
メモリスイッチ設定モード .....	71
用紙吸入位置の記憶 .....	73
用紙セット位置 .....	69
リアトラクタセンタリング位置 .....	69
連続紙カット位置からの自動戻り時間 .....	69
寸法 .....	131

## セ

制御コード一覧 .....	167
製品保守 .....	132
設置 .....	
～してはいけない場所 .....	10
～に必要なスペース .....	9

## ソ

騒音 .....	131
操作パネル .....	47

## タ

タイムチャート .....	155
---------------	-----

## ツ

坪量 .....	
複写枚数と坪量（連量） .....	136
用紙サイズと坪量 .....	133

## テ

定格電流 .....	131
テスト印刷 .....	23
テスト印刷サンプル .....	165
電気的特性 .....	156
電源 .....	131

電源コード	
～を接続する	21
電源ランプ	52

## ト

登録文字	130
特殊文字の印刷	173
トップシートガイド	
～を取り付ける	20
トップトラクタ	16
トラクタフィーダ	96
各部の名称	96
取り付け	96
取り外し	96
連続紙のセット	98
トラクタユニット	16
トラクタユニットの付け替え方	
トップトラクタとして取り付け	30
リアトラクタとして取り付け	32
取り扱い上の注意	8

## ニ

日常の保守	110
-------	-----

## ネ

ネットワーク設定モード	
～時のスイッチ機能	79
設定の詳細	82
設定の手順	81
～で変更できる設定項目	78
～の終了方法	78
～の入り方	78
メニューツリー	80

## ハ

バーコード	173
はがき	133
ハガキ印刷モード	50
はがきに印刷する	44
はがきのセット	
シートフィーダ	91
箱の中身を確認する	11
はじめに	v
半角文字	160

## フ

フィードローラユニット	16
複写式用紙	133
普通紙	133

プリンタ	
運搬するときは	127
～の寿命	125
～の清掃	114
～の廃棄	128
プリンタケーブル	13
プリントサーバ (LAN アダプタ)	13
プレプリント用紙に関する注意	146
フロントトラクタ	16
フロントトラクタフィーダ	
各部の名称	102
取り付け	102
取り外し	104
連続紙のセット	105

## ヘ

別売品	12
-----	----

## ホ

補修用性能部品	126
保証	124

## マ

マニュアルの構成	v
----------	---

## メ

メニューモード	
印刷圧の微調整	62
機能選択	62
吸入位置	61
終了方法	57
縮小印刷の選択	62
書式クリア	61
書式設定	61
書式選択	62
書体選択	62
スイッチ機能	57
設定の詳細	61
設定の手順	60
入り方	57
変更できる設定項目	56
メニューツリー	58
用紙厚調整の設定	62
用紙長	61
ライトマージン	61
レフトマージン	61
メモリスイッチ設定モード	71

## モ

文字コード表 .....	157
--------------	-----

## ユ

有寿命部品（有償）	
仕様 .....	132
～について .....	125

## ヨ

用紙	
サイズ .....	133
セット方向 .....	134
注意事項 .....	44
～の取り扱い .....	26
用紙厚調整 .....	130
用紙送り方式 .....	130
用紙吸入位置の微調整 .....	41
用紙設計に関する注意事項 .....	138
用紙の規格 .....	133
用紙ランプ .....	52

## ラ

ラベル紙 .....	133
ラベル紙（タック紙）に関する注意 .....	143

## リ

リアトラクタ .....	16
リボンカートリッジセット .....	14

## レ

連続紙	
印刷範囲 .....	149
トップトラクタへのセット .....	35
トラクタフィーダへのセット .....	98
～に印刷する .....	30
～に関する注意 .....	140
～のカット .....	39
フロントトラクタフィーダへのセット .....	105
リアトラクタへのセット .....	33

## ロ

ロングライフインクリボン .....	14
ロングライフインクリボンカートリッジ .....	14

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

・ MultImpact 201HE

(一社) 電子情報技術産業協会 高調波電流抑制対策実施  
要領に基づく定格入力電流値 : 107 W

・ MultImpact 201SE

(一社) 電子情報技術産業協会 高調波電流抑制対策実施  
要領に基づく定格入力電流値 : 107 W

## 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

## 電気通信事業法について

LANインタフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者（ADSLモデムやCATVなど）へ直接接続することは許可されていません。

## 海外でのご使用について

本装置は、日本国内仕様のため海外でご使用になる場合、NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償などの問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。